

Performance Series Network Video Recorder

HEN081*4

HEN161*4

HEN321*4

HEN041*3

HEN04103L

HEN32103L

(* = Storage in TB)

HEN162*4

HEN322*4

HEN642*4

HEN081*3

HEN08103L

HEN163*4

HEN323*4





HEN643*4

HEN161*3

HEN16103L

ユーザーガイド

注意及び警告

 CAUTION RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN		 THIS SYMBOL INDICATES THAT DANGEROUS VOLTAGE CONSTITUTING A RISK OF ELECTRIC SHOCK IS PRESENT WITHIN THE UNIT.
CAUTION: TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK, DO NOT REMOVE THE COVER. NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE. REFER SERVICING TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL.		THIS SYMBOL INDICATES THAT IMPORTANT OPERATING AND MAINTENANCE INSTRUCTIONS ACCOMPANY THIS UNIT.



警告 すべての現地法規を遵守して保証を維持するために、設置および修理は資格のある経験豊富な技術者のみによって実施してください。



警告 付属の電力変換器のみを使用してください。イーサネット接続は、公開されたネットワーク（屋外施設等）に接続することを目的としていません。

注意 バッテリーを誤ったタイプに交換すると、爆発の危険性があります。使用済みのバッテリーは自治体の法規に従って処分してください。

注意 すべての現地法規を遵守して保証を維持するために、設置および修理は資格のある経験豊富な技術者のみによって実施してください。

規制に関する声明

FCC遵守声明

使用者のための情報：この装置は、FCC ルールの Part 15 に従って、クラス B デジタル・デバイスの制限に準拠していることがテストによって確認済みです。これらの規制は、住宅地で設置した場合に有害な干渉が起きないようにするために設けられています。本装置は無線周波エネルギーを発生及び使用し、場合によっては放射する可能性があります。指示に従って設置、使用しない場合は無線通信に干渉する可能性があります。しかしながら、特定の設置状況においては干渉を起こさないという保証はありません。

本装置により有害な無線干渉または映像の受信障害が起きた場合（装置の電源をオン、オフに切り替えると判断できる場合があります）、以下の方法を試して干渉を避けてください。

- 受信アンテナの向きや置き場所を変更する。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに本装置を接続する。
- 取扱店または信頼できる無線/映像技術者に問い合わせる。

注

法規制遵守の責任者が明示的に承認していない変更や改造を加えた場合は、本製品を使用する権利を剥奪されることがあります。

このクラス B デジタル・デバイスはカナダの ICES-003 に準拠しています。

このクラス B デジタル・デバイスはカナダの NMB-003 に準拠しています。

製造業者による適合宣言

北米

このガイドが付属する装置は、UL 60950-1 および CSA C22.2 No. 60950-1 に準拠しています。

欧州

製造業者は、供給される機器が EMC 指令 2004/108/EC および低電圧指令 (LVD) 2006/95/EC の必須保護要件に準拠し、排出基準 EN 55022、イミュニティ基準 EN 501304、電気機器安全基準 EN 60950 の要件に適合していることを宣言します。

廃電気・電子機器指令 (WEEE)



本製品の正しい処分(個別の回収システムを適用しているEUと他のヨーロッパ諸国にも該当)

この製品は、該当する地域の法律、規制、および手順に従って、耐用年数終了後に処分する必要があります。

安全の手引き

ユニットを設置または操作する前に、すべての指示を読んで従ってください。設置後は、後で参照できるように、安全および操作説明書を保管してください。

1. **ご注意ください** - 本機および取扱説明書に記載されている警告にすべて従ってください。
2. **設置**
 - 製造元の指示に従って取り付けてください。
 - すべての現地法規を遵守して保証を維持するために、設置および修理は資格のある経験豊富な技術者のみによって実施してください。
 - 製品の壁または天井に取り付ける場合は、製造元の指示に従い、製造元が承認または推奨する取り付けキットを使用する必要があります。
3. **電源** - 本製品は、マーキングラベルに記載されている種類の電源からのみ操作してください。お客様の施設に供給されている電力の種類が不明な場合は、製品販売店または地元の電力会社にお問い合わせください。

4. **取り付けシステム**- 製造元が推奨する取り付けシステムを使用するか、製品とともに購入した取り付けシステムのみを使用してください。
5. **付属品/アクセサリ**- 製品の製造元が推奨しない付属品/アクセサリを使用しないでください。火災、感電、人身傷害の危険があります。
6. **清掃**-液体洗剤やスプレー洗剤は使用しないでください。清掃には湿った布を使用してください。
7. **修理** - 本機をお客様自身で修理しようとししないでください。修理の際は必ず資格のある保守担当者に依頼してください。
8. **交換部品** - 交換部品が必要な場合は、修理技術者が、製造元が指定した交換部品、または元の部品と同じ特性を持っている交換部品を使用していることを確認してください。許可されていない部品で代用すると、火災、感電、その他の危険をもたらす可能性があります。元の製造元以外で製造された交換部品または付属品を使用すると、保証が無効になることがあります。

保証とサービス

製品保証に記載されている条件に従って、保証期間中、Honeywell は、単独裁量により、送料前払いで返品された不良品を無料で修理または交換します。



Honeywell 製品に問題がある場合は、カスタマーサービスまでご連絡（1.800.323.4576）いただき、サポートを依頼するか、**返品保証（RMA）** 番号をリクエストしてください。

テクニカルサービス担当者にご連絡の際は、問題の内容に加えて、モデル番号、シリアル番号を必ずご確認ください。

すべての返品、交換、または返金については事前の承認が必要です。**明確に識別された返品保証（RMA）番号を添付することなく Honeywell に製品を送送すると、拒否される場合があります。**

記号の一覧

以下は、NVR に表示される可能性のある記号の一覧です。

記号	詳細
	<p>WEEE記号</p> <p>この記号は、エンドユーザーがこの製品を廃棄する場合、回収およびリサイクルのために別の回収施設に送付する必要があることを示しています。この製品を他の家庭用廃棄物と分別することにより、焼却炉や埋立地に送られる廃棄物の量が減り、天然資源が保護されます。</p>
	<p>UL適合ロゴ</p> <p>このロゴは、製品がテストされ、UL（Underwriters Laboratories）によってリストされていることを示しています。</p>

	FCC適合ロゴ このロゴは、製品が連邦通信委員会の適合基準に準拠していることを示しています。
	直流記号 この記号は、製品の電源入出力が直流であることを示しています。
	交流記号 この記号は、製品の電源入出力が交流であることを示しています。
	LDPE記号 この記号は、製品が低密度ポリエチレン（LDPE）製であることを示しています。
	直流記号 この記号は、製品が12Vの直流電圧で動作することを示しています。
	鉛フリー記号 この記号は、製品に鉛（Pb）が含まれていないことを示しています。
	CCC適合ロゴ このロゴは、製品が中国強制認証ガイドラインに適合していることを示しています。
	「環境にやさしい使用期間」記号 この記号は、この電子製品が環境に害を与えることなく使用できる期間を示しています。
	RCM適合ロゴ このロゴは、製品がオーストラリアのRCMガイドラインに適合していることを示しています。
	TVU研究所記号 この記号は、製品がTUV研究所で安全性テスト済みであることを示しています。
	直流記号 この記号は、製品が直流で動作することを示しています。
	この記号は、製品が屋内用であることを示しています。
	CE適合ロゴ このロゴは、製品が関連する欧州連合の調和された法令のガイドライン/規格に適合していることを示しています。



保護接地（アース）記号

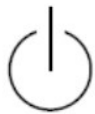
この記号は、マークされた端子が保護接地/接地線への接続を意図していることを示しています。



この記号は、重要な情報に注意を向けるために使用されます。



この記号は、対応する措置によって感電する可能性があることを警告します。



この記号は、対応するコントロール/ボタン/スイッチの、オン/スタンバイ機能を示します。

コンテンツ

1	はじめに	1
	ネットワークビデオレコーダーの概要.....	1
	ネットワークビデオレコーダーの特徴.....	1
	ネットワークビデオレコーダーコンポーネント.....	3
	マウスの操作.....	8
	オンスクリーンキーボードの使用.....	9
	リモートコントロールの操作.....	9
2	お使いになる前に	11
	NVRの開梱.....	11
	外部デバイスの接続.....	11
	NVRの一般的な設置.....	12
	NVRの起動と終了.....	16
	NVRの起動.....	16
	NVRの終了.....	17
	デバイスの初期化.....	18
	パスワードのリセット.....	19
	スタートアップウィザードを使ったNVRの設定.....	22
	スタートアップウィザードの使用.....	23
	双方向通信接続の設定.....	26
	PCをオーディオ入力デバイスに接続.....	27
3	ライブビデオの表示	28
	ライブビューについて.....	28
	カメラステータス.....	29
	カメラツールバー.....	29
	ライブビューツールバー.....	30
	ショートカットメニュー.....	31
	ライブビューの設定.....	32
	スクリーンレイアウトの設定.....	32
	PTZカメラの制御.....	32
	PTZコントロールパネルの操作.....	32

	PTZ接続設定の構成.....	34
	PTZ機能の設定.....	35
	プリセット、ツアー、パターンの呼び出し.....	38
	補助設定の構成.....	39
4	動画の録画.....	40
	手動録画設定.....	40
	自動録画の設定.....	40
	一般録画設定の構成.....	41
	動画録画スケジュールの構成.....	41
	スナップショット録画スケジュールの構成.....	43
5	動画の再生.....	46
	動画の再生.....	46
	動画の検索と再生.....	46
	スマート検索.....	47
	プレイバックのマーク.....	48
	部分再生.....	50
	スマートプレイヤーの再生.....	51
	スナップショットの再生.....	52
	動画とスナップショットのバックアップ.....	53
	再生インターフェース内からバックアップするには下記を実行します。.....	53
	再生インターフェースの外部からバックアップするには下記を実行します。.....	54
6	カメラ設定の構成.....	57
	カメラの追加.....	57
	検索してカメラの追加.....	57
	カメラを手動で追加.....	58
	リモートデバイス初期化.....	59
	カメラ画像設定の構成.....	62
	スナップショット設定の構成.....	65
	エンコード設定の構成.....	65
	テキストオーバーレイの構成.....	67
	カメラ名の変更.....	68
7	ネットワーク設定の構成.....	70
	TCP/IP 設定の構成.....	70
	ポート設定の構成.....	72
	ワイヤレス接続設定の構成.....	73

PPPoE設定の構成.....	75
DDNS設定の構成.....	76
電子メール設定の構成.....	77
UPnP設定の構成.....	78
適正同期時間設定を構成します。.....	79
SNMP設定の構成.....	80
マルチキャスト設定の構成.....	81
登録設定の構成.....	82
アラームセンター設定の構成.....	83
スイッチ設定の構成.....	83
P2P設定の構成.....	84
8 イベント設定の構成.....	86
動体検知設定の構成.....	86
動体検知領域を設定するには以下を実行します。.....	86
動体検知期間を設定するには以下を実行します。.....	88
動体検知イベントアクションを設定するには以下を実行します。.....	90
映像ロス設定の構成.....	91
ビデオタンパリング設定の構成.....	92
シーン変更設定を構成する.....	93
システム異常イベント設定の構成.....	94
HDDイベント設定の構成.....	94
ネットワークイベント設定の構成.....	95
ユーザー名設定の構成.....	96
アラーム入力設定の構成.....	97
IPC外部アラームの構成.....	97
IPCオフラインアラームイベントの構成.....	101
ローカルアラーム入力の構成.....	101
ネットワークアラーム入力の構成.....	102
リモートアラーム入力の構成.....	103
ヒートマップの構成.....	103
顔検出設定の構成.....	104
オーディオ検出設定の構成.....	106
アラーム出力の構成.....	108
POS設定の構成.....	109
NVRがサポートするPOSタイプ.....	111
9 ストレージ設定の構成.....	112
基本設定を構成する.....	112

録画スケジュールの構成.....	113
動画録画スケジュールの構成.....	113
スナップショット録画スケジュールの構成.....	114
HDDマネージャ設定の構成.....	116
FTP設定の構成.....	117
HDD高度設定の構成.....	118
メインストリーム設定の構成.....	118
サブストリーム設定の構成.....	119
スナップショットストレージ設定の構成.....	119
NASストレージを構成する.....	119
NASマネージャーの構成.....	120
録画設定の構成.....	121
HDD検出設定の構成.....	122
HDDマニュアル検出.....	122
HDD Detection Reporting[HDD検出報告].....	123
10 システム設定の構成.....	124
システム一般設定の構成.....	124
デバイス設定の構成.....	124
日付&時刻設定の構成.....	125
休日設定の構成.....	127
表示設定の構成.....	129
表示設定の構成.....	129
ツアー設定の構成.....	130
カスタム分割設定の構成.....	132
RS232設定の構成.....	132
PTZ設定の構成.....	133
ブロードキャスト設定の構成.....	133
音声プロンプト設定の構成.....	134
音声プロンプトファイルの管理.....	134
音声プロンプトスケジュールの構成.....	135
アカウント設定の構成.....	136
ユーザーアカウントおよびグループの管理.....	136
アカウントのセキュリティ質問の構成.....	140
ONVIFユーザーの構成.....	140
ポート設定の構成.....	141
特定のサイトをDVRにアクセスできるようにするには、下記を実行します。.....	141

特定のサイトがNVRにアクセスできないようにするには、下記を実行します。.....	142
自動メンテナンス設定の構成.....	142
システム構成のエクスポートとインポート.....	143
システム構成をエクスポートするには下記を実行します。.....	143
システム構成をインポートするには下記を実行します。.....	144
外部USBストレージデバイスをフォーマットするには、下記を実行します。.....	145
出荷時設定の復元.....	145
NVRのアップグレード.....	146
11 情報表示.....	148
システム情報の表示.....	148
ハードディスク情報の表示.....	148
録画情報表示.....	150
データストリーム情報の表示.....	150
バージョン情報表示.....	151
イベント情報の表示.....	151
アラーム状態情報の表示.....	151
ヒートマップ情報の閲覧.....	152
ネットワーク情報の表示.....	153
オンラインユーザーの表示.....	153
ネットワークロード情報の表示.....	154
ネットワークテスト情報の表示.....	155
ログ情報の表示.....	156
12 ウェブクライアント操作.....	158
ログイン.....	158
デバイスウェブクライアント使用の準備.....	158
ログイン.....	159
メインウィンドウ.....	162
ログアウト.....	166
ウェブ制御のアンインストール.....	167
ライブビュー.....	167
ライブビュー.....	167
画像/リレー出力設定.....	169
情報.....	170
構成.....	173
カメラ設定.....	174

	ネットワーク設定	183
	イベント設定の構成.....	206
	保存の構成.....	225
	システム設定の構成.....	231
	再生.....	246
	録画した動画の再生.....	246
	スライスの再生.....	249
	マークの再生.....	249
	ビデオをダウンロードする	252
	イベントビデオの再生にスマートプレイヤーを使用する.....	253
	Alarm[アラーム].....	254
	アラームを作動する.....	254
13	トラブルシューティング	257
14	付録A.....	260
	アラーム入出力の接続.....	260
	アラーム入出力を接続する前に.....	260
	アラーム入出力後部パネル接続.....	260
	ローカルアラーム入力ポート接続のガイドライン.....	261
	アラーム出力ポート接続のガイドライン.....	261
15	付録B.....	262
	ハードドライブの取り付け.....	262
	推奨ハードディスクドライブ.....	262
	ハードドライブの取り付け.....	262
	HDD設置対象モデル HEN081*4/HEN161*4/HEN321*4/HEN041*3/HEN081*3/ HEN161*3/ HEN04103L/ HEN08103L/ HEN16103L/ HEN32103L.....	263
	HEN162*4/HEN322*4/HEN642*4へのHDDの取り付け.....	265
	HEN163*4/HEN323*4/HEN643*4へのHDDの取り付け.....	267
	追加のHDDの取り付け.....	268
	互換性のあるSATA HDDの一覧.....	270
	互換性のあるポータブルHDDの一覧.....	272
16	付録C、MAXPRO®クラウド	273
	MAXPROクラウドモードの構成.....	273
17	付録D、仕様.....	275

この文書について

この文書では Honeywell パフォーマンスシリーズネットワークビデオレコーダーを紹介し、パフォーマンスシリーズネットワークビデオレコーダーの取り付けと操作が説明されます。

この文書は、インストールの担当者、およびユーザーを対象としています。

コンテンツの概要

この文書には、以下の章と付録が含まれています。

- [第1章はじめに](#)には、NVRの前面パネルと後面パネルのレイアウトと、マウスおよびリモートコントロールの機能について説明します。
- [第2章お使いになる前](#)には、NVRを接続してユーザインターフェイスにログインする方法を説明します。
- [第3章ライブビデオの表示](#)は、PTZカメラ（接続されている場合）の制御を含めて、NVRのリアルタイム監視モードと、それに関連するNVR操作について説明します。
- [第4章動画の録画](#)は、手でビデオクリップを録画する方法と自動録画を設定する方法について説明します。
- [第5章動画の再生](#)は、録画した動画とスナップショットの検索と再生の方法および、録画したファイルを外部ストレージデバイスに保存する方法について説明します。
- [第6章カメラ設定の構成](#)は、カメラ画像設定、エンコーダー設定、スナップショット設定、プライバシーマスク設定、カメラ名設定、およびチャンネルタイプ設定を構成する方法について説明します。
- [第7章ネットワーク設定の構成](#)は、接続設定、電子メール設定、FTP設定、登録設定、アラームセンターの設定などの、NVRのネットワーク設定を構成する方法を説明します。
- [第8章イベント設定の構成](#)は、動体検知、映像ロス、カメラタンパリング、システムイベントに対する設定などの、NVRのアラーム設定を構成する方法を説明します。
- [第9章ストレージ設定の構成](#)は、録画設定やHDD管理設定などの、NVRのストレージ設定を構成する方法について説明します。
- [第10章システム設定の構成](#)は、NVRシステム設定、ディスプレイ設定、およびユーザーアカウントの設定を構成する方法について説明し、他のNVRとの間との構成設定のエクスポートとインポート、さらにデフォルト設定の復元、システムファームウェアのアップグレードについても説明します。
- [第11章情報表示](#)は、システム、イベント、ネットワーク、およびログ情報を表示する方法について説明します。
- [第12章トラブルシューティング](#)は、NVRの操作中に発生する可能性があるエラーを解決するためのトラブルシューティング手順を示します。
- [付録A. アラーム入出力の接続](#) は、アラーム入出力の為のガイドラインを提供します。

- [付録 B, ハードドライブのインストール](#)は、SATA HDD やポータブル HDD などの互換性のある HDD のメーカーとモデルを一覧で示し、追加の HDD のインストール手順を提供します。
- [MAXPRO®クラウド](#)は、NVR を MAXPRO クラウドモードに切り替える方法について説明します。
- [付録 D, 仕様](#)は、NVR の仕様を一覧で示します。

表記方法

イタリック	参照する章、数字、ページなどを示します。電子版では、対応するページに切り替える為にイタリック体文字をクリックしてください。
ボールド	ボタンあるいはメニュー項目を示します。
注	製品に付属している文書中の重要な操作及びメンテナンス（サービス）上の指示があることをユーザーに注意を促します。

文書の使い方

- このマニュアル中の写真は一つの例示です。詳細は実物をご覧ください。
- この製品は事前の予告なくアップデートや、変更することがあります。
- 操作する前にこのマニュアルをよく読んでください。また、将来に亘って使用可能な状態を確保してください。
- このマニュアルは見直されており、その正確性は保証されています。不明点や問題点がある場合は、Honeywell 社の最終的な説明を参照してください。Honeywell 社は、マニュアルの誤解あるいはユーザーによる誤操作による結果については、いかなる責任も負いません。

1 はじめに

この章には下記が含まれます。

- [ネットワーク ビデオ レコーダーの概要](#) (ページ 1)
- [ネットワーク ビデオ レコーダーの特徴](#) (ページ 1)
- [ネットワーク ビデオ レコーダーコンポーネント](#) (ページ 3)
- [マウスの操作](#)(ページ 8)
- [リモートコントロールの操作](#) (ページ 9)

ネットワーク ビデオ レコーダーの概要

パフォーマンスシリーズネットワークビデオレコーダーは高性能なネットワークビデオレコーダーです。下記がサポートされます。

- ローカルプレビュー
- マルチウィンドウ表示
- 録画ファイルのローカルストレージ
- リモートコントロールとマウスのショートカットメニュー操作
- 遠隔管理
- コントロール

パフォーマンスシリーズネットワークビデオレコーダーは複数のストレージオプションも備えています。

- セントラルストレージ：サードパーティーのストレージ（ネットワークストレージなど）
- フロントエンドストレージ：NVR の HDD ストレージ
- クライアントエンドストレージ：クライアントのコンピュータ上のストレージ

パフォーマンスシリーズネットワークビデオレコーダーは多岐に渡って利用できるよう設計されているため、公共セキュリティ、水資源保全、輸送、教育などのさまざまな分野で活用できます。

ネットワーク ビデオ レコーダーの特徴

ユーザー管理

- ユーザー権限はグループごとに異なり、各ユーザーは特定のグループに属します。
- ユーザー権限がグループ権限を超えてはなりません。

ストレージ

- アラームまたはスケジュールの設定で、構成および設定に従う中央サーバーのバックアップをサポートします。
- インターネット経由での録画をサポートします。録画されたファイルはクライアントの PC に保存されます。
- FTP、NAS などのネットワークストレージをサポートします。

アラーム

- あらかじめ定義されたリレー設定に基づいて、ほぼ間を置かずに（200 ミリ秒以内）外部アラームに応答。アラーム検出時にビジュアルおよび/またはノイズプロンプト（事前記録されたノイズによってサポートされている場合）を設定することが可能です。
- アラーム情報が自動的かつ遠隔的にユーザーに通知できるように、中央アラームサーバーの設定をサポートします。アラーム入力、接続されたさまざまな周辺デバイスから取得が可能です。

ネットワークモニタリング

- NVR は、IP カメラによって圧縮されたオーディオ/ビデオデータの送信をサポートし、表示のためにデコードされます。遅延時間は 500 ミリ秒未満です（十分なネットワーク帯域幅のサポートが必要です）。
- 最大 10 の接続をサポートします。
- ブロードキャストオーディオ/ビデオとの互換性を有し、HTTP、TCP、UDP、マルチキャスト、RTP/RTCP といった伝送プロトコルを使用します。
- 一部のアラームデータまたはアラーム情報を SMTP 経由で送信します。
- WAN 経由でインターネットアクセスをサポートします。

ウィンドウ分割

ビデオ圧縮とデジタル処理によって、モニター画面の分割と 4 つのビデオチャンネルの同時表示が可能です。

録画

録画スケジュールをサポートします。録画されたファイルは、HDD、クライアントの PC、またはネットワークストレージサーバーに保存することが可能です。ローカルまたはインターネット接続を介して保存された録画ビデオの検索と表示が可能です。

バックアップ

ネットワークを介した USB 2.0 デバイスへの動画バックアップをサポートします。録画されたファイルは、ネットワークストレージサーバー、USB 2.0 周辺デバイス、またはバーナーなどに保存することが可能です。

ネットワーク管理

- イーサネットを介した NVR 構成と管理をサポートします。
- インターネットを介したデバイス管理をサポートします。

周辺機器管理

- プロトコル設定やポート接続などの周辺機器管理をサポートします。
- RS232 (RS-422)や RS485 (RS-485)などの透過データ伝送をサポートします。

補助機能

- NTSC あるいは PAL への自動適合機能があります。
- リアルタイムのシステムリソース情報と統計情報の表示をサポートします。
- ログファイルをサポートします。
- ローカル GUI 出力とショートカットメニュー操作をコンピュータマウスでサポートします。
- コンピュータマウスでショートカットメニュー操作を使用し、IR 管理をサポートします。
- IP カメラの遠隔での動画のプレビューと制御をサポートします。

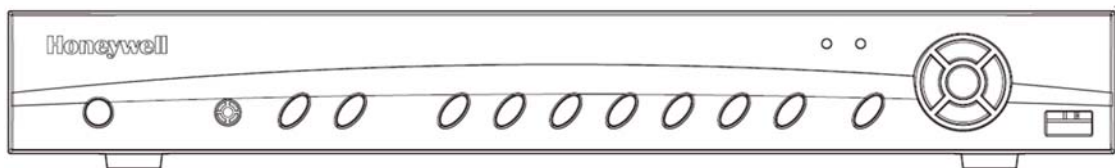
注 個々のモデルの詳細機能については275ページの[付録D](#)、[仕様](#)をご覧ください。

ネットワーク ビデオ レコーダーコンポーネント

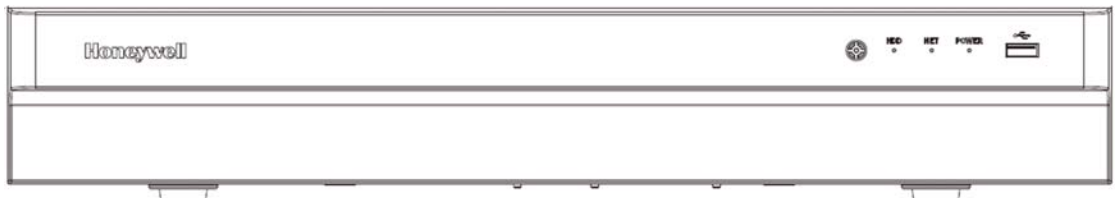
NVR の仕様については 275 ページの[付録D](#)を参照してください。

図 1-1NVR 前面パネル

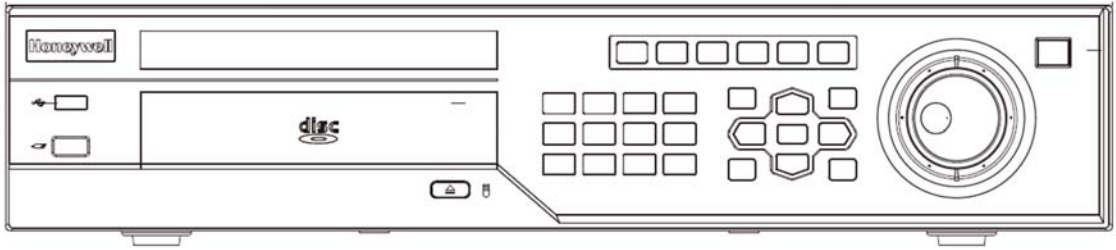
HEN081*4 / HEN161*4 / HEN321*4/HEN041*3/ HEN081*3/ HEN161*3/ HEN16103L/HEN32103L



HEN162*4/HEN322*4/HEN642*4:







HEN163*4/HEN323*4/HEN643*4:












HEN04103L/HEN08103L



表 1-1NVR 前面パネルコンポーネント

コンポーネント名	アイコン	機能
電源ボタン		電源ボタンです。NVRを起動またはシャットダウンするには、このボタンを3秒間押します。
IR受信機		リモコンから信号を受信します。
Shift[シフト]	 SHIFT[シフト]	<ul style="list-style-type: none"> カーソルがテキストボックスにある場合は、このボタンをクリックして数字と文字を切り替えます (小文字/大文字)。 ツアーを有効/無効にします。
アシスタント	 Fn[ファンクション]	<ul style="list-style-type: none"> シングルウィンドウモニタモード: アシスタント機能を表示、PTZ制御を開始 (サポートされていません)、画像の色を設定するには、このボタンをクリックします。 バックスペース機能: 文字や数字を入力しているときに最後に入力した文字を削除するには1.5秒間押し続けます。 動体検知: 方向キーと組み合わせて使用します。 テキストモード: 文字を入力しているときにクリックして数字と文字を切り替えます (大文字/小文字)。 HDD管理: HDDの録画情報とその他の情報を切り替える場合にクリックします。(メニュープロンプト) その他の特殊機能です。

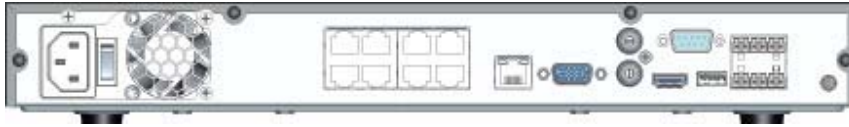
1つ前を再生		再生モードで、1つ前の動画を再生します。
次を再生		再生モードで、次の動画を再生します。
低速再生		再生速度を調整する場合にクリックします。さまざまな低速再生が可能です。
高速再生		再生速度を調整する場合にクリックします。さまざまな高速再生が可能です。
逆方向/一時停止		<ul style="list-style-type: none"> ● 通常再生：クリックすると再生方向が逆になります。 ● 逆再生：クリックすると再生を一時停止します。
再生/一時停止		<ul style="list-style-type: none"> ● 逆再生または一時停止モード：クリックすると通常再生モードに戻ります。 ● 通常再生：クリックすると再生を一時停止します。 ● 一時停止モード：クリックすると再生を再開します。 ● リアルタイム監視モード：クリックすると Search[検索]インターフェースに移動します。
エスケープ	[ESC]エスケープ	<ul style="list-style-type: none"> ● 前のメニューに移動するか、現在の操作をキャンセルします。 ● 再生：クリックすると、リアルタイムモニタモードに戻ります。
録画	Rec[録画]	クリックすると録画が開始または停止されます。
上/下矢印		<ul style="list-style-type: none"> ● 現在のコントロールを有効にして、セットアップを変更して、上または下に移動します。 ● 現在の値を増減します。 ● PTZメニューなどのアシスタント機能です（サポートされていません）。
左/右矢印		<ul style="list-style-type: none"> ● 現在アクティブなコントロールをシフトし、左または右に移動します。 ● 再生モード：クリックすると再生バーをコントロールします。
Enter[実行]	ENTER[実行]	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在の操作を確認します。 ● Default[デフォルト]ボタンに移動します。 ● Menu[メニュー]に移動します。
USB2.0 ポート		USB 2.0ストレージデバイス、USB 2.0マウス、またはCD/DVDバーナーに接続します。
HDD異常表示灯	HDD	HDDエラーが発生したとき、またはHDD容量が指定した閾値

を下回ったときに青色に点灯します。

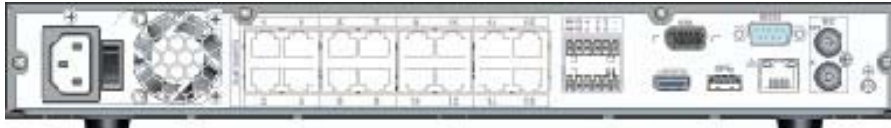
ネットワーク異常表示灯 **Net[ネット]**

ネットワークエラーが発生したとき、またはネットワークに接続されていないときに青色に点灯します。

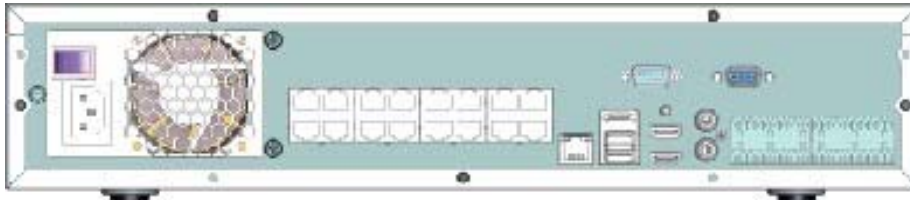
図 1-2 NVR 裏パネル HEN081*4 NVR



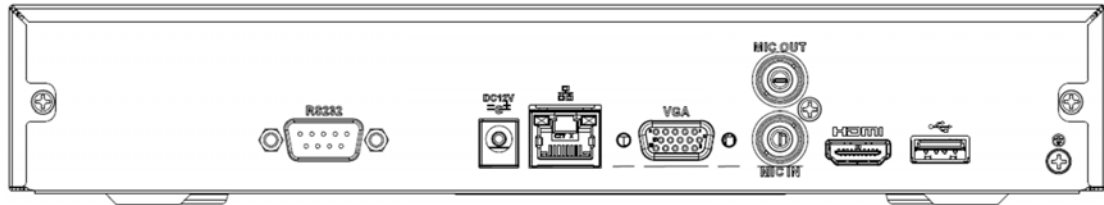
HEN161*4 / HEN321*4 NVR



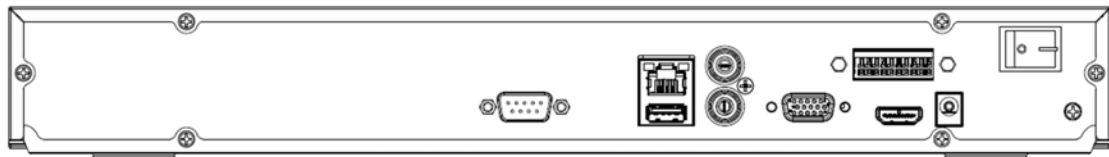
HEN162*4 / HEN322*4 / HEN642*4 / HEN163*4 / HEN323*4 / HEN643*4 NVR



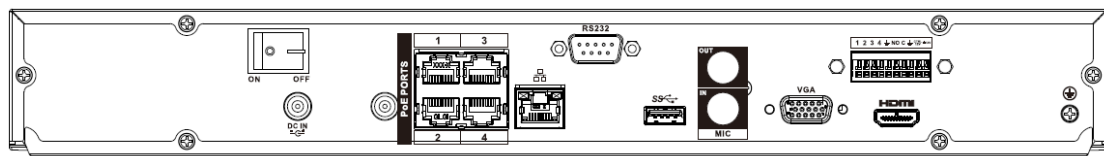
HEN04103L/HEN08103L



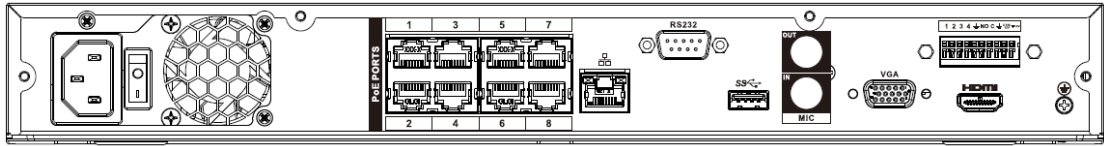
HEN16103L/HEN32103L



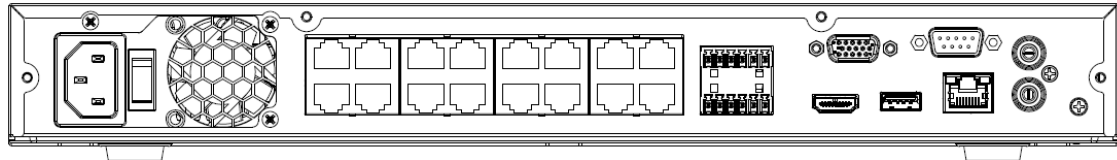
HEN041*3



HEN081*3



HEN161*3



注 * = ストレージ (TB単位)

表 1-2NVR 後面パネルコンポーネント

アイコン/マーク	ポート/コンポーネント 名	接続	機能
	USB2.0 ポート		USB 2.0マウスを接続します。
	ネットワークポート		10 M / 100 M / 1000 Mbps イーサネットポートネットワークケーブルに接続します。
RS232 (RS-422)	232デバッグCOM		一般的なCOMデバッグを行う場合は、IPアドレスを設定するか、透過COMデータを転送します。
HDMI	高解像度メディアインターフェース		高解像度のオーディオおよびビデオ信号出力ポートです。非圧縮高解像度ビデオとマルチチャンネルデータをディスプレイデバイスのHDMIポートに送信します。
VGA	VGAビデオ出力ポート	VGA	VGAビデオ出力ポートです。アナログビデオ信号を出力します。アナログビデオを見るためにモニターに接続できます。
1~4	アラーム入力ポート		<ul style="list-style-type: none"> 外部アラームソースから信号を受信します。NO (ノーマルオープン) とNC (ノーマルクローズ) の2種類です。 アラーム入力デバイスが外部電源を使用している場合は、デバイスとNVRのアースが同じであることを確認してください。
	アラーム入力ポート接地側	入出力ポート	アラーム入力接地側です。

NO1~NO2 C1~C2	2チャンネルアラーム 出力ポート	<ul style="list-style-type: none"> アラーム出力ポートの2つのグループです。(グループ1:ポートNO1~C1、グループ2:ポートNO2~C2)。アラームデバイスにアラーム信号を出力します。外部警報装置に電源が供給されていることを確認してください。 NO: ノーマルオープンアラーム出力ポートです。 C: アラーム出力のパブリックエンドです。
電源ボタン		電源オン/オフボタンです。
PoEポート		内蔵スイッチはPoE機能をサポートします。最大48V/50Wをサポートします。
VIDEO OUT[ビデオ出力]	ビデオ出力ポート	CVBS出力です。
MIC IN[マイク入力]	オーディオ入力ポート	双方向通信入力ポートです。マイクピックアップなどの機器から出力されるアナログ音声信号を受信します。
MIC OUT[オーディオ出力]	オーディオ出力ポート	オーディオ出力ポートです。アナログオーディオ信号をアラームなどのデバイスに出力します。 <ul style="list-style-type: none"> 双方向通信出力です。 1ウィンドウ動画モニターでのオーディオ出力です。 1ウィンドウ動画再生でのオーディオ出力です。
eSATA	外部eSATA	外部ストレージデバイスです。

マウスの操作

ネットワークビデオレコーダーはマウスの操作に最適化されています。NVRを設定するには付属のマウスを使用してください。

図 1-3 マウス

表 1-3 マウス操作

No.	ボタン	アクション
1	左	<ul style="list-style-type: none"> クリックしてメニューオプションを選択します。 テキストフィールドをクリックしてオンスクリーンキーボードを表示します。 画面上のキーボードをクリックして文字/数字を入力します。



- マルチスクリーン表示では、ダブルクリックするとチャンネルが全画面に表示されます。全画面モードを終了するにはもう一度ダブルクリックします。
- 動画ファイル名をダブルクリックして動画を再生します。

2 右

- 変更を保存せずにメニューウィンドウを閉じるにはクリックします。
- メインメニューを終了してライブビュー画面に戻るにはクリックします。
- ライブビュー画面からショートカットメニューを開くにはクリックします。



3 ホイール 上下にスクロールします。

オンスクリーンキーボードの使用

1. オンスクリーンキーボードを表示するには、テキストボックスをクリックします。キーボードがテキストボックスのすぐ下に表示されます。

図 1-4 オンスクリーンキーボード

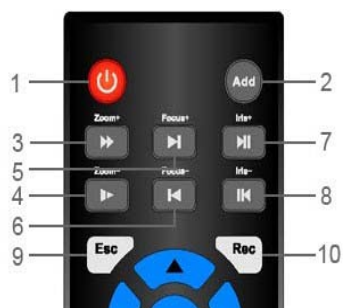


2. テキストボックスに入力する文字/数字/特殊文字に対応するキーをクリックします。
 - 小文字と大文字を切り替えるには **Shift** をクリックします。
 - 前の文字を削除するには  キーをクリックします。
 - スペースを挿入するには  キーをクリックします。
3. オンスクリーンキーボードを閉じるには **Enter** をクリックします。

リモートコントロールの操作

NVR を操作するには、マウスを使用することを強くお勧めします。ただし、付属の赤外線リモコンを使用することもできます。次の表は、基本的なリモコン操作を示しています。

図 1-5 リモートコントロール機能：



ボタン	アクション
1 電源	NVRをオン/オフします。
2 アドレス	制御するデバイスの番号を入力します。
3 早送り	順方向再生速度を上げます。
4 低速再生	順方向再生速度を下げます。
5 次の録画	次の動画を選択して再生します。
6 1つ前の録画	1つ前の動画を選択して再生します。
7 再生/一時停止	順方向再生を一時停止/再開します。 ライブビューモードでは、動画検索モードになります。
8 逆方向/一時停止	逆方向再生を一時停止/再開します。
9 Esc[エスケープ]	前のメニューに戻るか、現在の操作をキャンセルします。
10 Rec[録画]	録画を手動で開始/停止します。 録画インターフェースでは、 方向ボタンを使用して録画 チャンネルを選択します。手動で録画インターフェース にするには、 録画ボタンを長押しします。
11 方向キー	左/右キーを使用して、 現在アクティブになっているコントロールを切り替えます。 再生モードでは、 上/下ボタンを使って 再生チャンネルを変更します。
12 Enter[実行]	デフォルトに移動します。メニューに移動します。
13 Mult[マルチ]	マルチチャンネル表示と シングルチャンネル表示を 切り替えます。
14 Fn[ファンクション]	シングルモニターモードでは、 ポップアップアシスタント機能を使用、 PTZ制御モードでPTZカメラを制御、 PTZ制御メニューを切り替えます。 テキストモードでは、ボタンを長押しして 最後の文字を削除します。
15 英数字キー	パスワードの入力、またはチャンネルを切り替えます。 Shift[シフト] を押して入力方法を切り替えます。

2 お使いになる前に

この章は以下の項で構成されています：

- [NVR の開梱](#) ページ 11
- [外部デバイスの接続](#) ページ 11
- [NVR の起動と終了](#) ページ 16
- [デバイスの初期化](#) ページ 18
- [パスワードのリセット](#) ページ 19
- [スタートアップウィザードを使った NVR の設定](#) ページ 22
- [双方向通信接続の設定](#) ページ 26

NVR の開梱

NVR を設定する前に、梱包品として次の付属品がすべて入っているかを確認してください：

- クイックインストールガイド
- クイックネットワークガイド
- ソフトウェア CD
- 電源アダプタとケーブル
- マウス
- リモートコントロール
- CAT5e ネットワークケーブル
- 端子ブロックコネクタ (×2)
- ネジ (×10)
- シリアル ATA (SATA) ケーブル*

上記の付属品のいずれかが不足または損傷している場合は、すぐに Honeywell 販売店にご連絡ください。

外部デバイスの接続

ステップ 1：カメラを接続します

カメラと同軸ケーブルを VIDEO IN[ビデオ入力]コネクタ (1 Vp-p、75 Ω) に接続します。

ステップ 2：モニターを接続します

VGA ケーブル（別売）を VGA インターフェースへ、および/または HDMI ケーブル（別売）を HDMI インターフェースに接続します。もう片方の端をモニターに接続します（テレビは使用しないでください）。VGA と HDMI の同時出力がサポートされています。

ステップ 3：マウスを接続します

付属の USB マウスを USB 2.0 インターフェースに接続します。

ステップ 4：イーサネットケーブルを接続します

付属の CAT5e イーサネットケーブルをネットワークポートに接続します。もう片方の端をネットワークのルーターに接続します。

ステップ 5：オーディオデバイスを接続します（該当する場合）

オーディオを録音するには、オーディオ源を AUDIO IN [オーディオ入力] コネクタに接続します。オーディオを再生するには、オーディオ出力デバイス（低インピーダンスのヘッドフォン、スピーカー、またはアンプ）を AUDIO OUT [オーディオ出力] コネクタ（200 mV / 1 キロオーム）に接続します。

ステップ 6：アラームデバイスを接続します（該当する場合）

アラームデバイスをアラーム入出力インターフェースに接続します。アラーム入力に外部電源を使用する場合、アラームデバイスのアースは NVR と同じにする必要があります。詳細については [付録 A、アラーム入出力の接続](#) を参照してください。

ステップ 7：PTZ カメラを接続します（該当する場合）

組み込み型 NVR は、ネットワーク経由で PTZ カメラと通信します。カメラがネットワークに正しく接続されていることを確認してください。

ステップ 8：電源ケーブルを接続します

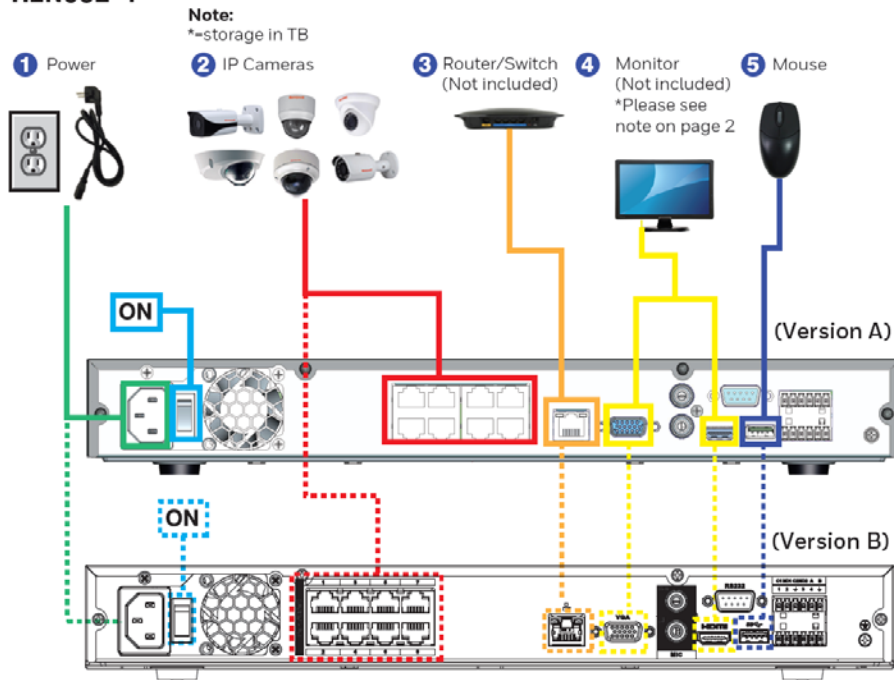
付属の 12VDC 電源アダプタを電源入力に接続します。UPS（無停電電源装置）の使用が強く推奨されます。

NVRの一般的な設置

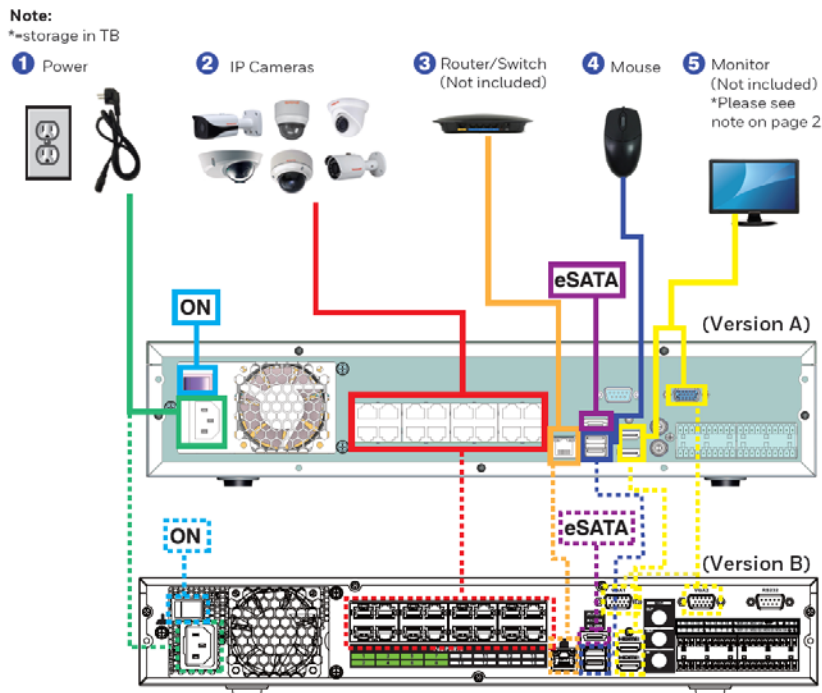
次の図は、一般的な NVR の設置を示しています。

図 2-1NVR の一般的な設置

HEN081*4



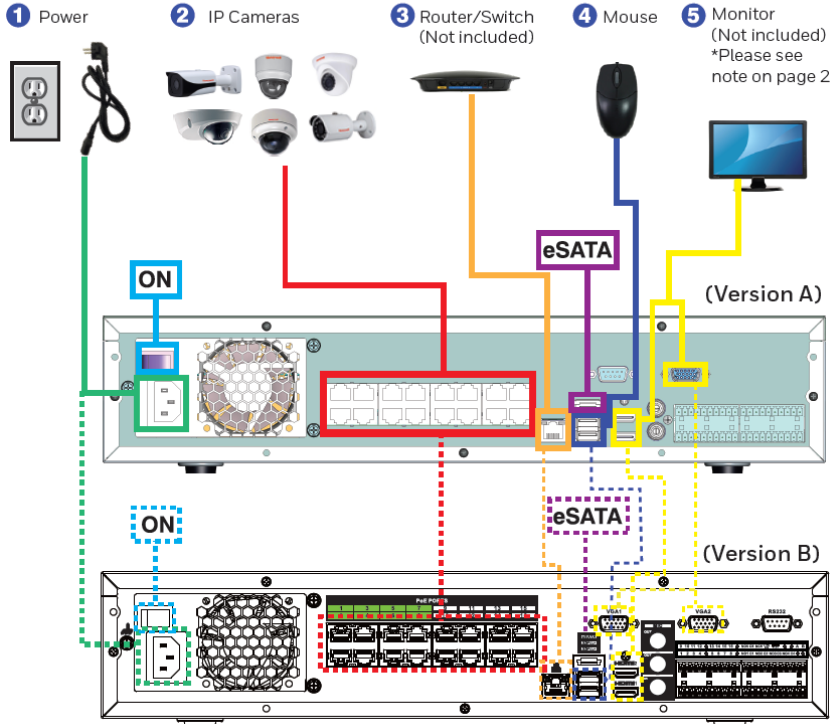
HEN162*4/HEN322*4/HEN642*4



HEN163*4/HEN323*4/HEN643*4

Note:

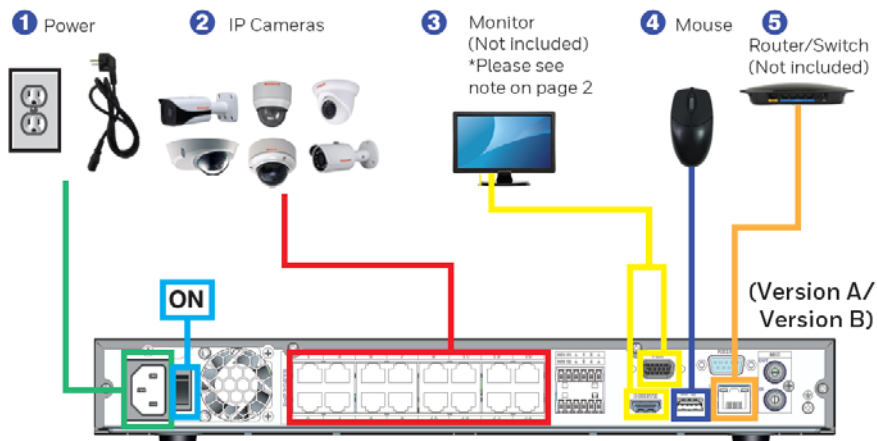
*=storage in TB



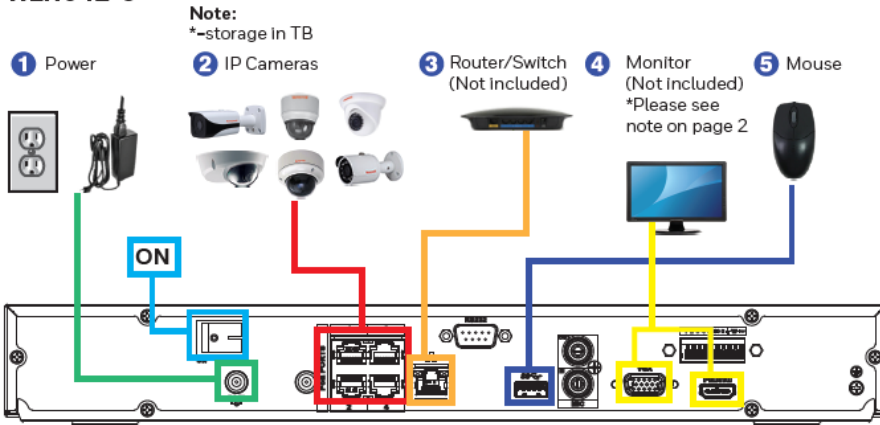
HEN161*4/HEN321*4

Note:

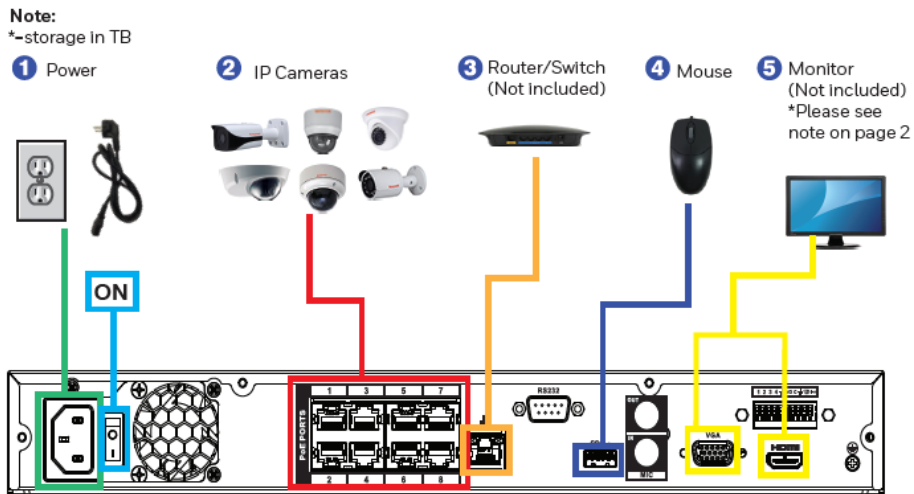
*=storage in TB



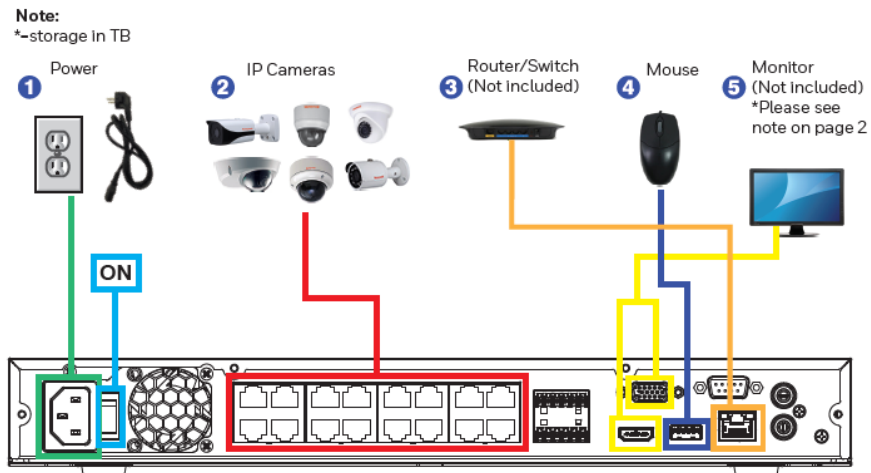
HEN041*3



HEN081*3



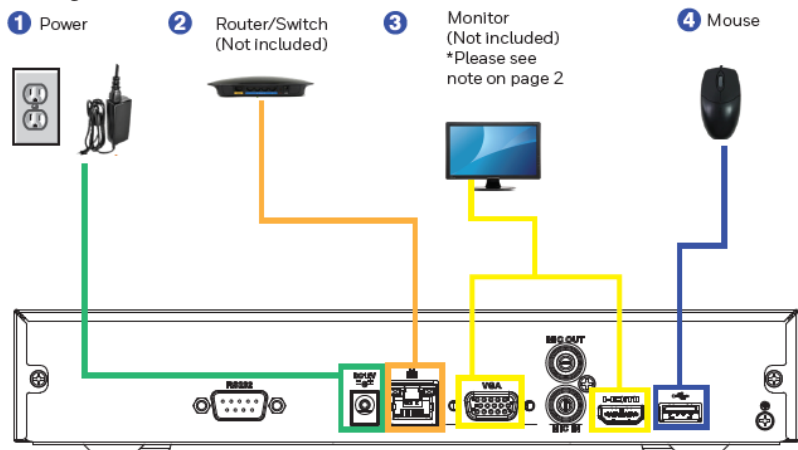
HEN161*3



HEN04103L/HEN08103L

Note:

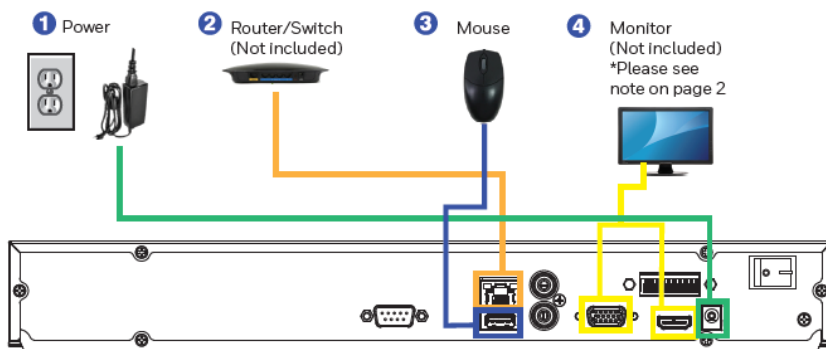
*-storage in TB



HEN16103L/HEN32103L

Note:

*-storage in TB



NVR の起動と終了

NVRの起動

1. NVR が適切な電源に接続されていることを確認します。
2. 後面パネルの電源スイッチをオンにしてNVRを起動します。

注 起動時のブザー音は正常です。

NVRの終了

注 NVRをシャットダウンするには、管理者ユーザーとしてログインするか、シャットダウン権限が割り当てられている必要があります。[アカウント設定の構成](#)—[ページ136](#)のアカウント設定の構成を参照してください。

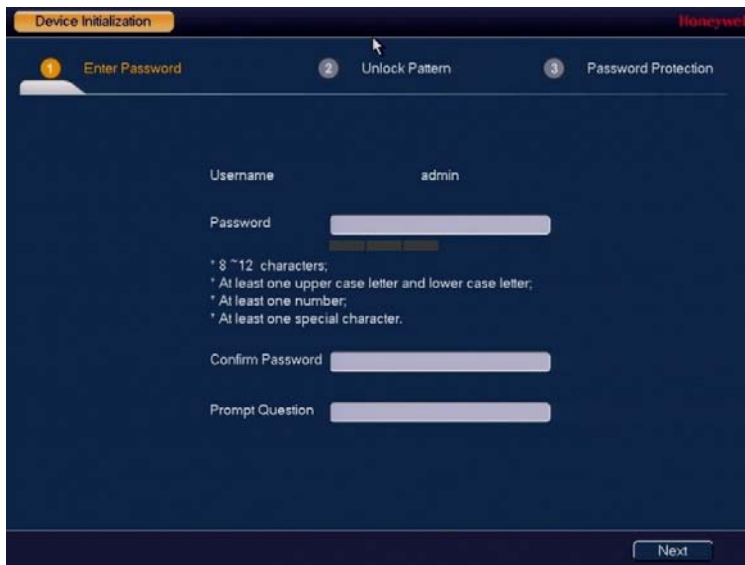
ハードドライブの損傷を防ぐには、次の手順でNVRをシャットダウンします。

1. ライブビューモードでは、画面の任意の場所をクリックしてショートカットメニューを表示し、**メインメニュー**をクリックします。
2. **メインメニュー**ウィンドウで**Shutdown[シャットダウン]**をクリックします。
3. **Shutdown[シャットダウン]**ウィンドウで、**Shutdown[シャットダウン]**または**Reboot[リブート]**をクリックします。
4. 管理者パスワード（デフォルトのパスワードは1234）を入力し、**OK**をクリックします。

デバイスの初期化

NVR が起動すると、システムはデバイス初期化画面になります。

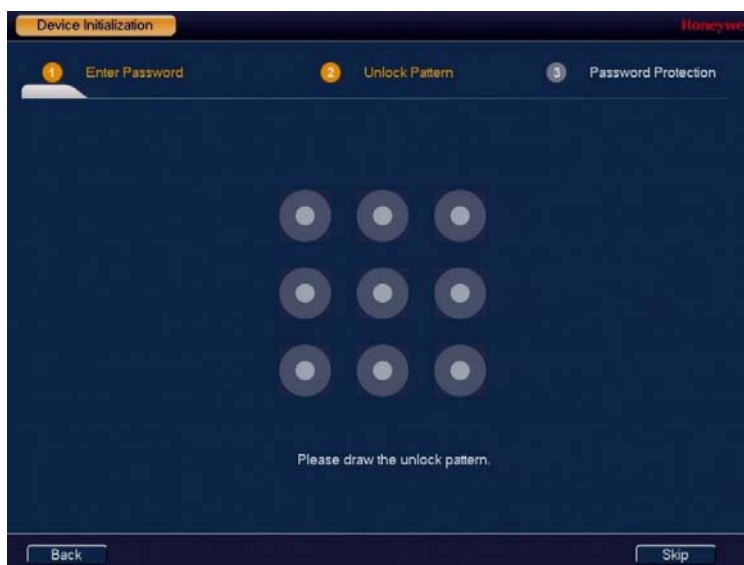
図 2-2 デバイス初期化—パスワードを入力します。



The screenshot shows the 'Device Initialization' window with three steps: 1. Enter Password, 2. Unlock Pattern, and 3. Password Protection. The 'Enter Password' step is active. The Username field contains 'admin'. The Password field is empty, with a strength indicator below it. The Confirm Password field is also empty. The Prompt Question field is empty. A 'Next' button is located at the bottom right.

1. パスワードの入力要求に従いパスワードを入力します。デフォルトのユーザー名は**admin[管理者]**です。
パスワードの変更には USB マウスが使用できます。入力モードを、数字及び英文字に切り替えるにはソフトキーボードをクリックしてください。； 小文字と大文字を切り替えるには **Shift [シフト]** キーをクリックしてください。
2. **Next [次へ]** をクリックします。下記のウィンドウが表示されます:

図 2-3 デバイスの初期化—ロック解除パターン

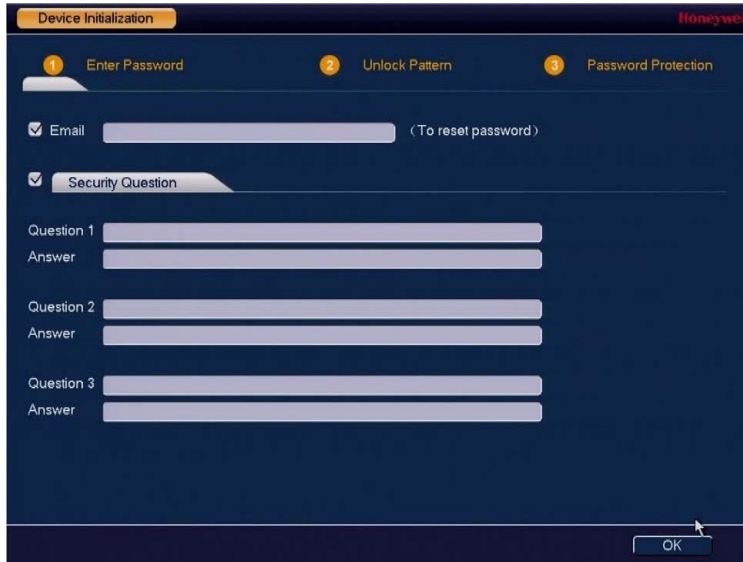


The screenshot shows the 'Device Initialization' window with the 'Unlock Pattern' step active. It features a 3x3 grid of dots for drawing the unlock pattern. Below the grid, the text 'Please draw the unlock pattern.' is displayed. 'Back' and 'Skip' buttons are located at the bottom left and right respectively.

ロック解除パターンを描画してください。パターンを2回描くように指示されます。同じであることを確認してください。

3. **Next [次へ]**をクリックします。下記のウィンドウが表示されます:

図 2-4 デバイスの初期化—パスワード保護



電子メールアドレスを入力します。パスワードをリセットしたいときに使用します。

セキュリティの質問を入力します。3つのセキュリティ質問全てを入力しなければなりません。

パスワードのリセット

admin [管理者]パスワードを忘れた場合、電子メールかセキュリティ質問に答えることでパスワードをリセットすることができます。

1. 次の図に表示されるシステムログインインターフェースに入ってください:

図 2-5 ロック解除パターンによるシステムログイン

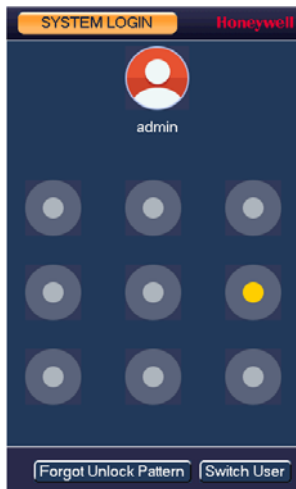
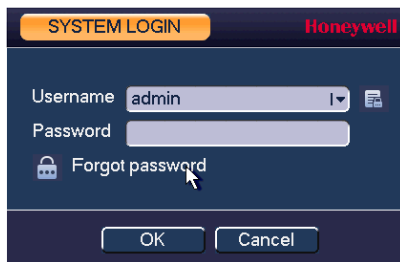


図 2-6 パスワードによるシステムログイン



- ロック解除パターンを設定した場合、NVR はロック解除パターンログイン画面を表示します。[図 2-5](#) を参照してください。**Forgot Unlock Pattern[ロック解除パターンを忘れた]**をクリックすると、NVR はパスワードログイン画面を表示します。[図 2-6](#) を参照してください。
- ロック解除パターンを設定していなかった場合、デバイスはパスワードログイン画面を表示します。[図 2-6](#) を参照してください。

注

Switch User[ユーザー切替]をクリックすると、NVRは一般ユーザーログインインターフェースに移動します。デフォルトのユーザー名は admin[管理者]です。ユーザー名ドロップダウンリストからユーザーを選択し、そのユーザー名でログインします。

2.  をクリックします。

- NVR の初期化の際に電子メールアドレスを入力しなかった場合、インターフェースは [図 2-7](#) に示すようになります。電子メールアドレスを入力して、**Next [次]** をクリックします。インターフェースは [図 2-8](#) に示すようになります。
- NVR の初期化の際に電子メールアドレスを入力した場合、インターフェースは [図 2-8](#) に示すようになります。

図 2-7 Reset [リセット]



図 2-8 リセッター電子メール



3. ログインパスワードをリセットします。

パスワードをリセットするには2通りの方法があります: QRコードをスキャンして電子メールでリセット / セキュリティ質問 (ローカルメニューのみ)

- Eメール

図2-8では、QRコードをスキャンする為にプロンプトに従ってください。次に指定された電子メールで入手したセキュリティコードを入力します。

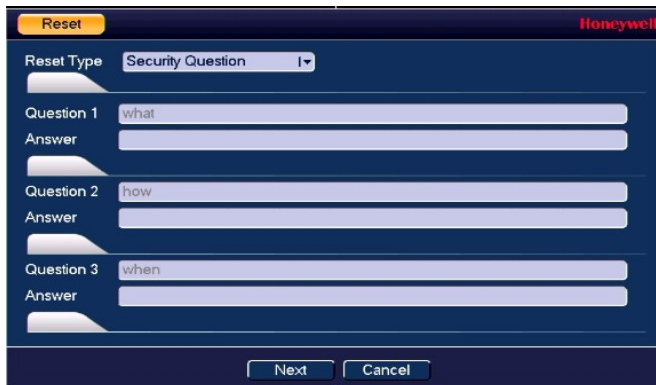
注

- 同じQRコードの場合、2つのセキュリティコードを取得するために最大2回までスキャンできます。もう一度セキュリティコードを取得する場合はQRコードを更新します。
- 電子メールで送信されるセキュリティコードは24時間のみ有効です。

- セキュリティ質問

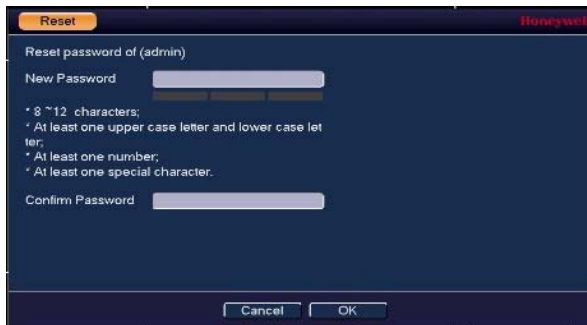
図2-8で、ドロップダウンリストからセキュリティ質問を選んでください。NVRはセキュリティ質問インターフェースを表示します。図2-9を参照してください。ここに正しい答えを入力します。

図 2-9 リセットセキュリティ質問



4. **Next[次]**をクリックします。NVRはパスワードのリセット画面を表示します。

図 2-10 リセットパスワード



5. 新しいパスワードを入力し確認します。

注

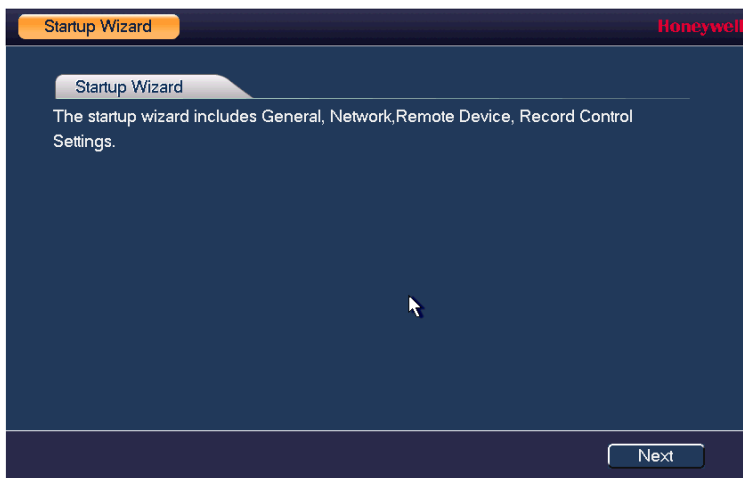
強力なパスワードを推奨します—あなたご自身の安全のために、ご自身が選んだ強力なパスワードを作ってください。パスワードは、文字、数字及びシンボルのカテゴリーから少なくとも2種を含んだ最小8桁でなければなりません。高度なセキュリティシステムでは特にパスワードは定期的に変更する事を推奨します。

6. **OK**ボタンをクリックして、設定を完了します。

スタートアップウィザードを使った NVR の設定

デバイスの初期化の後、スタートアップウィザードが開きます。

図 2-11 スタートアップウィザード



ウィザードでは下記が可能です：

- 一般設定（デバイス名、番号、言語、ビデオ規格の設定）
- 日付&時刻の設定
- 動画エンコードの設定
- 録画スケジュールの設定
- 録画設定の構成
- ネットワーク設定の構成

スタートアップウィザードの使用

1. **Next[次]**をクリックして**GENERAL[一般]**ウィンドウに移動します。

図 2-12 スタートアップウィザード - GENERAL[一般]

GENERAL

Honeywell

General Date&Time Holiday

Device Name NVR

Device No. 8

Language ENGLISH

HDD Full Overwrite

Pack Duration 60 min.

Instant Replay 5 min.

Auto Logout 10 min.

IPC Time Sync 5 Minute

Navigation Bar

Mouse Sensitivity Slow Fast

Default Apply

Back Next

GENERAL[一般] 画面での設定を構成する詳細は、124 ページの [一般システム設定構成](#) を参照します。

2. **Next [次]** をクリックして TCP/IP ウィンドウ に移動します。

図 2-13 スタートアップウィザード - TCP/IP ウィンドウ

TCP/IP

Honeywell

Ethernet Card	IP Address	Net Mode	NIC Member	Edit	Unbind
Ethernet Port1	172.12.3.222	Single NIC	1		

IP Address: 172.12.3.222 Default Gateway: 172.12.0.1 MTU: 1500

MAC Address: 52:54:4C:FA:15:16 Subnet Mask: 255.255.0.0 Mode: STATIC

IP Version IPv4

Preferred DNS 8 . 8 . 8 . 8

Alternate DNS 8 . 8 . 4 . 4

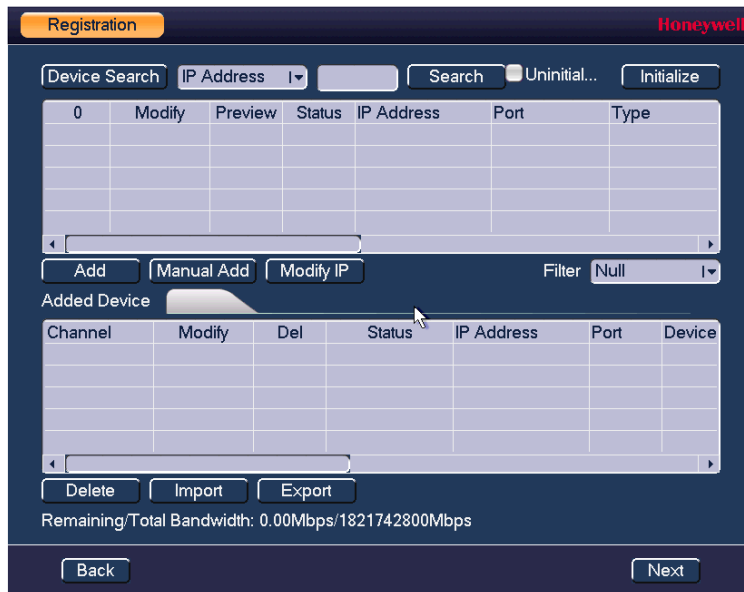
Default Card Ethernet Port1

Back Next

TCP/IP ウィンドウでの設定の詳細については、70 ページの TCP/IP の設定 [TCP/IP 設定の構成](#) を参照してください。

3. **Next[次]** をクリックして **Camera Registration[カメラ登録]** ウィンドウ に移動します。

図 2-14 スタートアップウィザード - Camera Registration[カメラ登録]ウィンドウ



Camera Registration[カメラ登録]ウィンドウでの設定の詳細については57ページの[Adding a Camera \(カメラの追加\)](#)を参照してください。

4. Next [次]をクリックしてSCHEDULE[スケジュール]ウィンドウに移動します。

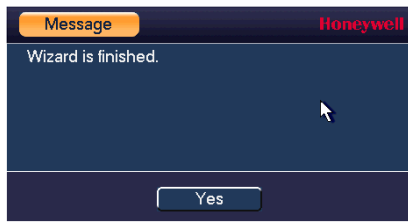
図 2-15 セットアップウィザード - SCHEDULE[スケジュール]ウィンドウ



SCHEDULE[スケジュール] 画面にある設定を行うための詳細は、41ページの[ビデオ録画スケジュール](#)、あるいは112ページの[保存設定を構成する](#)ページを参照します。

5. Finished[完了]をクリックします。"Wizard is Finished" (ウィザードが終了しました) というメッセージが表示されます。

図 2-16 セットアップウィザードの終了



6. Yes[はい] をクリックしてウィザードを閉じます。

双方向通信接続の設定

オーディオ出力デバイスを PC に接続

接続：

1. NVRの後面パネルにある最初のオーディオ入力ポートにマイクまたはピックアップを接続します。
2. PCのオーディオ出力ポートにイヤホンまたはサウンドボックスを接続します。
3. Webクライアントを開いてログインします。
4. Webクライアントのライブビューモニターで目的のチャンネルを有効にします。

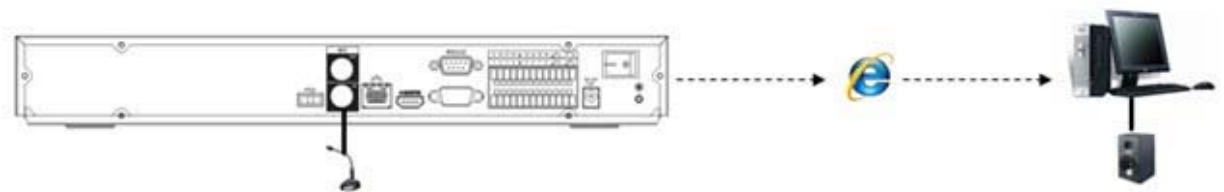
図 2-17 双方向通信の有効化



NVR からのオーディオを聞くための構成

NVR 側で、マイクまたはピックアップを介して話します。PC 側で、スピーカーまたはイヤホンからオーディオを聞くことができます。

図 2-18NVR からオーディオを聞くための構成



PCをオーディオ入力デバイスに接続

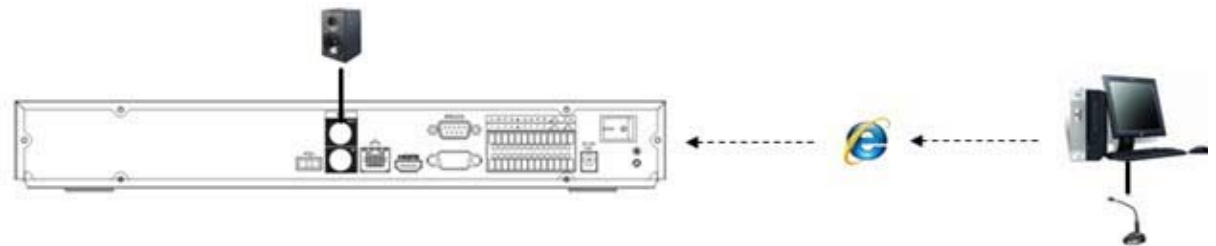
接続：

1. マイクまたはピックアップをPCのオーディオ入力ポートに接続します。
2. PCのオーディオ出力ポートにイヤホンまたはサウンドボックスを接続します。
3. Webクライアントを開いてログインします。
4. Webクライアントのライブビューモニターで目的のチャンネルを有効にします。
5. 双方向通信の有効化については[図2-17](#)を参照してください。

PCでオーディオを聞くための構成

PC側で、マイクまたはピックアップを介して話します。NVR側で、スピーカーまたはイヤホンからオーディオを聞くことができます。

図 2-19 PCでオーディオを聞くための構成



3 ライブビデオの表示

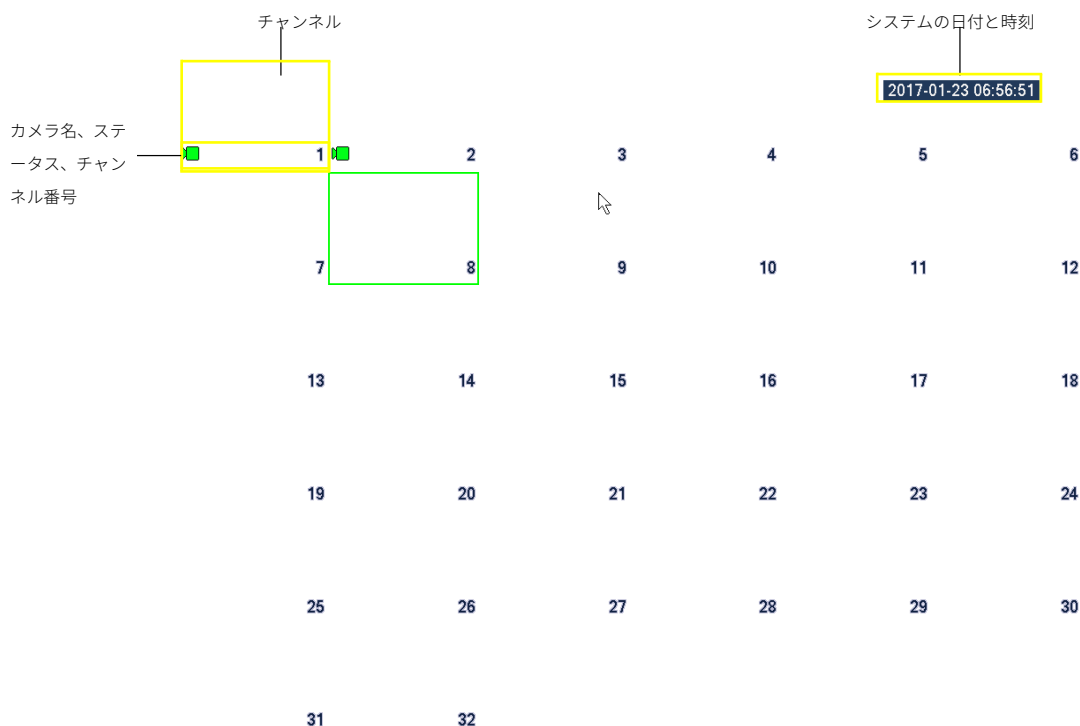
この章は以下の項で構成されています：

- [ライブビューについてページ 28](#)
- [ライブビューの設定ページ 32](#)
- [PTZ カメラの制御ページ 32](#)

ライブビューについて

ライブビューは、NVR のデフォルトモードです。NVR を起動すると、接続されたカメラからのライブビデオがマルチチャンネルレイアウトで画面に表示されます（表示されるチャンネルの数は、4 チャンネル、8 チャンネル、16 チャンネルまたは 32 チャンネルのどの NVR を使用しているかによって異なります）。

図 3-1 ライブビュー



カメラステータス

カメラステータスアイコンは、チャンネルウィンドウの下部に表示されます。

	動画を録画中です		ビデオ信号がありません
	シーンで動体が検出されました		カメラがロックされています






カメラツールバー


カメラツールバーは、各チャンネルウィンドウの上部にあります。ツールバーを表示するには、マウスポインタをチャンネルウィンドウの上部に移動します。

3-2 図 3-2 ライブビュー - カメラツールバー



表 3-1 ライブビュー - カメラツールバー

アイコン	名前	機能
	Instant Replay[インスタント再生]	<p>現行チャンネルの5分から60分前のプレイバック再生</p> <p>インスタントリプレイ時間をセットするために Main menu[メインメニュー] > Setting[設定] > System[システム] > General[一般]に移動します。</p> <p>現行チャンネルに録画がなければ、システムによってダイアログボックスが表示されることがあります。</p>
	デジタルズーム/拡大	<p>画像の特定の領域を拡大します。ボタンをクリックしてデジタルズームを有効にし、チャンネルウィンドウでマウスをドラッグして、拡大したい領域を選択します。</p> <p>右クリックすると、デジタルズームが取り消されます。</p>
	リアルタイムバックアップ	<p>クリップをUSBストレージデバイスに保存します。ボタンをクリックして録画を開始します。もう一度クリックすると録画が停止します。クリップは接続されたUSBストレージデバイスに自動的に保存されます。</p>
	スナップショット	<p>画面キャプチャをハードドライブまたは接続されたUSBストレージデバイスに保存します。キャプチャした画像を表示するには、Main Menu [メインメニュー] > Operation[操作] > Search[検索]に移動し、File List[ファイルリスト]ボタンをクリックします。</p>
	音声会話	<p>クリックして、マイクとスピーカークの両方を備えたIPカメラとの双方向通信を有効または無効にします。</p> <p>注: 双方向通信ボタンは、単一チャンネル表示でのみ機能します。</p>

	ストリームを切替	メインストリームとサブストリームの間でカメラストリームを切り替えます。
---	-----------------	-------------------------------------

ライブビューツールバー

有効になっていると、ライブビューツールバーがライブビュー画面の下部に表示されます。

図 3-3 ライブビューツールバー



ツールバーはデフォルトで無効になっています。有効にするには、右クリックして **Main Menu[メインメニュー]** → **SETTING[設定]** > **SYSTEM[システム]** → **GENERAL[一般]** > **General[一般]** → に移動し、**Navigation[ナビゲーション]**ボックスにチェックを入れます。ライブビュー画面に戻るには、2 回右クリックしてください。画面上の任意の場所をクリックすると、ツールバーが表示されます。

表 3-2 ライブビューツールバー

アイコン	名前	機能
	メインメニュー	メインメニューを開きます。
	画面レイアウト	画面レイアウト形式を選択します。
	前の画面	前の画面に移動します。
	次の画面	次の画面に移動します。
	ツアー制御	ツアー（チャンネル表示を自動的に切り替える）を有効にします。 ツアー設定の構成130 を参照してください。
	PTZ	PTZコントロールパネルを開きます。 32ページ の PTZカメラの制御 を参照してください。
	画像	画像 設定ウィンドウを開きます。 カメラの追加53ページ のカメラの追加を参照してください。 57
	検索	再生インターフェースを開きます。 46ページ の 動画の再生 を参照してください。
	マルチキャスト	音声ブロードキャストインターフェースを開きます。 133ページ の ブロードキャスト設定の構成 を参照してください。

	アラームステータ	アラームステータス 情報ウィンドウを開きます。
	チャンネル情報	チャンネル情報 ウィンドウを開きます。
	登録	デバイス（カメラ）を追加して設定します。ページ23の スタートアップウィザードを使用する 、あるいはページ57の カメラの追加 bookmark66 のいずれかを参照してください。
	ネットワーク	ネットワーク ウィンドウを開きます。70ページの TCP/IPおよびポート設定の構成 を参照してください。
	HDD管理	HDD管理 ウィンドウを開きます。116ページの HDDマネージャ設定の構成 を参照してください。
	USB管理	USB管理 ウィンドウを開きます。

ショートカットメニュー

ショートカットメニューは、ライブビューモードで画面上の任意の場所を右クリックすると表示されます。

図 3-4 ショートカットメニュー



製品によりショートカットメニューは異なります。お持ちの製品の実際のインターフェースを参照してください。

ライブビューの設定

スクリーンレイアウトの設定

ライブビューインターフェースは、シングルチャンネルまたはマルチチャンネルの表示用に設定できます。

ショートカットメニューを使用して画面の表示形式を変更するには、下記を実行します。

1. 画面上の任意の場所を右クリックしてショートカットメニューを表示します。
2. 必要なビュー（View 1はシングルチャンネルレイアウト、残りはマルチチャンネルレイアウト）をポイントし、表示するチャンネルをクリックします。

ライブビューツールバーを使用して画面の表示形式を変更するには、下記を実行します。

- ライブビューツールバーの画面レイアウトボタンをクリックします。

マウスを使用して画面の表示形式を変更するには、下記を実行します。

- マウスホイールボタンを回転させます。

チャンネルをマルチチャンネルグリッド内の別の場所に移動するには、下記を実行します。

- チャンネルをマルチチャンネルグリッド内の別の場所にドラッグします。

たとえば、チャンネル2をチャンネル1で占有されている左上の位置に移動するには、チャンネル2をクリックしてチャンネル1の位置にドラッグし、マウスボタンを離します。

PTZ カメラの制御

この項では、以下を行う方法について説明します：

- PTZ コントロールパネルへのアクセス
- PTZ 接続設定を構成
- PTZ プリセット、ツアー、パターンの設定と呼び出し

PTZコントロールパネルの操作

画面上の PTZ コントロールパネルを使用して、ネットワーク接続を介して NVR に接続された PTZ カメラを制御することができます。

ベーシック PTZ コントロールパネル

図 3-5 PTZ コントロールパネル

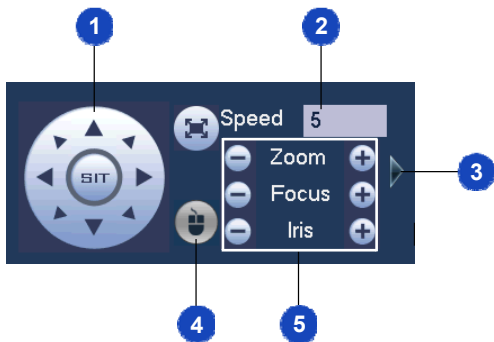


表 3-3 PTZ コントロール

#	名前	機能
1	方向キー	カメラの動きを指示します。
2	速度	カメラの速度を調整します。1~8の値を選択します。
3	展開矢印	コントロールパネルを展開し、追加のオプションを表示します。
4	PTZトレース	マウスをドラッグしてカメラの動きを指示します。ホイールボタンを回してズームイン/ズームアウトします。
5	ズーム、フォーカス、絞り	カメラのズーム、フォーカス、および絞りの設定を調整します。 <ul style="list-style-type: none"> ズームアウト (-)、ズームイン (+) フォーカス近接 (-)、フォーカス遠景 (+) 絞り閉 (-)、絞り開 (+)

拡張 PTZ コントロールパネル

図 3-6 拡張 PTZ コントロールパネル

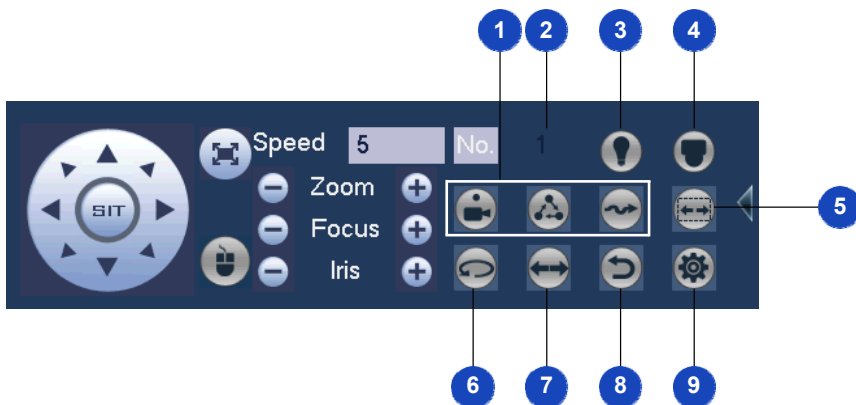


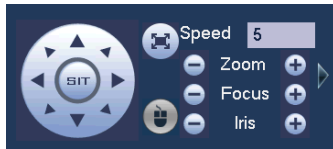
表 3-4 拡張 PTZ コントロールパネル

#	名前	機能
1	プリセット、ツアー、パ ターン	PTZ機能を構成/呼び出します。
2	番号	呼び出すPTZ機能の番号を入力します。
3	補助	補助的機能を呼び出します。
4	開始メニュー	非PTZカメラのup-the-coax OSDメニュー設定を有効にします。
5	オートスキャン	カメラを定義した2つのポイント間で継続的にパンします。
6	オートパン	カメラを360度連続して回転させます。
7	フリップ	カメラ画像を180度回転させます。
8	リセット	出荷時設定を復元します。
9	AUX設定	補助的機能を構成します。

PTZ コントロールパネルを表示するには下記を実行します。

1. 画面上の任意の場所を右クリックしてショートカットメニューを表示します。
2. PTZをクリックします。PTZコントロールパネルが開きます。

図 3-7 PTZ コントロールパネル



3. PTZコントロールパネルを拡張するには、パネルの右側にある矢印をクリックします。

図 3-8 拡張 PTZ コントロールパネル



PTZ接続設定の構成

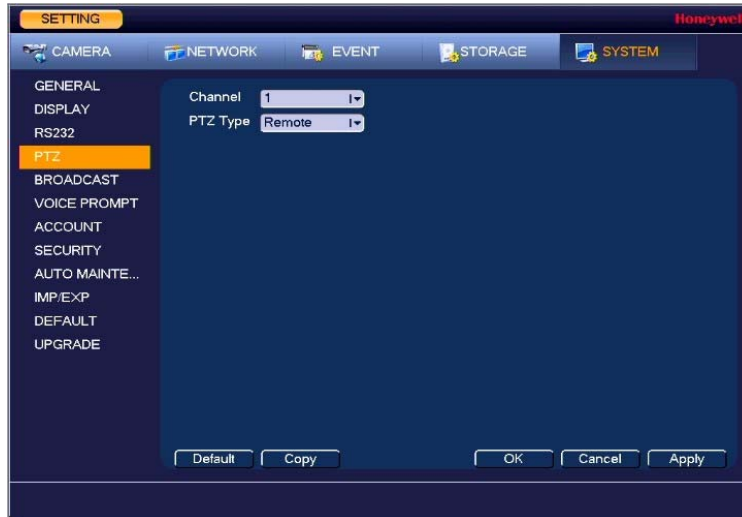
NVR で PTZ カメラを制御する前に、接続設定を行います。

注 この機能は以下の機種でのみ有効です。HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/
HEN323*4/HEN321*4/HEN642*4/HEN643*4.

PTZ 接続設定をするには下記を実行します。

1. **メインメニュー** > **SETTING[→設定]** > **SYSTEM[→システム]** > **PTZ** に移動します。以下のウィンドウが表示されます：

図 3-9 システム設定 - PTZ



2. 以下の設定を行います：

チャンネル: PTZ を設定するチャンネル（カメラ）を選択します。

PTZ Type[PTZ の種類] PTZ タイプは **Remote[遠隔]** を選択します。遠隔接続された IP カメラがネットワークを介して接続されます。

3. **Apply[適用]** をクリックしてから **OK** をクリックして設定を保存して終了します。

PTZ機能の設定

プリセット、ツアー、パターン、および境界は、PTZ コントロールパネルで設定できます。

PTZ プリセットの設定

PTZ カメラのプリセット位置をプログラムすることができます。たとえば、アラームイベントが発生した時に、カメラを出入口などの特定の場所に向けることができます。

1. 拡張PTZコントロールパネルで **PTZ Setting[PTZ設定]** ボタンをクリックします。

図 3-10PTZ 設定ボタン



2. PTZウィンドウが開きます。

図 3-11 プリセット



3. 方向矢印を使用して、カメラをプリセットとして設定する場所を指定します。
4. **Preset [プリセット]** ボックスでは、ドロップダウンリストからプリセットを選ぶか、プリセット番号を入力します。次に設定を保存するために**Setup[設定]** をクリックします。
 - 追加のプリセットをプログラムするには、手順 1～3 を繰り返します。
 - プリセットを削除するには、**Preset[プリセット]** ボックスに削除するプリセットの番号を入力し、**Del Preset[プリセットを削除]**をクリックします。

注 Del Preset[プリセットを削除] 機能は一部のプロトコルではサポートされていません。

PTZ ツアーの設定

PTZ カメラは、プリセットからプリセットまで特定の順序で移動したり、ツアーを行ったりするように設定することができます。

1. 拡張PTZコントロールパネルで**PTZ Setting[PTZ設定]**ボタンをクリックします。

図 3-12 PTZ 設定ボタン



2. ツアー設定オプションには**Tour[ツアー]**タブを選択します。
3. **Preset[プリセット]**ボックスに、ツアーに追加する最初のプリセットの番号を入力します。

図 3-13 ツアー



4. Patrol No.[パトロール番号]ボックスに、ツアーの番号を入力します。
5. Add Preset[プリセットを追加]をクリックして、ツアーにプリセットを追加します。
6. 手順1~5を繰り返してツアーにプリセットを追加します。
 - プリセットを削除するには、Preset[プリセット] ボックスに削除するプリセットの番号を入力し、Del Preset[プリセットを削除]をクリックします。
 - ツアーを削除するには、Patrol No.[パトロール番号]ボックスに削除するツアーの番号を入力し、Del Tour[ツアーを削除]をクリックします。

注 Del Preset[プリセットを削除]機能は一部のプロトコルではサポートされていません。

PTZ パターンの設定

一連の PTZ ムーブメントをパターンとして記録することができます。ライブビューモードでパターンを呼び出すと、PTZ カメラは定義したパスに沿って自動的に移動します。

1. 拡張PTZコントロールパネルでPTZ Setting[PTZ設定]ボタンをクリックします。

図 3-14 PTZ 設定ボタン



2. パターン設定にはPattern[パターン]タブを選択します。
3. Pattern[パターン] ボックスに、パターンの番号を入力します。

図 3-15 パターン



Start[開始]をクリックし、方向矢印を使用してカメラの向きを設定します。

4. カメラの向きの設定が終わったら、End[終了]をクリックします。

PTZ 境界の設定

PTZ カメラのパン動作の左右の境界を定義することができます。

1. 拡張PTZコントロールパネルでPTZ Setting[PTZ設定]ボタンをクリックします。

図 3-16 PTZ 設定ボタン



2. 境界設定オプションにはBorder[境界]タブを選択します。

図 3-17 境界



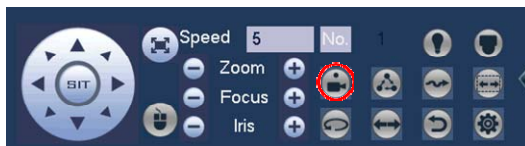
3. 方向矢印を使用してオートスキャンの左端の境界を設定してから、Left[左]をクリックします。
4. 方向矢印を使用してカメラの右端の境界を設定してから、Right[右]をクリックします。

プリセット、ツアー、パターンの呼び出し

プリセットを呼び出すには下記を実行します。

1. 拡張PTZコントロールパネルのNo.[番号]ボックスに、呼び出すプリセットの番号を入力し、Preset[プリセット]ボタンをクリックします。

図 3-18 プリセットボタン

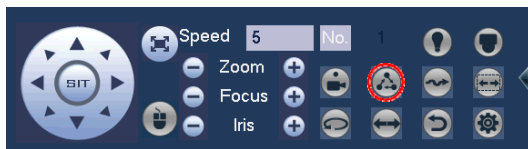


2. Preset[プリセット]ボタンをもう一度クリックすると、プリセットの呼び出しが停止します。

ツアーを呼び出すには下記を実行します。

1. 拡張PTZコントロールパネルのNo.[番号]ボックスに、呼び出すプリセットの番号を入力し、Tour[ツアー]ボタンをクリックします。

図 3-19 ツアーボタン

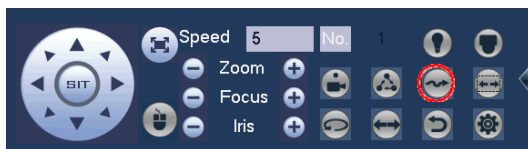


2. Tour[ツアー]ボタンをもう一度クリックすると、ツアーの呼び出しが停止します。

パターンを呼び出すには下記を実行します。

1. 拡張PTZコントロールパネルのNo.[番号]ボックスに、呼び出すプリセットの番号を入力し、Pattern[パターン]ボタンをクリックします。

図 3-20 パターンボタン



2. Pattern[パターン]ボタンをもう一度クリックすると、パターンの呼び出しが停止します。

補助設定の構成

補助設定の構成の詳細については、PTZカメラのユーザーガイドを参照してください。

4 動画の録画

この章は以下の項で構成されています：

- [手動録画設定](#) ページ 40.
- [自動録画の設定](#) ページ 40.


手動録画設定

ライブビューモードでは、接続された USB ストレージデバイスに直接クリップを手動で記録できます。

注

録画された動画を接続されたUSBストレージデバイスにバックアップするには、[動画とスナップショットのバックアップ](#) ページ 53 を参照してください。

ライブビューモードでビデオクリップを記録するには、下記を実行します。

1. USBストレージデバイス（USBフラッシュドライブなど）をNVRのUSBポートの1つに挿入します。**Find USB device**[**USBデバイスを検出**]ダイアログボックスが開きます。
2. 右クリックしてウィンドウを閉じます。
3. ライブビューモードでは、マウスポインタをチャンネルウィンドウの一番上に移動すると、カメラツールバーが表示されます（[38 ページのCamera Toolbar](#) [カメラツールバー]を参照）。
4. カメラツールバーで**Realtime Backup**[**リアルタイムバックアップ**]ボタンをクリックして  録画を始めます。NVRの録画中にはボタンが緑色に変わります。
5. **Realtime Backup**[**リアルタイムバックアップ**]ボタンを再びクリックすると録画が停止されます。

ビデオクリップは、接続された USB ストレージデバイスに自動的に保存されます。ファイル名には下記の形式を使用します：[NVR 名]_[チャンネル]_[ビデオストリーム]_[録画開始時刻]_[録画終了時刻].dav

自動録画の設定

録画したビデオを検索して再生している最中でも、各チャンネルの独立したリアルタイム録画を行うことができます。

自動的に録画するように NVR を設定するには、2 つのを行う必要があります：

1. 自動録画または録画予約を有効にするには**General Recording**[**一般録画**]設定を構成します。

2. 動画録画スケジュールを構成します。

一般録画設定の構成

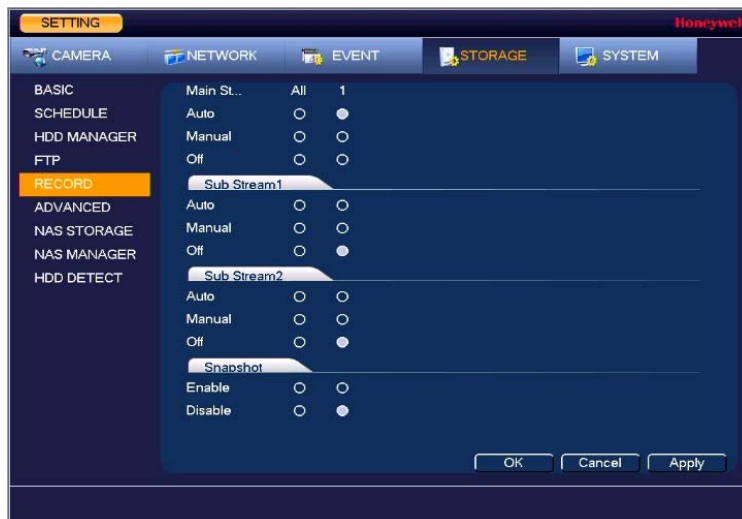
RECORD[録画]構成インターフェースでは下記を行うことができます。

- メインストリームとサブストリームで Auto/Schedule[自動/スケジュール]録画を選択
- メインストリームとサブストリームで Manual[手動] 録画を選択
- スナップショット機能の有効化/無効化

一般録画設定を構成するには、下記を実行します。

1. Main Menu[メインメニュー] → SETTING [設定] → STORAGE [保存] → RECORD [録画]へ行きます。以下のウィンドウが表示されます。

図 4-1 ストレージ録画設定



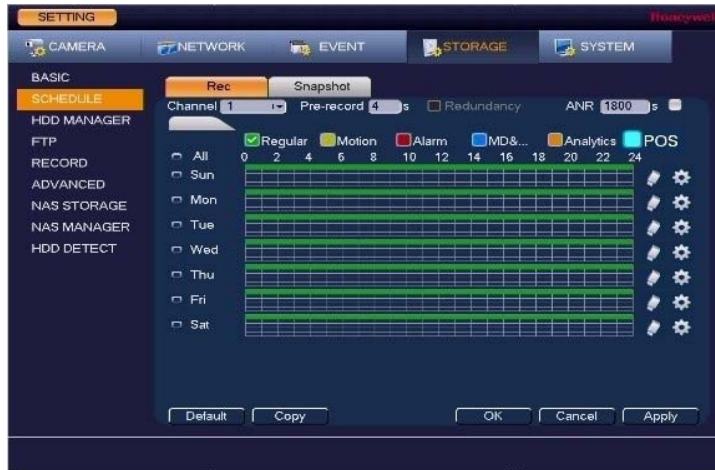
2. Record[録画]ページで、メインストリームとセカンダリストリームの両方に対して、各チャンネルで有効にする録画の種類 (Auto[自動]、Manual[手動]、Stop[停止]) を選択します。
3. Snapshot[スナップショット]で各チャンネルのスナップショット録画を有効にします。
4. Apply[適用]をクリックし、Save[保存]をクリックします。

動画録画スケジュールの構成

動画の録画スケジュールを構成するには、下記を実行します。

1. Main Menu [メインメニュー] → SETTING [設定] → STORAGE [ストレージ] → SCHEDULE [スケジュール] → Rec [録画]に移動します。以下のウィンドウが表示されます：

図 4-2 ストレージスケジュール設定



2. Record[録画]タブのChannel[チャンネル]ボックスで、録画スケジュールを設定するチャンネル（カメラ）を選択します。
3. Pre-record[事前録画]ボックスに0～30秒の時間を入力します。デフォルト設定は4秒です。事前録画時間では、録画開始予定時刻より前にNVRが録画する時間を設定します。
4. NVRに2台のHDDがある場合は、Redundancy[冗長化]ボックスにチェックを入れて、2台目のHDDに冗長録画を有効にします。このHDDはまず最初にHDD Manage[HDD管理] ページ（130ページのHDD 管理設定の構成を参照）で設定する必要があります。
5. ANRボックスで0秒～43200秒の範囲で時間を設定します。これは、ネットワーク接続が故障した場合にネットワークカメラの画像をSDカードに保存するためです。ネットワーク接続が復帰した後、システムはSDカードから動画を取り込むので記録を失うリスクがありません。
6. スケジュール表の上部にある、スケジュールしたい録画タイプのチェックボックスをオンにします。

一般：一般録画スケジュールは緑色のバーで示されます。

Motion[動体検知]：動体検知録画スケジュールは黄色のバーで示されます。


Alarm[アラーム]：アラーム録画スケジュールは赤色のバーで示されます。

MD&Alarm[MD&アラーム]：動体検知とアラームのスケジュールは青色のバーで示されます。

Analytics[解析]：動画解析録画スケジュールはオレンジ色のバーで示されます。

POS：POS 録画スケジュールはライトブルーのバーで示されます。

注 POS機能は以下の機種でのみ有効です。
HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/
HEN323*4/HEN321*4/HEN642*4/HEN643*4。

7. スケジュール表の左部にある、録画スケジュールを構成したい曜日を選択します。毎日同じ時刻に録画を同時にスケジュールするには**All[全て]**を選択します。
8. スケジュール表でマウスをクリックまたはドラッグして録画期間を設定します。録画期間を削除するには、表の右にある消しゴムアイコン () をクリックします。または、構成を行いたい曜日について、表の右側にある歯車のアイコンをクリックします。**Period[期間]**ウィンドウで、録画時間を6つまで設定します。設定をさらに別の日にコピーするには、**Copy[コピー]**の下にある該当のボックスにチェックを入れて**OK**をクリックします。
9. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。
10. 録画スケジュール設定をさらに別のチャンネルにコピーするには、**Copy[コピー]**をクリックし、設定をコピーしたいチャンネルをクリックし、**OK**をクリックします。

スナップショット録画スケジュールの構成

スナップショット録画機能を設定するには、以下の手順に従います。NVR を有効にすると、動体検知、映像ロス、ビデオタンパリング、またはその他のアラームイベントが発生したときにスナップショットを撮ることができます。詳細な説明については [第8章、イベント設定を構成する](#) を参照します。

スナップショット録画スケジュールを構成するには下記を実行します。

1. Main Menu [メインメニュー] → SETTING [設定] → STORAGE [ストレージ] → SCHEDULE [スケジュール] → Snapshot [スナップショット] の順に移動し入ります。以下のウィンドウが表示されます。

図 4-3 スナップショットスケジュールの設定



2. **Snapshot[スナップショット]**タブの**Channel[チャンネル]**ボックスで、録画スケジュールを設定するカメラを選択します。
3. スケジュール表の上部にある、スケジュールしたい録画タイプのチェックボックスをオンにします。

一般: レギュラー録画スケジュールは緑色のバーで示されます。

Motion[動体検知]: 動体検知録画スケジュールは黄色のバーで示されます。

Alarm[アラーム]: アラーム録画スケジュールは赤色のバーで示されます。

MD&Alarm[MD&アラーム]: 動体検知とアラームのスケジュールは青色のバーで示されます。

Analytics[解析]: 動画解析録画スケジュールはオレンジ色のバーで示されます。

POS: POSスケジュールは薄い青色のバーで示されます。

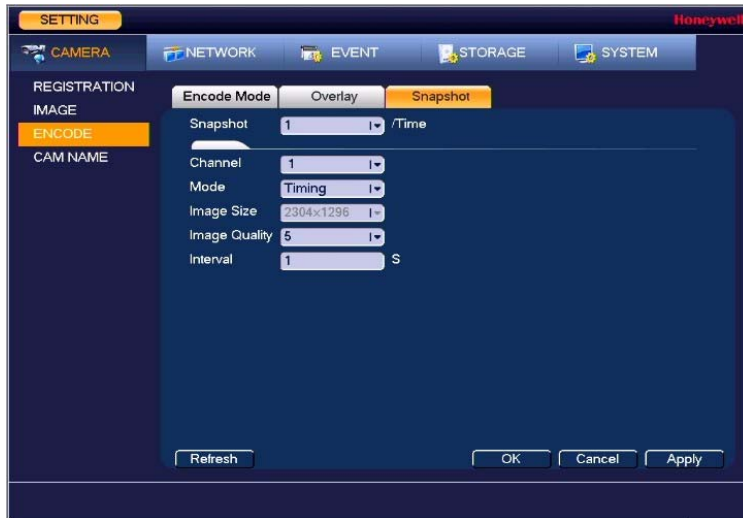
注	POS機能は以下の機種でのみ有効です。 HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/ HEN323*4/HEN321*4/HEN642*4/HEN643*4。
----------	--

4. スケジュール表の上部にある、スケジュールしたい録画タイプのボックスにチェックを入れます。毎日同じ時刻に録画を同時にスケジュールするには**All[全て]**を選択します。
5. スケジュール表でマウスをクリックまたはドラッグして録画期間を設定します。録画期間を削除するには、表の右にある消しゴムのアイコンをクリックします。または、構成を行いたい曜日について、表の右側にある歯車のアイコンをクリックします。**Period[期間]**ウィンドウで、録画時間を6つまで設定します。さらに別の日に設定をコピーするには、**Copy[コピー]**の下にある該当のボックスにチェックを入れ、OKをクリックして設定をコピーして終了します。
6. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。
7. 設定を保存して**SETTING[設定]**メニューを終了する場合には、**OK**をクリックします。
8. 録画スケジュール設定をさらに別のチャンネルにコピーするには、**Copy[コピー]**をクリックし、設定をコピーしたいチャンネルをクリックし、**OK**をクリックします。

スナップショット録画設定を構成するには、下記を実行します。

1. **Main Menu [メインメニュー] → SETTING [設定] → CAMERA [カメラ] → Encode [エンコード] → Snapshot [スナップショット]**に移動します。以下のウィンドウが表示されます：

図 4-4 カメラのスナップショット設定



2. Snapshot[スナップショット]タブで、下記の設定を構成します。

スナップショット：一度に撮るスナップショットの数を選択します。

チャンネル：設定を構成するチャンネルを選択します。

Mode[モード]：スケジュールに従ってスナップショットを作成するには、**Timing[タイミング]**を選択します。

動体検知、映像ロス、ビデオタンパリング、またはその他のアラームイベントが発生したときにスナップショットを撮るためには **Trigger[トリガー]**を選択します。

Image Size[画像サイズ]：サイズは、カメラの解像度に基づいて自動的に選択されます。

Image Quality[画質]：1～6 の値を選択します。6 が最良画質です。

Interval[間隔]：1 SPL（ピクチャごとに1秒）と 7 SPL の間の値を選択するか、**Customized[カスタム]**をクリックして独自の設定を入力します。

3. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。

4. 設定をさらに別のチャンネルにコピーするには、**Copy[コピー]**をクリックし、設定をコピーしたいチャンネルをクリックし、**Save[保存]**をクリックします。

注

イベント起動スナップショットには、スケジュール起動スナップショットよりも高い優先順位が割り当てられます。これらのタイプのスナップショットを両方有効にした場合は、アラームが発生した時にアクティベーションスナップショットがアクティブになります。アラームが発生していない場合は、スケジュール設定に従ってスナップショットが撮られます。

5 動画の再生

この章は以下の項で構成されています：

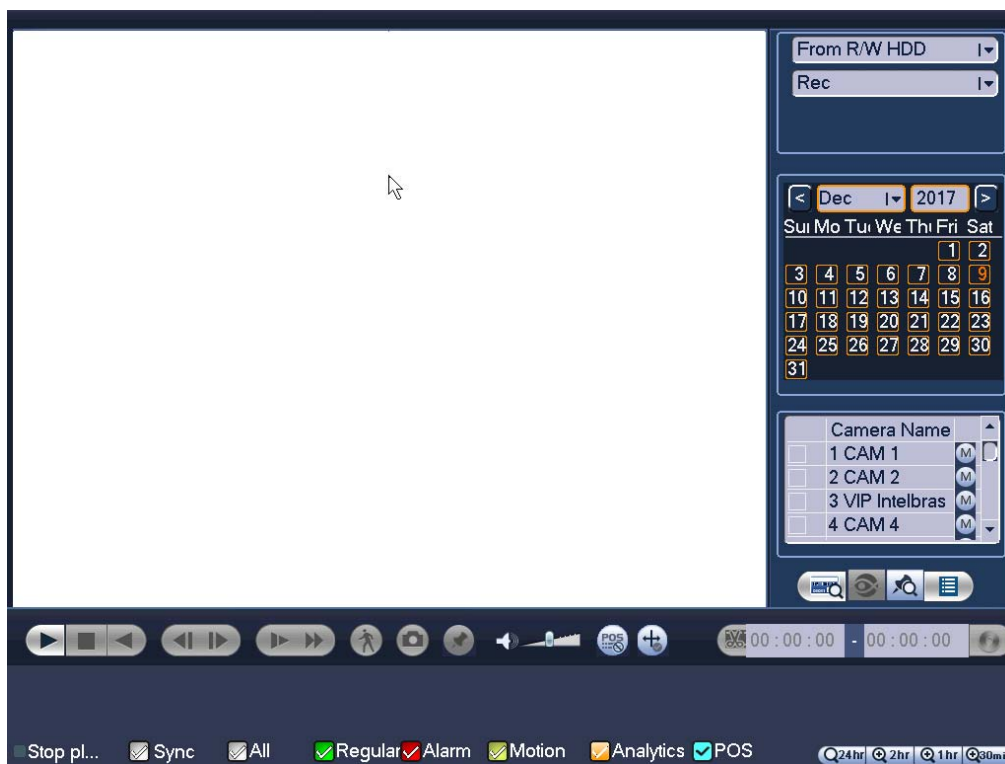
- [動画の再生ページ 46.](#)
- [スマートプレイヤーの再生ページ 51.](#)
- [スナップショットの再生ページ 52.](#)
- [動画とスナップショットのバックアップページ 53.](#)

動画の再生

動画の検索と再生


1. Main Menu [メインメニュー] → Operation [操作] → Search [検索]に移動します。下記の画面が表示されます：

図 5-1 検索再生インターフェース



- 再生インターフェースの右パネルのカレンダー領域で、検索する日付をクリックします。動画が録画された日付は濃いオレンジ色で表示されます。
- カレンダーの下部でご覧になりたいカメラを選び、ストリームを選んでください。
- 画面の下部で、検索する録画タイプ (**Regular[通常]**、**Alarm[アラーム]**、**Motion[動体検知]**、**Analytics[解析]**、**POS**) を選択します。すべての録画タイプを検索するには**All[全て]**を選択します。

注 POS機能は以下の機種でのみ有効です。
HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/
HEN323*4/HEN321*4/HEN642*4/HEN643*4。

- 検索結果のリストを表示する為に  をクリックします。
- 検索結果の一覧から、再生したい録画済み動画ファイルをダブルクリックします。再生ウィンドウで動画の再生が開始されます。
- 再生を制御するには、画面下部の再生コントロールを使用します。再生モードには、スロー再生、早送り、逆再生、フレーム単位再生があります。
- 動画内を前後に移動するには、タイムバー上で希望の時刻をクリックします。タイムバーを拡大または縮小するには、画面の右下にある選択肢から1つクリックします：**24h[時間]**、**12h[時間]**、**1h[時間]**、**30min[分]**

スマート検索

注 IPカメラは、プライベートプロトコルによるスマート検索をサポートしています。

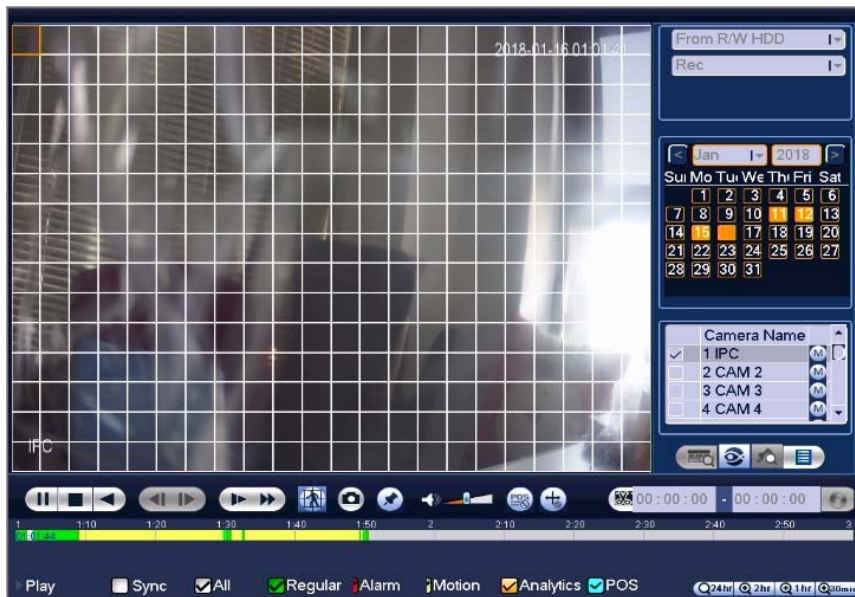
NVRを使用してスマート検索を行うには、IPカメラで次の操作を行う必要があります。

- 注**
- ・IPカメラのVMD（動画動体検知）機能を有効にします。
 - ・IPカメラのVMD領域を設定します。VMD設定の詳細はページ [86](#) の [動体検知設定の構成](#)を参照してください。
-

スマート検索を使用してアクティビティをすばやく検索するには下記を実行します。

- 動画の再生中に**Smart Search[スマート検索]** ボタンをクリックします。再生ウィンドウにグリッドが重ねられます。
- アクティビティを検索する領域の上にマウスをドラッグします。

図 5-2 アクティビティの検索



3. **Smart Search[スマート検索]**ボタンを再度クリックします。再生は、その領域でアクティビティがあるビデオのすべての部分にジャンプします。
4. スマート検索を終了するには、**Smart Search[スマート検索]**ボタンを再度クリックします。「**Are you sure to exit smart search now? (今すぐスマート検索を終了しますか?)**」というメッセージが表示されます。**OK**をクリックします。

プレイバックのマーク

購入された機種にこの機能があるか確かめてください。検索インターフェースにプレイバックマークのアイコンがある場合のみこの機能がご使用になれます(図5-1)。

ビデオレコードをプレイバックした時、重要な情報があった場合ビデオレコードにマークすることができます。プレイバックの後、対応するレコードを時間あるいはマークのキーワードで検索する事ができます。そして再生することができます。重要なビデオ情報を見つけるのは簡単です。


マークを追加

プレイバック中にマークボタンをクリックすると以下のウィンドウが表示されます：

図 5-3 マークの追加



再生マーク

1-ウィンドウのプレイバック中にマークファイルリスト・ボタン  をクリックするとマークファイルリスト・インターフェースに移動できます。マークファイルの1つをダブルクリックするとマーク時間からプレイバックを開始することができます。

マーク時間前に再生する

ここではマーク時間より N 秒前からプレイバックを開始するようセットすることができます。

注

通常、システムは録画ファイルがある場合、録画のN秒前からプレイバックすることができます。もしくは、その種類の録画がない時、システムはX秒前からプレイバックします。

マークマネージャー


検索インターフェース (図5-1) で  をクリックします。下記のウィンドウが表示されます。システムは現在のチャンネルの全ての録画マーク情報をデフォルトで管理することができます。現在のチャンネルでの全てのマーク情報を時間単位で見ることができます。

図 5-4 マークマネージャー



Modify [修正] Marks [マーク]

一つのマーク情報項目をダブルクリックします。システムがマーク情報を変更するためにダイアログボックスをポップアップするのがご覧いただけます。マーク名のみ変更することができます。

Delete [削除] Marks [マーク]

ここでは削除したいマーク情報をチェックできます、そして **Delete [削除]** をクリックすれば 1 つのマーク項目を削除できます。

注

- マーク管理インターフェースに移動した後、システムは現在のプレイバックを一時停止する必要があります。システムはマーク管理インターフェースから出るとプレイバックを再開します。
- プレイバックしたいマークファイルが削除されている場合、システムはリスト中の最初のファイルからプレイバックを開始します。

部分再生

注

この機能は以下の機種でのみ有効です。
HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/HEN323*4/HEN321*4/HEN642*4/HEN643*4.

大きな録画ファイルには、同時にいくつかのセクションで再生するために部分再生機能を使用することができます。お望みのビデオの長さを知っていると非常に便利です。


メインメニューで、**Search [検索]**をクリックするか、あるいはマウスを右クリックしてから検索を選びます。図5-1に示すように、ウィンドウにナビゲートされます。

右のペインで、ドロップダウンリストから Slice (スライス) を選びます。次に日付、カメラ、及びストリームを選びます。部分再生のインターフェースは以下のように表示されます。個々のセクションには小さな三角形があり、設定時間に合わせることができます。

図 5-5 部分再生



スライスファイルを選択します。

- **Playback [再生]**をクリックすると、デフォルトでシステムは当日の最初から再生します。
- 時間バーをクリックすると、システムはクリックした時間から再生します。
-  をクリックすると、ファイルリストから選択できます。

注

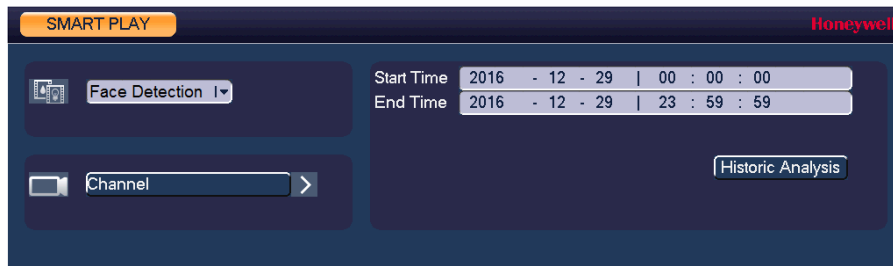
- 部分再生は 1 ウィンドウ再生モードです。
 - システムには 1/4/8/16 分割モードがあります。若干の違いがあるかもしれませんが、4 チャンネルシリーズの製品は、4 分割モードをサポートしています。8 チャンネルシリーズの製品は、8 分割モードをサポートしています。16 チャンネルまたはそれ以上のシリーズ製品は 16 分割モードをサポートしています。
 - 各セクションの最短時間は 5 分です。20 分未満のレコードでは、4 分割モード (あるいは 4 分割モード以上) を選んだ場合、システムは各セクションが 5 分以内になるよう自動的に調整します。この状況ではいくつかのチャンネルにはビデオがないこともあります。
-

スマートプレイヤーの再生

スマートプレイヤーを使用すると、顔検出などの分析タイプのイベントに関連する動画を検索できます。

1. **Main Menu [メインメニュー]** → **Operation [操作]** → **Smart Play [スマート再生]**に入ります。下記のウィンドウが表示されます。

図 5-6 Smart Player[スマートプレイヤー]オプション画面



2. スマートプレイヤーで検索するイベントの種類をイベントドロップダウンリストから選択します。この例では顔検出を選択します。
3. Channel[チャンネル]ドロップダウンリストで検索するチャンネルを選択します。
4. スマートプレイヤーが使うStart Time[開始時刻]とEnd Time[終了時刻]を入力してHistoric Analysis[過去の分析]をクリックします。
5. Smart Player[スマートプレイヤー]画面が開き、選択したチャンネルで発生したイベントタイプの一覧が時間枠内に表示されます。イベントインスタンスの1つを選択して、イベントからビデオを呼び出します。

スナップショットの再生

1. Main Menu[メインメニュー] → Operation[操作] → Search[検索]に移動します。再生インターフェースが開きます。
2. 右パネルの上部にある検索タイプボックスの下にある、PICを選択します。
3. Interval[間隔]ボックスで秒単位の再生間隔を入力します。1~60秒の値を入力します。デフォルト設定は1秒です。
4. カレンダー領域で、検索したい日付をクリックします。スナップショットが保存された日付は濃いオレンジ色で表示されます。
5. 下のカレンダーからご覧になりたいカメラを選び、ストリームを選んでください。
6. File List[ファイルリスト]ボタンをクリックして検索結果を表示します。
7. 検索結果の一覧から、再生したいスナップショットファイルをダブルクリックします。再生ウィンドウにスナップショットが表示されます。
8. Interval [間隔]ボックスで指定した間隔でファイルリスト内のすべてのスナップショットファイルの再生が繰り返されます。再生を一時停止するには、再生ウィンドウの下にあるコントロールパネルのPause[一時停止]ボタンをクリックします。次のスナップショットに移動するには、Next Frame[次のフレーム]ボタンをクリックします。前のスナップショットに移動するには、Prev Frame[前のフレーム]ボタンをクリックします。

注

スナップショット再生インターフェースの緑色のタイムバーには、スナップショットがいつごろ撮られたかだけが表示されます。正確な検索を行うにはFile List[ファイルリスト]をクリックします。

動画とスナップショットのバックアップ

再生インターフェース内からバックアップするには下記を実行します。

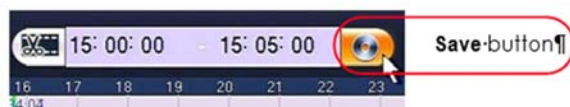
1. USBストレージデバイス（USBフラッシュドライブなど）をNVRのUSBポートの1つに挿入します。
2. バックアップしたい録画済みの動画またはスナップショットファイルを検索します（ページ46の[動画の再生](#)およびページ [bookmark5952のPlaying Back Snapshots\[スナップショットの再生\]](#)を参照してください）。
3. **File List[ファイルリスト]** ボタンをクリックして検索結果を表示します。
4. 検索結果の一覧で、バックアップしたいファイルのボックスにチェックを入れます。

図 5-7 検索結果



または、動画の再生中に、動画クリップの時間フィールドに開始時刻と終了時刻を入力して、**Save[保存]**ボタンをクリックします。

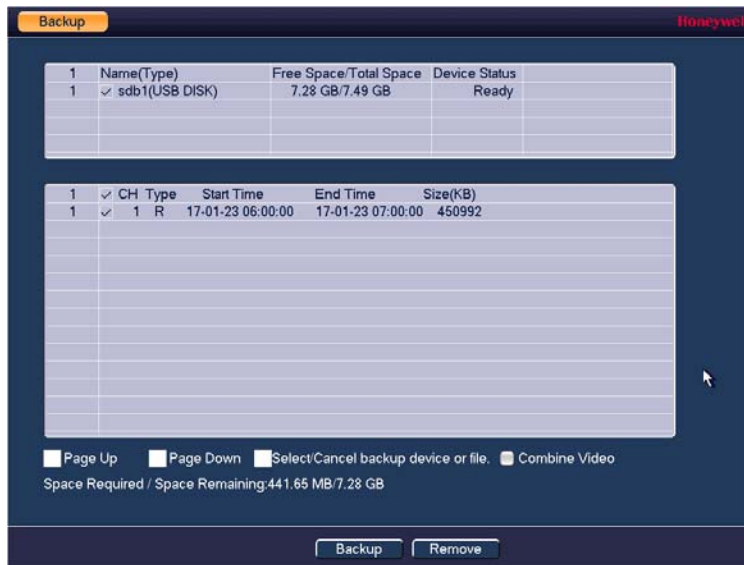
図 5-8 Playback Save/Backup[再生保存/バックアップ]ボタン



Backup[バックアップ]ウィンドウが表示され、選択した動画ファイル/クリップが表示されます。

5. Backup[バックアップ]ウィンドウで**Backup[バックアップ]**をクリックします。

図 5-9 バックアップウィンドウ



USBストレージデバイスの **Browse[ブラウズ]** ウィンドウが開きます。

図 5-10 バックアップ - USB ストレージウィンドウのブラウズ

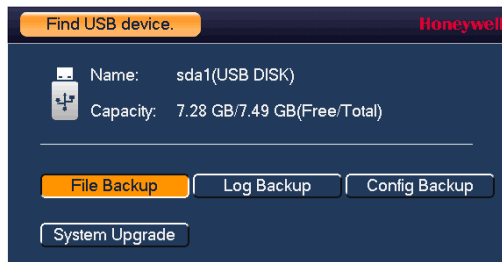


6. **Start[開始]**をクリックしてファイルをバックアップします。バックアップが成功すると"Backup finished" (バックアップが終了しました) というメッセージが表示されます。

再生インターフェースの外部からバックアップするには下記を実行します。

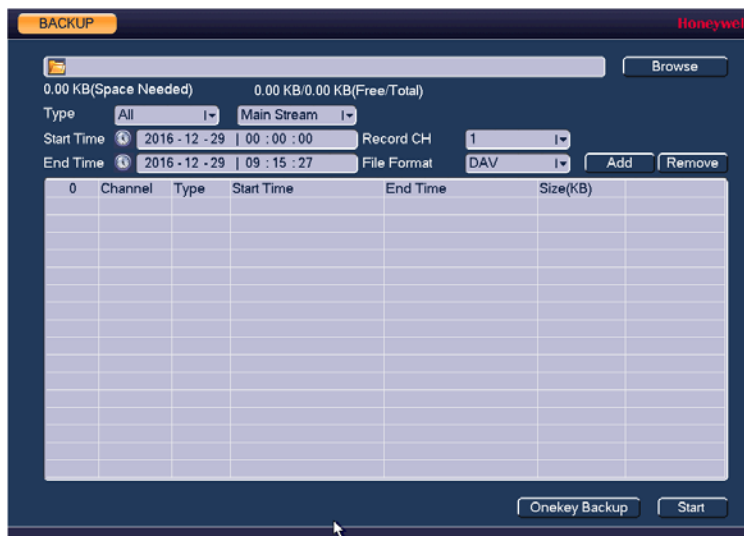
1. USBストレージデバイス (USBフラッシュドライブなど) をNVRのUSBポートの1つに挿入します。 **Find USB device[USBデバイスを検出]** ダイアログボックスが開きます。

図 5-11 USB Storage Device[USB デバイスを検出]ウィンドウ



2. Find USB device[USBデバイスを検出]ダイアログボックスでFile Backup[ファイルバックアップ]をクリックします。

図 5-12File Back to USB Device[USB デバイスにファイルをバックアップ]ウィンドウ



3. Backup[バックアップ]ウィンドウで、下記の設定をします：

Type[タイプ]：検索したいファイルの種類を選択します。

注

スナップショットを検索するにはPICを選択します。All[全て]は（スナップショット以外の）全動画ファイルを意味します。

開始時刻:検索の開始時刻を指定します。

終了時刻:検索の終了時刻を指定します。

Record CH[録画チャンネル]：検索する特定のチャンネルを選択します。または、全てのチャンネルを検索するためにはAll[全て]を選択してください。

File Format[ファイルフォーマット]：動画ファイルフォーマットとして DAV または ASF を選択します。

4. Add[追加]をクリックして検索結果をファイルリストに表示します。

注

選択した時間内にファイルが多すぎる場合は、検索期間内の最初の1024ファイルだけが表示されます。Start Time[開始時刻]とEnd Time[終了時刻]を絞り込み、バックアップするファイルを探します。

5. バックアップしたいファイルのボックスにチェックを入れ、**Backup[バックアップ]**をクリックします。USBストレージデバイスの**Browse[ブラウズ]**ウィンドウが開きます。
6. **OK**をクリックしてファイルをバックアップします。

6 カメラ設定の構成

この章は以下の項で構成されています：

- [カメラの追加ページ 57.](#)
- [リモートデバイス初期化ページ 59.](#)
- [カメラ画像設定の構成ページ 62.](#)
- [エンコード設定の構成ページ 65.](#)
- [スナップショット設定の構成ページ 65.](#)
- [テキストオーバーレイの構成ページ 65.](#)
- [カメラ名の変更ページ 68.](#)

カメラの追加

検索してカメラの追加

1. Main Menu [メインメニュー] → Setting [設定] → CAMERA [カメラ] → Registration [登録]に入ります。下記のウィンドウが表示されます：

図 6-1 カメラデバイスの追加



2. カメラを検索します。

Automatically Search [自動で検索]: Device Search[デバイス検索]をクリックしてカメラを自動検出します。

Search by IP Address or MAC Address [IPアドレスかMACアドレスによる検索]: Device Search [デバイス検索]の次にあるドロップダウンリストからIPアドレスあるいはMACアドレスを選択し、IPアドレスか、あるいはMACアドレスを入力してから、**Search[検索]**をクリックします。

- a. クリックして検出されたカメラを選択します。
- b. **Add[追加]**をクリックして、検出されたデバイスを**Added Device[追加したデバイス]**リストに追加します。

注 検出されたデバイスのモデル名がNVRで表示されない場合は、**Device Search[デバイス検索]**をクリックしてオンラインデバイスを再検出します。モデル名は**Found Devices[検出されたデバイス]**リストに表示されます。

カメラを手動で追加

Manual Add [手動追加]をクリックします。次に下記の設定を手動で構成します。

表 6-1 手動追加

パラメータ	機能
Manufacturer[メーカー]	リストからお持ちのカメラのメーカーを選択します。
IP Address[IPアドレス]	カメラのIPアドレスを入力します。
TCP Port[TCPポート]	カメラのTCPポートを入力します。（オプション）
Username[ユーザー名]	ユーザー名を入力します。
Password[パスワード]	パスワードの入力
チャンネル番号	リモートデバイスのチャンネル数を入手するために、チャンネル数を入力するか、あるいは接続ボタンをクリックします。 注: リモートデバイスのチャンネル数を入手するには接続ボタンをクリックすることを推奨します。入力したチャンネル数が間違っている場合、手動追加の操作は失敗する可能性があります。
リモートチャンネル番号	リモートデバイスのチャンネル数を入手した後、Setup[セットアップ]をクリックして、チャンネルを選択します。

	注: 1つ以上のチャンネル番号を選択する為にクリックします。
チャンネル	追加するローカルのチャンネル数です。1つのチャンネル番号には1つのチャンネル名があり対応します。
Decode Buffer[デコードバッファ]	ドロップダウンメニューからオプションを選択します。

OK をクリックします。新しく追加されたカメラが Added Device[追加されたデバイス]リストに表示されます。

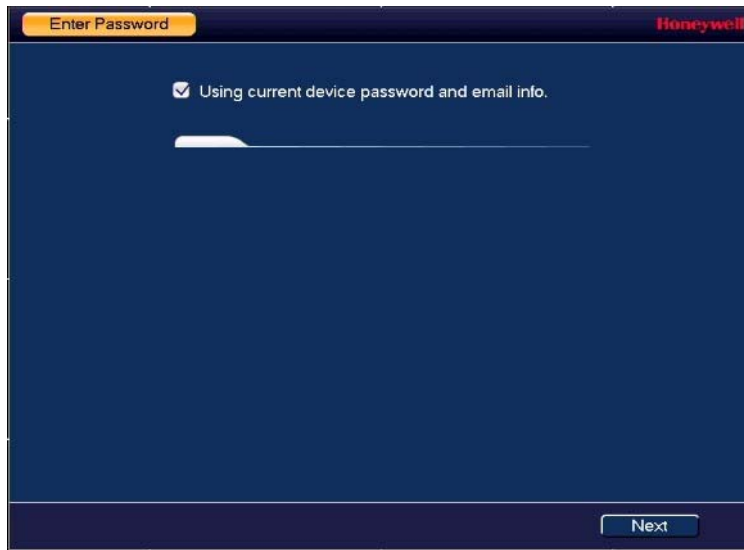
リモートデバイス初期化

リモートデバイスログインパスワード及び IP アドレスを変更する為にはリモートデバイス初期化機能を使用します。

注	<ul style="list-style-type: none"> IPカメラのみがこの機能をサポートしています。 PoEポートを経由してカメラが接続された時は、NVRは自動的にカメラを初期化します。デフォルトでは、カメラはNVRの現行のパスワードと電子メール情報を採用します。
	<ul style="list-style-type: none"> NVRが新しいバージョンにアップグレードされた後、カメラがPoEポートを経由してNVRに接続された時は、NVRはカメラの初期化に失敗することがあります。登録インターフェースに移動してカメラの初期化を行ってください。

1. **Main Menu [メインメニュー]→ Setting [設定]→Camera [カメラ]→Registration [登録]** に移動します。[図6-1](#)に示されるように登録ウィンドウが表示されます。
2. **Device Search [デバイス検索]** をクリックします。次に **Uninitialized [初期化されていない]** チェックボックスを選択します。初期化するカメラが表示されます。
3. 初期化するカメラを選択し、**Initialize [初期化]** をクリックします。下記のウィンドウが表示されます：

図 6-2 パスワードの入力



注

現行のデバイスのパスワードと電子メール情報を使用したい場合、リモートデバイスは自動的に NVR admin [NVR管理者] アカウント情報（ログインパスワードと電子メール）を使用します。パスワードと電子メールを設定する必要はありません。ステップ4に移動してください。

- a. 「現行のパスワードと電子メール情報を使用する」のチェックを外すと、パスワードの入力と確認を求められます：
- b. カメラのパスワードを設定します。ユーザー名はadmin [管理者]です。パスワードは、8～32桁にします。パスワードには文字、数字、及び特殊文字（””,””,”:”,”&”を除く）を含めることができます。パスワードは最低2つのカテゴリーを含める必要があります。通常強度のパスワードを推奨しています。

注

強力なパスワードを推奨 — デバイスの安全のため、強力なパスワードを作成してください。高度なセキュリティシステムでは特にパスワードは定期的に変更する事を推奨しています。

- c. **Next [次へ]**をクリックします。次にパスワードをリセットする為に電子メールアドレスを入力します。
4. **Next [次へ]** をクリックします。下記のウィンドウが表示されます。

図 6-3IP の修正



5. カメラのIPアドレスを設定

- DHCP を選択：デバイスは自動的にカメラに IP アドレスを割り当てます。
- 固定を選択：IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、及び増分値を入力します。

注

- 複数のデバイスのIPアドレスを同時に変更するには、増分値を入力します。デバイスはIPアドレスを自動的に割り当てる為に1つずつ順にIPアドレスの4番目のアドレスを追加できます。
 - 固定IPアドレスを変更している時にIPアドレスの競合になった場合、デバイスはIP競合ダイアログボックスを表示します。IPアドレスをバッチで変更する場合、デバイスは自動的に競合したIPアドレスをスキップし、増分値に従って割当を開始します。
-

6. **Next [次へ]**をクリックします。デバイスはカメラ初期化を開始します。

図 6-4 デバイス初期化



7. 設定を完了するには**Finish [終了]**をクリックします。

カメラ画像設定の構成

注

プライベートプロトコルを使用してIPカメラを接続した場合のみ、カメラ設定を構成できます。プライベートプロトコルを使用して接続した場合、カメラ設定が利用できるようになります。他のプロトコルを使用してIPカメラを接続した場合、カメラ設定は利用できません。

1. Main Menu [メインメニュー] → Setting [設定] → CAMERA [カメラ] → Image [イメージ]に移動します。下記のウィンドウが表示されます：

図 6-5 カメライメージ設定タブ



2. 以下の設定を行います：

注 製品によりパラメータは異なります。

チャンネル: ドロップダウンリストからチャンネルを選択します。

Config File[設定ファイル]: Config1、Config2、および Config3 から選択します。

Saturation[彩度]: モニターの彩度を調整します。値を大きくすると、彩度が増加して色が濃くなります。この値は、動画の一般的な輝度には影響しません。0~100 の間で選択します。推奨範囲は 40~60 です。デフォルト値は 50 です。

Hue[色調]: モニターの色調を 0~100 の範囲で調節します。推奨範囲は 40~60 です。このデフォルト値は 50 です。

Brightness[輝度]: モニターの輝度を調整します。値を大きくすると、動画の輝度が増します。この値の調整は、動画の輝度に影響します。0~100 の間で選択します。推奨範囲は 40~60 です。デフォルト値は 50 です。

注 この値が高すぎると、動画がかすむことがあります。

Contrast[コントラスト]: モニターのコントラストを調整します。値を大きくすると、コントラストが増加し明暗差が強調されます。0~100 の間で選択します。推奨範囲は 40~60 です。デフォルト値は 50 です。

注

この値が低すぎると、動画がかすむことがあります。この値が高すぎると、動画の暗い部分の細部が見えなくなり、明るい部分が露出オーバーになる可能性があります。

Iris[絞り]: Iris[絞り]は絞りを制御し、カメラに入る光の量を自動的に制御します。絞りはデフォルトで **Enable[有効]** に設定されています。

Mirror[ミラー]:動画の画像を反転させて、左側が右側になり、右側が左側になるようにします。デフォルトでは無効です。

Flip[フリップ]:デフォルト設定は **Normal[標準]**です。動画を 180°反転させる **180°**、90°回転させる **90°**、270°回転させる **270°**から選択します。

Day & Light[昼&照明]:カメラのカラーモードと白黒モードの切り替えを設定します。

- **Colorful[カラフル]**:動画をカラーで出力します。
- **Auto[オート]**:シーンが全般的に明るい場合や IR イルミネーションが必要な場合など、条件に応じて Color[カラー]から Black & White[白黒]に切り替わります。
- **B/W[白黒]**:動画を白黒で出力します。

BLC Mode[BLC モード]:カメラのバックライト補正モードを設定します。

- **Close[閉じる]**:BLC機能が無効にされます。デフォルト設定です。**BLC Mode[BLC モード]**:動画の最も暗い部分が見やすくなるように、環境に応じて露出を自動で決定します。
- **WDR**:最も明るい領域の輝度を下げ、最も暗い部分を強調して、両方の部分を同時に見やすくすることができます。WDR 値を 1~100 に設定します。
- **HLC**:HLC 制御レベル (1~100) に応じて最も明るい領域の輝度を下げます。

Scene Mode (White Balance)[シーンモード (ホワイトバランス)]:これはホワイトバランスです。最高品質の動画を実現するには、Auto[オート]、Outdoor[屋外]、Natural[ナチュラル]、Street Lamp[街灯]、Manual[手動]などのさまざまなシーンモードを選択します。

Scene Modes[シーンモード]:

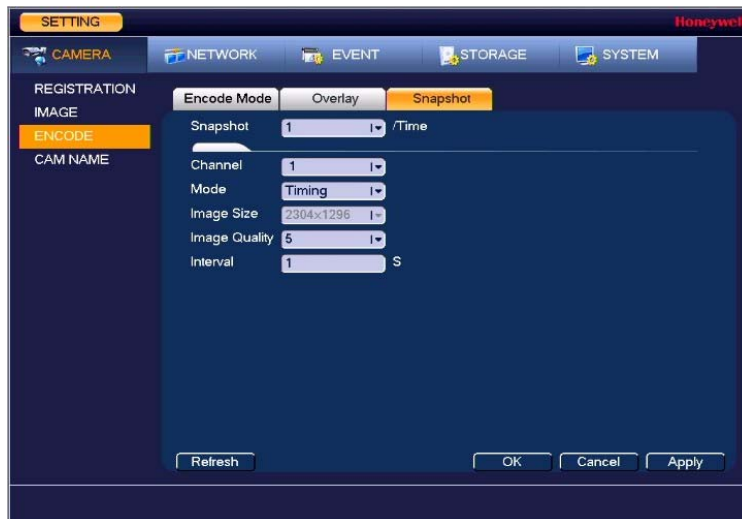
- **Auto[オート]**:オートホワイトバランスがオンになっています。システムは自動的にカラー温度を調整して、動画カラーが正しいことを確認します。
- **Outdoor[屋外]**:ホワイトバランスの閾値は、屋外モードに設定されています。**Natural[ナチュラル]**:ホワイトバランスの閾値は、ナチュラルモードに設定されています。**Street Lamp[街灯]**:ホワイトバランスの閾値は、街灯モードに設定されています。
- **Manual[手動]**:赤/青チャンネルのゲインを手動で設定できます。値は **0 ~100** の範囲です。

3. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。
4. 設定を保存して**SETTING[設定]**メニューを終了する場合は、**OK**をクリックします。

スナップショット設定の構成

1. Main Menu [メインメニュー] → Setting [設定] → CAMERA [カメラ] → Encode [エンコード] → Snapshot [スナップショット]に移動します。下記のウィンドウが表示されます：

図 6-6 Snapshot Settings [カメラスナップショット設定] タブ



2. Channel [チャンネル] ボックスで、設定したいカメラを選択します。

スナップショット：一度に撮れるスナップショットの最大数を選択します。

チャンネル：ドロップダウンリストからチャンネルを選択します。

Mode [モード]：次の2つのモードがあります：**Timing [タイミング]**、**Trigger [トリガー]**。**タイミングモード**を設定した場合、スナップショット間隔を設定する必要があります。トリガーモードを設定した場合、イベント設定でスナップショットを有効にする必要があります。例は、[bookmark10490](#) ページの **動体検知イベントアクションを設定するには以下を実行します。** [bookmark104](#) を参照してください。

Image Size [画像サイズ]：スナップショットのサイズを選択します。

Image Quality [画質]：スナップショットの画質を選択します。1～6 で選択します。6 が最高画質の設定です。

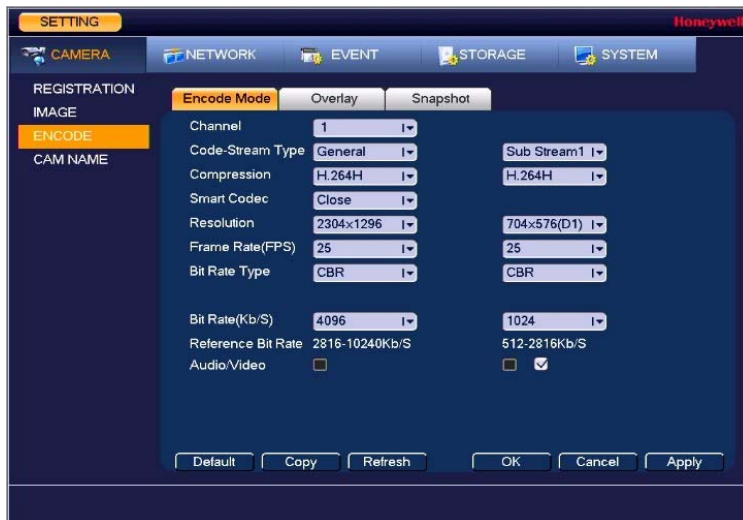
Interval [間隔]：スナップショットの撮影頻度を設定します。

3. Apply [適用] をクリックして設定を保存します。
4. 設定を保存して SETTING [設定] メニューを終了する場合は、OK をクリックします。

エンコード設定の構成

1. Main Menu [メインメニュー] → Setting [設定] → CAMERA [カメラ] → Encode [エンコード] → Encode Mode [エンコードモード] に移動します。下記のウィンドウが表示されます：

図 6-7 Camera Encoding Settings[カメラエンコード設定]タブ



2. Encode[エンコード]タブのChannel[チャンネル]ボックスで、設定したいカメラを選択します。

注

NVRで選択したカメラ/チャンネルの設定情報を取得できなかった場合は、別のウィンドウ（Snapshot[スナップショット]Overlay[オーバーレイ]など）に移動してからEncode[エンコード]ウィンドウに戻ってください。

3. プライマリストリームとセカンダリストリームの設定を次のように構成します：

注

製品によりパラメータは異なります。

Code Stream Type[コードストリームタイプ]：プライマリストリームタイプを Genera[一般]、MD（動体検知）、または Alarm[アラーム]に設定します。セカンダリストリームは設定できません。

圧縮：ビデオエンコードモードを選択します。

Smart Codec[スマートコーデック]：スマートコーデックを Close[閉じる]（デフォルト）か Enable[有効化]：に設定します。この機能はビットストリームを減少する為のものです。

注

スマートコードを変更した後、ネットワークカメラといくつかのネットワークカメラ機能（例えば、IVS、ROI、SVC、ロビーモード 他）がnullになるように再起動してください。よく考えて操作を行ってください。

解像度：ドロップダウンリストでプライマリストリームの解像度を次のいずれかのオプションに設定します。サブストリームの解像度を使用可能な解像度のいずれかに設定します。

Frame Rate(FPS)[フレームレート]：1～30 (NTSC) または1～25 (PAL) の値を選択します。

Bit Rate Type[ビットレートタイプ]：CBR（固定ビットレート）かVBR（可変ビットレート）に設定します。

Quality[品質]：ビットレートをVBRに設定した場合は、1（最低画質）～6（最高画質）の値を選択します。

注 デバイスがONVIFを介してNVRに接続されている場合、VBRは選択できません。
デバイスがプライベートプロトコルを介してNVRに接続されている場合は、CBRまたはVBRを選択できます。

ビットレート：Reference Bit Rate[基準ビットレート]の範囲で設定します。リストに表示されないビットレートを入力するには、Customized[カスタム]をクリックします。

Audio/Video[オーディオ/ビデオ]：オーディオ/ビデオを有効/無効にするには、チェックボックスをオン/オフにします。

Iフレームインターバル：15～150の値を選択します。デフォルト値は15です。値小さいほどイメージは滑らかになります。

Audio Encode[オーディオエンコード]：メインストリームとサブストリームのオーディオエンコードモードをG.711AまたはG.711Muから選択します。G.711Aがデフォルト設定です。エンコードモードの設定は、オーディオ出力モードと双方向通話モードの両方に適用されます。

Sampling Rate[サンプリングレート]：カメラのサンプリングレートを8K[8,000]または16K[16,000]から選択します。

4. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。
5. 設定を1台以上の追加のカメラにコピーするには、次の手順に従います：
 - a. **Copy[コピー]**をクリックします。
 - b. 設定をコピーしたい特定のカメラをクリックするか、**All[すべて]**をクリックしてすべてのカメラを選択し、**OK**をクリックします。
6. 設定を保存して**SETTING[設定]**メニューを終了したい場合には、**OK**をクリックします。

テキストオーバーレイの構成

1. **Main Menu [メインメニュー]** → **Setting [設定]** → **CAMERA [カメラ]** → **Encode [エンコード]** → **Overlay [オーバーレイ]**に移動します。下記のウィンドウが表示されます：

図 6-8 Camera Text Overlay Setting[カメラテキストオーバーレイ設定] タブ



2. Channel[チャンネル] ボックスで、設定したいカメラを選択します。
3. 時間表示を設定するには、**Time Display[時間表示]**の横にある**Monitor[モニター]**チェックボックスをオンにして**Set[設定]**をクリックします。時間表示を画面上の目的の位置にドラッグします。右クリックして位置を保存し、オーバーレイ画面に戻ります。
4. チャンネル表示を設定するには、**Channel Display[チャンネル表示]**の横にある**Monitor[モニター]**チェックボックスをオンにして**Set[設定]**をクリックします。チャンネル表示を画面上の目的の位置にドラッグします。右クリックして位置を保存し、オーバーレイ画面に戻ります。
5. カスタマイズされたタイトルの表示を設定するには、**Customized Title[カスタマイズしたタイトル]**の横にある該当する行に、カスタマイズしたタイトルテキストを入力し、**Monitor[モニター]**チェックボックスをオンにして**Set[設定]**をクリックします。タイトルテキストを画面上の目的の位置にドラッグします。右クリックして位置を保存し、オーバーレイ画面に戻ります。
6. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。
7. 設定を1台以上の追加のカメラにコピーするには、次の手順に従います：
 - a. **Copy[コピー]**をクリックします。
 - b. 設定をコピーしたい特定のカメラをクリックするか、**All[すべて]**をクリックしてすべてのカメラを選択し、**OK**をクリックします。
8. 設定を保存して**SETTING[設定]**メニューを終了したい場合には、**OK**をクリックします。

カメラ名の変更

カメラ名はデフォルトでは「CAM 1」、「CAM 2」、「CAM 3」などとなっています。各カメラには、必要に応じてわかりやすい固有の名前（「正面入り口」など）を割り当てることができます。

1. Main Menu [メインメニュー] → Setting [設定] → CAMERA [カメラ] → Cam Name [カメラ名]に移動します。下記のウィンドウが表示されます：

図 6-9 Camera Name Settings [カメラ名設定] ウィンドウ



2. Camera Name [カメラ名] ドロップダウンリストで Local [ローカル] あるいは Remote [リモート] を選択します。
ローカル：NVRのチャンネル名を変更する為に選択します。
リモート：NVRを介してIPCのチャンネル名を変更する為に選択します。
3. 名前を変更したいカメラのテキストボックスをクリックし、新しい名前を入力します。
4. Apply [適用] をクリックして設定を保存します。

7 ネットワーク設定の構成

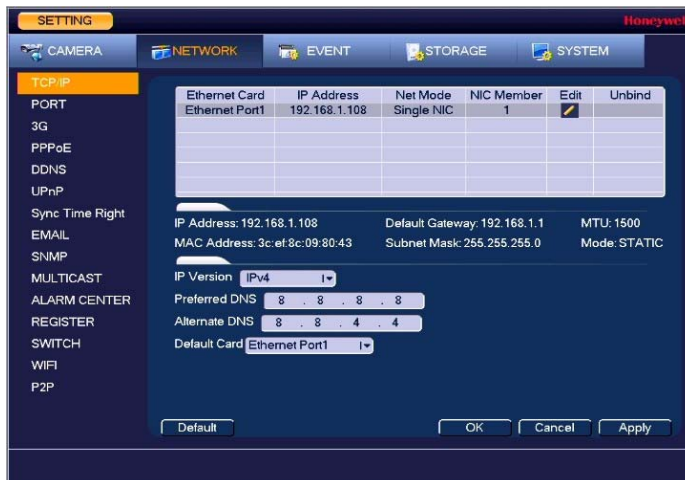
この章は以下の項で構成されています：

- [TCP/IP 設定の構成](#) ページ 70.
- [ポート設定の構成](#) ページ 72.
- [ワイヤレス接続設定の構成](#) ページ 73.
- [PPPoE 設定の構成](#) ページ 75.
- [DDNS 設定の構成](#) ページ 76.
- [電子メール設定の構成](#) ページ 77.
- [UPnP 設定の構成](#) ページ 78.
- [適正同期時間設定を構成します。](#) ページ 79.
- [SNMP 設定の構成](#) ページ 80.
- [マルチキャスト設定の構成](#) ページ 81.
- [登録設定の構成](#) ページ 82.
- [アラームセンター設定の構成](#) ページ 83.
- [スイッチ設定の構成](#) ページ 83.
- [P2P 設定の構成](#) ページ 84.

TCP/IP 設定の構成

1. Main Menu [メインメニュー] → Setting [設定] → NETWORK [ネットワーク] → TCP/IPに移動します。下記のウィンドウが表示されます：

図 7-1 Network TCP/IP[ネットワーク TCP/IP]設定ウィンドウ




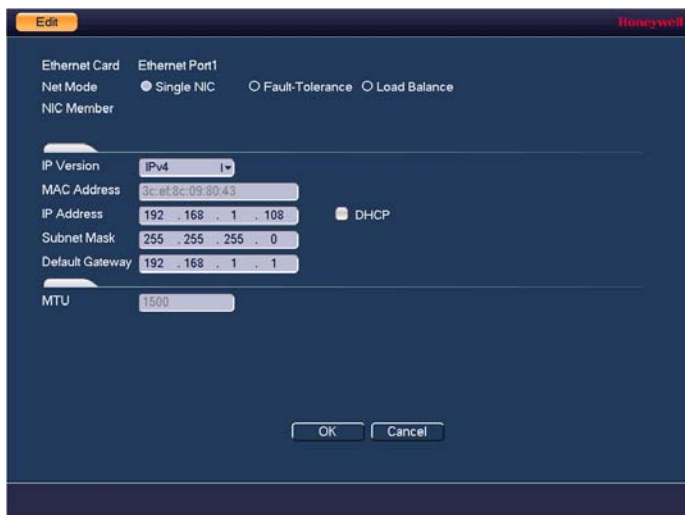
2. 下記の図に示すようにイーサネットカードを編集する為に  をクリックします:

図 7-2 イーサネットカードの編集



3. ネットモードを選択します。
4. **IP Version[IPバージョン]**ボックスで、使用するインターネットプロトコルによってIPv4がIPv6を選択します。
5. NVRに動的IPアドレスを割り当てるには、**DHCP**を選択します。NVRに静的IPアドレスを割り当てるには、クリックして**DHCP**の選択を解除します。
6. **DHCP**の選択を解除した場合は、**IP Address[IPアドレス]**、**Subnet Mask[サブネットマスク]**、および**Gateway[ゲートウェイ]**情報を手動で入力します。(DHCP が有効な場合、IPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイは設定できません)。
7. 設定を保存する為に**OK** をクリックします。次に**SETTING [設定]** メニューを終了します。
8. 必要に応じて、**Preferred DNS[優先DNS]**および**Alternate DNS[代替DNS]**アドレスを入力します。

ポート設定の構成

1. Main Menu [メインメニュー] → Setting [設定] → NETWORK [ネットワーク] → Port [ポート]に移動します。下記のウィンドウが表示されます:

図 7-3 Network Port [ネットワークポート] 設定ウィンドウ



2. Connection[接続]ページでは、下記の設定を構成できます。

Max Connection[最大接続] : 1~128 の値を選択します。デフォルト設定は 20 です。

TCP Port[TCP ポート] : 1025~65535 の値を選択します。デフォルト設定は 37777 です。

UDP ポート : 1025~65535 の値を選択します。デフォルト設定は 37778 です。

HTTPS Port[HTTPS ポート] : 1~65535 の値を選択します。デフォルト設定は 443 です。

RTSP Port[RTSP ポート] : 1~65535 の値を選択します。デフォルト設定は 554 です。

POS Port[POS ポート] : 1~65535 の値を選択します。デフォルト設定は 38800 です。

注

POSポートは下記の機種のみ有効です。
HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/
HEN323*4/HEN321*4/HEN642*4/HEN643*4。

3. Apply[適用]をクリックして設定を保存します。
4. 設定を保存してSETTING[設定]メニューを終了したい場合には、OKをクリックします。

注

NVRのポート設定を変更するには、NVRを再起動する必要があります。ポートの設定が互いに競合していないことを確認してください。

ワイヤレス接続設定の構成

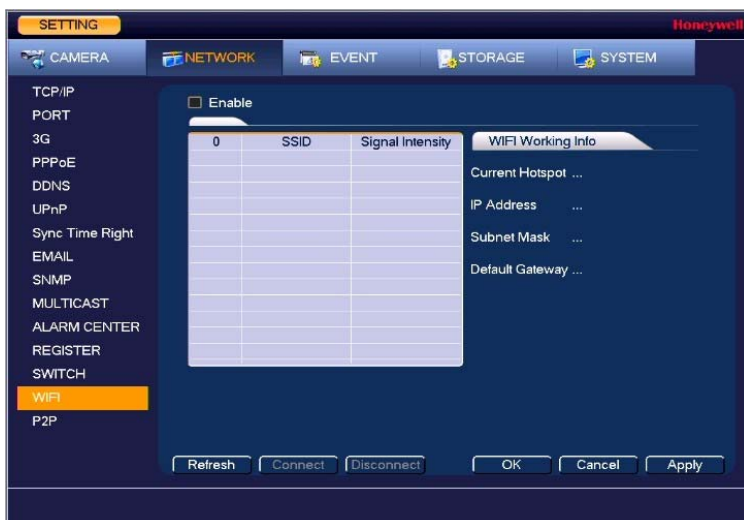
注

この機能は以下の機種のみ有効です。
HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/HEN323*4/HEN321*4/HEN642*4/HEN643*4。

Wi-Fi 接続を管理するには下記を実行します。

1. Main Menu [メインメニュー] → Setting [設定] → NETWORK [ネットワーク] → WIFIに移動します。下記のウィンドウが表示されます:

図 7-4 Network WIFI [ネットワーク WIFI] 設定ウィンドウ



2. WIFI設定ページでは、次のいずれか1つ以上を実行することができます：
 - Wi-Fiホットスポットへの自動接続を有効にするには、**Enable[有効化]**ボックスにチェックを入れます。
 - Wi-Fiホットスポットへの自動接続を無効にするには、**Enable[有効化]**ボックスのチェックを外します。
 - Wi-Fiホットスポットを検索するには、**Refresh[リフレッシュ]**をクリックします。

- Wi-Fiホットスポットに手動で接続するには、**Connect[接続]**をクリックします。
- Wi-Fiホットスポットから接続を切断するには、**Disconnect[切断]**をクリックします。

Wi-Fi 接続が正常に確立されると、Wi-Fi ホットスポットの名前と接続の詳細が **WIFI Working Info[WIFI 動作情報]** 領域に表示されます。

3. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。
4. 設定を保存して**SETTING[設定]**メニューを終了する場合は、**OK**をクリックします。

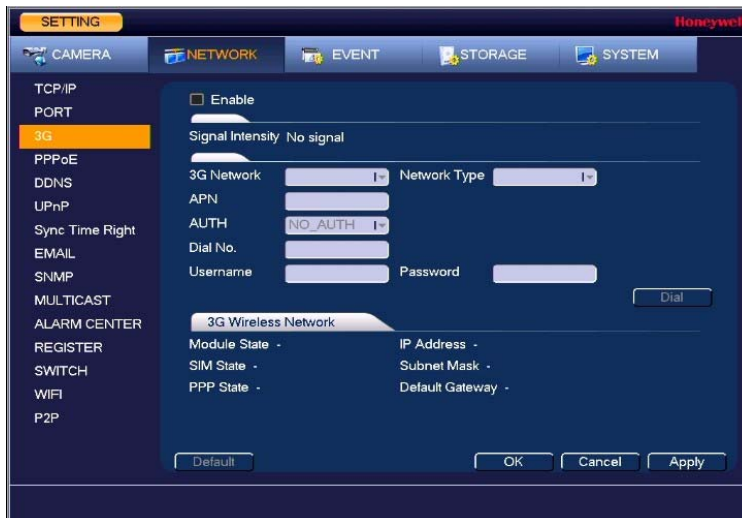
注 システムは、WPA検証タイプとWPA 2検証タイプをサポートしていません。

3G ワイヤレス接続を設定するには、下記を実行します。

注 この機能は以下の機種のみ有効です。
HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/HEN323*4/HEN321*4/HE
N642*4/HEN643*4。

1. **Main Menu [メインメニュー] → Setting [設定] → NETWORK [ネットワーク] → 3G**に移動します。下記のウィンドウが表示されます:

図 7-5 Network 3G[ネットワーク 3G]ウィンドウ



2. **3G**ページでは、下記の設定が構成できます:

Enable[有効化]: 選択したワイヤレスネットワークアダプタを使用して 3G ワイヤレス接続を有効にするには、ボックスにチェックを入れ、無効にするには、チェックを外します。

3G Network[3G ネットワーク]：ワイヤレスネットワークアダプタ名を選択します。

Network Type[ネットワークタイプ]：要件に適合するネットワークタイプを選択します。

APN：ワイヤレスネットワークにアクセスするために使用するワイヤレス接続サーバーを選択します。

AUTH[認証]：ワイヤレスネットワークにアクセスするために使用する認証モードを選択します：**PAP** または **CHAP**。

Dial No.[ダイヤル番号]：インターネットサービスプロバイダから受け取った 3G ネットワークダイヤルアップ番号を入力します。

User Name[ユーザー名]：3G ネットワークにログオンするためのユーザー名を入力します。

User Password[ユーザーパスワード]：3G ネットワークにログオンするためのパスワードを入力します。

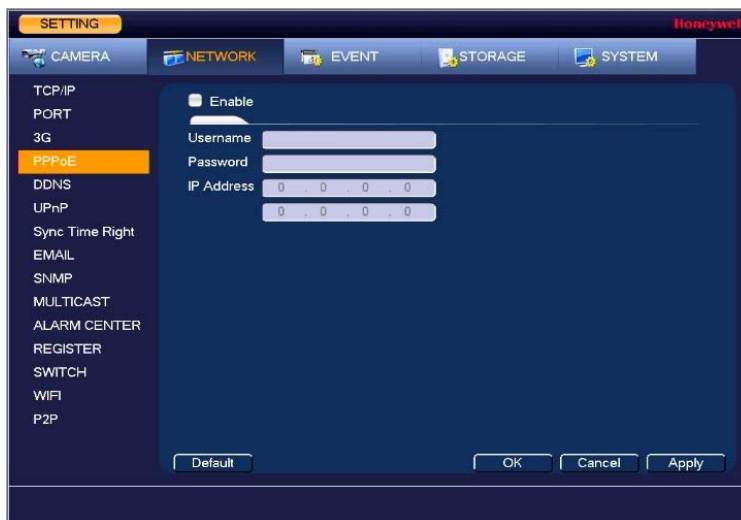
Dial[ダイヤル]：3G ネットワーク接続を手動で有効または無効にするには **Dial[ダイヤル]** をクリックします。

3. **Apply[適用]** をクリックして設定を保存します。
4. 設定を保存して **SETTING[設定]** メニューを終了したい場合には、**OK** をクリックします。

PPPoE 設定の構成

1. **Main Menu [メインメニュー] → Setting [設定] → NETWORK [ネットワーク] → PPPoE** に移動します。下記のウィンドウが表示されます：

図 7-6 Network PPPoE[ネットワーク PPPoE] 設定ウィンドウ



2. PPPoE ネットワーク接続を有効にするには、**PPPOE** ページで **Enable[有効化]** ボックスにチェックを入れます。
3. **Username[ユーザー名]** ボックスと **Password[パスワード]** ボックスに、PPPoE アクセスのためにインターネットサービスプロバイダから提供されたユーザー名とパスワードを入力します。
4. **Apply[適用]** をクリックして設定を保存します。

5. 設定を保存して**SETTING[設定]**メニューを終了する場合は、**OK**をクリックします。
6. 新しいネットワーク接続設定を有効にするには、NVRを再起動します。

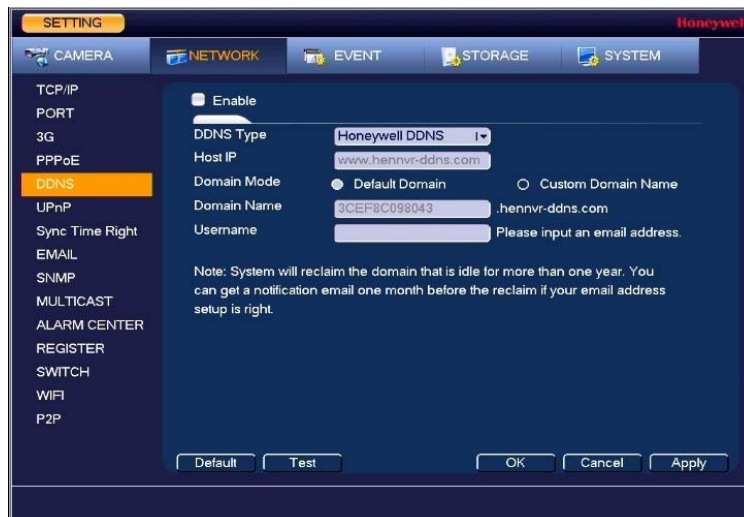
PPPoE ページに NVR の新しい IP アドレスが表示されます。このアドレスは、NVR にリモートでアクセスするときに使用します。

DDNS 設定の構成

ダイナミック DNS (DDNS) ネットワーク接続を設定するには、下記を実行します。

1. Main Menu [メインメニュー] → Setting [設定] → NETWORK [ネットワーク] → DDNSに移動します。下記のウィンドウが表示されます:

図 7-7 Network DDNS[ネットワーク DDNS]設定ウィンドウ



2. DDNSネットワーク接続を有効にするには、**DDNS**ページで**Enable[有効化]**ボックスにチェックを入れます。
3. **DDNS Type[DDNSの種類]**ボックスで、使用したいDDNSサービスを選択します。
4. 選択したDDNSの種類によっては、以下の詳細を入力する必要があります:

Host IP[ホスト IP]: DDNS Type[DDNSの種類]が **Private DDNS[プライベート DDNS]**に設定されていない場合、アドレスが自動的に表示されます。その場合は、DDNS サービスプロバイダのサーバの IP アドレスを入力します。

Domain Mode[ドメインモード]: DDNS Type[DDNSの種類]が **Honeywell DDNS** に設定されている場合は、**Default Domain[デフォルトドメイン]**をクリックしてデフォルトドメイン名を使うか、**Custom Domain Name[カスタムドメイン名]**をクリックして独自のドメイン名を作成します。

Domain Name[ドメイン名]: ドメイン名を入力します (デフォルトのドメイン名を使用していない場合)。

これは、DDNS サービスプロバイダから入手できます。

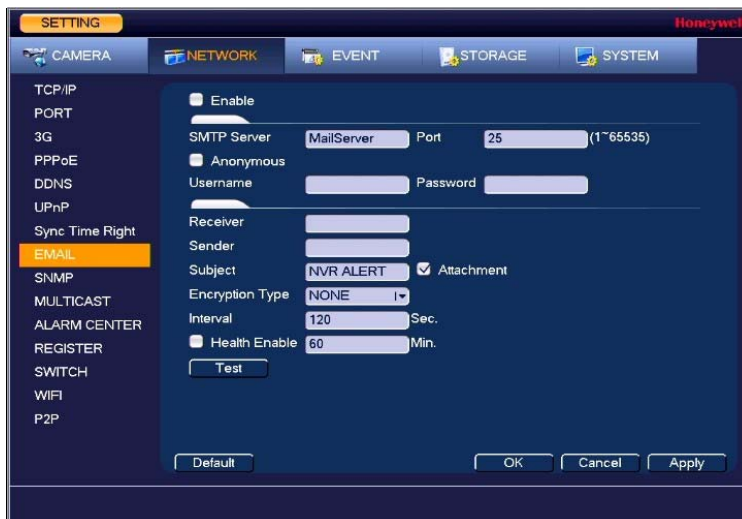
User Name[ユーザー名]: 該当する場合は、DDNS サービスにアクセスするためのユーザー名を入力します。

5. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。
6. 設定を保存して**SETTING[設定]**メニューを終了したい場合には、**OK**をクリックします。
7. 新しいネットワーク接続設定を有効にするには、NVRを再起動します。
8. 設定をテストするには、**DDNS**ページで、**Test[テスト]**をクリックします。

電子メール設定の構成

1. **Main Menu [メインメニュー] → Setting [設定] → NETWORK [ネットワーク] → Email [電子メール]**に移動します。
下記のウィンドウが表示されます:

図 7-8 Network Email[ネットワーク電子メール]設定ウィンドウ



2. アラームイベントの電子メール通知を有効にするには、**EMAIL[電子メール]**ページで**Enable[有効化]**ボックスにチェックを入れます。
3. 以下の設定を行います：

SMTP Server[SMTP サーバー]：送信者の電子メールアカウントの SMTP サーバーアドレスを入力します。

ポート：SMTP に使用されるデフォルトの TCP/IP ポートは **25** です。

Anonymous[匿名]：ボックスにチェックを入れると、送信される電子メールで送信者アドレスを非表示にします。

Username[ユーザー名]：送信者の電子メールアカウントのユーザー名を入力します。

Password[パスワード]：送信者の電子メールアカウントのパスワードを入力します。

Receiver[受信者]：通知を送りたい電子メールアドレスを入力します。最大 3 つの電子メールアドレスを入力できます。

Sender[送信者]：送信者の電子メールアドレスを入力します。

Subject[件名]：電子メールの件名を入力します。

Attachment[添付ファイル]：ボックスにチェックを入れると、電子メールで添付ファイルを送信できるようになります。

Encryption Type[暗号化の種類]：暗号化の種類を選択します：**None[なし]**、**SSL**、または**TLS**。

Interval[間隔]：これは電子メールを送信する間隔です。入力できる時間は**0** 秒から

3600 秒です。**0** は、間隔がないことを意味します。

Health Enable[ヘルス有効]：ヘルスチェックを有効化するにはボックスにチェックを入れます。システムはテスト電子メールを送信して接続を確認します。

Health Interval[ヘルス間隔]：これは、NVR がヘルスチェック用の電子メールを送信してから次を送信するまでに待機する間隔です。**30~1440** 分の時間を入力します。**30** がデフォルト間隔です。

4. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。電子メールの設定をテストするには、**Test[テスト]**をクリックします。
5. 設定を保存して**SETTING[設定]**メニューを終了したい場合には、**OK**をクリックします。

UPnP 設定の構成

ユニバーサルプラグアンドプレイ (UPnP) プロトコルは、LAN と WAN の間の関係をマップするために使用されます。

1. **Main Menu [メインメニュー] → Setting [設定] → NETWORK [ネットワーク] → UPnP**に移動します。下記のウィンドウが表示されます：

図 7-9 Network UPnP[ネットワーク UPnP]設定ウィンドウ



2. **UPnP**ページでは、下記の設定を構成できます：

PAT：PAT を有効または無効にする場合にクリックします。

UPnP VAV Reporting[UPnP VAV 報告]：UPnP VAV 報告を有効にする場合にクリックします。この機能を有効にすると、パスワードの入力が求められます。

Status[ステータス]：UPnP 接続の状態を表示します。

LAN IP：TCP/IP ページから NVR の IP アドレスを入力します。

WAN IP：ルータの IP アドレスを入力します。

3. 必要に応じて、マッピング関係は**Port Mapping List[ポートマッピングリスト]**から編集することができます。編集したいマッピング関係をダブルクリックしてから、**Port Info[ポート情報]**ダイアログボックスで、**Service Name[サービス名]**、**Protocol[プロトコル]**、**Internal Port[内部ポート]**、および/または**External Port[外部ポート]**の詳細を編集して、**OK**をクリックします。ポート1～255と256～1023は使用しないでください。
4. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。
5. 設定を保存して**SETTING[設定]**メニューを終了したい場合には、**OK**をクリックします。

適正同期時間設定を構成します。

注 この機能は以下の機種のみ有効です。
HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/HEN323*4/HEN321*4/HEN642*4/HEN643*4。

1. **Main Menu [メインメニュー] → Setting [設定] → NETWORK [ネットワーク] → Sync Time Right [適正同期時間]**に移動します。下記のウィンドウが表示されます。

図 7-10 適正同期時間設定ウィンドウ



2. Sync Time Right [適正同期時間]を有効にするには、**Enable[有効化]**ボックスにチェックを入れます。
3. **Enable[有効化]**チェックボックスの横の**Trusted Sites[トラステッドサイト]**をクリックします。

4. **Add[追加]**をクリックします。
5. 単一のIPアドレスを追加するには、ドロップダウンリストから**IP Address[IPアドレス]**を選択し、同期したいサイトのIPアドレスを入力して**OK**をクリックします。

IPアドレスの範囲を追加するには、ドロップダウンリストから**IP Segment[IPセグメント]**を選択し、開始アドレスを上の方のIPアドレスフィールドに入力し、終了アドレスを下の方のフィールドに入力して、**OK**をクリックします。IPv4とIPv6の両方のアドレスがサポートされています。

特定のシステムを追加するには、ドロップダウンリストから**MAC Address[MACアドレス]**を選択し、同期したいシステムのMACアドレスを入力して、**OK**をクリックします。

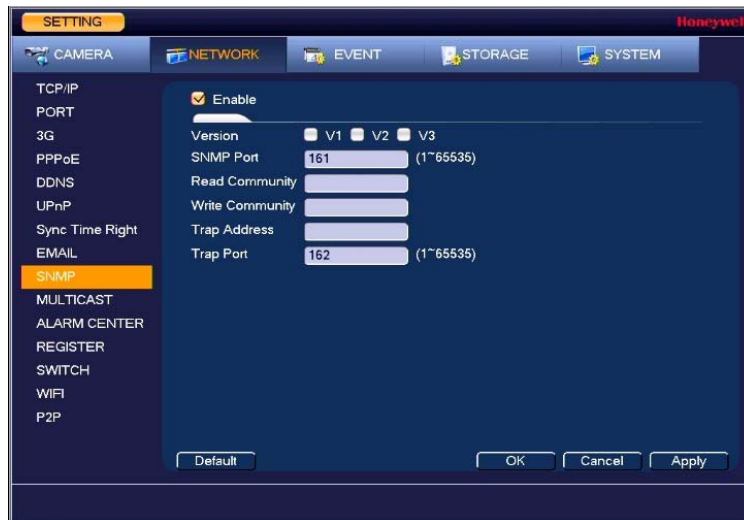
6. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。
7. 設定を保存して**SETTING[設定]**メニューを終了する場合は、**OK**をクリックします。

SNMP 設定の構成

簡易ネットワーク管理プロトコル（SNMP）を使用すると、NVRからの情報を遠隔受信することができます。SNMP経由でNVRから情報を受信するには、PCにSNMPソフトウェアをインストールする必要があります。

1. **Main Menu [メインメニュー] → Setting [設定] → NETWORK [ネットワーク] → SNMP**に移動します。下記のウィンドウが表示されます:

図 7-11 Network SNMP[ネットワーク SNMP]設定ウィンドウ



2. SNMPを有効にするには、**SNMP**ページで**Enable[有効化]** ボックスにチェックを入れます。
3. 以下の設定を行います：

Version[バージョン]：使用する SNMP バージョンのボックスにチェックを入れます。

SNMP Port[SNMP ポート]：デフォルト設定は **161** です。

Read Community[読み取りコミュニティ]：デフォルト設定は **public[パブリック]**です。

Write Community[書き込みコミュニティ]：デフォルト設定は **private[プライベート]**です。

Trap Access[トラップアクセス]：SNMP ソフトウェアを実行しているコンピュータの IP アドレスを入力します。

Trap Port[トラップポート]：デフォルト設定は **162** です。

4. SNMPバージョン**V3**が選択されている場合は、次の設定も可能です：

ReadOnly User[読み取り専用ユーザー]：デフォルト設定は **public[パブリック]**です。

Read/Write User[読み取り/書き込みユーザー]：デフォルト設定は **private[プライベート]**です。

Authorize Type[認証タイプ]：認証タイプを選択 **MD5** または **SHA** を

読み取り専用と読み取り/書き込みユーザーに対してデフォルト設定は **MD5** です。

Password[パスワード]：専用ユーザーおよび読み取り/書き込みユーザーの認証パスワードを入力します。

Encryption Type[暗号化の種類]：専用ユーザーおよび読み取り/書き込みユーザーの暗号化の種類を入力します。デフォルト設定は **CBC-DES** で、現在、唯一の暗号化オプションです。

Password[パスワード]：専用ユーザーおよび読み取り/書き込みユーザーの暗号化パスワードを入力します。

5. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。

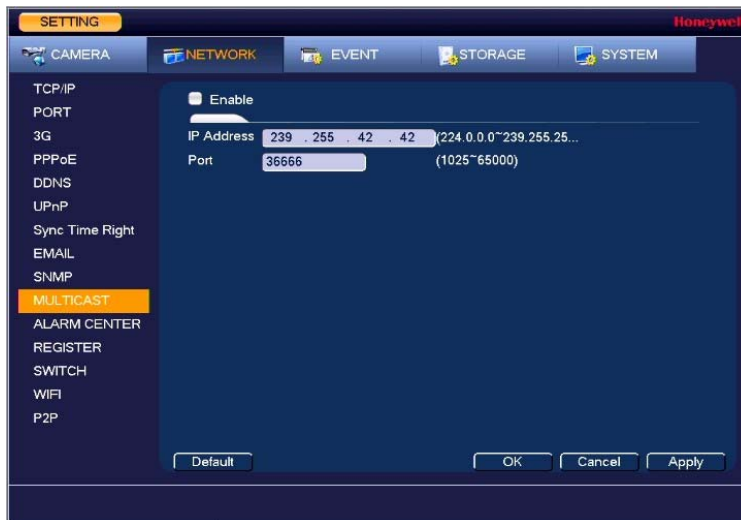
6. 設定を保存して**SETTING[設定]**メニューを終了したい場合には、**OK**をクリックします。

マルチキャスト設定の構成

マルチキャストにより、ネットワーク上の複数の遠隔地にある NVR からのライブビデオの同時リアルタイムモニタリングが可能になります。

1. **Main Menu [メインメニュー] → Setting [設定] → NETWORK [ネットワーク] → Multicast [マルチキャスト]**に移動します。下記のウィンドウが表示されます：

図 7-12 Network Multicast[ネットワークマルチキャスト]設定ウィンドウ



2. マルチキャストを有効にするには、Multicast[マルチキャスト]ページでEnable[有効化] ボックスにチェックを入れます。
3. IP Address[IPアドレス]ボックスに、マルチキャストIPアドレスを入力します。アドレスはマルチキャストで有効で、IPv4の場合は224.0.0.0~239.255.255.255の範囲内にあるか、または頭にff00::/8がつくアドレスである必要があります。239.252.0.0~239.255.255.255範囲内のアドレスが推奨されます。
4. Port[ポート]ボックスで、使用するマルチキャストポート番号を入力するかデフォルト設定 (36666)を使用します。
5. Apply[適用]をクリックして設定を保存します。
6. 設定を保存してSETTING[設定]メニューを終了したい場合には、OKをクリックします。

登録設定の構成

自動登録を使用すると、指定したプロキシにデバイスが自動的に登録されます。これにより、クライアント側はプロキシ経由でNVRにアクセスすることができます。プロキシにはスイッチ機能があります。ネットワークサービスでは、デバイスはIPv4のサーバーアドレスをサポートします。

1. Main Menu[メインメニュー]→Setting[設定]→Network[ネットワーク]→Register[登録]に移動します。
2. プロキシホストのIPアドレスとポート、およびサブデバイスIDをデバイス側で設定します。

注 プロキシサーバーは、サブデバイスIDのシリアル番号を作成します。

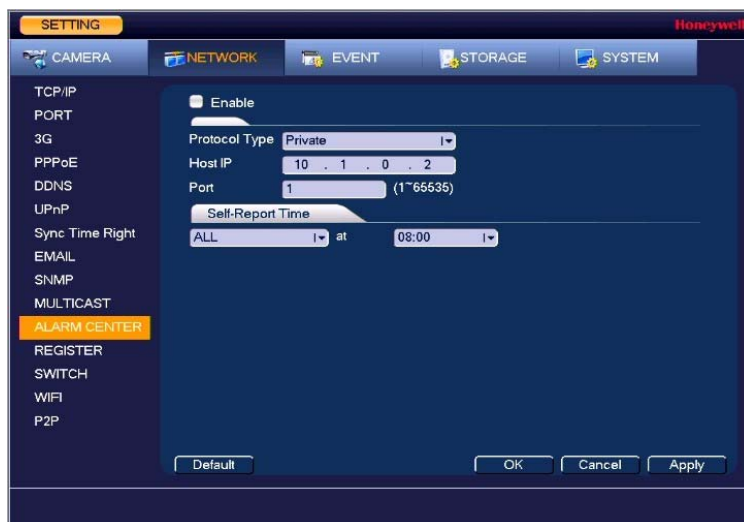
3. NVRの自動登録機能を有効にします。

これで、NVRは自動的にプロキシサーバーに登録できるようになります。

アラームセンター設定の構成

1. Main Menu [メインメニュー] → Setting [設定] → NETWORK [ネットワーク] → Alarm Center [アラームセンター] に移動します。下記のウィンドウが表示されます:

図 7-13 Network Alarm Center [ネットワークアラームセンター] 設定ウィンドウ



2. アラームセンター機能を有効にするには、Alarm Center [アラームセンター] ページで Enable [有効化] ボックスにチェックを入れます。
3. 以下の設定を行います：
 - Protocol Type [プロトコルタイプ]** : Private [プライベート] を選択します。
 - Host IP [ホスト IP]** : アラームプラットフォームのホストアドレスを入力します。
 - ポート** : アラームプラットフォームのポートを入力します。
4. **Self-report Time [セルフレポート時刻]** を設定します (毎日または特定の曜日の特定の時刻、またはなし)。
5. **Apply [適用]** をクリックして設定を保存します。
6. 設定を保存して SETTING [設定] メニューを終了したい場合には、**OK** をクリックします。

スイッチ設定の構成

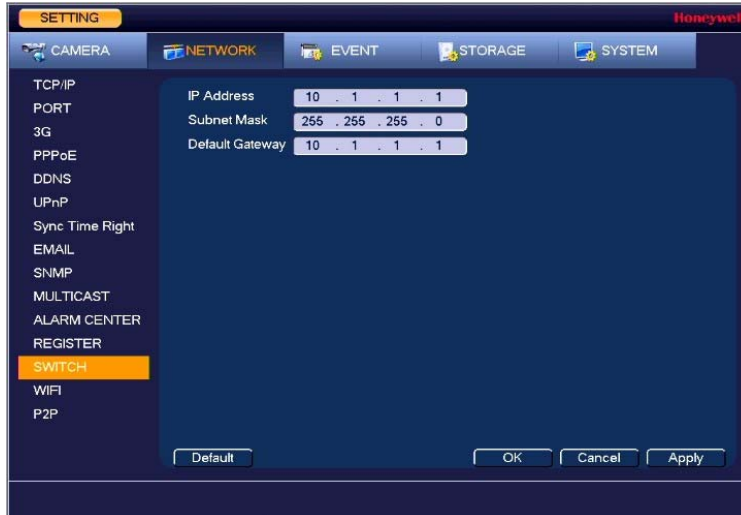
注

この機能は下記の機種のみ有効です。
HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/HEN323*4/HEN321*4/HE
N642*4/HEN643*4/HEN041*3/HEN081*3/HEN161*3。

PoE スイッチの設定を変更するには、IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイを変更します。

1. Main Menu [メインメニュー] → Setting [設定] → NETWORK [ネットワーク] → Switch [スイッチ]に移動します。下記のウィンドウが表示されます:

図 7-14 Network Switch[ネットワークスイッチ]設定ウィンドウ



2. 以下の設定を行います:

IP Address[IP アドレス]: 新しい IP アドレスを入力します。

Subnet Mask[サブネットマスク]: 新しいサブネットマスクを入力します。

Default Gateway[デフォルトゲートウェイ]: 新しいデフォルトゲートウェイを入力します。

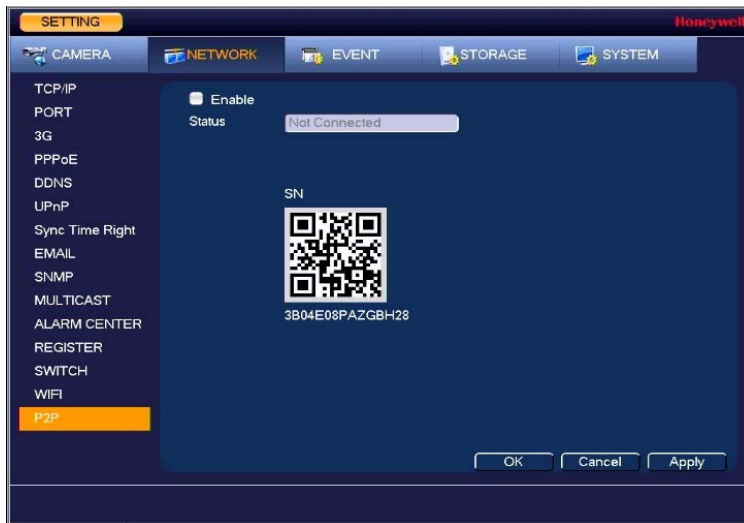
3. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。
4. 設定を保存して**SETTING[設定]**メニューを終了する場合は、**OK**をクリックします。

P2P 設定の構成

P2P 画面使用の HonView Touch アプリでモバイルデバイスを使用してユニットに簡単に接続できます。このオプションを使用するには、HonView Touch アプリをダウンロードし、インストールし、アカウントを登録/作成しておく必要があります。アプリをセットアップすると、デバイスの追加を選択し、カメラを使用して P2P 画面の QR コードを閲覧します。デバイスの情報と接続は自動的に HonView Touch アプリにダウンロードされ、モバイルデバイスを使用して NVR に接続できます。

1. Main Menu [メインメニュー] → Setting [設定] → NETWORK [ネットワーク] → P2Pに移動します。下記のウィンドウが表示されます:

図 7-15 Network P2P[ネットワーク P2P]設定ウィンドウ



2. **Enable[有効化]** ボックスにチェックを入れます。
3. HonView Touchアプリケーションを実行しているモバイルデバイスを使用して、デバイスの追加を選択します。
4. モバイルデバイスのカメラを使用して、P2P画面でQRコードを表示します。
5. HonView Touchアプリケーションは自動的にNVR情報をダウンロードし、接続を確立します。

8 イベント設定の構成

この章は以下の項で構成されています：

- [動体検知設定の構成](#)ページ 86.
- [映像ロス設定の構成](#)ページ 91.
- [ビデオタンパリング設定の構成](#)ページ 92.
- [シーン変更設定を構成する](#)ページ 93.
- [システム異常イベント設定の構成](#)ページ 94.
- [アラーム入力設定の構成](#)ページ 97.
- [ヒートマップの構成](#)ページ 103.
- [顔検出設定の構成](#)ページ 104.
- [オーディオ検出設定の構成](#)ページ 106.
- [アラーム出力の構成](#)ページ 108.
- [POS 設定の構成](#)ページ 109.

動体検知設定の構成

動体検知領域を設定するには以下を実行します。

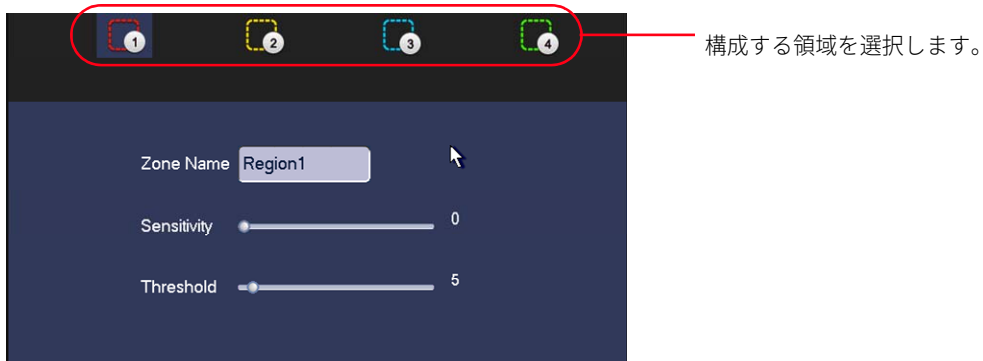
1. Main Menu[メインメニュー]→ SETTING[設定]→ EVENT[イベント]→ VIDEO DETECTION[動画の検出] → Motion Detection[動体検知]に移動します。

図 8-1 Motion Detection Settings[動体検知設定]タブ



2. Motion Detection[動体検知]タブのChannel[チャンネル]ボックスで、動体検知を設定するチャンネル（カメラ）を選択します。
3. Enable[有効化]ボックスにチェックを入れて選択されたチャンネルの動体検知を有効にします。
4. Region[領域]の横にあるSet[設定]をクリックして動体検知の領域を定義します。ライブビュー画面にグリッドが表示され、動体検知領域ダイアログボックスが表示されます。

図 8-2 動体検知 - 領域構成ウィンドウ



5. 構成する領域のSensitivity[感度]レベル(0-100)とThreshold[閾値]レベル(0-100)を設定します。ダイアログの上部にあるアイコンを使用して、領域1~4から選択します。

感度とは、フレーム間の画像ピクセルの変化量（パーセンテージ）を指します。Sensitivity[感度]スライダーを左に移動すると、動体検知の感度が低下し、動体検知イベントをトリガーするためにはより多くの動きが必要になります。

Threshold[閾値]は、イベント通知をトリガーするのに必要な動きの大きさです。

注

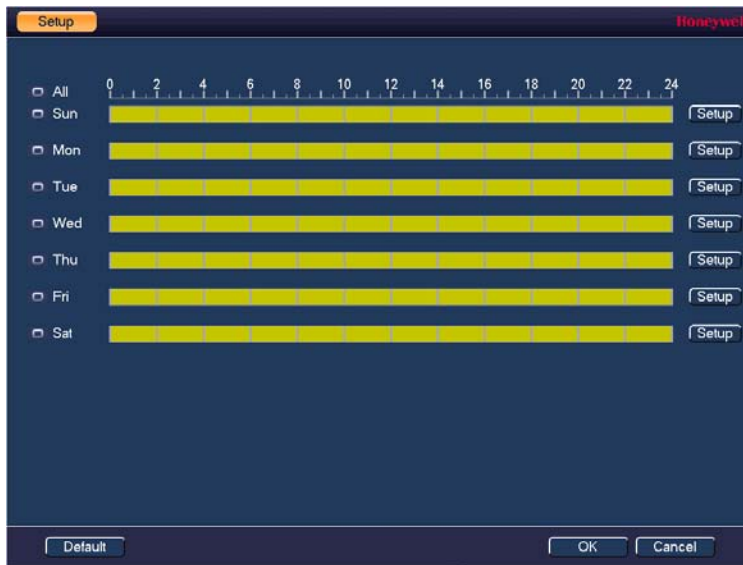
動体検知を設定する最も良い方法は、誰かがカメラの前を歩いている間に、感度と閾値の設定を試すことです。

6. デフォルトによる動体検知**Region1[領域1]**は画面全体をカバーします。
 - 画像の一部で動体検知を無効にするには、除外したい画像の領域にマウスをドラッグします。赤い枠で囲まれていない領域は動体検知の対象とはなりません。
 - 画像の一部の閾値レベルを変更するには、別の動体検知領域（**Region2[領域2]**、**Region3[領域3]**または**Region4[領域4]**）を選択し、その領域の**Threshold[閾値]**レベルを設定してマウスをドラッグして領域を定義します。
 - 各領域は異なる色で表されます。赤=領域1、黄色=領域2、青=領域3、緑=領域4です。グリッドの色が鮮明でない場合、その領域に対しての動体検知は設定されません。動体検知エリアをテストして、風や背景での動きなどによって、動体検知が必要でないときにトリガーされないようにします。
 - 領域名を変えるには、**Zone Name[ゾーン名]**フィールドに新しい名前を入力します。
7. 右クリックすると、**SETTING[設定]**メニューに戻ります。
8. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。
9. 設定を保存して**SETTING[設定]**メニューを終了したい場合には、**OK**をクリックします。

動体検知期間を設定するには以下を実行します。

1. **Period[期間]**の横にある**Motion Detection[動体検知]**タブで、**Setup[設定]**をクリックします。**Setup[設定]** ウィンドウが開きます。

図 8-3 動体検知スケジュール構成ウィンドウ



2. デフォルトでは、動体検知は、有効になっているときは常にアクティブになっています。毎日のタイムラインで、選択したチャンネルの動体検知が有効な期間を変更するには、動体検知を無効にしたい時に、30分のブロックをクリックします。
3. または、構成したい曜日で**Setup[設定]**をクリックします。**Period[期間]**ウィンドウが開きます。

図 8-4 動体検知期間構成ウィンドウ



選択したチャンネルの動体検知設定をアクティブにしたい日に最大6つの期間を設定します。

- a. 設定された各期間の横にあるボックスにチェックを入れて有効にします。
- b. さらに別の日に設定を複製するには、Copy[複製]の下にある適切なボックスにチェックを入れます。
- c. **OK**をクリックして前のウィンドウに戻ります。

4. 動体検知期間の設定が終了したら、OKをクリックします。

動体検知イベントアクションを設定するには以下を実行します。

1. Main Menu[メインメニュー] → SETTING[設定] → EVENT[イベント] → VIDEO DETECTION[動画の検出] → Motion Detection[動体検知]に移動します。

図 8-5 Motion Detection[動体検知]構成タブ



2. このMotion Detection[動体検知]タブで、動体検知イベントが発生したときにシステムが開始するアラームアクションを選択します。

Anti-dither[アンチディザ]：アンチディザ時間を設定します。設定値は、5～600秒の範囲です。アンチディザ時間はアラーム信号継続時間を意味します。アラーム信号動作は、ブザー、ツアー、PTZ動作、スナップショット、チャンネルレコード同様に留まると見做すことができます。

アラーム出力：動体が検出されたときにアクティブにするアラーム出力（1または2）を選択します。**Latch[ラッチ]**ボックスで、動体検知イベントがトリガーされた後にアラーム出力信号を遅延させる時間（0～300秒）を指定します。

Show Message[メッセージを表示]：ローカル PC でポップアップメッセージを有効にするには、このボックスにチェックを入れます。

Alarm Upload[アラームアップロード]：ボックスにチェックを入れると、アラーム信号をネットワーク（アラームセンターや Web クライアントを含む）にアップロードできます。

Send Email[電子メール送信]：電子メール通知を送信するには、ボックスにチェックを入れます。**スナップショット**機能が有効な場合は、画像を電子メールに添付することができます。電子メール設定はこのオプション（[Configuring Email Settings \[電子メール設定を構成する\] ページ 77](#) を参照）を使用するよう構成する必要があります。

Record Channel[録画チャンネル]：動体が検出されたときに録画するチャンネルを選択します。**Delay[遅延]**ボックスで、動体検知イベントがトリガーされた後に録画を遅延させる時間（10～300秒）を指定します。

注

また、動体検知の記録期間を設定することも必要です。現在のチャンネルの動体検知録画を設定するには、Storage[ストレージ] > Schedule[スケジュール] > Rec[録画]に移動します。41ページの[動画録画スケジュールの構成](#)を参照してください。

PTZ Activation[PTZ 有効化]：ボックスにチェックを入れて PTZ 機能を有効にし、**Set[設定]**をクリックします。**PTZ Activation[PTZ 有効化]**ウィンドウで、各 PTZ カメラについて、動体検知イベントが発生したときに呼び出すプリセット、ツアー、またはパターンを選択し、**OK** をクリックします。

Tour[ツアー]：選択されたチャンネルのツアーを始めるにはボックスにチェックを入れます。

スナップショット：選択されたチャンネルのスナップショットを撮るにはボックスにチェックを入れます。

Log[ログ]：ボックスにチェックを入れて動体検知を有効にします。

Voice Prompts[音声プロンプト]：動体が検出されたときに音声プロンプトファイルの再生を有効にするには、このボックスにチェックを入れます。動体が検出されたときに再生するオーディオファイルを選択するには、**File Name[ファイル名]**ドロップダウンの矢印を使用します。

Buzzer[ブザー]：NVR のブザーをアクティブにするにはボックスにチェックを入れます。

3. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。
4. 動体検知設定をさらに別のチャンネルに複製するには、**Copy[複製]**をクリックし、設定を複製するチャンネルをクリックし、**OK**をクリックします。

映像ロス設定の構成

1. **Main Menu[メインメニュー]** → **SETTING[設定]** → **EVENT[イベント]** → **VIDEO DETECTION[動画の検出]** → **Video Loss[映像ロス]**に移動します。

図 8-6 Video Loss[映像ロス]構成タブ



2. Video Loss[映像ロス]タブの、Channel[チャンネル]ボックスで、映像ロス検出を設定したいチャンネル（カメラ）を選択します。
3. Enable[有効化]チェックボックスを選択して、選択したチャンネルの映像ロス検出を有効にします。
4. 映像ロス検出が有効になっている期間を設定するには、Period[期間]の横にあるSet[設定]をクリックし、そしてつぎに88ページのTo set up motion detection periods[動体検知期間の設定]に記載されている手順を実行します。
5. 映像ロスイベントが発生したときにシステムが開始するアクションを設定するには、90ページのTo set up motion detection event actions[動体検知イベントアクション]に記載されている手順を実行します。
6. Apply[適用]をクリックして設定を保存します。
7. さらに別のチャンネルに設定をコピーするには、Copy[コピー]をクリックし、設定をコピーしたいチャンネルを選択して、OKをクリックします。

ビデオタンパリング設定の構成

1. Main Menu[メインメニュー] → SETTING[設定] → EVENT[イベント] → VIDEO DETECTION[動画の検出] → Tampering [タンパリング]に移動します。

図 8-7 Video Tampering[ビデオタンパリング]構成タブ



2. **Tampering[タンパリング]**タブの**Channel[チャンネル]**ボックスで、ビデオタンパリング検出を設定したいチャンネル（カメラ）を選択します。
3. **Enable[有効化]**ボックスにチェックを入れて選択されたチャンネルのビデオタンパリング検出を有効にします。
4. ビデオタンパリング検出が有効になっている期間を設定するには、**Period[期間]**の横にある**Set[設定]**をクリックし、[88ページのTo set up motion detection periods\[動体検知期間の設定\]](#)に記載されている手順を実行します。
5. ビデオタンパリング**イベント**が発生したときにシステムが開始するアクションを設定するには、[90ページのTo set up motion detection event actions\[動体検知イベントアクション\]](#)に記載されている手順を実行します。
6. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。
7. さらに別のチャンネルに設定を**コピー**するには、**Copy[コピー]**をクリックし、設定をコピーしたいチャンネルを選択して、**OK**をクリックします。

シーン変更設定を構成する

1. Main Menu[メインメニュー] → SETTING[設定] → EVENT[イベント] → VIDEO DETECTION[動画の検出] → Scene Change[シーン変更]に移動します。

図 8-8 シーン変更構成タブ



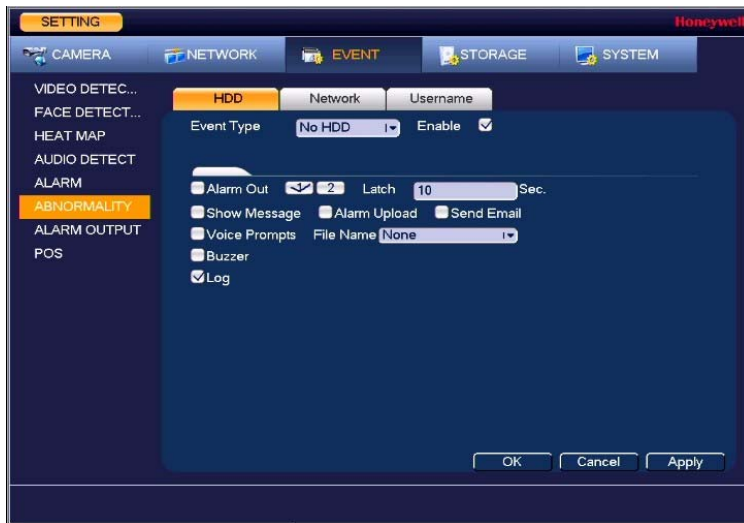
2. Video Loss[映像ロス]タブのChannel[チャンネル]ボックスで、映像ロス検出を設定したいチャンネル（カメラ）を選択します。
3. Enable[有効化]ボックスにチェックを入れて選択されたチャンネルのシーン変更検出を有効にします。
4. ビデオタンパリング検出が有効になっている期間を設定するには、Period[期間]の横にあるSet[設定]をクリックし、88ページの動体検知期間を設定するには以下を実行します。に記載されている手順を実行します。
5. ビデオタンパリングイベントが発生したときにシステムが開始するアクションを設定するには、90ページの動体検知イベントアクションを設定するには以下を実行します。に記載されている手順を実行します。
6. Apply[適用]をクリックして設定を保存します。
7. さらに別のチャンネルに設定をコピーするには、Copy[コピー]をクリックし、設定をコピーしたいチャンネルを選択して、OKをクリックします。

システム異常イベント設定の構成

HDDイベント設定の構成

1. Main Menu[メインメニュー] → SETTING[設定] → EVENT[イベント] → ABNORMALITY[異常] → HDDに移動します。

図 8-9HDD Abnormality[HDD 異常]構成タブ



2. HDDタブのEvent Type[イベントの種類]ボックスで、設定を構成するイベントの種類を選択します。選択肢はNo HDD[HDDなし]、HDD Error[HDDエラー]、またはHDD No Space[HDDに空き容量なし]です。No Space[空き容量なし]イベントを選択した場合は、Less Than[未滿]フィールドでイベントをトリガーするためのHDD空き容量の最大値を指定できます。
3. Enable[有効化]ボックスにチェックを入れて、選択されたイベントの種類のHDDイベント検出を有効にします。
4. 選択したイベントが発生したときにシステムによって開始したいアクションを選択します。

アラーム出力：アクティブにしたいアラーム出力（1または2）を選択します。**Latch[ラッチ]**ボックスで、HDD イベントがトリガーされた後にアラーム出力信号を遅延させる時間（0～300秒）を指定します。

Show Message[メッセージを表示]：ローカルPCでポップアップメッセージを有効にするには、このボックスにチェックを入れます。

Alarm Upload[アラームアップロード]：ボックスにチェックを入れると、アラーム信号をネットワーク（アラームセンターやWebクライアントを含む）にアップロードできます。

Send Email[電子メール送信]：電子メール通知を送信するには、ボックスにチェックを入れます。電子メール設定をセットアップするため、[ページ77の電子メール設定の構成](#)を参照してください。

Voice Prompts[音声プロンプト]：HDD イベントが発生したときに音声プロンプトファイルの再生を有効にするには、このボックスにチェックを入れます。HDD イベントのために再生するオーディオファイルを選択するには、**File Name[ファイル名]**ドロップダウンの矢印を使用します。

Buzzer[ブザー]：NVRのブザーをアクティブにするにはボックスにチェックを入れます。

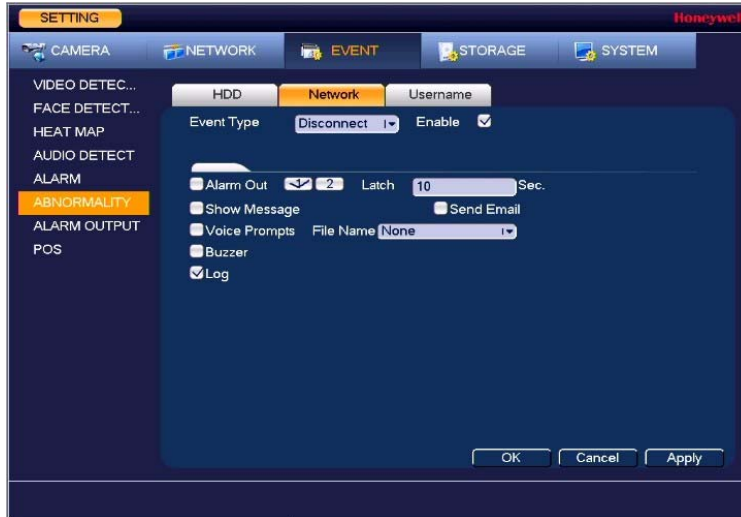
Log[ログ]：HDD イベントのログを有効化するには、ボックスにチェックを入れます。

5. Apply[適用]をクリックして設定を保存します。

ネットワークイベント設定の構成

1. Main Menu[メインメニュー]→ SETTING[設定]→ EVENT[イベント]→ ABNORMALITY[異常] → Network[ネットワーク]に移動します。

図 8-10 Network Abnormality[ネットワーク異常]構成タブ



2. Network[ネットワーク] タブのEvent Type[イベントの種類]ボックスで、設定を構成するイベントの種類を選択します：イベントの種類はDisconnect[切断]、IP Conflict[IP競合]、MAC Conflict[MAC競合]です。
3. Enable[有効化]ボックスにチェックを入れて選択されたイベントの種類ネットワークエラー検出を有効にします。
4. 選択したイベントが発生したときにシステムによって開始したいアクションを選択します。

アラーム出力: 選択したアラーム出力 (1 または 2) をアクティブにするにはボックスにチェックを入れます。Latch[ラッチ]ボックスで、ネットワークイベントがトリガーされた後にアラーム出力信号を遅延させる時間 (0~300 秒) を指定します。

Show Message[メッセージを表示]: ローカル PC でポップアップメッセージを有効にするには、このボックスにチェックを入れます。

Send Email[電子メール送信]: 電子メール通知を送信するには、ボックスにチェックを入れます。電子メール設定をセットアップするため、[ページ77 の電子メール設定の構成](#)を参照してください。

Voice Prompts[音声プロンプト]: ネットワークイベントが発生したときに音声プロンプトファイルの再生を有効にするには、このボックスにチェックを入れます。ネットワークイベントのために再生するオーディオファイルを選択するには、File Name[ファイル名]ドロップダウンの矢印を使用します。

Buzzer[ブザー]: NVR のブザーをアクティブにするにはボックスにチェックを入れます。

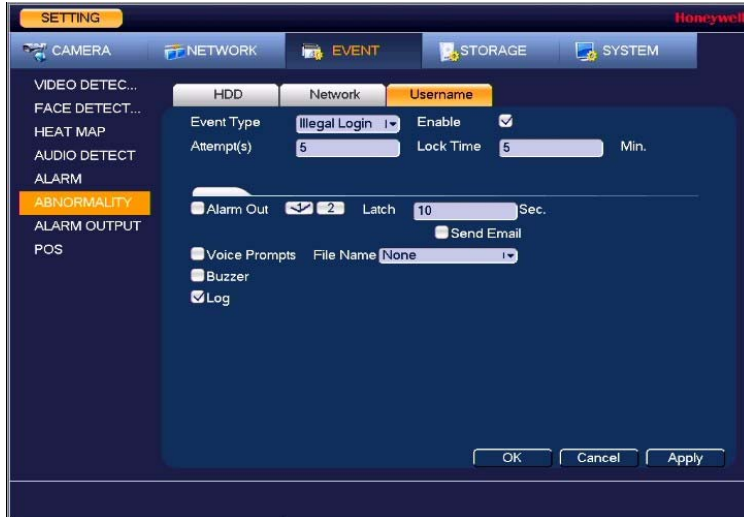
Log[ログ]: ネットワークイベントのログを有効化するには、ボックスにチェックを入れます。

5. Apply[適用]をクリックして設定を保存します。

ユーザー名設定の構成

1. Main Menu[メインメニュー]→ SETTING[設定]→EVENT[イベント]→ ABNORMALITY[異常] →Username[ユーザー名]に移動します。

図 8-11 ユーザー名異常構成タブ



2. Username[ユーザー名]タブのEvent Type[イベントの種類]ボックスで、設定を構成するイベントの種類を選択します。
3. Enable[有効化]ボックスにチェックを入れて選択されたイベントの種類のユーザー名エラー検出を有効にします。
4. 選択したイベントが発生したときにシステムによって開始したいアクションを選択します。

アラーム出力: 選択したアラーム出力 (1 または 2) をアクティブにするにはボックスにチェックを入れます。**Latch[ラッチ]**ボックスで、ネットワークイベントがトリガーされた後にアラーム出力信号を遅延させる時間 (0~300 秒) を指定します。

Send Email[電子メール送信]: 電子メール通知を送信するには、ボックスにチェックを入れます。電子メール設定を設定するため、[ページ77 の電子メール設定の構成](#)を参照します。

Voice Prompts[音声プロンプト]: ネットワークイベントが発生したときに音声プロンプトファイルの再生を有効にするには、このボックスにチェックを入れます。ネットワークイベントのために再生するオーディオファイルを選択するには、**File Name[ファイル名]**ドロップダウンの矢印を使用します。

Buzzer[ブザー]: NVR のブザーをアクティブにするにはボックスにチェックを入れます。

Log[ログ]: ネットワークイベントのログを有効化するには、ボックスにチェックを入れます。

5. Apply[適用]をクリックして設定を保存します。

アラーム入力設定の構成

IPC外部アラームの構成

IPC 外部アラームを設定するには下記を実行します。

1. Main Menu [メインメニュー] → SETTING[設定] → EVENT[イベント] → ALARM[アラーム] → IPC Ext[IPC外部] に移動します。

図 8-12 IPC External Alarm[IPC 外部アラーム]構成タブ

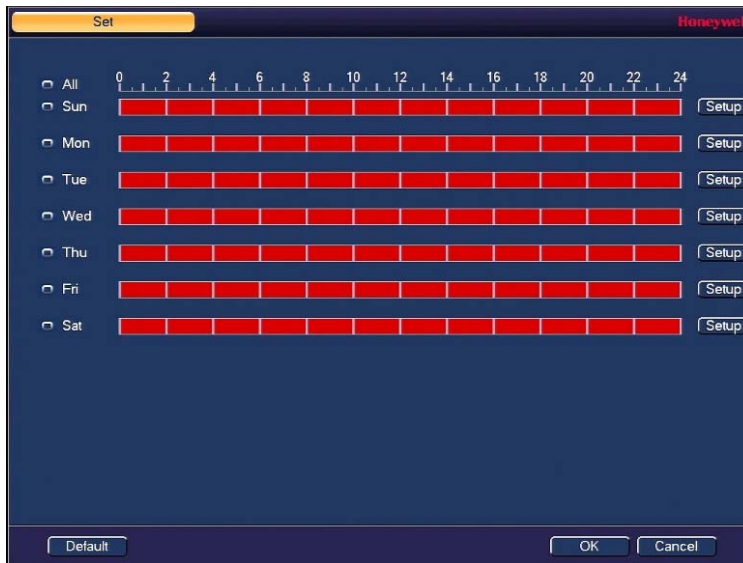


2. IPC Ext[IPC外部]タブで、外部アラーム設定を構成するチャンネルをドロップダウンメニューから選択します。
3. Enable[有効化]ボックスにチェックを入れて選択されたアラーム入力のアラーム検出を有効にします。
4. Type[種類]ボックスでアラーム入力の種類を選択します。選択肢はNC（ノーマルクローズ）とNO（ノーマルオープン）です。
5. Alarm Name[アラーム名]フィールドでアラームの名前を入力します。

アラーム入力検出期間を設定するには以下を実行します。

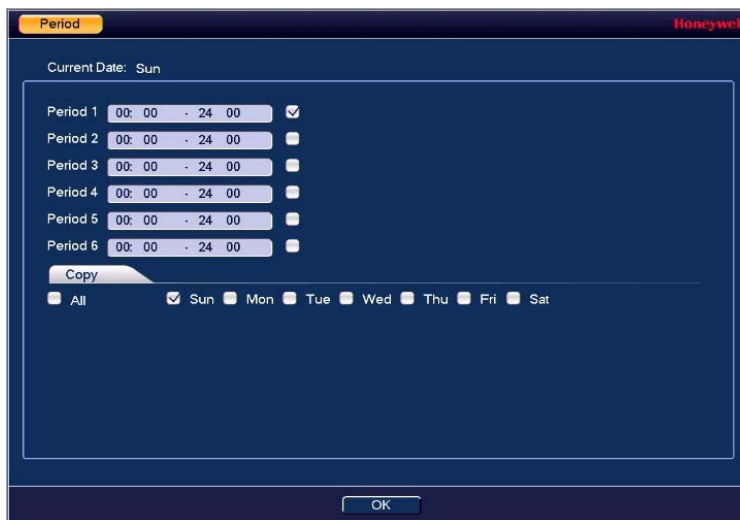
1. Period[期間]の横のAlarm[アラーム] タブ上でSet[設定]をクリックします。Set[設定]ウィンドウが開きます。

図 8-13 アラーム期間設定



2. デフォルトでは、アラーム検出が有効になっているときは常にアクティブになっています。毎日のタイムラインで、選択したチャンネルのアラーム検出が有効な期間を変更するには、アラーム検出を無効にしたい時に、30分のブロックをクリックします。
3. または、構成したい曜日で**Setup[設定]**をクリックします。**Period[期間]**ウィンドウが開きます。

図 8-14 Period Window[期間ウィンドウ]



- a. 選択したアラーム入力のアラーム検出をアクティブする予定の、一日につき最大6つの期間を設定します。
- b. 設定された各期間の横にあるボックスにチェックを入れて有効にします。
- c. さらに別の日に設定を複製するには、Copy[コピー]の下にある適切なボックスにチェックを入れます。
- d. **OK**をクリックして前のウィンドウに戻ります。

4. アラーム検出期間の設定が終了したら、**OK**をクリックします。

アラーム入力イベントアクションを設定するには以下を実行します。

1. **Alarm[アラーム]**タブで、選択したアラーム入力トリガーが発生したときにシステムが開始したいアクションを選択します。

アラーム出力: 選択したアラーム出力 (1 または 2) をアクティブにするにはボックスにチェックを入れます。**Latch[ラッチ]**ボックスで、アラームイベントがトリガーされた後にアラーム出力信号を遅延させる時間 (0~300 秒) を指定します。

Show Message[メッセージを表示]: ローカル PC でポップアップメッセージを有効にするには、このボックスにチェックを入れます。

Alarm Upload[アラームアップロード]: ボックスにチェックを入れると、アラーム信号をネットワーク (アラームセンターや Web クライアントを含む) にアップロードできます。

Send Email[電子メール送信]: 電子メール通知を送信するには、ボックスにチェックを入れます。**スナップショット**機能が有効な場合は、画像を電子メールに添付することができます。電子メールを設定するため、[ページ77 の電子メール設定の構成](#)を参照します。

Record Channel[録画チャンネル]: アラームがトリガーされたときに録画したいチャンネルを選択します。**Delay[遅延]**ボックスで、アラームイベントがトリガーされた後に録画を遅延させる時間 (10~300 秒) を指定します。

注

また、アラーム録画期間を設定することも必要です。現在のチャンネルのアラーム録画スケジュールを設定するには、**Storage[ストレージ]→Schedule[スケジュール]**に移動します。ページ41の[動画録画スケジュールの構成](#)を参照してください。

PTZ Activation[PTZ 有効化]: ボックスにチェックを入れて PTZ 機能を有効にし、**Set[設定]**をクリックします。**PTZ Activation[PTZ 有効化]**ウィンドウで、各 PTZ カメラについて、アラームイベントが発生したときに呼び出すプリセット、ツアー、またはパターンを選択し、**OK**をクリックします。

Tour[ツアー]: 選択されたチャンネルのツアーを始めるにはボックスにチェックを入れます。

スナップショット: 選択されたチャンネルのスナップショットを撮るにはボックスにチェックを入れます。

Log[ログ]: アラーム入力イベントのログを有効化するには、ボックスにチェックを入れます。

Voice Prompts[音声プロンプト]: アラーム入力イベントがトリガーされたときに音声プロンプトファイルの再生を有効にするには、このボックスにチェックを入れます。アラームイベントのために再生するオーディオファイルを選択するには、**File Name[ファイル名]**ドロップダウンの矢印を使用します。

Buzzer[ブザー]: NVR のブザーをアクティブにするにはボックスにチェックを入れます。

2. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。

3. アラームイベント設定をさらに別のチャンネルにコピーするには、**Copy[コピー]**をクリックし、設定をコピーするチャンネルをクリックし、**OK**をクリックします。

IPCオフラインアラームイベントの構成

Main Menu[メインメニュー]→ SETTING[設定] → EVENT[イベント]→ ALARM[アラーム] →IPC Offline[IPC オフライン]に移動します。

図 8-15IPC Offline Alarm[IPC オフラインアラーム]構成タブ



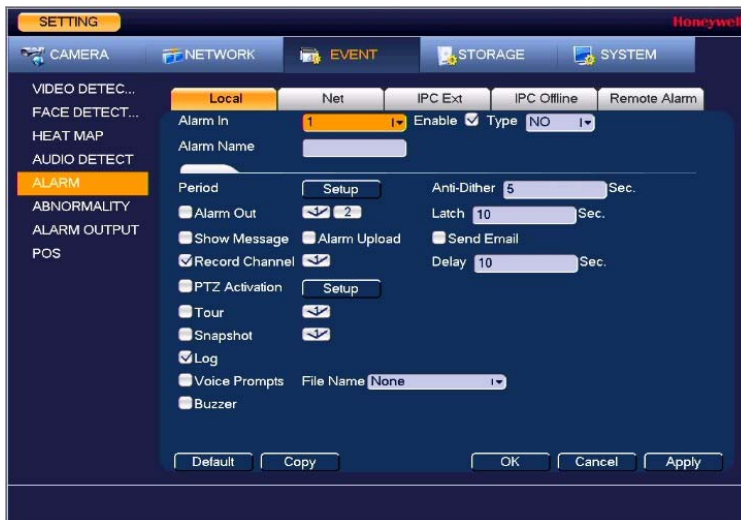
IP カメラ信号がない場合のアラームを設定するには、カメラ信号がオフラインになった場合にチャンネル (カメラ) を選択してアラームを設定し、ページ 100 の IPC External Alarm inputs event actions[IPC 外部アラーム入力イベントアクション]を設定するのと同じ手順に従います。

ローカルアラーム入力の構成

ローカルアラームとは、NVR に接続されたローカルデバイスからのアラーム信号です。

Main Menu[メインメニュー]→ SETTING[設定]→ EVENT[イベント]→ ALARM[アラーム]→ Local[ローカル]に移動します。

図 8-16 Local Alarm[ローカルアラーム]構成タブ



ローカルアラーム入力を設定するには、ページ 97 の IPC 外部アラーム入力を設定するのと同じ手順に従います。

ネットワークアラーム入力の構成

ネットワークアラームとは、ネットワークからのアラーム信号です。

Main Menu[メインメニュー]→SETTING[設定]→EVENT[イベント]→ALARM[アラーム]→Net[ネット]に移動します。

図 8-17 Net Alarm[ネットアラーム]構成タブ



ネットワークアラームは、TCP/IP ネットワークとの接続から発信されるアラーム信号です。ネットワークアラームは NET SDK プロトコルを使用してアクティブにすることができます。

ネットワークアラーム入力アクションを設定するには、ページ 97 の IPC External Alarm inputs event actions[IPC 外部アラーム入力イベントアクション]を設定するのと同じ手順に従います。

リモートアラーム入力の構成

リモートアラームとは、NVR に接続されたリモートサイトからのアラーム信号です。

Main Menu[メインメニュー]→ SETTING[設定] → EVENT[イベント]→ ALARM[アラーム] → Remote Alarm[リモートアラーム]に移動します。

図 8-18 Remote Alarm[リモートアラーム]構成タブ



リモートアラーム入力アクションを設定するには、IPC External Alarm inputs event actions[IPC 外部アラーム入力イベントアクション]を設定するのと同じ手順に従い、100 ページのアラーム入力イベントアクションを設定するには以下を実行します。を参照してください。

ヒートマップの構成

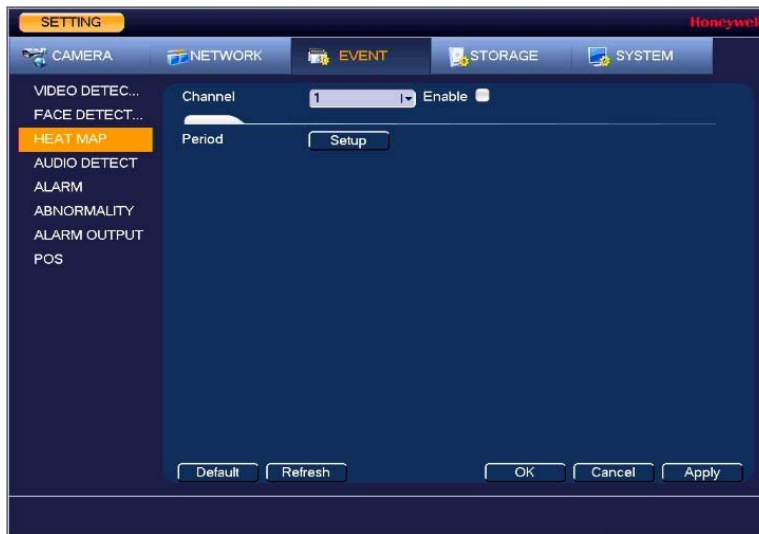
ヒートマップ機能は対象物の熱に基づいたレポートとして生成されるカメラシーン内の移動する対象物を検出します。熱は青から赤で色分けされます。青は最小熱値を表し、赤は最大熱値を表します。この情報は検索されレポートを作成することができます(ページ 152 の [ヒートマップ情報の閲覧](#)を参照)。

注

この機能は以下の機種のみ有効です。
HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/HEN323*4/HEN321*4/HEN642*4/HEN643*4。

1. Main Menu[メインメニュー]→ SETTING[設定] → EVENT[イベント]→ Heat Map[ヒートマップ] に移動します。

図 8-19 ヒートマップ構成画面



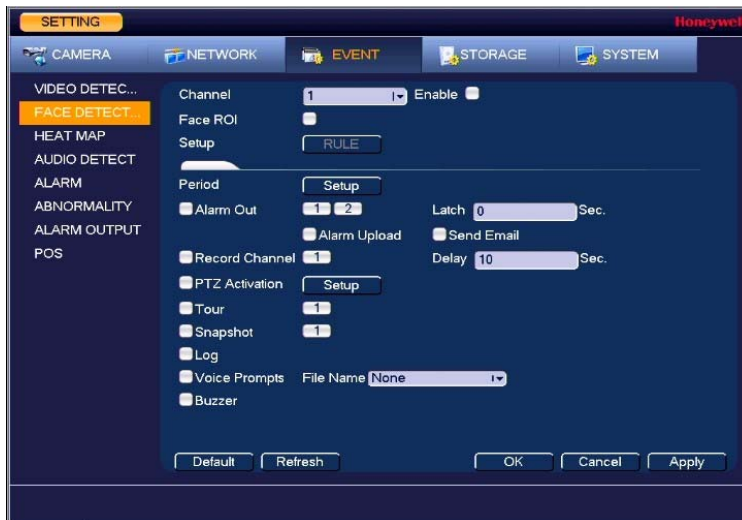
2. 顔検出を構成するChannel[チャンネル]をドロップダウンメニューから選択して、**Enable[有効化]**ボックスにチェックを入れます。
3. オーディオ検出が有効になっている期間を設定するには、**Period[期間]**の横にある**Set[設定]**をクリックし、[88ページ](#)の**動体検知期間を設定するには以下を実行します。**に記載されている手順を実行します。

顔検出設定の構成

顔検出機能は、動画を分析して、人の顔が表示されるかどうかを検出します。顔が表示された場合、処理または分析をさらに進めるために、スナップショット、録画、またはアラームのいずれかを使用して顔をキャプチャします。

1. **Main Menu[メインメニュー]→ SETTING[設定] → EVENT[イベント]→ Face Detectection[顔検出]に移動します。**

図 8-20 Face Detection[顔検出]構成画面



2. 顔検出を構成するChannel[チャンネル]をドロップダウンメニューから選択して、Enable[有効化]ボックスにチェックを入れます。
3. イベントが発生したときに検出された顔を示す対象領域を表示するには、Face ROI[フェースROI](対象領域) ボックスにチェックを入れます。
4. RULE[ルール]をクリックして動画の画像を開き、顔検出をトリガーするために必要な顔のMin Size[最小サイズ]とMax Size[最大サイズ]を設定します。マウスを使用して、動画の画像の最小および最大サイズボックスをドラッグしてサイズを変更します。
5. 顔検出が有効になっている期間を設定するには、Period[期間]の横にあるSet[設定]をクリックし、[ページ88の動体検知期間を設定するには以下を実行します。](#)に記載されている手順を実行します。
6. 顔検出イベントが発生したときにシステムによって開始されるアクションを選択します：

アラーム出力: 選択したアラーム出力 (1 または 2) をアクティブにするにはボックスにチェックを入れます。Latch[ラッチ]ボックスで、顔検出イベントがトリガーされた後にアラーム出力信号を遅延させる時間 (0~300 秒) を指定します。

Alarm Upload[アラームアップロード]: ボックスにチェックを入れると、アラーム信号をネットワーク (アラームセンターや Web クライアントを含む) にアップロードできます。

Send Email[電子メール送信]: 電子メール通知を送信するには、ボックスにチェックを入れます。スナップショット機能が有効な場合は、画像を電子メールに添付することができます。[77 ページの電子メール設定の構成](#)を参照します。

Record Channel[録画チャンネル]: アラームがトリガーされたときに録画したいチャンネルを選択します。Delay[遅延]ボックスで、顔検出イベントがトリガーされた後に録画を遅延させる時間 (10~300 秒) を指定します。

注

また、アラーム録画期間を設定することも必要です。現在のチャンネルのアラーム録画スケジュールを設定するには、Storage[ストレージ]→Schedule[スケジュール]に移動します。ページ41の[動画録画スケジュールの構成](#)を参照してください。

PTZ Activation[PTZ 有効化]：ボックスにチェックを入れて PTZ 機能を有効にし、Set[設定]をクリックします。PTZ Activation[PTZ 有効化]ウィンドウで、各 PTZ カメラについて、顔検出イベントが発生したときに呼び出すプリセット、ツアー、またはパターンを選択し、OK をクリックします。

Tour[ツアー]：選択されたチャンネルのツアーを始めるにはボックスにチェックを入れます。

スナップショット 選択されたチャンネルのスナップショットを撮るにはボックスにチェックを入れます。

Log[ログ]：顔検出イベントのログを有効化するには、ボックスにチェックを入れます。

Voice Prompts[音声プロンプト]：顔検出イベントが発生したときに音声プロンプトファイルの再生を有効にするには、このボックスにチェックを入れます。イベントのために再生するオーディオファイルを選択するには、File Name[ファイル名]ドロップダウンの矢印を使用します。

Buzzer[ブザー]：NVR のブザーをアクティブにするにはボックスにチェックを入れます。

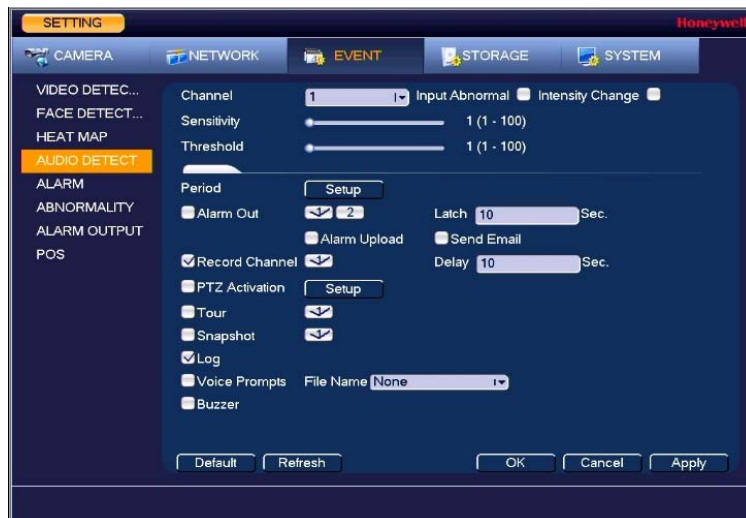
7. Apply[適用]をクリックして設定を保存します。メインメニューに戻るにはOKをクリックします。

オーディオ検出設定の構成

オーディオ検出機能は、カメラシーンのオーディオの変化を検出して、イベントや対応するアクションを生成することができます。

1. Main Menu[メインメニュー]→ SETTING[設定]→ EVENT[イベント]→ Alarm Detectio[アラーム検出]に移動します。

図 8-21 Audio Detection[オーディオ検出]構成画面



- オーディオ検出を構成するChannel[チャンネル]をドロップダウンメニューから**選択して**、Input Abnormal [入力異常]、Intensity Change[強度変化]、またはその両方のボックスにチェックを入れます。

Input Abnormal [入力異常]：オーディオ入力、サイトで通常生成される「通常の」オーディオと違うかどうかを検出します。

Intensity Change[強度変更]：オーディオの強度が変化するかどうか、つまり、音量レベルが標準レベルよりも強いかどうかを検出します。

- オーディオ検出のSensitivity[感度]レベル(1~100)とThreshold[閾値]レベル(1~100)を設定します。感度とは、音声認識の感度をパーセントで表したものです。

Sensitivity[感度]スライダを高感度設定に移動すると、オーディオ検出感度が向上し、より多くのイベントが検出されます。

Threshold[閾値]とは、強度変化の閾値、言い換えればイベント通知をトリガーするのに必要な音量です。閾値が小さいほど、より多くのイベントが検出されます。

注

オーディオ検出を設定する最も良い方法は、誰かがカメラの前で音を立てている間に、感度と閾値の設定を試すことです。

- オーディオ検出が有効になっている期間を設定するには、Period[期間]の横にあるSet[設定]をクリックし、ページ88の[To set up motion detection periods\[動体検知期間の設定\]](#)に記載されている手順を実行します。
- オーディオ検出イベントが発生したときにシステムが開始するアクションを選択します。

アラーム出力：選択したアラーム出力(1または2)をアクティブにするにはボックスにチェックを入れます。Latch[ラッチ]ボックスで、オーディオ検出イベントがトリガーされた後にアラーム出力信号を遅延させる時間(0~300秒)を指定します。

Alarm Upload[アラームアップロード]：ボックスにチェックを入れると、アラーム信号をネットワーク(アラームセンターやWebクライアントを含む)にアップロードできます。

Send Email[電子メール送信]：電子メール通知を送信するには、ボックスにチェックを入れます。スナップショット機能が有効な場合は、画像を電子メールに添付することができます。電子メールをセットアップするには、[ページ77の電子メール設定の構成](#)を参照してください。

Record Channel[録画チャンネル]：アラームがトリガーされたときに録画したいチャンネルを選択します。Delay[遅延]ボックスで、オーディオ検出イベントがトリガーされた後に録画を遅延させる時間(10~300秒)を指定します。

注

また、アラーム録画期間を設定することも必要です。現在のチャンネルのアラーム録画スケジュールを設定するには、Storage[ストレージ]→Schedule[スケジュール]に移動します。ページ41の[動画録画スケジュールの構成](#)を参照してください。

PTZ Activation[PTZ 有効化]：ボックスにチェックを入れて PTZ 機能を有効にし、**Set[設定]**をクリックします。**PTZ Activation[PTZ 有効化]**ウィンドウで、各 PTZ カメラについて、オーディオ検出イベントが発生したときに呼び出すプリセット、ツアー、またはパターンを選択し、**OK**をクリックします。

Tour[ツアー]：選択されたチャンネルのツアーを始めるにはボックスにチェックを入れます。

スナップショット：選択されたチャンネルのスナップショットを撮るにはボックスにチェックを入れます。

Log[ログ]：オーディオ検出イベントのログを有効化するには、ボックスにチェックを入れます。

Voice Prompts[音声プロンプト]：オーディオ検出イベントが発生したときに音声プロンプトファイルの再生を有効にするには、このボックスにチェックを入れます。**ファイル名**を使用

ドロップダウンの矢印を使用してイベント時に再生するオーディオファイルを選択

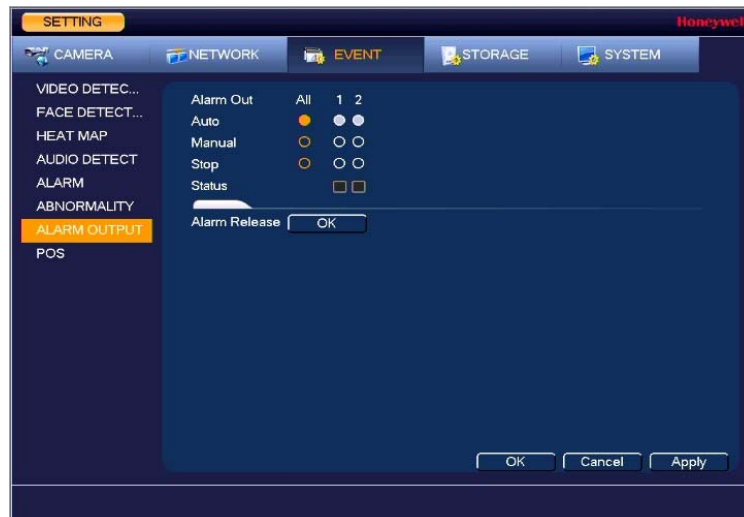
Buzzer[ブザー]：NVR のブザーをアクティブにするにはボックスにチェックを入れます。

6. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。メインメニューに戻るには**OK**をクリックします。

アラーム出力の構成

1. **Main Menu[メインメニュー]**→ **SETTING[設定]** → **EVENT[イベント]**→ **Alarm Out[アラーム出力]**に移動します。

図 8-22Alarm Output[アラーム出力]構成画面



2. **Alarm Output[アラーム出力]**ページで、それぞれのアラーム出力のアラームの種類を設定します。

Auto[オート]：録画スケジュールの設定をしたいアラーム出力を選択します。詳細はページ 41 の [動画録画スケジュールの構成とスナップショットを構成する](#) ページ 43 の [スケジュールを記録する](#) を参照します。

Manual[手動]：すべてのチャンネルで有効にするアラーム出力を選択します。

Stop[停止]：すべてのチャンネルで無効にするアラーム出力を選択します。

- トリガーされたアラームを消すためには、Alarm Release[アラーム解除]の横でOKをクリックします。
- Apply[適用]をクリックして設定を保存して、OKをクリックします。

POS 設定の構成

注 この機能は以下の機種のみ有効です。
HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/HEN323*4/HEN321*4/HEN642*4/HEN643*4。

POS レジスタなどの POS デバイスへの接続を設定し、POS 情報をビデオデータと同期させるのには、POS 設定画面を使用します。

- Main Menu[メインメニュー]→ SETTING[設定] → EVENT[イベント]→POSに移動します。

図 8-23POS 構成ウィンドウ




- Name [名前]ドロップダウンリストでPOS名を選択します。名前を編集したい場合  をクリックします。
- ステップ2で選択したPOSを有効にするためにEnable [有効化]チェックボックスを選択します。
- イベントに続いて、POSの実装/非実装期間、録画チャンネルなどPOS用のSetup [セットアップ]をクリックします。詳細情報はページ86の動体検知設定の構成を参照します。
- プライバシーに続いて、POSのプライバシー特性を構成するために、Setup [セットアップ]をクリックします。この機能が有効にされた後、一度オーバーレイ情報がプライバシーキャラクタを含むと*として表示されます。例えば、プライバシーキャラクタが12,56,89とすると、ローカルプレビューとWEB監視情報は、オーバーレイ情報が123456789の場合、**34**7** と示されます。

図 8-24 プライバシーセット



6. 他のパラメーターは下記のセクションで説明します:

Connect Type[接続タイプ]: POS デバイスへの接続の種類を選択します。**Setup[設定]**をクリックして、Source IP[送信元 IP]と Port[ポート]、および Destination[送信先 IP]と Port[ポート]の接続の詳細を入力します。**OK**をクリックして続行します。

Protocol Type[プロトコルタイプ]: POS デバイスの通信プロトコルを選択します。デフォルト設定は POS です。

Convert[変換]: フォントタイプを設定します。

Overlay[オーバーレイ]: 順番及びロールを含むオーバーレイモードを設定します。

- 順番: 一度オーバーレイ情報が 8 行に到達すると、次のページに変わります。
- ロール: 一度オーバーレイ情報が 8 行に到達すると、次の新しいラインが表示され、一番古いラインを消去します。


ネットワーク超過時間: ネットワーク超過時間を設定するため値を入力します。一度特定されたピリオドに POS データが無くなると、NVR は特定されたピリオドの後 POS 情報を自動的に消去します。

Time Display[時刻表示]: 時間表示インスタンス間の時間を入力します。

フォントサイズ: オーバーレイフォントサイズを設定します。

カラー: オーバーレイフォント色を設定します。

POS Info[POS 情報]: ローカルプレビューウィンドウのオーバーレイ情報に対するボックスをチェックします。

アドバンス:  をクリックすると Search[検索]インターフェースに移動します。

Transaction Start/End[トランザクション開始/終了]: トランザクションの開始時刻と終了時刻を選択します。このフィールドは、選択されたプロトコルが POS の場合は変更できません。

Line Delimiter[ライン区切り文字]: 新しいラインの区切り文字の後ろにオーバーレイ情報を表示するためライン区切り文字を設定します。例えば、ライン区切り文字は 45、そしてオーバーレイ情報が 123456789 では、NVR は最初のラインに 123、そして二番目のラインに 6789 と表示します。

16 進数: ASCII コードに切り替えるため 16 進数をチェックします。

大文字小文字区別なし：大文字小文字区別なし機能を有効にするには、ボックスにチェックを入れます。

7. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。
8. 設定を保存して**SETTING[設定]**メニューを終了したい場合には、**OK**をクリックします。

NVRがサポートするPOSタイプ

NVR は下記のタイプの POS をサポートします：

表 8-1 NVR がサポートする POS タイプ

エリア	POS ブランド	POS 制御ソフトウェア
欧州北東部	ポスネット	PXE_送信者_ENG
ポーランド	サーマル HD 2.01	
欧州北東部 ブルガリア	ミストラル；エルトレード；マイク ロインベスト	製造者により供給されるソフトウェア
北米	P Cアメリカ	キャッシュレジスタエクスプレス
欧州西部 フランス	2 セキュア	TCPSender.exe

9 ストレージ設定の構成

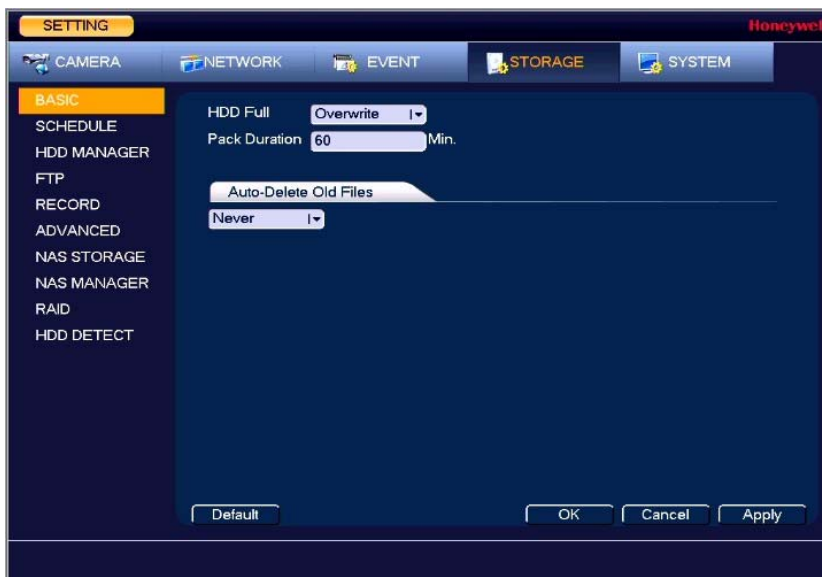
この章は以下の項で構成されています：

- [基本設定を構成するページ 112.](#)
- [録画スケジュールの構成ページ 113.](#)
- [HDD マネージャ設定の構成ページ 116.](#)
- [FTP 設定の構成ページ 117.](#)
- [HDD 高度設定の構成ページ 118.](#)
- [NAS ストレージを構成するページ 119.](#)
- [NAS マネージャーの構成ページ 120.](#)
- [録画設定の構成ページ 121.](#)
- [HDD 検出設定の構成ページ 122.](#)

基本設定を構成する

Main Menu[メインメニュー]→ Setting[設定]→ Storage[ストレージ]→ BASIC[基本]に移動します。

図 9-1 基本設定ストレージタブ



HDD full[HDD フル]：HDD がいっぱいになっても録画を続行するには、Overwrite[上書き]に設定します。HDD がいっぱいになった場合に録画を停止するには、Stop Record[録画中止]に設定します。デフォルト設定は Overwrite[上書き]です。

Pack Duration[バック期間]：録画期間を設定します。1～120 分の時間を入力します。デフォルト設定は 60 分です。

Auto Delete Old Files[古いファイルの自動消去]：Never [なし]あるいは Customized [カスタマイズ]を選択します。

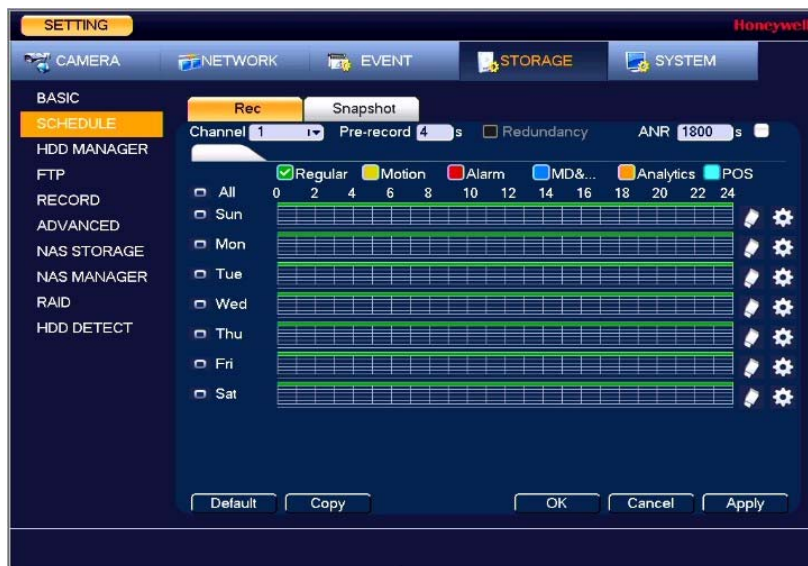
Customized[カスタム]が選択された場合は、Days Ago[経過日数]ボックスに、古いファイルが自動的に削除される前に保持される日数を入力します。

録画スケジュールの構成

動画録画スケジュールの構成

1. Main Menu [メインメニュー] → SETTING[設定] → STORAGE[ストレージ] → SCHEDULE[スケジュール] → Rec[録画]に移動します。

図 9-2 録画スケジュール構成タブ



2. Rec[録画]タブのChannel[チャンネル]ボックスで、録画スケジュールを設定したいチャンネル（カメラ）を選択します。
3. Pre-record[事前録画]ボックスに0～30秒の時間を入力します。デフォルト設定は4秒です。事前録画時間では、録画開始予定時刻より前にNVRが録画する時間を設定します。たとえば、NVRの録画開始予定時刻が12:00で、事前録画時間が4秒に設定されている場合、NVRは11:59:56に録画を開始します。
4. NVRに2台のHDDがある場合は、Redundancy[冗長化]ボックスにチェックを入れて、2台目のHDDに冗長録画を有効にします。このHDDはまず、HDD Manage[HDD管理]ページ（ページ [bookmark126116のHDD マネージャ設定の構成](#)を参照）で冗長構成にする必要があります。

5. **ANR**ボックスで0秒~43200秒の範囲で時間を設定します。これは、ネットワーク接続が故障した場合にネットワークカメラの画像をSDカードに保存するためです。ネットワーク接続が復帰した後、システムはSDカードから動画を取り込みますので記録を失うリスクがありません。
6. スケジュール表の上部にある、スケジュールしたい録画タイプのチェックボックスをオンにします。

Regular[通常]：レギュラー録画スケジュールは緑色のバーで示されます。

Motion[動体検知]：動体検知録画スケジュールは黄色のバーで示されます。


Alarm[アラーム]：アラーム録画スケジュールは赤色のバーで示されます。

MD&Alarm[MD&アラーム]：動体検知とアラームのスケジュールは青色のバーで示されます。

Analytics[解析]：動画解析録画スケジュールはオレンジ色のバーで示されます。

POS：POS スケジュールは薄い青色のバーで示されます。

注	POS機能は以下の機種のみ有効です。 HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/ HEN323*4/HEN321*4/HEN642*4/HEN643*4。
----------	---

7. スケジュール表の上部にある、スケジュールしたい録画タイプのボックスにチェックを入れます。毎日同じ時刻に録画を同時にスケジュールするには**All[全て]**を選択します。
8. スケジュール表でマウスを**クリック**またはドラッグして録画期間を設定します。録画期間を削除するには、表の右にある消しゴムアイコン  をクリックします。または、構成を行いたい曜日について、表の右側にある歯車のアイコンをクリックします。**Period[期間]**ウィンドウで、録画時間を6つまで設定します。さらに別の日に設定をコピーするには、**Copy[コピー]**の下にある該当のボックスにチェックを入れて**Save[保存]**をクリックします。
9. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。
10. さらに別のチャンネルに設定を**コピー**するには、**Copy[コピー]**をクリックし、設定をコピーしたいチャンネルを選択して、**OK**をクリックします。

スナップショット録画スケジュールの構成

スナップショット録画機能を設定するには、以下の手順に従います。NVR を有効にすると、動体検知、映像ロス、ビデオタンパリング、またはその他のアラームイベントが発生したときにスナップショットを撮ることができます。詳細な説明については [第8章、イベント設定を構成する](#) を参照します。

1. **Main Menu[メインメニュー]**→ **SETTING[設定]**→ **STORAGE[ストレージ]**→ **SCHEDULE[スケジュール]**→ **Snapshot[スナップショット]**に移動します。

図 9-3 スナップショットスケジュールの設定



2. Snapshot[スナップショット]タブのChannel[チャンネル]ボックスで、録画スケジュールを設定したいカメラを選択します。

3. スケジュール表の上部にある、スケジュールしたい録画タイプのチェックボックスをオンにします。

Regular[通常]：レギュラー録画スケジュールは緑色のバーで示されます。

Motion[動体検知]：動体検知録画スケジュールは黄色のバーで示されます。

Alarm[アラーム]：アラーム録画スケジュールは赤色のバーで示されます。

MD&Alarm[MD&アラーム]：動体検知とアラームのスケジュールは青色のバーで示されます。

Analytics[解析]：動画解析録画スケジュールはオレンジ色のバーで示されます。

POS：POS スケジュールは薄い青色のバーで示されます。

4. スケジュール表の左側で、スナップショットスケジュールを構成したい曜日を選択します。全ての曜日に同じスケジュールを同時に設定するにはAll[全て]を選択します。

5. スケジュール表でマウスを**クリック**またはドラッグして録画期間を設定します。録画期間を削除するには、表の右にある消しゴムのアイコンをクリックします。または、構成を行いたい曜日について、表の右側にある歯車のアイコンをクリックします。**Period[期間]**ウィンドウで、最高6つの録画期間を設定します。さらに別の日に設定をコピーするには、**Copy[コピー]**の下にある該当のボックスにチェックを入れて**Save[保存]**をクリックします。

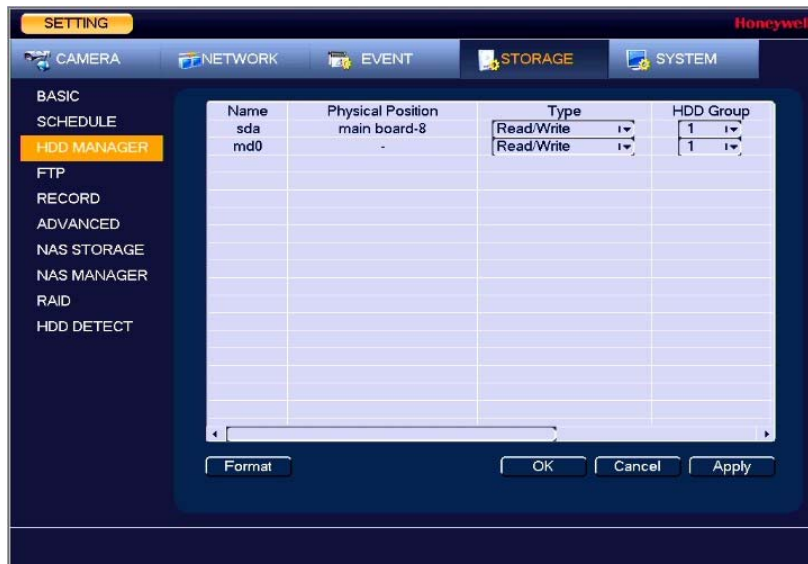
6. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。

7. さらに別のチャンネルに設定を**コピー**するには、**Copy[コピー]**をクリックし、設定をコピーしたいチャンネルを選択して、**OK**をクリックします。

HDD マネージャ設定の構成

1. Main Menu[メインメニュー]→ SETTING[設定]→ STORAGE[ストレージ]→HDD MANAGE[HDD管理]に移動します。

図 9-4 HDD マネージャウィンドウ



名前：HDD 名

Physical Position[物理的位置]：HDD が現在占有しているハードドライブスロットを示します。

Type[タイプ]：HDD の種類（読み取り・書き込み又は読み取り専用）

HDD Group[HDD グループ]：ハードドライブが属する HDD グループ

Status[ステータス]：HDD の現在の動作状態

Free Space/ Total Space[空きスペース/全スペース]：HDD 上の空白スペース残量/HDD 総容量

2. HDDはデフォルトで読み書き可能に設定されています。HDDタイプを読み取り専用に変更するには、**Type[タイプ]**列で**Read-only HDD[読み取り専用HDD]**を選択します。

注 NVRが再起動して新しい設定が適用されます。

3. HDDから全てのデータを消去するには、そのデータを選択して**Format[フォーマット]**をクリックします。確認メッセージが表示されます：“Confirm format on the selected device?”（選択したデバイスをフォーマットしてよろしいですか？）**OK**をクリックして続行します。

FTP 設定の構成

FTP 接続を設定すると、FTP サーバーに一定の間隔で画像をアップロードすることができます。

1. Main Menu[メインメニュー]→ SETTING[設定]→ STORAGE[ストレージ]→FTPに移動します。

図 9-5 Network FTP[ネットワーク FTP]ウィンドウ



2. FTP ページで **Enable[有効化]** ボックスにチェックを入れると、画像を FTP サーバーにアップロードできます。

3. 以下の設定を行います：

Host IP[ホスト IP]：FTP サーバーアドレスを入力します。

ポート：FTP サーバーポートを入力します。

Username[ユーザー名]：FTP サーバーにログオンするためのユーザー名を入力します。

Password[パスワード]：FTP サーバーにログオンするためのパスワードを入力します。

Anonymous[匿名]：FTP サーバーにログオンしたときにユーザー名を非表示にするには、ボックスにチェックを入れます。

Remote Directory[リモートディレクトリ]：リモートディレクトリの名前を入力します。空白のままにすると、NVR は自動的にフォルダ名を作成します。

ファイルサイズ：FTP サーバーにアップロードされる画像ファイルの最大サイズです。0～65535MB の値を入力します。

Image Upload Interval[画像アップロード間隔]：FTP サーバーに画像をアップロードする間隔です。1 ～600 秒の時間を入力します。

チャンネル：画像をアップロードする特定のチャンネルを選択するか、または、全てのチャンネルを選択するには **All[全て]** を選択してください。

Weekday[平日]：画像をアップロードする曜日を選択するか、毎日画像をアップロードするには **All[全て]** を選択します。

Time Periods[期間]：画像のアップロードには最大2つの期間を設定できます。それぞれの期間で **Alarm&Analytics[アラーム&解析]**、**Motion[動作]**、または **Regular[通常]** 画像を選択します。

4. **Apply[適用]** をクリックして設定を保存します。FTP接続をテストするには、**Test[テスト]** をクリックします。
5. 設定を保存して **SETTING[設定]** メニューを終了したい場合には、**OK** をクリックします。

HDD 高度設定の構成

メインストリーム設定の構成

ここでは、メインストリームを特定の HDD グループに割り当てることができます。

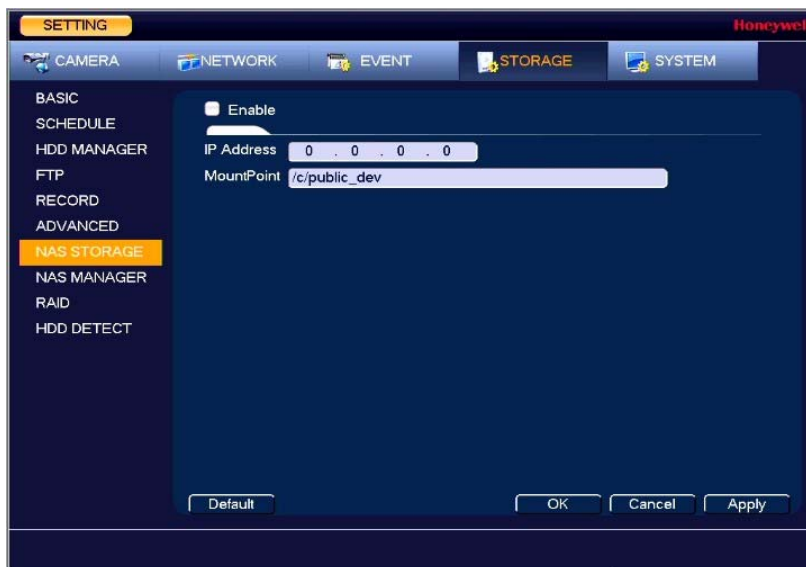
1. **Main Menu[メインメニュー]** → **SETTING[設定]** → **STORAGE[ストレージ]** → **Advanced[高度]** → **Main Stream[メインストリーム]** に移動します。

図 9-6 Main Stream Storage[メインストリームストレージ構成]タブ



2. HDDグループを全てのチャンネルまたはチャンネルごとに個別に設定することができます：
 - **Set All Channels[全てのチャンネルを設定]** ドロップダウンメニューからHDDグループを選択します。パラメータ設定を全てのチャンネルに適用するには **All[全て]** をクリックします。
 - 必要に応じて、各チャンネルのドロップダウンメニューからHDDグループを選択します。
3. **Apply[適用]** をクリックして設定を保存します。

図 9-8 NAS Storage Configuration[NAS ストレージ構成]タブ



Enable[有効化]：リモートアラーム機能を有効化するには、**Enable[有効化]**ボックスにチェックを入れます。

IP Address[IP アドレス]：NAS ストレージの IP アドレスを入力します。

設置ポイント：NAS ストレージのパスを入力します。

NAS マネージャーの構成

Main Menu[メインメニュー]→ SETTING[設定]→ STORAGE[ストレージ]→ NAS MANAGER[NAS マネージャー]に移動します。

図 9-9 NAS マネージャー構成タブ

	Name	Type	Status	Free Space/Total S...
1	NAS Storage	NFS	Normal	0.00 KB/24.00 MB

名前：NAS 名

Type[タイプ]：NAS タイプ

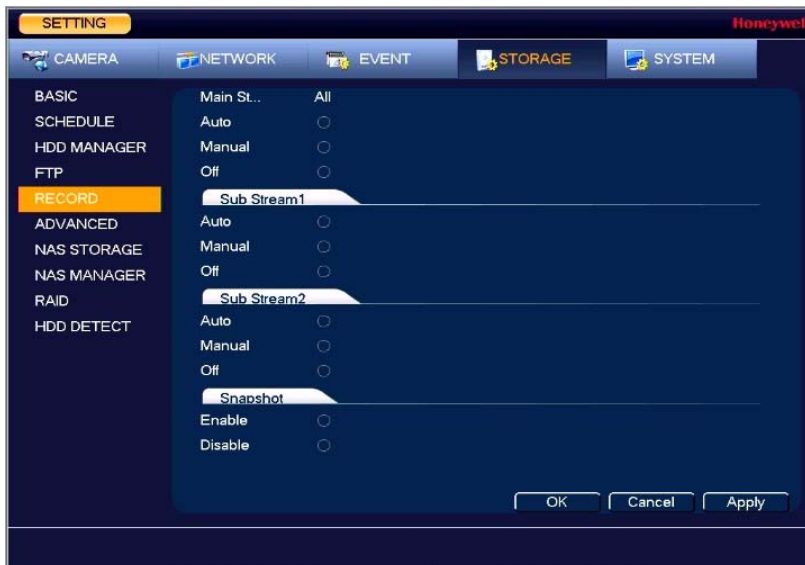
Status[ステータス]：NAS の現在の動作状態

Free Space/ Total Space[空きスペース/全スペース]：NAS 上の残存空きスペース量/NAS の総容量

録画設定の構成

Main Menu[メインメニュー]→SETTING[設定]→STORAGE[ストレージ]→RECORD[録画]に移動します。

図 9-10 Recording Storage[録画ストレージ]構成ウィンドウ



1. **Record[録画]**ウィンドウで、メインストリームとセカンダリストリームの両方に対して、各チャンネルで有効にする録画タイプ (**Auto[自動]**、**Manual[手動]**、**Off[オフ]**) を選択します。
2. **Snapshot[スナップショット]**で各チャンネルのスナップショット録画を有効または無効にします。
3. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。

HDD 検出設定の構成

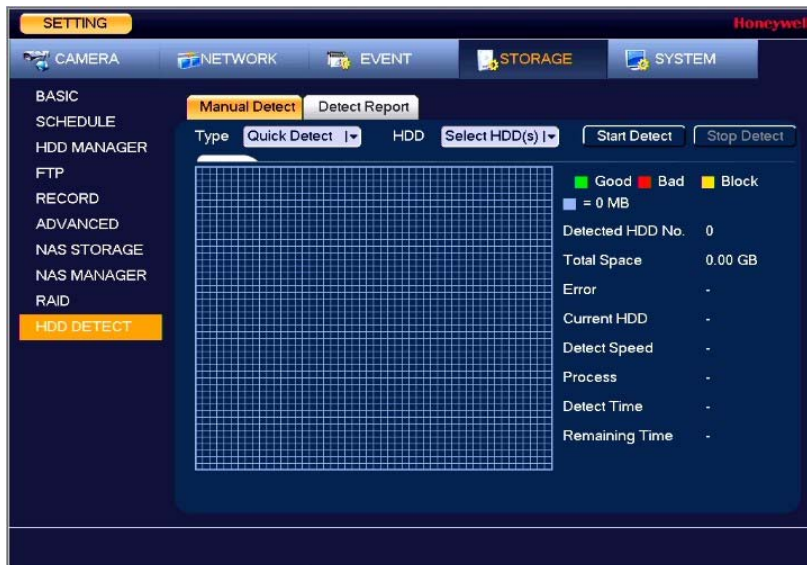
HDDマニュアル検出

ハードディスクドライブは、クイック検出機能またはグローバル検出機能を使用して、全スペースとエラーを検出およびスキャンすることができます。

1. **Main Menu[メインメニュー]**→ **SETTING[設定]**→ **STORAGE[ストレージ]**→ **HDD Detect[HDD検出]**→ **Manual Detect[手動検出]**に移動します。
2. **HDD**ドロップダウンリストから検出を使用するハードドライブを選択します。
3. 使用する検出の**Type[タイプ]** (**Global Detect[グローバル検出]**または**Quick Detect[クイック検出]**) を選択し、**Start Detect[検出を開始]**をクリックします。
4. 検出処理を停止するには、**Stop Detect[検出を停止]**をクリックします。

完了すると、ハードドライブの検出結果が下の表に表示され、正常、不良およびブロックされたセクターなどのハードドライブの詳細、および総容量が表示されます。

図 9-11 HDD Manual Detection[HDD マニュアル検出]画面

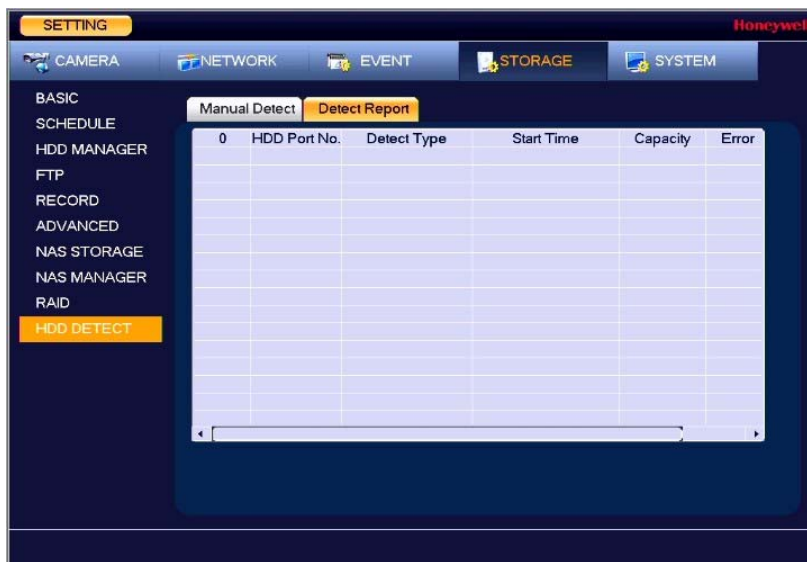


HDD Detection Reporting[HDD検出報告]

ハードディスクドライブの検出結果は、参照しやすいように、レポート検出画面で編集されます。

1. Main Menu[メインメニュー]→ SETTING[設定]→ STORAGE[ストレージ]→ HDD Detect[HDD検出]→ Detect Report[検出レポート]に移動します。

図 9-12 HDD Detection Report[HDD 検出報告]画面



2. 以前の検出結果からハードドライブ検出レポートを表示するには**Detect Report[検出報告]** タブを使用します。検出報告の詳細を表示するには、表のレポートの行をクリックします。

10 システム設定の構成

この章は以下の項で構成されています：

- [システム一般設定の構成ページ 124.](#)
- [表示設定の構成ページ 129.](#)
- [RS232 設定の構成ページ 132.](#)
- [PTZ 設定の構成ページ 133.](#)
- [ブロードキャスト設定の構成ページ 133.](#)
- [音声プロンプト設定の構成ページ 134.](#)
- [アカウント設定の構成ページ 136.](#)
- [ポート設定の構成ページ 141.](#)
- [自動メンテナンス設定の構成ページ 142.](#)
- [システム構成のエクスポートとインポートページ 143.](#)
- [出荷時設定の復元ページ 145.](#)
- [NVR のアップグレードページ 146.](#)

システム一般設定の構成

デバイス設定の構成

1. Main Menu[メインメニュー] → SETTING[設定] → SYSTEM[システム] → GENERAL[一般] → General[一般]に移動します。

図 10-1 General[一般]構成タブ

The screenshot shows a configuration window with three tabs: General, Date&Time, and Holiday. The General tab is active. The settings are as follows:

Setting	Value
Device Name	NVR
Device No.	8
Language	ENGLISH
Instant Replay	5 Min.
Auto Logout	10 Min.
IPC Time Sync	<input checked="" type="checkbox"/> 5 Minute
Navigation Bar	<input checked="" type="checkbox"/>
Mouse Sensitivity	Slow ————— Fast

Buttons at the bottom: Default, OK, Cancel, Apply.

2. General[一般]タブで、下記の設定を構成します：

Device Name[デバイス名]：NVR のデバイス名を入力します。

Device No.[デバイス番号]：NVR のデバイス番号を入力します。

Language[言語]：ユーザーインターフェイスの言語を設定します。

Instant Replay[即時再生]：ライブビューモードで即時再生機能を使用して動画を再生する時間を設定します。5～60 分の時間を入力します。デフォルト設定は 5 分です。

Auto Logout[自動ログアウト]：非アクティブユーザをログアウトするまで NVR が待機する時間を設定します。0～60 分の時間を入力します。デフォルト設定は 10 分です。

ログアウト時にチャンネルを監視：ログアウトの後に監視したいチャンネルを選択します。

IPC Time Sync[IPC 時刻同期]：設定された間隔で、接続された IP カメラとの NVR 同期時間を設定するには、ボックスにチェックを入れます。1～1440 分の間隔を設定します。デフォルト設定は 5 分です。

Navigation Bar[ナビゲーションバー]：ライブビュー画面にライブビューツールバーを表示するには、ボックスにチェックを入れます。ライブビューツールバーを非表示にするには、ボックスのチェックを外します。

Mouse Sensitivity[マウス感度]：スライダを使用して、希望のマウス速度を設定します。

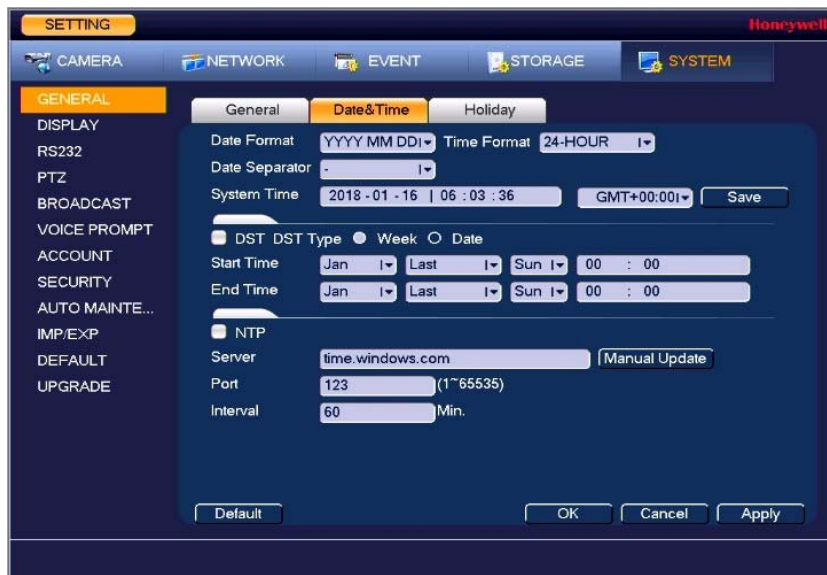
3. Apply[適用]をクリックして設定を保存します。
4. 設定を保存してSETTING[設定]メニューを終了したい場合には、SAVE[保存]をクリックします。

日付&時刻設定の構成

システム時刻設定を構成するには下記を実行します。

1. Main Menu[メインメニュー]→ SETTING[設定] →SYSTEM[システム]→ GENERAL[一般] → Date&Time[日付&時刻]に移動します。

図 10-2 日付&時刻構成タブ



2. Date&Time[日付&時刻]タブで、下記の設定を構成します。

Date Format[日付形式]：システム時刻に使用する日付形式を：

YYYY MM DD、MM DD YYYY、または DD MM YYYY から選択します。

Time Format[時刻形式]：システム時刻に使用する時刻形式を選択します：

24-Hour[24 時間形式]と 12-Hour[12 時間形式]から選択

Date Separator[日付区切り文字]：システム時刻に使用する区切り文字を：ピリオド (.)、ハイフン (-)、またはスラッシュ (/)から選択します。

System time[システム時刻]：システム時刻とタイムゾーンを入力し、Save[保存]をクリックします。

3. Apply[適用]をクリックして設定を保存します。
4. 設定を保存してSETTING[設定]メニューを終了したい場合には、OKをクリックします。

夏時間 (DST) 設定を構成するには、下記を実行します。

1. Main Menu[メインメニュー]→ SETTING[設定] →SYSTEM[システム]→ GENERAL[一般] →Date&Time[日付&時刻]に移動します。
2. Date&Time[日付&時刻]タブで、DSTボックスにチェックを入れます。
3. 夏時間がいつ始まり、いつ終わるかを指定します。DSTタイプをDate[日付](DSTは特定の日付に適用される)またはWeek[週](各年にDSTに適用する週と時刻を指定)として選択します。

例：

- a. 夏時間の日付は毎年変わるので、**Week[週]**を**DST Type[夏時間の種類]**として選択します。
 - b. **Start Time[開始時刻]**を**Mar 2nd Su 02:00**（3月の第2日曜日の午前2時）として設定します。
 - c. **End Time[終了時刻]**を**Nov 1st Su 02:00**（11月の第1日曜日の午前2時）として設定します。
4. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。
 5. 設定を保存して**SETTING[設定]**メニューを終了したい場合には、**OK**をクリックします。

システム時刻を NTP（ネットワーク・タイム・プロトコル）と同期させるには、下記を実行します。

1. NVRがインターネットに接続されていることを確認します。
2. **Main Menu[メインメニュー]**→ **SETTING[設定]**→**SYSTEM[システム]** → **GENERAL[一般]** → **Date&Time[日付&時刻]**に移動します。
3. **Date&Time[日付&時刻]**タブで、**NTP**ボックスにチェックを入れます。
4. **Server[サーバー]** ボックスに、使用するNTPサーバのIPアドレスを入力します（例えばtime.nist.gov）。
5. **Port[ポート]**が123に設定されていることを確認します。
6. システム時刻がNTPサーバーと同期する頻度を変更するには、**Interval[間隔]**ボックスに新しい時間を入力します。デフォルト設定は60分です。
7. **Manual Update[手動更新]**をクリックして、システム時刻をNTPサーバーと手動で同期させます。
8. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。
9. 設定を保存して**SETTING[設定]**メニューを終了したい場合には、**OK**をクリックします。

休日設定の構成

1. **Main Menu[メインメニュー]**→ **SETTING[設定]** →**SYSTEM[システム]** → **GENERAL[一般]** → **Holiday[休日]**に移動します。

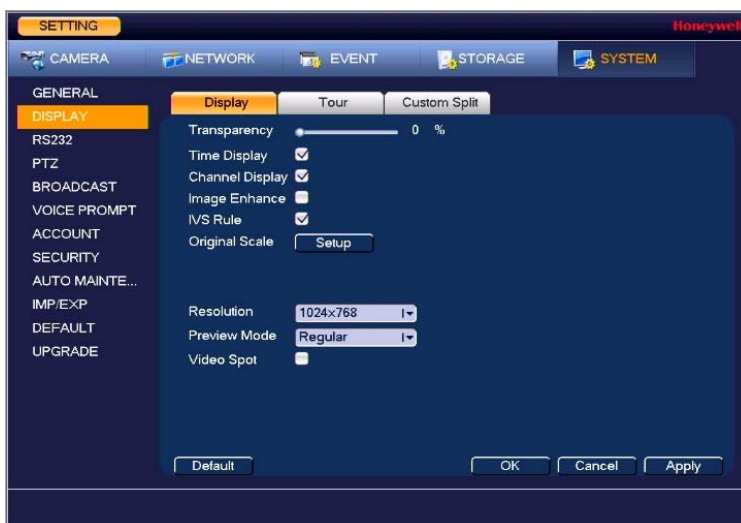
- **Week[週]**を選択した場合、年、月、週（第1、第2、第3、第4、最終）、及び曜日を入力します。
6. 休日を追加する場合は、**Add More[更に追加]**ボックスにチェックを入れます。
 7. **Add[追加]**をクリックして休日を追加します。
 8. 新しい休日を追加した後は、**Holiday[休日]**タブで各休日の**Status[ステータス]**を設定します。休日を有効にするには**Open[オープン]**、無効にするには**Stop[停止]**を選択します。

表示設定の構成

表示設定の構成

1. Main Menu[メインメニュー]→ SETTING[設定]→SYSTEM[システム]→ DISPLAY[表示]→ Display[表示]に移動します。

図 10-5 Display[表示]構成タブ



2. **Display[表示]**タブで、下記の設定を構成します：

Transparency[透明度]：グラフィカルユーザーインターフェイス（GUI）の透明度を **0**～**100** の値に設定します。**0** は完全に不透明で、**100** は完全に透明です。

Time Display[時刻表示]：ライブビューモードで各チャンネルウィンドウに現在時刻を表示するには、ボックスにチェックを入れます。時刻を非表示にするには、ボックスのチェックを外します。

Channel display[チャンネル表示]：各チャンネルウィンドウにカメラ名、ステータス、チャンネル番号を表示するには、ボックスにチェックを入れます。各チャンネルウィンドウにカメラ名、ステータス、チャンネル番号を非表示にするには、ボックスのチェックを外します。

Image Enhance[画像エンハンス]：表示される画像をエンハンスするには、ボックスにチェックを入れます。デフォルト設定を使用する場合は、ボックスのチェックを外します。

Analytics Rule[解析ルール]：ライブビューモードで各チャンネルウィンドウにアクティブな解析ルールを表示するには、ボックスにチェックを入れます。解析ルールを非表示にするには、ボックスのチェックを外します。

Original Scale[オリジナルスケール]：Set[設定]をクリックして元の縦横比で表示するチャンネルを選択し、OKをクリックします。すべてのチャンネルを元の縦横比で表示するには、All[全て]を選択します。選択されていないチャンネルは全画面表示されます。

解像度：Screen NO[画面番号]フィールドで選択した画面の解像度を設定します。

注 新しい表示解像度の設定を有効にするには、NVRを再起動する必要があります。

Preview Mode[プレビューモード]：ドロップダウンリストから Regular[通常]または Show Face List[顔の一覧を表示]のプレビューモードを選択します。

ビデオスポット：VGA 出力あるいは HDMI 出力を選択するためにチェックします。選択した出力では、ユーザー操作が無効であるかプレイバックしか表示されません。

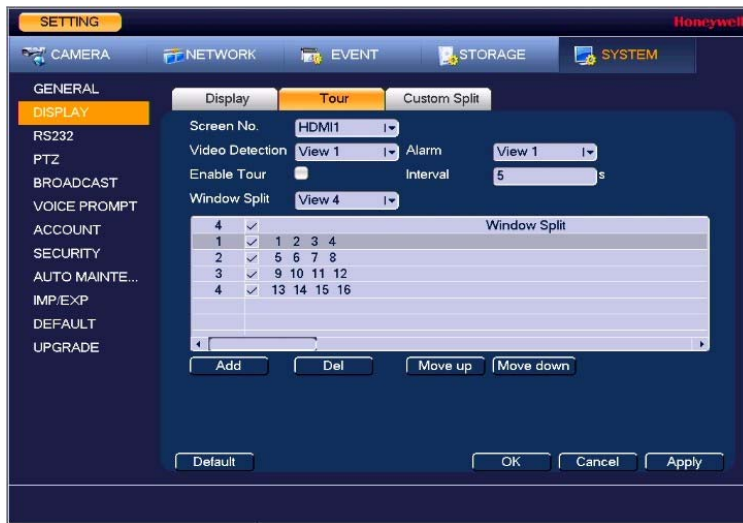
3. Apply[適用]をクリックして設定を保存します。
4. 設定を保存してSETTING[設定]メニューを終了したい場合には、OKをクリックします。

ツアー設定の構成

ツアーでは、NVR はいくつかのチャンネルビューを繰り返し表示します。ツアーに表示するビューとカメラを指定できます。

1. Main Menu[メインメニュー]→ SETTING[設定] → SYSTEM[システム] → DISPLAY[表示] → Tour[ツアー]に移動します。

図 10-6Tour[ツアー]構成タブ



2. Screen NO[画面番号]ドロップダウンリストでツアーを表示するモニターを選択します。
3. 必要に応じて、Channel Group[チャンネルグループ]リストからカメラを追加、変更、または削除することができます。追加できるのはリストに表示されていないカメラのみです。

注

一部のNVRモデルでは、Video Detection tour[動画検出ツアー]とAlarm tour[アラームツアー]をView 1[ビュー1] (シングルチャンネルビュー) から View8 [ビュー8] (8チャンネルビュー) に変更できます。

4. Enable Tour[ツアーの有効化]ボックスにチェックを入れるとツアー機能が有効になり、チェックを外すとツアー機能が無効になります。
5. Interval[間隔]ボックスに、ツアーの次のビューを表示する前に、各ビューを画面に表示する時間 (5~120秒) を入力します。デフォルト設定は5秒です。
6. 次のいずれかを実行します。
 - 使用可能なすべてのカメラのすべてのビューを繰り返し表示するには、デフォルト設定を維持します。
 - カスタムツアーを作成するには、Window Split[ウィンドウ分割] リスト (View 1[ビュー1]、View 4[ビュー4]、...) の各ビューに対して、Channel Group[チャンネルグループ]リストの一番上の行のボックスのチェックを外して、そのビューのすべてのカメラの選択を解除し、カスタムツアーに表示する各ビューのカメラを選択します。
たとえば、シングルチャンネルビューでカメラ 2、3、および 5 のみを表示するツアーを作成するには、Window Split[ウィンドウ分割]を View 1[ビュー1] に設定し、カメラ 2、3、5 を選択します。他のカメラはビュー1 でも他のいずれのビューでも選択されてはなりません。
7. Apply[適用]をクリックして設定を保存します。
8. 設定を保存してSETTING[設定]メニューを終了する場合は、OKをクリックします。

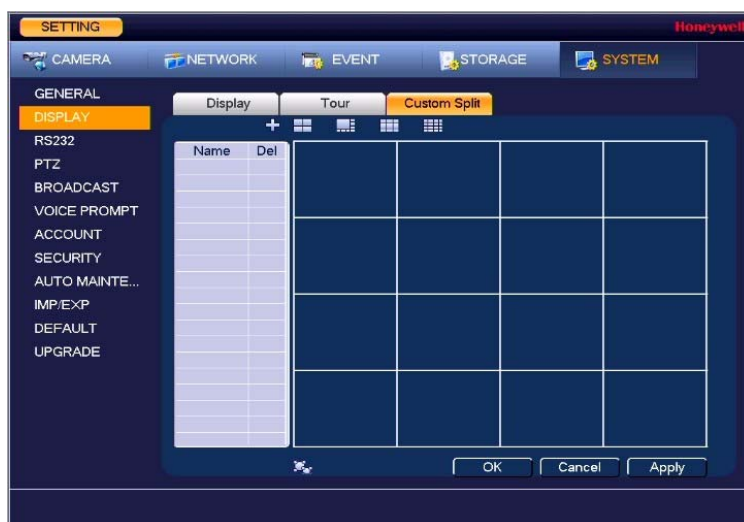
カスタム分割設定の構成

注 この機能は以下の機種のみ有効です。
2*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/HEN323*4/HEN321*4/HEN642*4/HEN643*4
。

Custom Split[カスタム分割]タブを使用して、カスタム分割画面を設定します。

1. Main Menu[メインメニュー]→ SETTING[設定] →SYSTEM[システム] → DISPLAY[表示] → Custom Split[カスタム分割]に移動します。

図 10-7 Custom Split[カスタム分割]構成タブ

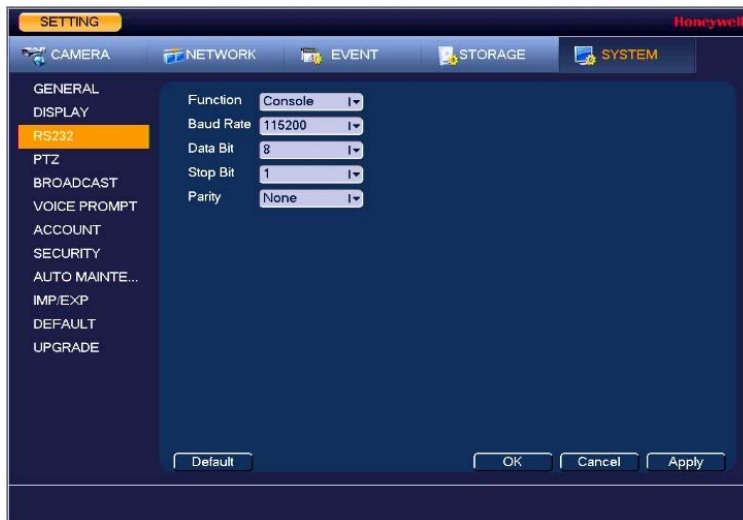


2. リストに選択した分割ビューを追加するには、Custom Split[カスタム分割]タブで+をクリックします。
3. 必要に応じて、マウスで表示グリッドをクリックしてドラッグし、設定します。小さい四角形をより大きな表示領域に組み合わせたり、分割して一度に多くのチャンネルを表示することができます。
4. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。
5. 設定を保存してSETTING[設定]メニューを終了する場合は、**OK**をクリックします。

RS232 設定の構成

1. Main Menu[メインメニュー]→ SETTING[設定] →SYSTEM[システム] →RS232に移動します。

図 10-8 RS232 構成インターフェース



2. 以下の設定を行います：

Function[機能]：NVR に接続した RS232 デバイスの種類に応じて、**Console[コンソール]**または **Adapter[アダプタ]**を選択します。

Baud Rate[ボーレート]：1200～115200 の値を選択します。デフォルト設定は 115200 です。

Data Bit[データビット]：5～8 の値を選択します。デフォルト設定は 8 です。

Stop bit[ストップビット]：1、1.5、または 2 を選択します。デフォルト設定は 1 です。

Parity[パリティ]：None[なし]、Odd[奇数]、Even[偶数]、Mark[マーク]、または Space[スペース]を選択します。デフォルト設定は None[なし]です。

3. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。
4. 設定を保存して**SETTING[設定]**メニューを終了したい場合には、**OK**をクリックします。

PTZ 設定の構成

詳細情報はページ 34 の [PTZ 接続設定の構成](#)を参照します。

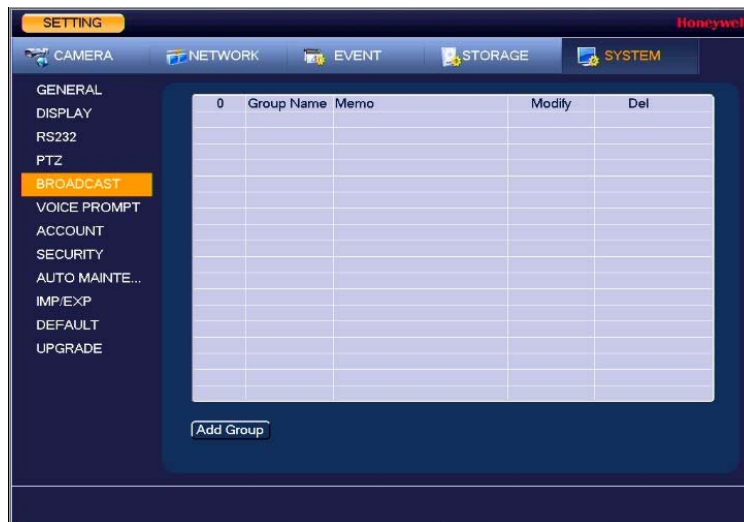
ブロードキャスト設定の構成

注 この機能は以下の機種のみ有効です。
HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/HEN323*4/HEN321*4/HE
N642*4/HEN643*4。

Broadcast[ブロードキャスト]画面を使用して、双方向オーディオでブロードキャストされるチャンネルのグループを設定します。これにより、システムユーザーは、音声が出力できる複数のカメラに音声メッセージを同時に出力することができます。

1. Main Menu[メインメニュー]→SETTING[設定]→SYSTEM[システム]→Broadcast[ブロードキャスト]に移動します。

図 10-9Broadcast[ブロードキャスト]構成ウィンドウ



2. 新しいブロードキャストグループを追加するには、Add Group[グループを追加]をクリックします。Group Name[グループ名]を入力し、グループに含めるチャンネルを選択します。
3. Save[保存]をクリックしてGroup[グループ]を保存します。

音声プロンプト設定の構成

音声プロンプトファイルは、アラーム音声として使用することができ、イベントがトリガーされたときにアクションとして設定することができます。

音声プロンプトファイルの管理

Voice Prompt File Manage[音声プロンプトファイル管理]画面を使用して、音声プロンプトの音声ファイルを管理し、音量を設定します。

1. Main Menu[メインメニュー]→SETTING[設定]→SYSTEM[システム]→Voice Prompt[音声プロンプト]→File Manage[ファイル管理]に移動します。

- e. 設定する各期間のボックスにチェックを入れます。

図 10-11 Voice Prompt Schedule[音声プロンプトスケジュール]構成ウィンドウ



4. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。
5. 設定を保存して**SETTING[設定]**メニューを終了したい場合には、**OK**をクリックします。

アカウント設定の構成

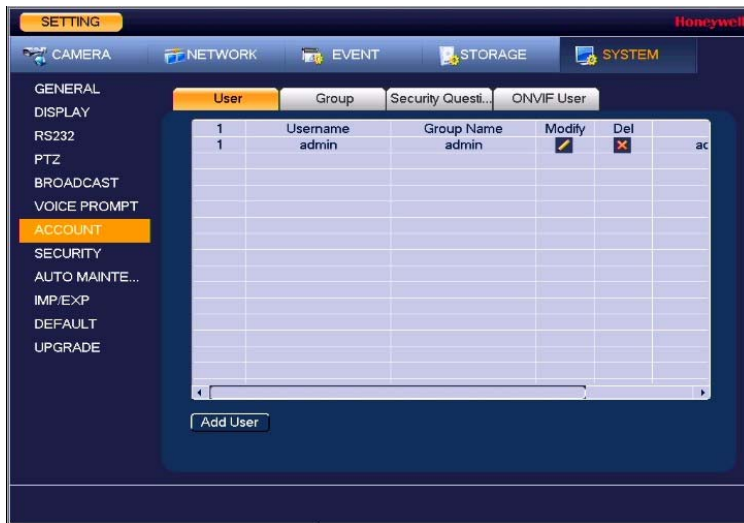
ユーザーアカウントの追加、変更または削除を行うことができます。デフォルトでは、NVRには管理者ユーザーアカウントとデフォルトユーザーアカウントがあります。管理者ユーザーアカウントには、NVRのすべての操作および設定機能を実行する権限があります。デフォルトのユーザーアカウントには、ライブビデオを監視する権限しかありません。

ユーザーアカウントおよびグループの管理

ユーザーアカウントを追加するには、下記を実行します。

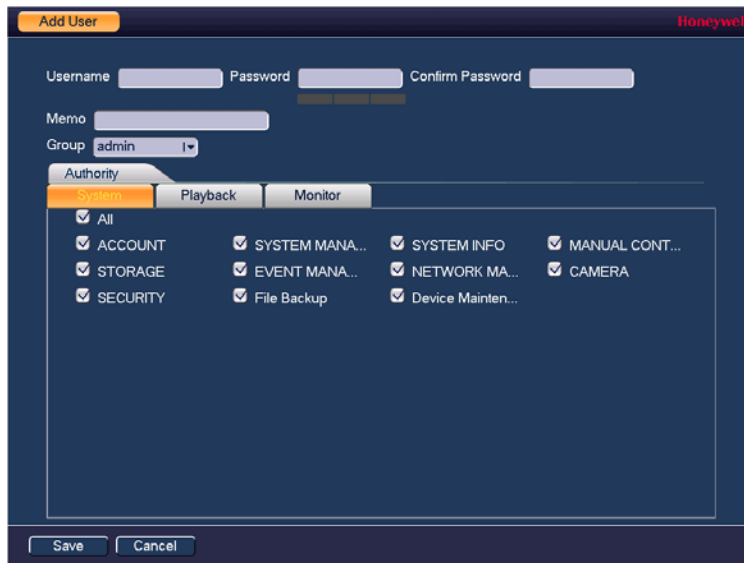
1. Main Menu[メインメニュー]→ **SETTING[設定]** → **SYSTEM[システム]** → **ACCOUNT[アカウント]** → User[ユーザー]に移動します。

図 10-12 User Account[ユーザーアカウント]構成タブ



2. User[ユーザー]タブで、Add User[ユーザーを追加]をクリックします。Add User[ユーザーを追加] ページが開きます。

図 10-13 Add User[ユーザーを追加]ウィンドウ



3. Add User[ユーザーを追加]ページでは、下記の新規ユーザー設定を構成できます：

Username[ユーザー名]：アカウントのユーザー名を入力します。

Password[パスワード]：アカウントのパスワードを入力します。

Confirm Password[パスワードを確認]：パスワードを再入力します。

Memo[メモ]：必要に応じて、アカウントの簡単な説明を入力します。

グループ：ユーザーをグループに割り当てます（**admin[管理者]**、**user[ユーザー]**、または独自に定義した別のグループ）。


Authority[認証]：Authority[認証]セクションのタブのチェックボックスをオンまたはオフにして、特権を割り当てます。

注


デフォルトでは、ユーザーグループは、新しいユーザーがすべてのカメラのライブビデオを監視し、すべてのカメラで録画した動画を再生し、PTZカメラを制御し、情報を表示し、DVRを手動で制御し、ファイルをバックアップし、色の設定を調整できるように設定されています。追加の権限を割り当てるには、ユーザー設定をGroup[グループ]タブで変更します。

4. **Save[保存]**をクリックして設定を保存します。

ユーザーアカウントを編集するには、下記を実行します。

1. **Main Menu[メインメニュー]**→ **SETTING[設定]** → **SYSTEM[システム]** → **ACCOUNT[アカウント]** → **User[ユーザー]** に移動します。
2. **User[ユーザー]**タブで、編集するユーザーアカウントの**Modify[編集]**アイコン  をクリックします。 **Modify User[ユーザーを編集]**ページが開きます。
3. **Modify User[ユーザーを編集]**ページでは、下記の設定が変更できます。
 - Username[ユーザー名]
 - Password[パスワード]
 - User Group[ユーザーグループ]
 - Memo[メモ]
 - Authority[認証]タブ
4. 変更が完了したら、**Save[保存]**をクリックして設定を保存します。

ユーザーアカウントを削除するには、下記を実行します。

1. **Main Menu[メインメニュー]**→ **SETTING[設定]** → **SYSTEM[システム]** → **ACCOUNT[アカウント]** → **User[ユーザー]** に移動します。
2. **User[ユーザー]**タブで、削除するユーザーアカウントの**Delete[削除]**アイコン  をクリックします。
3. "Are you sure that you want to delete now?"（削除してもよろしいですか？）というメッセージが表示されます。 **OK** をクリックしてアカウントを削除します。

注

削除できるのは自分が作成したアカウントのみです。管理者およびデフォルトのユーザーアカウントは削除できません。

ユーザーグループを追加するには下記を実行します。

1. Main Menu[メインメニュー]→ SETTING[設定] →SYSTEM[システム] →ACCOUNT[アカウント] → Group[グループ]に移動します。

図 10-14 グループ構成タブ




2. Group[グループ]タブで、Add Group[グループを追加]をクリックします。
3. Add Group[グループを追加]ページでは、Group Name[グループ名]ボックスでグループ名を入力し、Memo[メモ]ボックスでグループの説明を入力し、Authority[権限]タブでユーザー権限を割り当てます。
4. Save[保存]をクリックして設定を保存します。

ユーザーグループを編集するには下記を実行します。

1. Main Menu[メインメニュー]→ SETTING[設定] →SYSTEM[システム] →ACCOUNT[アカウント] → Group[グループ]に移動します。
2. Group[グループ]タブで、編集するユーザーグループのModify[変更]アイコン をクリックします。Modify Group[グループを編集]ページが開きます。
3. Modify Group[グループを編集]ページでは、下記の設定が変更できます：
 - Group[グループ]
 - Group Name[グループ名]
 - Memo[メモ]
 - Authority[認証]タブ
4. 変更が完了したら、Save[保存]をクリックして設定を保存します。

ユーザーグループを削除するには下記を実行します。

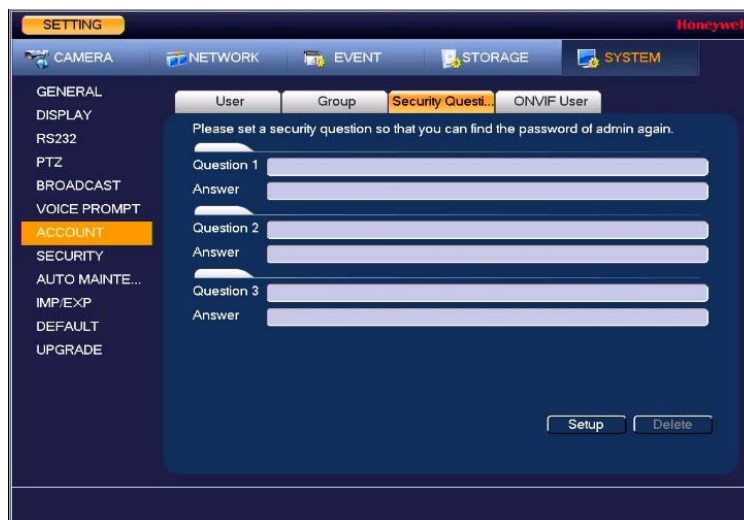
1. Main Menu[メインメニュー]→ SETTING[設定] →SYSTEM[システム] →ACCOUNT[アカウント] → Group[グループ]に移動します。
2. Group[グループ]タブで、削除するユーザーグループのDelete[削除]アイコンをクリックします。
3. "Are you sure that you want to delete now?" (削除してもよろしいですか?) というメッセージが表示されます。OK をクリックしてグループを削除します。

アカウントのセキュリティ質問の構成

管理者パスワードを紛失または忘れた場合に回答できる管理者アカウントのセキュリティ質問を設定できます。

1. Main Menu[メインメニュー]→ SETTING[設定] →SYSTEM[システム] →ACCOUNT[アカウント]→ Secure Question[セキュリティ質問]に移動します。

図 10-15 Secure Question[セキュリティ質問]構成タブ

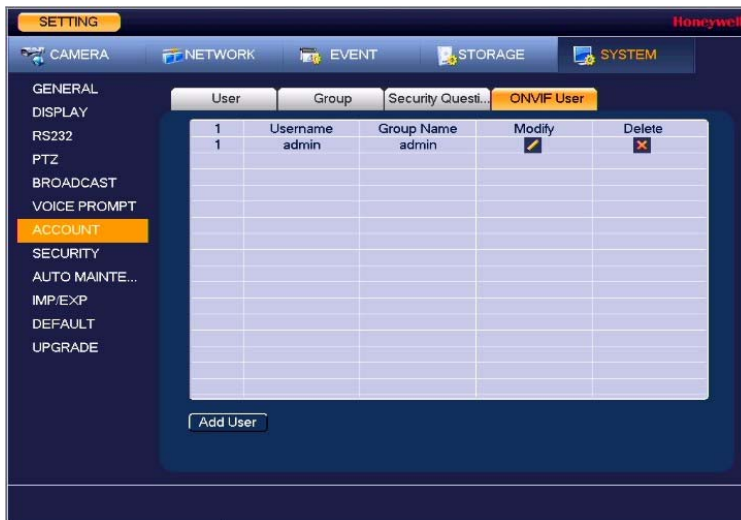


2. セキュリティ質問を Question 1[質問1]と Question 2[質問2]ドロップダウンリストの両方から選択します。デフォルトの質問が当てはまらない場合は、Customized[カスタマイズ]を選択して、フィールドに独自の質問テキストを入力します。
3. それぞれの質問に対する回答を、対応するAnswer[回答]フィールドに入力します。
4. Set[設定]をクリックして設定を保存します。

ONVIFユーザーの構成

ONVIF ユーザーアカウントの追加、変更または削除を行うことができます。

図 10-16 ONVIF ユーザー



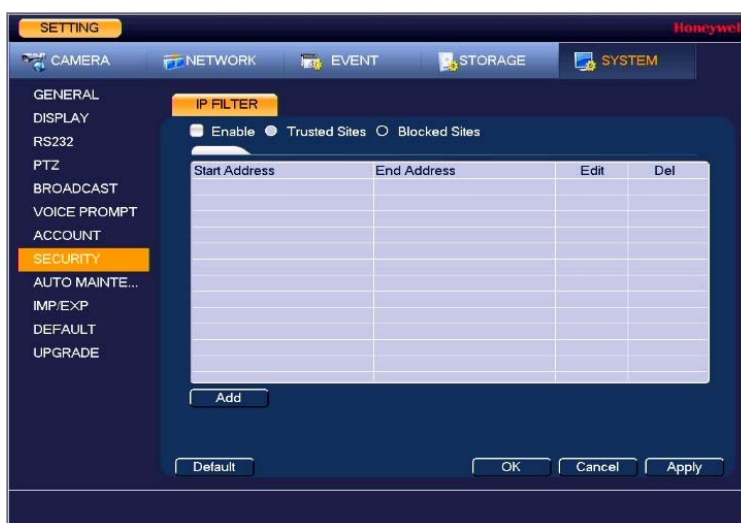
ONVIF ユーザーの構成はユーザーの構成と非常に似通っています。詳細情報はページ 136 のユーザーアカウントおよびグループの管理を参照します。

ポート設定の構成

特定のサイトをDVRにアクセスできるようにするには、下記を実行します。

1. Main Menu[メインメニュー]→ SETTING[設定] →SYSTEM[システム] → Security[セキュリティ]に移動します。

図 10-17 システムセキュリティ設定ウィンドウ



2. IPフィルターを有効にするには、**Enable[有効化]**ボックスにチェックを入れます。

3. **Enable[有効化]**チェックボックスの横の**Trusted Sites[信用するサイト]**をクリックします。
4. **Add[追加]**をクリックします。
5. 単一のIPアドレスを追加するには、ドロップダウンリストから**IP Address[IPアドレス]**を選択し、許可するサイトのIPアドレスを入力して**OK**をクリックします。

IPアドレスの範囲を追加するには、ドロップダウンリストからIPセクションを選択し、開始アドレスを上のIPアドレスフィールドに入力し、終了アドレスを下のフィールドに入力して、**OK**をクリックします。IPv4とIPv6の両方のアドレスがサポートされています。

特定のシステムを追加するには、ドロップダウンリストから**MAC Address[MACアドレス]**を選択し、許可するシステムのMACアドレスを入力して、**OK**をクリックします。
6. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。
7. 設定を保存して**SETTING[設定]**メニューを終了したい場合には、**OK**をクリックします。

特定のサイトがNVRにアクセスできないようにするには、下記を実行します。

1. **Main Menu[メインメニュー]**→ **SETTING[設定]** → **SYSTEM[システム]** → **Security[セキュリティ]**に移動します。
2. IPフィルターを有効にするには、**IP Filter[IPフィルター]**ページで**Enable[有効化]**ボックスにチェックを入れます。
3. **Enable[有効化]**チェックボックスの横の**Blocked Sites[ブロックしたサイト]**をクリックします。
4. **Add[追加]**をクリックします。
5. 単一のIPアドレスを追加するには、ドロップダウンリストから**IP Address[IPアドレス]**を選択し、ブロックするサイトのIPアドレスを入力して**OK**をクリックします。

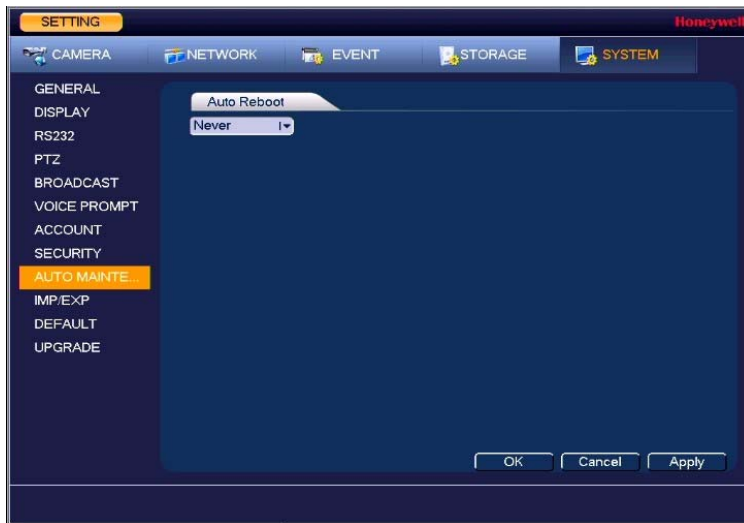
IPアドレスの範囲を追加するには、ドロップダウンリストからIPセクションを選択し、開始アドレスを上の上のIPアドレスフィールドに入力し、終了アドレスを下のフィールドに入力して、**OK**をクリックします。IPv4とIPv6の両方のアドレスがサポートされています。
6. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。
7. 設定を保存して**SETTING[設定]**メニューを終了したい場合には、**OK**をクリックします。

自動メンテナンス設定の構成

NVRが自動的に再起動するようにセットアップできます。

1. **Main Menu[メインメニュー]**→ **SETTING[設定]** → **SYSTEM[システム]** → **AUTO MAINTAIN[自動メンテナンス]**に移動します。

図 10-18 Auto Maintenance[自動メンテナンス]構成ウィンドウ



2. 下記のオプションよりひとつ選びます。: Never[なし]、Everyday[毎日]、Sunday[日曜日]、Monday[月曜日]、Tuesday[火曜日]、Wednesday[水曜日]、Thursday[木曜日]、Friday[金曜日]、Saturday[土曜日]の中からいずれかを選択し、ドロップダウンメニューから自動リブートする時刻を選択します。
3. Apply[適用]をクリックして設定を保存します。
4. 設定を保存してSETTING[設定]メニューを終了する場合は、OKをクリックします。

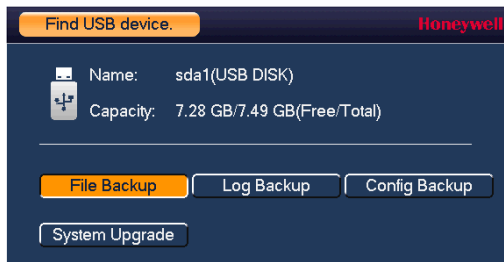
システム構成のエクスポートとインポート

同じ設定を持つ NVR を複数インストールする場合には、NVR システム設定をエクスポートおよび/またはインポートできます。

システム構成をエクスポートするには下記を実行します。

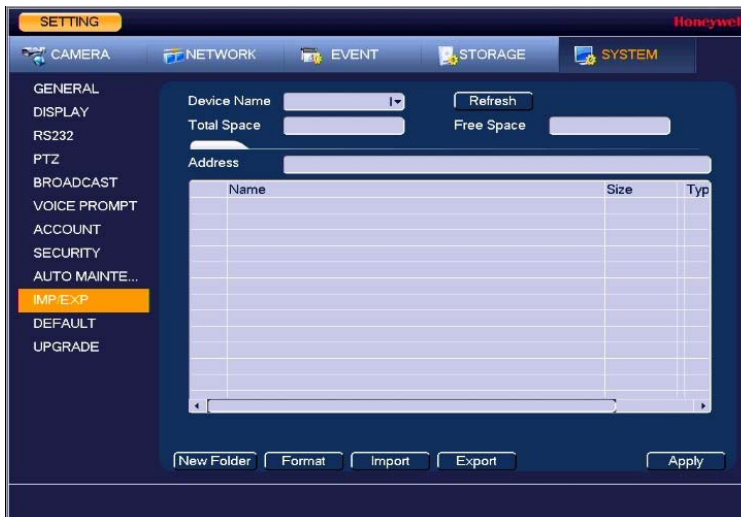
1. Main Menu[メインメニュー]→ SETTING[設定] →SYSTEM[システム] → IMP/EXP[インポート/エクスポート]に移動します。
2. USBストレージデバイス（USBフラッシュドライブなど）をNVRのUSBポートの1つに挿入します。Find USB device[USBデバイスを検出]ダイアログボックスが開きます。

図 10-19 Find USB device[USB デバイスを検出]ウィンドウ



3. Find USB device[USBデバイスを検出]ダイアログボックスで**Config Backup[バックアップを構成]**をクリックします。
4. **IMP/EXP[インポート/エクスポート]**ページで**Refresh[リフレッシュ]**をクリックします。ページには、ストレージデバイスの詳細が表示されます。

図 10-20 Config Backup[バックアップを構成]ウィンドウ



5. **Export[エクスポート]**をクリックします。エクスポートが成功し、システム構成ファイル (Config_[YYYYMMDDhhmmss]) がファイルリストに追加されたことを確認するメッセージが表示されます。

システム構成をインポートするには下記を実行します。

1. システム構成ファイル (別のNVRからエクスポートされたもの) を含むUSBストレージデバイスをNVRのUSBポートの1つに挿入します。Find USB device[USBデバイスを検出]ダイアログボックスが開きます。
2. Find USB device[USBデバイスを検出] ダイアログボックスで CONFIG BACKUP[バックアップを構成]をクリックします。
3. **IMP/EXP[インポート/エクスポート]**ページで、**Refresh[リフレッシュ]**をクリックしてUSBデバイスの内容を表示します。Config Backup[設定バックアップ] ページで、インポートする構成ファイル (Config_[YYYYMMDDhhmmss]) をクリックし、**Import[インポート]**をクリックします。

4. NVRを再起動して新しい設定を適用します。

外部USBストレージデバイスをフォーマットするには、下記を実行します。

1. Main Menu[メインメニュー]→SETTING[設定]→SYSTEM[システム]→IMP/EXP[インポート/エクスポート]に移動します。
2. USBストレージデバイス（USBフラッシュドライブなど）をNVRのUSBポートの1つに挿入します。Find USB device[USBデバイスを検出]ダイアログボックスが開きます。
3. Find USB device[USBデバイスを検出] ダイアログボックスで CONFIG BACKUP[バックアップを構成]をクリックします。
4. IMP/EXP[インポート/エクスポート]ページでRefresh[リフレッシュ]をクリックします。ページには、ストレージデバイスの詳細が表示されます。
5. Format[フォーマット]をクリックします。
6. "Confirm format on the selected device?"（選択したデバイスをフォーマットしてよろしいですか?）というメッセージが表示されます。ストレージデバイスをフォーマットするにはOKをクリックします。

出荷時設定の復元

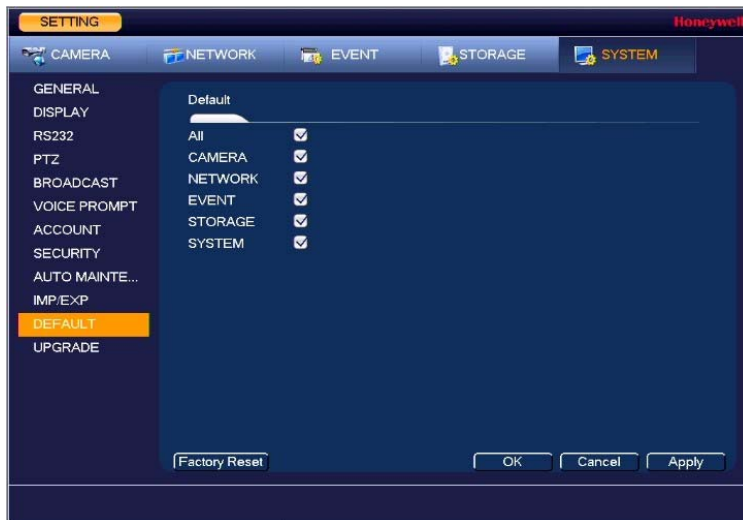
カメラ、ネットワーク、イベント、ストレージ、およびシステムのデフォルト設定を復元できます。

注

デフォルト設定を復元すると、システムメニューの色、言語、時刻表示モード、動画形式、IPアドレス、およびユーザーアカウントのすべての変更が失われます。

1. Main Menu[メインメニュー]→SETTING[設定]→SYSTEM[システム]→DEFAULT[デフォルト]に移動します。

図 10-21 Default[デフォルト]構成ウィンドウ



2. デフォルト設定に復元する項目のボックスにチェックを入れるか、**All [全て]**を選択して全てをデフォルト設定に戻します。
3. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。
4. 設定を保存して**SETTING[設定]**メニューを終了したい場合には、**OK**をクリックします。

注

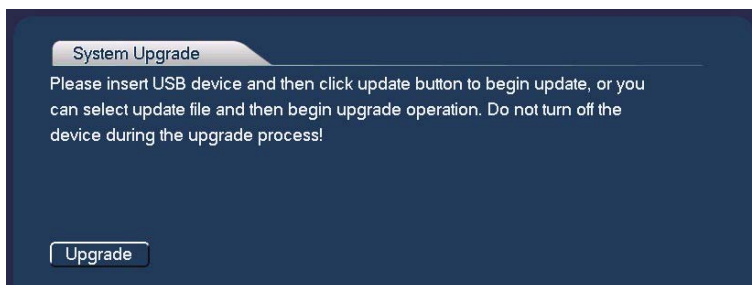
NVRを出荷時のデフォルト設定に戻すには、**Factory Reset[出荷時リセット]**をクリックします。

NVR のアップグレード

NVR のシステムファームウェアはローカルアップグレードすることができます。

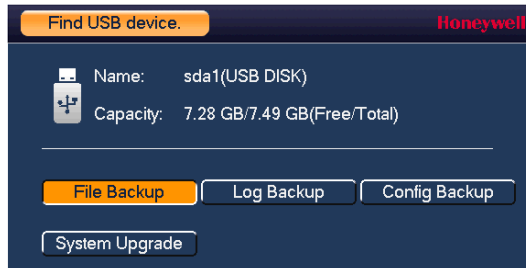
1. **Main Menu[メインメニュー]**→ **SETTING[設定]** → **SYSTEM[システム]** → **UPGRADE[アップグレード]**に移動します。

図 10-22 アップグレードウィンドウ



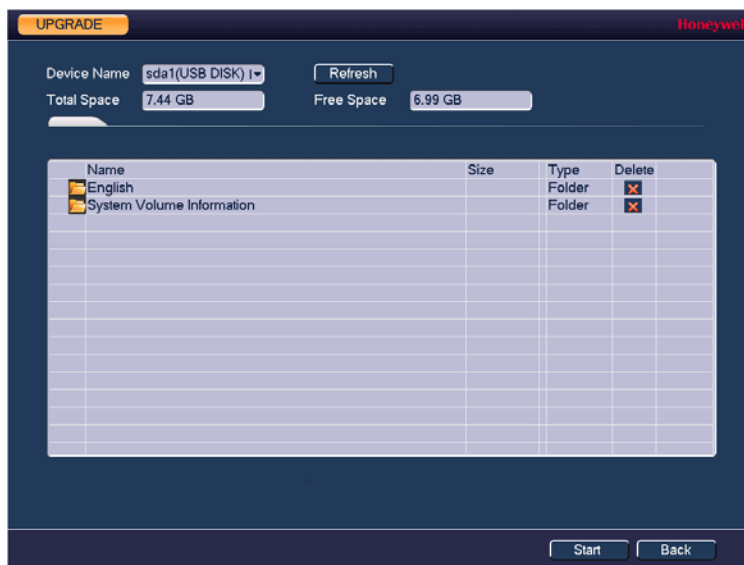
2. 新しいファームウェアを含むUSBストレージデバイス（USBフラッシュドライブなど）をNVRのUSBポートの1つに挿入します。**Find USB device[USBデバイスを検出]**ダイアログボックスが開きます。

図 10-23 Find USB device[USB デバイスを検出]ウィンドウ



3. Find USB device[USBデバイスを検出] ダイアログボックスで、**System Upgrade[システムアップグレード]**をクリックします。
4. **Upgrade[アップグレード]**ページで**Upgrade[アップグレード]**をクリックします。**Upgrade[アップグレード]**ウィンドウが開きます。

図 10-24 アップグレードウィンドウ



5. ファイルリストからファームウェアファイルを選択し、**Start[開始]**をクリックします。

11 情報表示

この章は以下の項で構成されています：

- [ページ148 にシステム情報の表示](#)
- [ページ151 にイベント情報の表示](#)
- [ページ153 にネットワーク情報の表示](#)
- [ページ156 にログ情報の表示](#)

システム情報の表示

システム情報インターフェースでは、次の情報を表示できます：

- ハードディスク情報
- 録画情報
- ビットストリーム統計データ
- バージョン詳細

ハードディスク情報の表示

1. Main Menu[メインメニュー]→ INFO[情報] → SYSTEM[システム] →HDDに移動します。

図 11-1HDD 情報ウィンドウの表示

1*	Name	Physical Position	Type	Free Space
All	-	-	-	651.60 GB
1*	sda	main board-1	Read/Write	651.60 GB

2. HDDの情報を解釈するには、次の表を参照してください。

SATA: o は現在の HDD が正常であることを示します。

x はエラーがあることを示します。

- は HDD がいないことを示します。

?? は HDD が損傷していることを示します。

Device Name[デバイス名]: デバイスに指定した名前が表示されます。

Physical Position[物理的位置]: ハードドライブが取り付けられているハードドライブベイを示します。

Type[タイプ]: HDD の種類 (例: **Read/Write[読み取り/書き込み]**) を示します。

Free Space[空きスペース]: HDD に残っている空き容量を示します。

Total Space[全スペース]: HDD の総容量を示します。

Status[ステータス]: HDD の現在の動作状態を示します。

S.M.A.R.T.: S.M.A.R.T (自己監視、分析、および報告技術) のステータスを示します。

3. HDDのリストで、HDDをダブルクリックして詳細を表示します。

図 11-2 S.M.A.R.T.情報ウィンドウ

S.M.A.R.T INFO Honeywell

Port main board-1
 Model ST1000VX000-1CU1
 Serial No. S1D94L1S
 Status OK

Describe:

Smart ID	Attribute	Threshold Value	Worst Value	Status	
1	Read Error Rate	6	117	99	OK
3	Spin Up Time	0	98	96	OK
4	Start/Stop Count	20	95	95	OK
5	Reallocated Sector Count	10	100	100	OK
7	Seek Error Rate	30	68	60	OK
9	Power On Hours Count	0	90	90	OK
10	Spin-up Retry Count	97	100	100	OK
12	Power On/Off Count	20	96	96	OK
184	End-to-End Error	99	100	100	OK
187	Reported Uncorrect	0	64	64	OK
188	Command Timeout	0	100	99	OK
189	High Fly Writes	0	1	1	OK
191	G-Sense Error Rate	0	100	100	OK
192	Power-Off Retract Cycle	0	98	98	OK
193	Load/Unload Cycle Count	0	98	98	OK
194	Temperature	0	32	64	OK
197	Current Pending Sector Count	0	100	100	OK

4. 右クリックすると、前の画面に戻ります。

録画情報表示

Main Menu[メインメニュー]→ INFO[情報] → SYSTEM RECORD[システム録画]に移動します。

図 11-3 録画情報ウィンドウ

INFO Honeywell

SYSTEM EVENT NETWORK LOG

HDD
RECORD
 BPS
 VERSION

All	Device Name	Start Time	End Time
All		2000-00-00 00:00:00	2000-00-00 00:00:00

Record Info[録画情報] ページでは、デバイス名と、録画したビデオの開始時刻と終了時刻を表示できます。

データストリーム情報の表示

Main Menu[メインメニュー]→ INFO[情報] → SYSTEM[システム] → BPS に移動します。

図 11-4BPS 情報ウィンドウ



BPS ページでは、各チャンネルの現在のビデオデータストリームレートと解像度を表示できます。

バージョン情報表示

Main Menu[メインメニュー]→INFO[情報]→SYSTEM[システム]→VERSION[バージョン]に移動します。

図 11-5 バージョン情報ウィンドウ



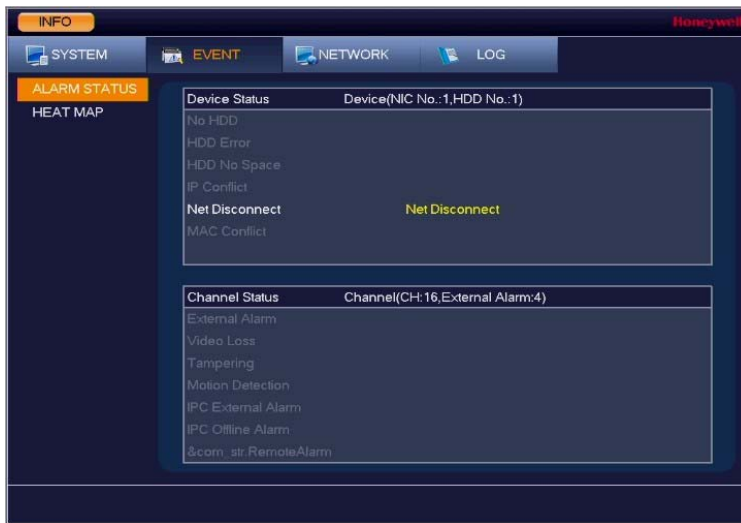
VERSION[バージョン] ページでは、チャンネル数、アラームの入出力数、システムのバージョン番号、ビルドの日付、Web および ONVIF のバージョン、シリアル番号を表示できます。

イベント情報の表示

アラーム状態情報の表示

Main Menu[メインメニュー]→INFO[情報]→SYSTEM[システム]→Alarm Status[アラーム状態]に移動します。

図 11-6 アラーム状態情報ウィンドウ



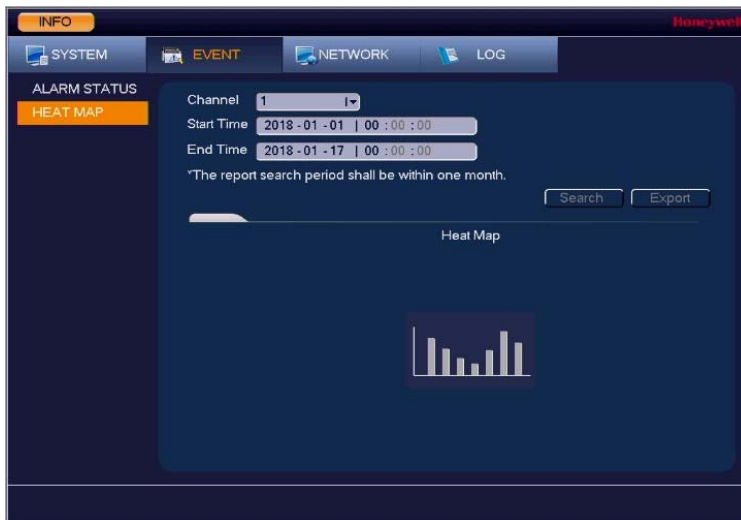
Alarm Status[アラーム状態] ページでは、デバイスレベルとチャンネルレベルでアラーム情報が見られます。NVR によりこの情報は自動的に更新されます。

ヒートマップ情報の閲覧

注 この機能は以下の機種のみ有効です。
HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/HEN323*4/HEN321*4/HEN642*4/HEN643*4。

Main Menu[メインメニュー]→ INFO[情報] → EVENT[イベント]→ Heat Map[ヒートマップ]に移動します。

図 11-7 ヒートマップ情報ウィンドウ



ページにある Heat Map [ヒートマップ]ではヒートマップ情報を検索及びエクスポートできます。

ヒートマップ情報を検索するために、チャンネル、開始時刻、及び終了時刻を選択し、次に **Search[検索]**をクリックします。

検索の後、ヒートマップ情報をエクスポートする場合は、**Export [エクスポート]**をクリックします。

ネットワーク情報の表示

ネットワーク情報インターフェースでは、オンラインユーザーを表示および/またはブロックしたり、ネットワークデータ送信の詳細を表示したり、ネットワークテストを実行したりすることができます。

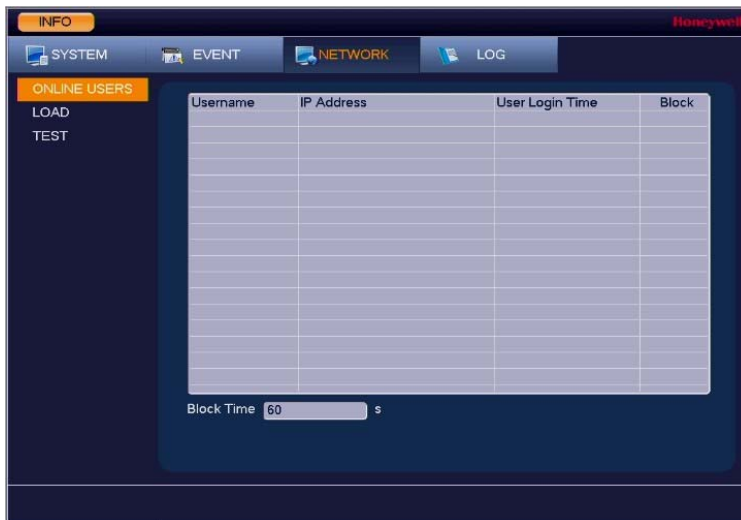
オンラインユーザーの表示

すべてのオンラインユーザーのユーザー名、IP アドレス、ログイン時刻を表示できます。オンラインユーザーを指定した期間だけブロックすることもできます。

オンラインユーザーを表示するには、下記を実行します。

Main Menu[メインメニュー]→ INFO[情報] → NETWORK[ネットワーク]→ONLINE USERS[オンラインユーザー]に移動します。

図 11-8 オンラインユーザーの表示



注 NVRシステムは新たに追加または削除されたユーザーを5秒ごとに検出し、オンラインユーザーのリストを更新します。

オンラインユーザーを一時的にブロックするには、下記を実行します。

1. Main Menu[メインメニュー]→ INFO[情報] → NETWORK[ネットワーク]→ONLINE USERS[オンラインユーザー]に移動します。
2. ユーザーリストのBLOCK[ブロック]アイコンをクリックし、画面の下部にあるBlock for[ブロック期間]ボックスに、ユーザーをブロックする時間を秒単位で入力します。入力できる最大値は65535秒（18.2時間）です。

ネットワークロード情報の表示

Main Menu[メインメニュー]→ INFO[情報] → NETWORK[ネットワーク]→ Load[ロード]に移動します。

図 11-9 ネットワークロードの表示



Load[ロード]ページでは、ネットワークデバイス名、MAC アドレス、ステータス (Succeed[正常]または Failed[エラー])、デバイスの IP アドレス、ネットワークの種類、最大伝送ユニット (MTU)、送信速度、受信速度の値を表示できます。

ネットワークテスト情報の表示

1. Main Menu[メインメニュー]→ INFO[情報] → NETWORK[ネットワーク]→Test[テスト]に移動します。

図 11-10 ネットワークのテスト



2. Test[テスト]ページのTEST[テスト]に有効なIPv4アドレスを入力するかDestination IPボックスにドメイン名を入力し、Test[テスト]をクリックします。

テスト結果には平均遅延とパケット損失率が表示されます。また、ネットワークステータスが OK、Bad[悪い]、または No Connection[接続なし]であるかどうかを示します。

ネットワークパケットデータを外部 USB ストレージデバイスにバックアップするには、下記を実行します。

3. USBストレージデバイス（USBフラッシュドライブなど）をNVRのUSBポートの1つに挿入します。
4. Test[テスト]ページのNetwork Sniffer Packet Backup [ネットワークスニファパケットバックアップ]で、Refresh[リフレッシュ]をクリックします。接続されたUSBストレージデバイスが Device Name[デバイス名]ボックスに表示されます。
5. 必要に応じて、Browse[閲覧]をクリックして保存パスを設定します。
6. ネットワークデバイスリストのSniffer Packet Backup[スニファパケットバックアップ]列で、緑の矢印ボタンをクリックしてデータのキャプチャを開始します。もう一度ボタンをクリックすると、データのキャプチャが停止します。

ログ情報の表示

ログ情報を表示するには下記を実行します。

1. Main Menu[メインメニュー]→ INFO[情報] → LOG[ログ]に移動します。

図 11-11 ログ情報の表示



2. Start Time[開始時刻]およびEnd Time[終了時刻]ボックスで、ログを検索する期間を入力します。
3. Type[種類]ボックスに、表示する特定のログの種類（System[システム]、Config[設定]、Storage[ストレージ]、Alarm[アラーム]、Record[録画]、Account[アカウント]、Clear[クリア]、Playback[再生]、Connection[接続]）を選択するか、全てのログを表示するためにAll[全て]を選択して、Search[検索]をクリックします。

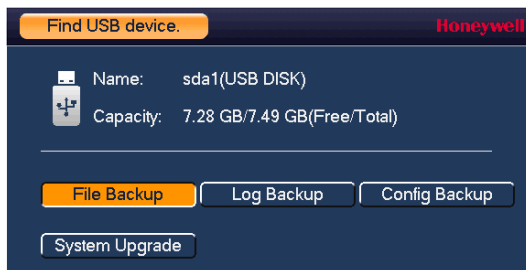
検索結果は、順序付きリストに表示されます。NVR は最大 1024 のログファイルを保存できます。

4. ログエントリーの詳細を表示するには、該当する列のDetails[詳細]ボタンをクリックします。

ログ情報を外部 USB ストレージデバイスにバックアップするには、下記を実行します。

1. USBストレージデバイス（USBフラッシュドライブなど）をNVRのUSBポートの1つに挿入します。**Find USB device**[**USBデバイスを検出**]ダイアログボックスが開きます。

図 11-12 Find USB device[USB デバイスを検出]ウィンドウ



2. Find USB device[USBデバイスを検出]ダイアログボックスで、**Log Backup**[**ログバックアップ**]をクリックします。
3. **Log**[**ログ**]ページで**Backup**[**バックアップ**]をクリックします。ログファイル（**FileLog.txt**）は、ストレージデバイス上のLog_ [YYYYMMDDhhmmss]という名前のフォルダにあります。

12 ウェブクライアント操作

この章では、ブラウザベースのウェブクライアントを使用してリモートで Honeywell パフォーマンスシリーズのネットワークビデオレコーダーにアクセスする方法を説明します。

この章は NVR のリモートユーザーを対象にしています。

ログイン

この章には下記が含まれます:

- ウェブクライアントソフトウェア用 PC 要件
- ウェブクライアントソフトウェアへのログイン
- ウェブクライアントソフトウェアのメインページ

デバイスウェブクライアント使用の準備

PC 要求事項

表 12-1 PC 要求事項

コンポーネント	最低要求事項
プロセッサ	クワッドコア
システムメモリー (RAM)	2G 以上
一体化されていないビデオカード	256M以上

ログインの前に

下記の条件に適合しているか確認する:

- ネットワーク接続は良好か確認する
- NVR と PC ネットワーク設定が正しいか確認するネットワークの設定を参照する: **Main Menu[メインメニュー] → Setting[設定] → Network[ネットワーク]**。
- ネットワーク接続が良好かどうか確認する為にピングする。***** をピングする(ここで ***** は NVR の IP アドレスです)。設定値は、225 未満にしてください。

注

ウェブ制御をアンインストールする前にウェブページを閉じます。閉じない場合、アンインストールプロセスがエラーになることがあります。

- 現在の NVR はアップル、サファリ、及びモジラファイヤーフォックスのような様々なブラウザに対応しています。NVR はアップル PC での複数チャンネルモニタリング（モデルによる）に対応しています。

ログイン

1. ウェブブラウザウィンドウを開きます。

注

これらの手順はIEを使用して作成されています。インターネットエクスプローラー(IE)、サファリ、あるいはファイアーフォックスを使用することができます。

図 12-1 IE ウィンドウ



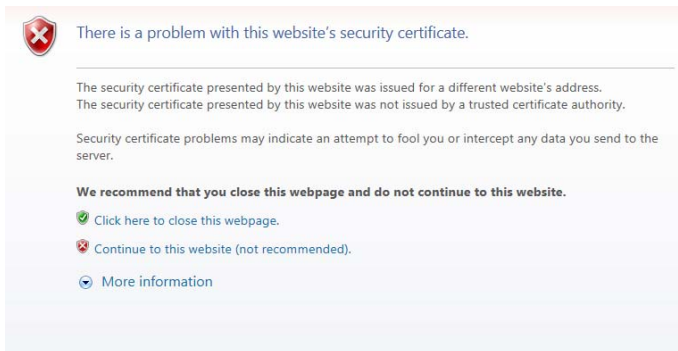
IPアドレスを入力し

2. アドレスフィールドに NVR の IP アドレスを入力します。

例えば、NVR の IP アドレスが **192.168.1.108** の場合、アドレスフィールドに **http://192.168.1.108** を入力します。

キーボードで **Enter [エンター]** を押します。下記の画面が表示されます。:

図 12-2 セキュリティ問題



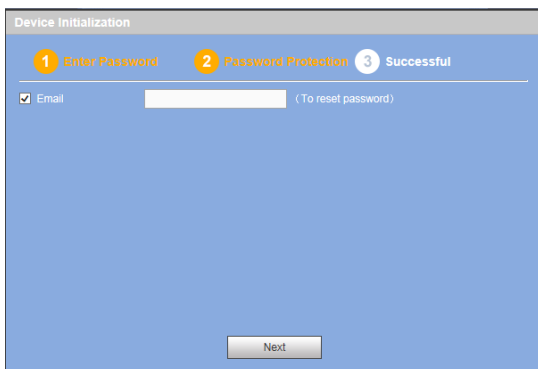
ウェブサイトに **Continue [続ける]** をクリックします (**推奨されません**)。下記のウィンドウが表示されます：

図 12-3 パスワードを入力します。



新しいパスワードと確認パスワードを入力します。**Next [次へ]** をクリックします。下記のウィンドウが表示されます：

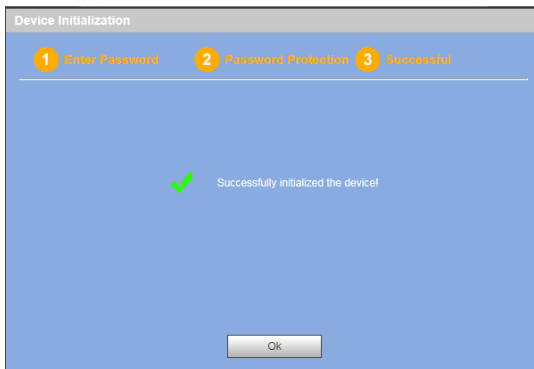
図 12-4 パスワード保護



電子メールを選択し、電子メールアドレスを入力します。**Next [次へ]** をクリックします。下記のウィンドウが表示されま

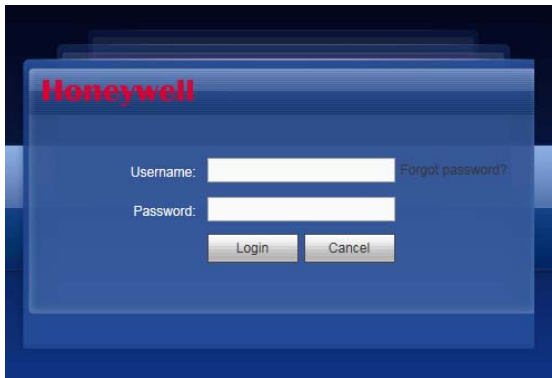
す：

図 12-5 成功



OK をクリックします。下記のウィンドウが表示されます:

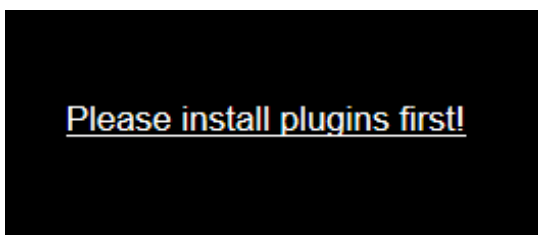
図 12-6 ウェブサービス ログイン ウィンドウ



3. ユーザー名とパスワードを入力します。次に **Login [ログイン]** をクリックします。

制御をインストールしますか? というメッセージが表示されます。

図 12-7 制御インストールポップアップメッセージ



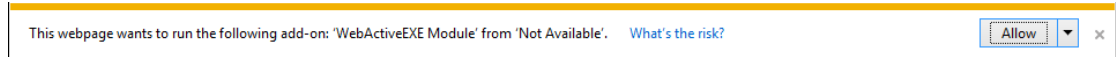
4. メッセージをクリックすると下記のメッセージが表示されます:

図 12-8 Run Plugin Message[プラグインメッセージの実行]



5. **Run[実行]**をクリックしてインストールを始めます。関連するプラグインが、下記の図に示すようにウェブブラウザのセキュリティ設定によりブロックされている場合があります:

図 12-9 ブロックしていないセキュリティプラグイン

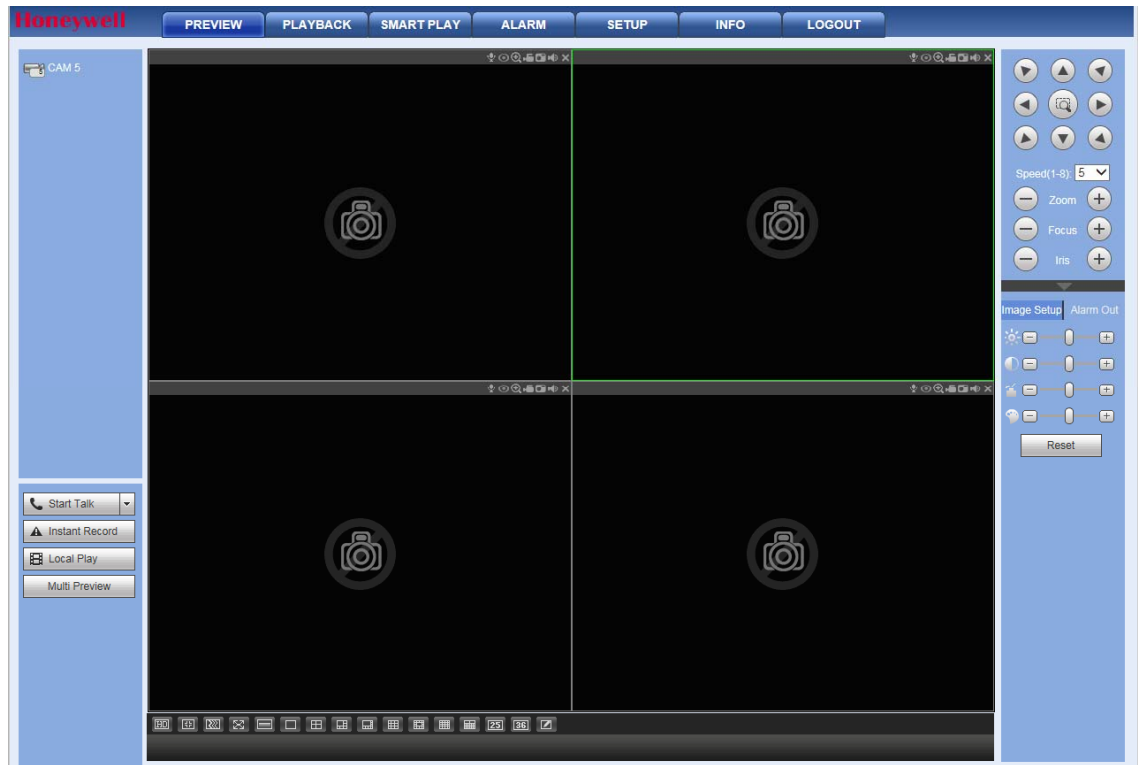


6. **Allow [許可]**をクリックします。

メインウィンドウ

メインウィンドウは4つのセクションに分割されています。インターフェースの下部で異なったチャンネルと異なったモードを選択することができます。

図 12-10 メインウィンドウ



セクション 1：機能ボタン

図 12-11 メインウィンドウ機能タブ

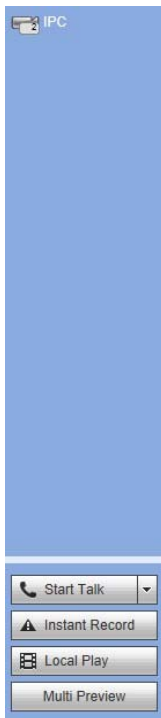


6つの機能タブがあります:

- **Preview[プレビュー]**：現在プレビュー（ライブ）モードにいます。そこではこれらすべてのタブを見ることができません。
- **再生**：ページ 246 の [再生](#) を参照してください
- **スマート再生**：ページ 253 の [イベントビデオの再生にスマートプレイヤーを使用する](#) を参照してください
- **Alarm[アラーム]**：ページ 254 の [Alarm\[アラーム\]](#) を参照してください
- **Setup[設定]**：ページ 173 の [構成](#) を参照してください
- **Info[情報]**：ページ 170 の [情報](#) を参照してください
- **Logout[ログアウト]**：ページ 166 の [ログアウト](#) を参照してください

セクション 2：モニターチャンネルと機能ボタン

図 12-12 モニターチャンネルセクションと機能ボタン

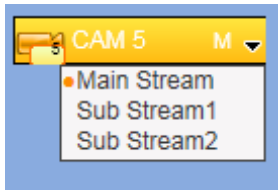


モニターチャンネル

Monitor Channels [モニターチャンネル] セクションは NVR への接続が成功したモニターチャンネルを表示します。閲覧するチャンネルを選択するために左クリックします。

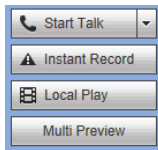
Main Stream [メインストリーム] 及び **Sub Stream [サブストリーム]** - メインストリームとサブストリームを見つけるためにマウスをカメラチャンネルウィンドウへと誘導します。

図 12-13 メインストリームとサブストリーム



会話開始ボタン

図 12-14 会話開始ボタン



双方向通信の有効化

1. 双方向通信を有効にするにはクリックしてください。
2. 双方向通信モードを選択するために、右手にあるコントロールパネルをクリック します。通信モードには4つのオプションがあります: **DEFAULT [デフォルト]**、**G711a**、**G711u**、及び **PCM**。

図 12-15 会話モードオプション



注

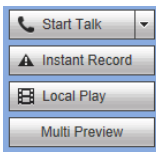
双方向通信を有効にした後、デバイスからクライアント側に行っているオーディオ入力ポートが第1チャンネルのオーディオ入力ポートを使用している場合、システムは該当チャンネルからのオーディオデータをエンコードしません。オーディオ接続の詳細については[双方向通信接続の設定](#)ページ26を参照します。

双方向通信の無効化

双方向通信を動作させた後は、**Start Talk [会話開始]**ボタンは **End Talk [会話終了]** ボタンに変わります。双方向通信を終了する為にこのボタンをクリックします。

即時録音ボタン

図 12-16 即時録音ボタン



Instant Record [即時録音]をクリックします。ボタンは青色になります。NVR は手動録音を開始します。**Instant Record [即時録音]** を再度クリックすると、NVR を以前の録音モードへ復帰します。

ローカル再生ボタン

NVR は PC 内に(.dav フォーマットで) 保存されているファイルをプレイバックすることができます。

1. **Local Play[ローカル再生]**をクリックします。プレイバックするファイルを選択する為にインターフェースが現れます。

図 12-17 ローカル再生—ファイルインターフェースを選択します。



2. ファイルを選択し、**Open [開く]**をクリックします。メディアプレーヤーが開き、選択されたビデオが再生されます。

セクション 3：PTZ 制御パネル、イメージとアラーム構成パネル

PTZコントロールパネル

PTZ カメラの制御についての詳細は [PTZ カメラの制御](#) ページ 32 を参照します。

イメージとアラーム構成パネル

イメージ設定についての詳細情報は、ページ 176 の [カメラ画像条件設定の構成](#) を参照します。

アラームについての詳細情報はページ 254 の [Alarm\[アラーム\]](#) を参照します。

セクション 4：ビューワー構成制御

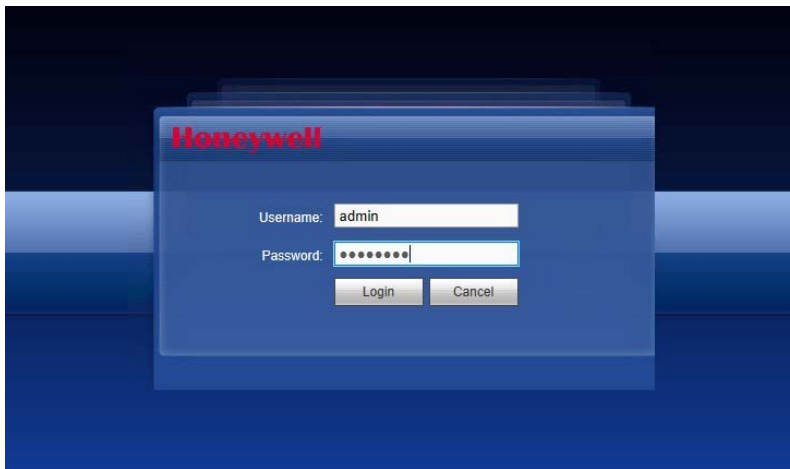
表 12-2 ビューワー構成制御

ボタン	名前	詳細
	ビデオ品質	クリックして検出されたカメラを選択します。High [高] quality [品質] あるいは Low [低] quality [品質] のいずれかを選択します。
	アスペクト比	現在のビデオパネルに適合する為に、カメラの自然アスペクト比と最良アスペクト比の間で切り替える為にクリックします。
	なめらかさ	なめらかさを構成するためにクリックします。 Fluency Level 1 [なめらかさレベル 1], Fluency Level 2 [なめらかさレベル 2], Fluency Level 3 [なめらかさレベル 3], Middle level [中間レベル], Latency Level 1 [待ち時間レベル 1], Latency Level 2 [待ち時間レベル 2]及び Latency Level 3 [待ち時間レベル 3]より選択します。
	全画面表示	ビューアーをビデオ全画面表示に切り替える為にクリックします。全画面表示を終了するには Esc (PC上の)キーをクリックします。
	垂直同期	垂直同期を構成する為にクリックします。
	単一チャンネルウィンドウ	単一チャンネル閲覧に切り替える為にクリックします。
	複数チャンネルウィンドウ	異なった閲覧ウィンドウ構成に切り替える為にクリックします。
	カスタム分割	カスタム分割ウィンドウで設定したウィンドウ分割モードを選択します。ページ 236 の Custom Split [カスタム分割] 構成タブ を参照してください。

ログアウト

Main Menu [メインメニュー]にある Logout [ログアウト] タブをクリックします。NVR は Login [ログイン] インターフェースに戻ります。

図 12-18 ログイン・インターフェース



ウェブ制御のアンインストール

ウェブ制御プラグインをアンインストールするためにウェブアンインストールツール `uninstall_web.bat` を使用することができます。

注

ウェブ制御プラグインをアンインストールする前に全てのウェブページを閉じてください。閉じない場合、システムにエラーが発生することがあります。

ライブビュー

この章には下記が含まれます:

- NVR ウェブクライアントの説明
- イメージ設定を含む、イメージ/リレー出力設定の説明
- システムのバージョン、ログ、接続ログ、及びオンラインユーザー情報を含む、ライブビューでの閲覧で利用可能な情報の説明

ライブビュー

閲覧用のチャンネルを選択する為に **Monitors Channel [モニターチャンネル]** 章のセクション 2 でチャンネル名を左クリックします。

ビデオウィンドウは映像の統計を表示します。

図 12-19 ライブビュービデオウィンドウ



表 12-3 ライブビュービデオウィンドウコントロール

コントロール	詳細
デバイス情報表示	<p>映像に関する下記の情報を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • IPアドレス • チャンネル番号 • ビットレート • Stream: [ストリーム:]メインストリームはM、あるいはサブストリームはS1/S2と表示されます。
音声会話	<p>双方向音声会話を有効化/無効化する為にこのボタンをクリックします。</p>
魚眼モード	<p>カメラの表示モードを魚眼モードに変更する為にこのボタンをクリックします。この表示モードは魚眼カメラのみサポートされています。詳細情報は魚眼カメラのマニュアルを参照してください。</p>
デジタルズーム	<p>このボタンをクリックし、次にマウスで、ズームインのゾーンまで左ドラッグしてください。</p> <p>前の倍率に戻るには、マウスを右クリックします。</p>
ローカル録画	<p>Local Record [ローカルレコード]ボタンをクリックすると、システム/NVRは記録を開始します。</p>

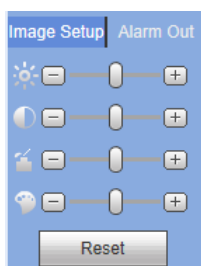
	記録ファイルはデフォルトのシステムフォルダに保存されます。 \RecordDownload[記録ダウンロード].
スナップショット	閲覧中のビデオのスナップショットを撮るためにクリックします。全ての画像はデフォルトのシステムフォルダに保存されます。 \picture download[/ピクチャダウンロード].
オーディオ	オーディオを On [オン] あるいは Off [オフ] します。 注: この制御はシステムのオーディオ設定には何の影響も与えません。
ウィンドウを閉じる	使用中のウィンドウでビデオを閉じます。

画像/リレー出力設定

画像設定の構成





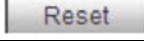
選択したチャンネルの、明るさ、コントラスト、色相、及び彩度を調整することができます。

図 12-20 ネットワーク設定



1. 1つのチャンネルのビデオを選択する為にクリックします。選択されている事を現すために、今選択されているチャンネルの縁が緑になります。
2. セクション 8 の画像調整ボタンをクリックします。

表 12-4 画像設定

設定	詳細
	モニターのビデオの明るさを調整します。
	モニターのビデオコントラストを調整します。
	モニターのビデオ色相を調整します。
	モニターのビデオ色相を調整します。
	モニターのビデオ色相を調整します。

NVR を出荷時のデフォルト設定に戻すには、**Reset[リセット]**をクリックします。

注 これら全ての構成はウェブビューアーにのみ適用されます。

情報

Version[バージョン]

1. 情報メニューツリーを見るために **Info [情報]** をクリックします。
2. **Version [バージョン]** インターフェースを開くために **Version [バージョン]** をクリックします。

図 12-21 バージョンインターフェース



ここでは、録画しているチャンネル、アラーム入力/出力情報、ソフトウェアのバージョン、及び、リリース日を参照できます。これらの値はいずれも変更できません。閲覧するだけです。

Log[ログ]

Log [ログ] 構成インターフェースを開くために、**Info [情報]** メニュー内の **Log [ログ]** をクリックします。

図 12-22 ログ構成インターフェース

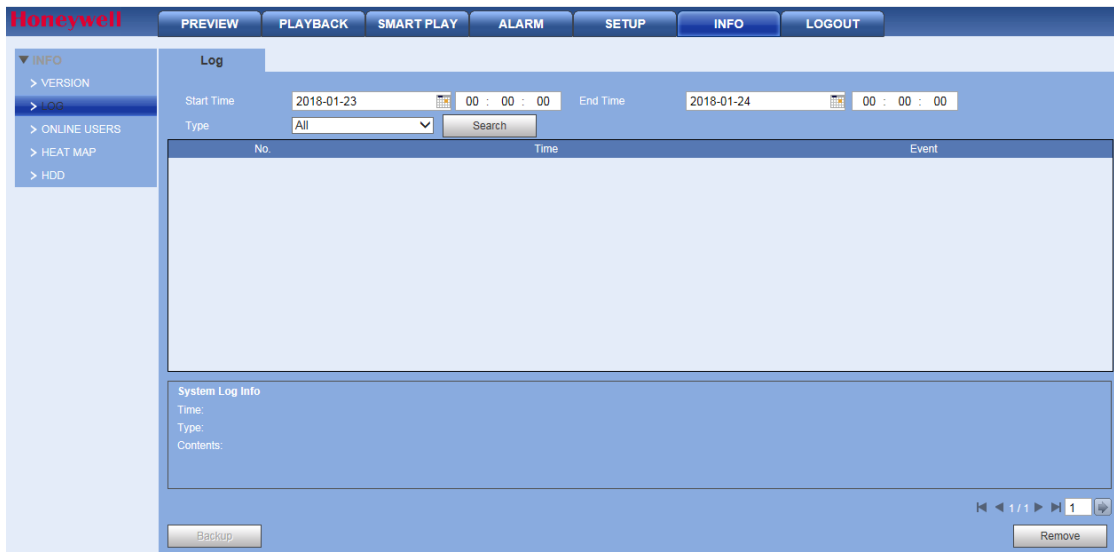


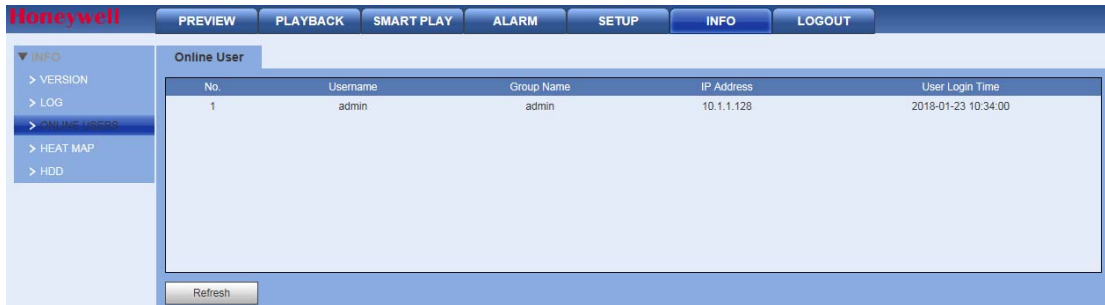
表 12-5 ログ構成

構成	詳細
Start Time[開始時刻]	ログの開始時刻を設定します。
End Time[終了時刻]	ログの終了時刻を設定します。
Type[タイプ]	System [システム], Config Operation [構成操作], Storage [保存], Alarm [アラーム], Record Operation [録画操作], Account [アカウント], Clear Log [ログクリア], Playback [プレイバック], Connection [接続]、およびAll [全て]から選択します。
検索	検索要求項目（開始時刻、終了時刻、及びタイプ）に適合するログを見つけるためにSearch [検索] をクリックします。 現在の検索を終了するには、Stop[停止]をクリックします。
システムログ情報	詳細情報を表示するには、1つの項目を選択します。
削除	見つけたログファイルをクリアする為にクリックします。 Note [注]ログファイルではクリアできません。
バックアップ	現在選択されているファイルを、選択されたPCにバックアップするためにクリックします。

オンラインユーザー

Online User [オンラインユーザー] インターフェースを開くには、Info [情報] メニューにある Online Users [オンラインユーザー] をクリックします。

図 12-23 ユーザー追加構成インターフェース



すべてのオンラインユーザーのユーザー名、IP アドレス、ログイン時刻を表示できます。

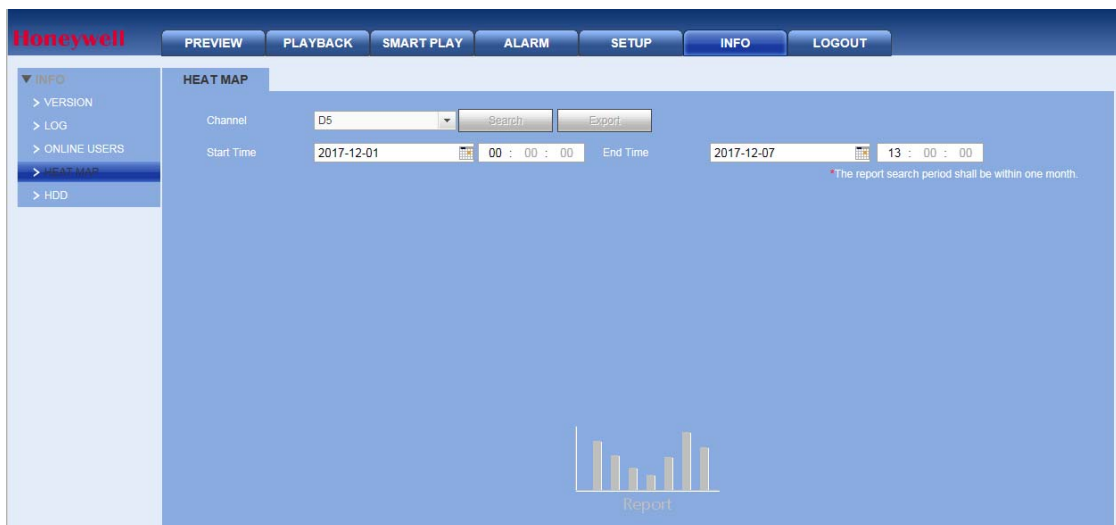
ヒートマップ

Heat Map [ヒートマップ] ページではヒートマップ情報を検索及びエクスポートできます。

注 この機能は以下の機種のみ有効です。
HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/HEN323*4/HEN321*4/HEN642*4/HEN643*4。

Heat Map [ヒートマップ] インターフェースを開くには Info [情報] メニューにある Heat Map [ヒートマップ] をクリックします。

図 12-24 ヒートマップ構成インターフェース



ヒートマップ情報を検索するために、チャンネル、開始時刻、及び終了時刻を選択し、次に **Search** をクリックします。

検索の後、ヒートマップ情報をエクスポートする場合は、**Export [エクスポート]** をクリックします。

ハードディスクドライブ情報

1. HDD インターフェースを開くために **Info [情報]** メニューにある **HDD** をクリックします。

図 12-25 HDD インターフェース



2. HDD の情報を解釈するには、次の表を参照してください。

表 12-6 HDD 情報

Device Name[デバイス名]	デバイスに指定した名前が表示されます。
Physical Position[物理的位置]	ハードドライブが取り付けられているハードドライブベイを示します。
Free Space[空きスペース]	HDD に残っている空き容量を示します。
Total Space[全スペース]	HDD の総容量を示します。
Status[ステータス]	HDD の現在の動作状態を示します。
S.M.A.R.T.	S.M.A.R.T (自己監視、分析、および報告技術) のステータスを示します。

3. 選択したハードディスクの時間情報を閲覧するために **HDD Time [HDD 時間]** をクリックします。
4. HDD のリストで、HDD をダブルクリックして詳細を表示します。

構成

この章では下記の項目を構成する方法について説明します：

- カメラ設定

- ネットワーク設定
- イベント設定
- ストレージ
- 全般設定、下記を含む:
 - デバイス名と番号
 - インターフェース言語
 - 映像規格
 - HDD がいっぱいになると起きること
 - Pack Duration[パック期間]

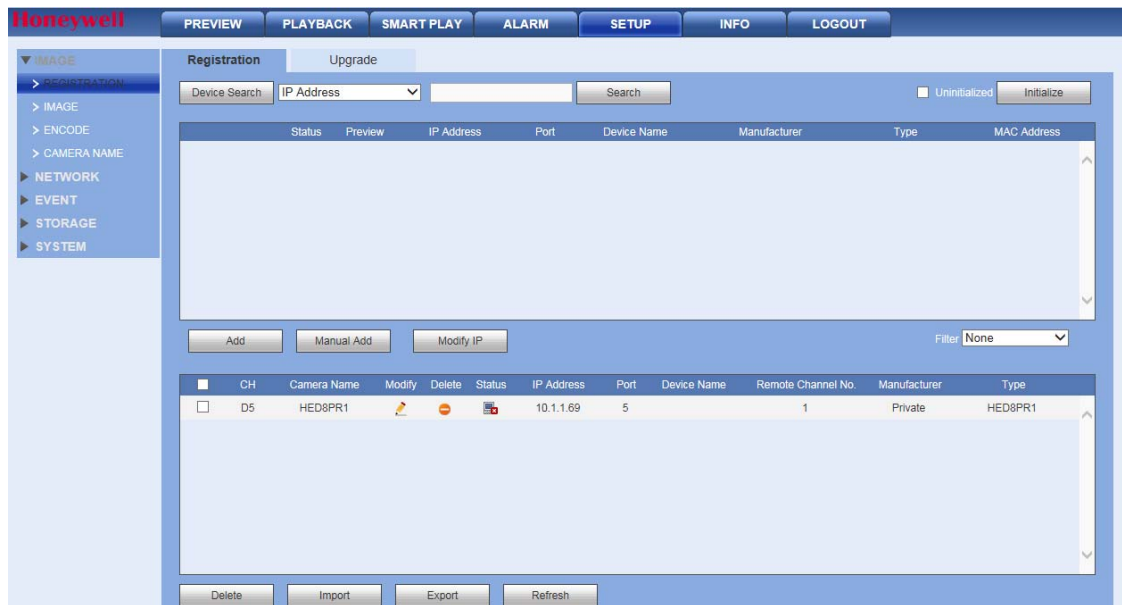
カメラ設定

カメラを自動検索して追加するか、カメラの詳細を手動で入力して追加するかのいずれかの方法で、IP カメラを NVR に追加することができます。

検索によるカメラの追加

1. Setup [設定] タブで IMAGE [イメージ] → Registration [登録] に移動します。

図 12-26 カメラ登録インターフェース



2. カメラを検索します。

Automatically Search [自動で検索]: Device Search[デバイス検索] をクリックしてカメラを自動検出します。

Search by IP Address or MAC Address [IPアドレスかMACアドレスによる検索]: Device Search [デバイス検索]の次にあるドロップダウンリストからIPアドレスあるいはMACアドレスを選択し、IPアドレスか、あるいはMACアドレスを入力してから、**Search[検索]**をクリックします。

- a. クリックして検出されたカメラを選択します。
- b. **Add[追加]**をクリックして、検出されたデバイスを**Added Device[追加したデバイス]**リストに追加します。

注 検出されたデバイスのモデル名がNVRで表示されない場合は、**Device Search[デバイス検索]**をクリックしてオンラインデバイスを再検出します。モデル名は**Found Devices[検出されたデバイス]**リストに表示されます。

カメラを手動で追加

図12-26 に示すように **Manual Add [手動で追加]**をクリックし、手動で下記の設定を行います：

図 12-27 カメラウィンドウを手動で追加

表 12-7 手動追加

パラメータ	機能
Manufacturer[メーカー]	リストからお持ちのカメラのメーカーを選択します。
IP Address[IPアドレス]	カメラのIPアドレスを入力します。
TCP Port[TCPポート]	カメラのTCPポートを入力します。(オプション)
Username[ユーザー名]	ユーザー名を入力します。
Password[パスワード]	パスワードを入力します。

ド]	
チャンネル番号	<p>リモートデバイスのチャンネル数を入手する為に、チャンネル数を入力するか、あるいは接続ボタンをクリックします。</p> <p>注: リモートデバイスのチャンネル数を入手するために接続ボタンをクリックすることを推奨します。入力したチャンネル数が間違っている場合、手動追加の操作は失敗する可能性があります。</p>
リモートチャンネル番号	<p>リモートデバイスのチャンネル数を入手した後、チャンネルを選択する為に Setup[セットアップ]をクリックします。</p> <p>注: 1つ以上のチャンネル番号を選択する為にクリックします。</p>
チャンネル	<p>追加したいローカルなチャンネル数です。1つのチャンネル番号には1つのチャンネル名が対応します。</p>
Decode Buffer[デコードバッファ]	<p>ドロップダウンメニューからオプションを選択します。</p>

OK をクリックします。新しく追加されたカメラが Added Device[追加されたデバイス]リストに表示されます。

リモートインターフェースからカメラ設定を行います。

NVR が IP カメラにプライベートなプロトコルで接続されている場合、**Camera Image Conditions [カメライメージ条件]** ページが表示されます。NVR が IP カメラに ONVIF プロトコルで接続されている場合、**Camera Image Conditions [カメライメージ条件]** は表示されません。

カメラ画像条件設定の構成

Camera Image Conditions [カメライメージ条件] ウィンドウでは、カメラデバイスのプロパティが閲覧できます。変更は設定するとすぐに有効になります。

Setup [設定] タブ上で、**Conditions [条件]**を開くために **IMAGE [画像]** にある **Image [画像]** をクリックします。どんな条件変更でも行った後は、変更を保存する為に **OK** をクリックします。

注 NVRは、構成インターフェースをナビゲートすると、自動的にデフォルトであるチャンネル1を選択します。例えば、動体検知構成インターフェースでチャンネル3を選択し、次にチャンネル名構成インターフェースに移動すると、NVRはチャンネル選択ドロップダウンのチャンネル1をデフォルトにします。チャンネル1が接続されていない場合、NVRは最初に利用可能なチャンネルをデフォルトにします。

図 12-28 カメライメージ条件インターフェース

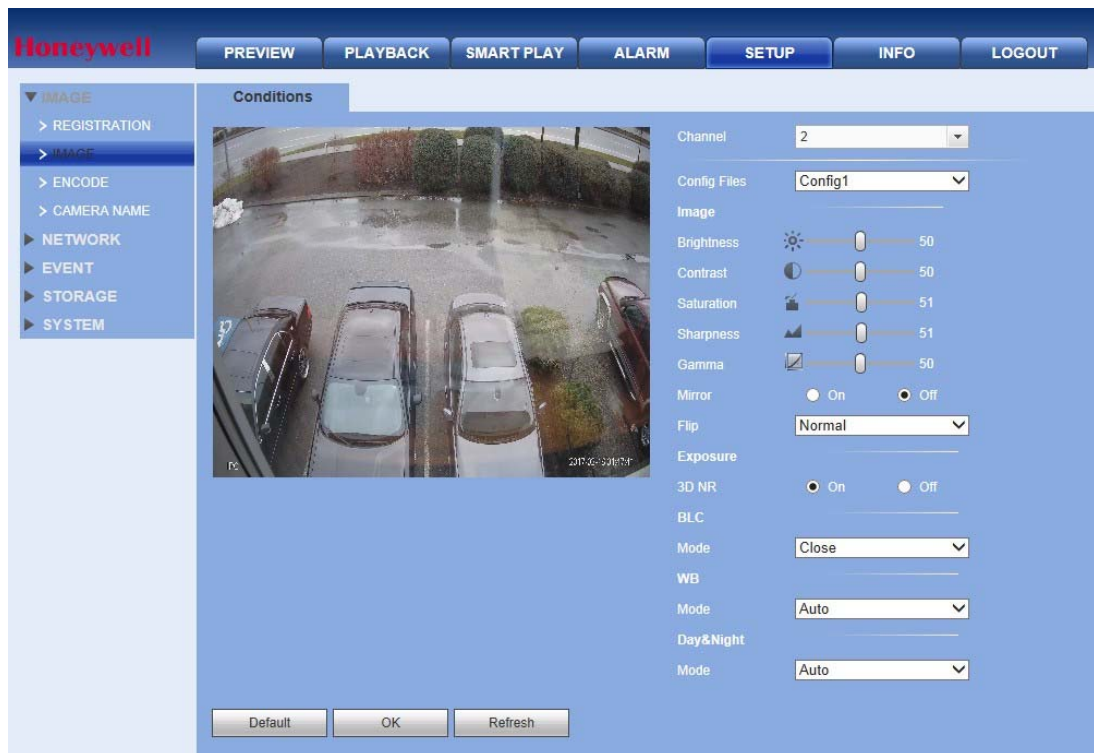


表 12-8 カメラ画像条件

設定	詳細
チャンネル	ドリップダウンリストからチャンネルを選択します。 注 NVRは接続されているカメラの台数のみを表示します。
Config File[構成ファイル]	ユーザーによりプログラムされた様に、異なった種類の設定用の事前にプログラムされた構成ファイルを選択します。Config1 [構成1]、Config2 [構成2]、およびConfig3 [構成3]から選択します。
Brightness[輝度]	モニターウィンドウの輝度を調整します。デフォルト設定は50です。 番号が大きいかほどビデオは明るくなります。値を選択すると、ビデオの明るさと暗さ要素が調整されます。ピクチャ全体が暗すぎたり、明るすぎたりする時はビデオの明るさを調整する為にこの機能を使います。0~100の間で選択します。推奨範囲は40~60です。 注 明るすぎる値を選択した場合、ビデオが白抜けするかもしれません。
Contrast[コントラスト]	モニターのコントラストを調整します。0~100の間で選択します。デフォルト設定は50です。推奨範囲は40~60です。 値が大きければ大きいほど画像の明暗コントラストが大きくなります。ビデオの明るさは良いが、コントラストが悪い時に使用します。 ビデオは低いコントラスト値を選択した場合、白抜けするかもしれません。値が高すぎると、

	暗部が明るさを失い、明部が露出過多となる場合があります。
Saturation[彩度]	<p>モニターの彩度を調整します。0~100の間で選択します。デフォルト設定は50です。推奨範囲は40~60です。</p> <p>値が大きいほど色が濃くなります。この値は、動画の一般的な輝度には影響しません。値が大きすぎるとビデオの色が強くなりすぎる場合があります。</p> <p>注値が小さすぎるとビデオの品質が悪くなる場合があります。</p>
鮮明度	<p>画像にある対象物の縁設定に影響します。設定が大きくなるほどより多くの画像の細部が現れます。</p> <p>注高い設定では画像中のノイズが目立ちやすくなります。</p>
ガンマ	ビデオのガンマ修正を調整します。輝度と同様に、高い値を選ぶほど白抜けせずに明るさが増大します。0から100の間で選びます。推奨範囲は40~60です。デフォルト値は50です。
Mirror[ミラー]	ビデオイメージを左側が右側となるよう反転するミラー機能を有効/無効にします。デフォルトでは無効です。
フリップ	ビデオがフリップする角度を選択します。オプションは、通常（デフォルト）、180°、90°、及び270°です。
3D NR	3Dノイズ検出有効化/無効化
BLC Mode[BLCモード]	<p>カメラのバックライト補正モードを設定します。BLC Modes[BLCモード]</p> <p>Close[閉じる]: BLC機能が無効にされます。デフォルト設定です。</p> <p>BLC Mode[BLCモード]:動画の最も暗い部分が見やすくなるように、環境に応じて露出を自動で決定します。</p> <p>WDR:最も明るい領域の輝度を下げ、最も暗い部分を強調して、両方の部分を同時に見やすことができます。WDR値を1~100に設定します。</p> <p>HLC: HLC制御レベル（1~100）に応じて最も明るい領域の輝度を下げます。</p>
WBモード	<p>これはホワイトバランスです。例えばAuto[自動]のように、異なったシーンモードが選択できます。</p> <p>最良品質のビデオにするためOutdoor [アウトドア]、Natural [自然]、Street Lamp [街灯]、またはManual [手動]から選択します。Scene Modes[シーンモード]：</p> <p>オート: オートホワイトバランスがオンになっています。システムは自動的にカラー温度を調整して、動画カラーが正しいことを確認します。</p> <p>Outdoor[屋外]:ホワイトバランスの閾値は、屋外モードに設定されています。</p> <p>Natural[ナチュラル]:ホワイトバランスの閾値は、ナチュラルモードに設定されています。</p> <p>Street Lamp[街灯]:ホワイトバランスの閾値は、街灯モードに設定されています。</p> <p>Manual[手動]:赤/青チャンネルのゲインを手動で設定できます。値は、0~100の範囲です。</p>
昼/夜	カメラのカラーモードと白黒モードの切り替えを設定します。Day&Light Modes[昼&照明モード]：

Colorful[カラフル]:動画をカラーで出力します。

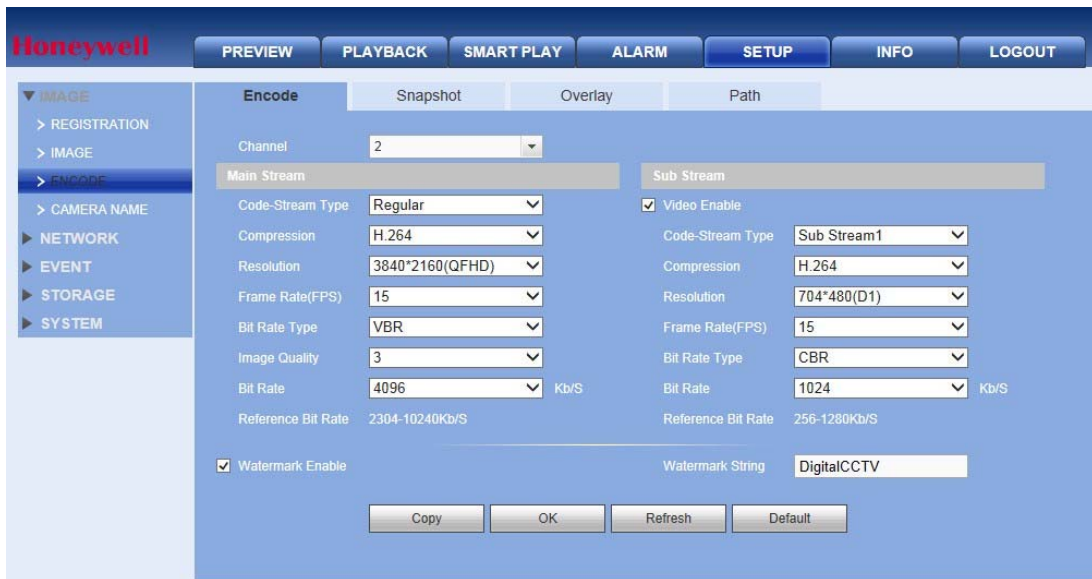
オート:シーンが全般的に明るい場合や IR イルミネーションが必要な場合など、条件に応じてColor[カラー]からBlack & White[白黒]に切り替わります。

B/W[白黒]:動画を白黒で出力します。

エンコード設定の構成

Image [画像] の下の ENCODE [エンコード] をクリックすると、Encode [エンコード] インターフェイスが開きます。エンコード変更を行った後、変更を保存する為に OK をクリックします。

図 12-29 アラーム構成インターフェイス



注

NVRで選択したカメラ/チャンネルの設定情報を取得できなかった場合は、別のウィンドウ (Snapshot[スナップショット]、Overlay[オーバーレイ]など) に移動してからEncode[エンコード]ウィンドウに戻ってください。

表 12-9 エンコードの構成

設定	詳細
チャンネル	ドロップダウンリストからチャンネルを選択します。
Code Stream Type[コードストリームタイプ]	Regular[レギュラー]、MD、および Alarm[アラーム]から選びます。記録されたさまざまなイベントについて、さまざまなエンコードフレーム速度を選択できます。NVRシステムは、さまざまなフレームレートで記録できるよう、アクティブコントロールフレーム機能(ACF)をサポートしています。

	例えば、重要なイベントを記録するには高いフレームレートを使用し、定期的なイベントを記録するには低いフレームレートを使用することができます。ACFでは、動体検知録画及びアラーム記録用に異なったフレームレートを設定できます。
ビデオ有効	追加のビデオストリームを有効にする為にクリックします。デフォルトでは有効です。
圧縮	NVRは H.264, H.265及び MJPEG. 圧縮をサポートします。
解像度	NVRは、ドロップダウンリストから選択できる、様々な解像度をサポートします。 注 選択肢は個々のNVR及び接続されたカメラにより異なります。
フレームレート	PAL : 1~25 fps NTSC : 1~30 fps
Bit Rate Type[ビットレートタイプ]	CBR (固定ビットレート) かVBR (可変ビットレート) に設定します。 注 デバイスがONVIFを介してNVRに接続されている場合、VBRは選択できません。デバイスがプライベートプロトコルを介してNVRに接続されている場合は、CBRまたはVBRを選択できます。
Image Quality[画質]	ビットレートをVBRに設定した場合は、1 (最低画質) ~6 (最高画質) の値を選択します。
ビットレート	Reference Bit Rate[基準ビットレート]の範囲で設定します。リストに表示されないビットレートを入力するには、Customized[カスタム]をクリックします。
ウォーターマーク有効	この機能を使用すると、動画が改ざんされていないかどうかを検証できます。
ウォーターマーク文字列	ウォーターマーク用のテキストを入力します。デフォルトのウォーターマークはデジタルCCTV です。 最大テキスト長は85文字です。文字、数字、及びアンダーラインのみ使用できます。

スナップショット設定の構成

SETUP [設定] → IMAGE [イメージ] → ENCODE [エンコード] → Snapshot [スナップショット]に移動します。スナップショット変更を行った後、変更を保存する為に **OK** をクリックします。

図 12-30 スナップショット設定インターフェース



表 12-10 スナップショット設定

設定	詳細
チャンネル	チャンネルを選択します。
Mode[モード]	2つのモードから選択します：Timing [タイミング] (定期) 及びTrigger [トリガ]. Timing [タイミング]:指定した期間スナップショット利用可能です。 Trigger [トリガ]:スナップショットは動体検知アラーム、侵入アラーム、ローカルでの起動、あるいは他のアラーム発生時のみ利用可能です。
Image Size[画像サイズ]	メインストリームの解像度に適合します。
Quality[品質]	6つの品質レベルから選択します。
Interval[間隔]	スナップショットの頻度を設定します。値は1SPLから7SPLの範囲です。あるいは Customized [カスタムの]時間を設定することもできます。最大は3600s/ピクチャです。

ビデオのオーバーレイの構成

SETUP [設定] → IMAGE [イメージ] → ENCODE [エンコード] → Overlay [オーバーレイ]に移動します。オーバーレイ変更を行った後、変更を保存するため OK をクリックします。

表 12-31 動画オーバーレイ設定

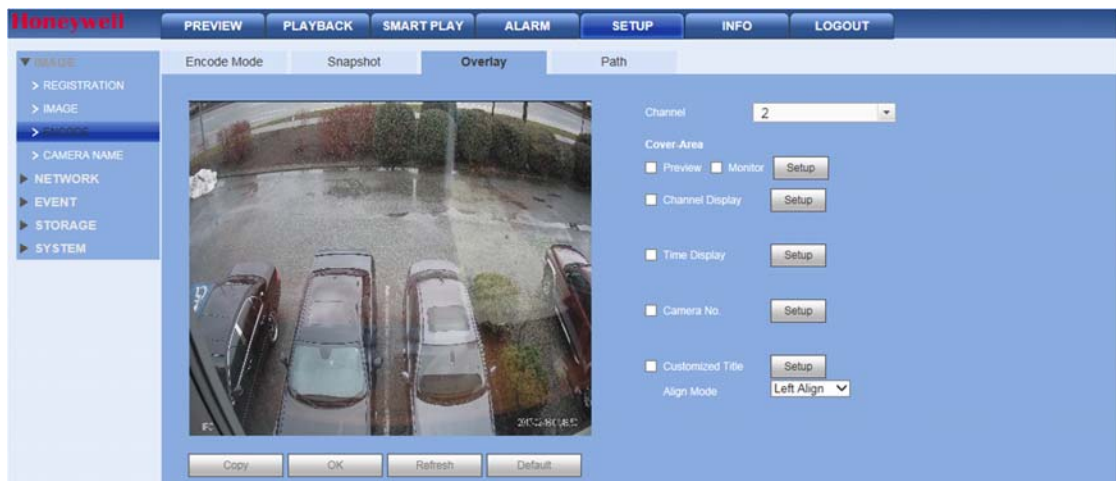


表 12-11 動画オーバーレイ設定

設定	詳細
チャンネル	チャンネルを選択します。
対象エリア	対象エリアには2つのタイプがあります：プレビューとモニターです。プレビュータイプでは、プライバシーマスクゾーンは、システムがプレビュー状態にある時はユーザーは閲覧で

	<p>きません。モニターモードでは、プライバシーマスクゾーンは、システムがモニター状態にある場合、ユーザーは閲覧できません。</p> <p>対象エリアを設定するには:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.プレビューあるいはモニターのチェックボックスをクリックします。 2.セットアップをクリックし、必要に応じて次にビデオ画像にプライバシーマスクを描きます。 <p>NVRシステムは最大4つのプライバシーゾーンをサポートしています。</p>
Channel display[チャンネル表示]	<p>この機能を有効にすると、動画ウィンドウにチャンネル情報が重ねて表示されます。マウスを使用して、チャンネル表示を目的の位置にドラッグします。チャンネルはライブWEBビデオか、あるいはプレイバックビデオで閲覧できます。</p>
Time Display[時刻表示]	<p>この機能を有効にすると、動画ウィンドウに時刻情報が重ねて表示されます。マウスを使用して、時刻表示を目的の位置にドラッグします。時刻はライブWEBビデオか、あるいはプレイバックビデオで閲覧できます。</p>
Customized Title [カスタムタイトル]	<p>この機能を有効にすると、動画ウィンドウに時刻情報が重ねて表示されます。マウスを使用して、時刻表示を目的の位置にドラッグします。時刻はライブWEBビデオか、あるいはプレイバックビデオで閲覧できます。</p>
整合モード	ドロップダウンリストで整合モードを選択します。

保存パスの構成



SETUP [設定]→ IMAGE [イメージ]→ ENCODE [エンコード]→ Path [パス]に移動します。スナップ画像(プレビューインターフェースで  クリック) あるいは録画したビデオ (プレビューインターフェースで  をクリック)用の保存パスを構成します。

図 12-32 保存パス構成インターフェース



デフォルトの保存パスは、スナップショットの場合は **C:\PictureDownload** 、録画したビデオの場合は **C:\RecordDownload** です。

保存パスを変更するには **Browse [ブラウズ]** をクリックします。 **OK** をクリックして変更を保存します。

カメラ名の構成

1. SETUP [設定] → IMAGE [画像] → CAMERA NAME [カメラ名] → Camera Name [カメラ名] に移動します。

図 12-33 カメラ名構成インターフェース



2. 名前を変更したいカメラのテキストボックスをクリックし、新しい名前を入力します。

カメラ名：NVRを介してIPCのチャンネル名を変更する為に選択します。

ローカル：NVRのチャンネル名を変更する為に選択します。

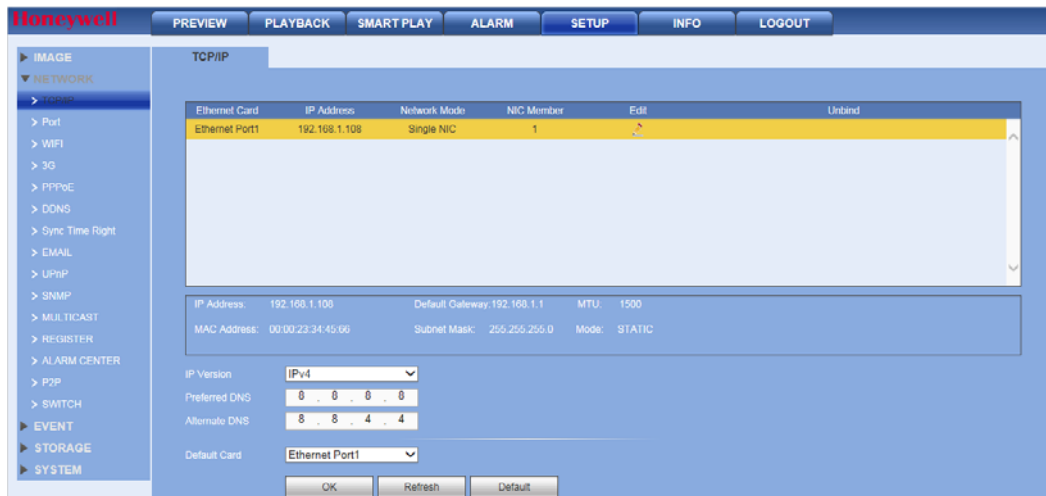
3. OKをクリックします。

ネットワーク設定

TCP/IP の構成

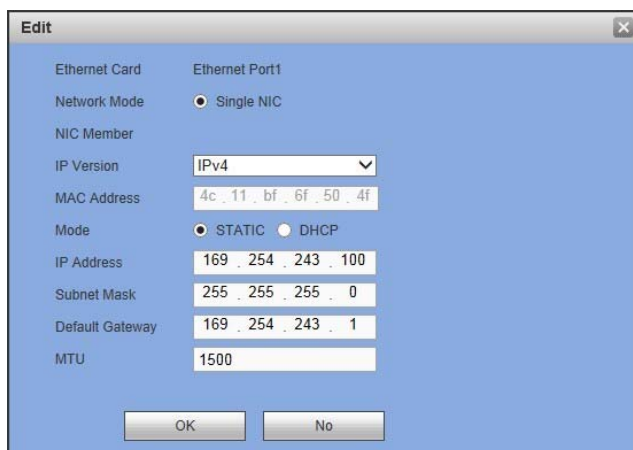
1. SETUP [設定] → NETWORK [ネットワーク] → TCP/IP に移動します。

図 12-34 TCP/IP 構成インターフェース



2. 変更したいイーサネット接続の Edit[編集]アイコンをクリックします。Edit[編集]画面が開きます。

図 12-35TCP/IP 画面を編集



3. 必要に応じて TCP/IP 設定に変更を行ってください。次に **OK** をクリックします。

表 12-12 TCP/IP 構成

構成	詳細
Mode[モード]	<p>次の2つのモードがあります：STATICおよびDHCP.</p> <ul style="list-style-type: none"> • DHCP モードを選択して IP アドレスを自動的に検索する場合は、IP Address[IP アドレス]、Subnet mask[サブネットマスク]、および Default Gateway[デフォルトゲートウェイ]フィールドは使用できません。 • STATIC [静止]モードを選択した場合、IP アドレス、サブネットマスク、及びゲートウェイは手動で構成する必要があります。 • DHCP モードを選択した場合、IP アドレス、サブネットマスク、及びゲートウェイしか

	<p>閲覧できません。これらの値を設定することはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DHCP モードから静止モードに切り替えた場合、IP パラメータをリセットする必要があります。 • PPPoE ダイアルが OK である時は、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ及び DHCP は読み取り専用の値です。
MACアドレス	MACアドレスを表示します。このフィールドは設定できません。
MTU	デフォルトの MTU （最大送信単位）値を使用します。
IPバージョン	IPのバージョンを選択します。 IPv4 あるいは IPv6 のいずれかです。 カメラのIPアドレスにアクセスするには、どちらバージョンでも使用可能です。
IP Address[IPアドレス]	1.PCのキーボードを使用して IP address [IPアドレス] を入力します。 2. Subnet [サブネット] マスク、と Default [デフォルト] ゲートウェイを設定します。
Subnet Mask[サブネットマスク]	STATIC [静止] モードを選択した場合、 Subnet Mask [サブネットマスク] 値を入力します。
Default Gateway[デフォルトゲートウェイ]	STATIC [静止] モードを選択した場合、デフォルトゲートウェイ値を入力します。
優先DNS	DNS IP アドレスを入力します。
代替DNS	代替DNSのIPアドレスを入力します。
注	IPv6バージョンのIPアドレス用の優先DNSと代替DNSは128桁以上にはできません。また、空白にもできません。

ポートの設定

SETUP [設定] → **NETWORK [ネットワーク]** → **PORT [ポート]** → **PORT [ポート]**に移動します。必要に応じてポート設定に変更を行います。次に設定を保存するために **OK** をクリックします。

図 12-36 ポート構成インターフェース



表 12-13 ネットワークポート構成

構成	詳細
Max Connection[最大接続]	同じNVRへの最大ウェブ接続値は1～20の範囲です。デフォルトは20です。
TCP Port[TCPポート]	デフォルトは37777です。必要であれば実際のポート番号を入力できます。
UDPポート	デフォルトは37778です。必要であれば実際のポート番号を入力できます。
HTTPS Port[HTTPSポート]	1～65535の値を選択します。デフォルト設定は443です。
RTSP Port[RTSPポート]	デフォルトは554です。
POS Port[POSポート]	1～65535の値を選択します。デフォルト設定は38800です。
RTSPフォーマット	構成できないフィールドはRTSPフォーマットで表示されます。
注	POSポートは下記の機種のみ有効です。HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/HEN323*4/HEN321*4/HEN642*4/HEN643*4。

HTTPSの構成

これらの設定で、PCは、通信データの安全性が保証されているHTTPSを介して正常に接続されたことを確信できます。この信頼でき安定している技術は情報とデバイスの安全性を確保することができます。

図 12-37 HTTPS 構成インターフェース



注 デバイスのIPアドレスを変更した場合、サーバー認証を再度実行する必要があります。

注 初めてHTTPSをPCで使用する場合、ルート認証をダウンロードする必要があります。

認証のインポート

CA 認証とキー認証を一緒にインポートする為に下記のステップを行います:

1. CA 認証を選択するために **Browse [ブラウズ]** をクリックします。
2. キー認証を選択するために **Browse [ブラウズ]** をクリックします。
3. 二つの認証をインポートするために **Import [インポート]** をクリックします。

注 認証をインポートするにはFirefoxを使用します。

HTTPS構成概要

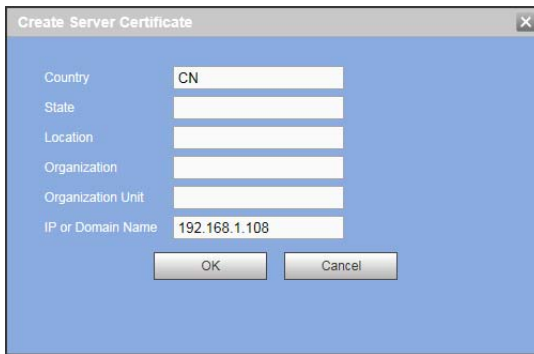
1. **SETUP [設定]** → **NETWORK [ネットワーク]** → **PORT [ポート]** → **HTTPS** に移動します。
2. 初めてこの機能を使用する場合、**Server Certificate [サーバー認証]**を作成します。ページ 188 の [サーバー認証の作成](#) を参照してください。
または
既に作成したルート認証をダウンロードします。ページ188の[ルート認証をダウンロード](#)を参照してください。
3. HTTPS ポートを閲覧しセットします。ページ 191 の [HTTPS ポートの閲覧と設定](#)を参照してください。
4. ブラウザで Login [ログイン]インターフェースを開きます。ページ 191 の [ログイン構成](#)を参照してください。

サーバー認証の作成

初めてこの機能を使用する場合、このステップに従ってください。

1. Create Server Certificate [サーバー認証を作成する]ウィンドウを **Create Server Certificate** 開くためにクリックします。

図 12-38 サーバー認証作成ウィンドウ



2. Country [国名]、State [州]、City [都市名]、Organization [組織名]などを入力し、OKをクリックします。

新しいサーバー認証が正常に作成された事を確認するメッセージが表示されます。

ルート認証をダウンロード

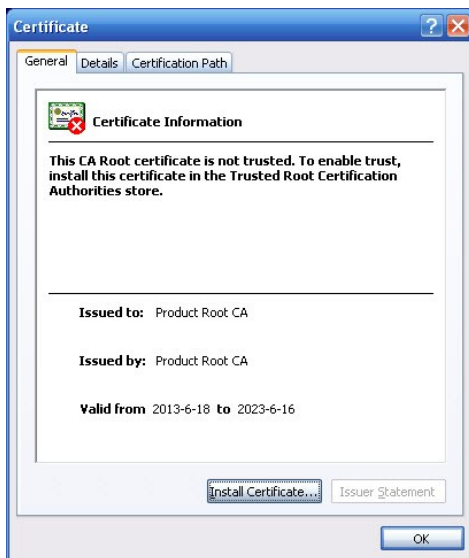
1. ファイルダウンロード-セキュリティ警告を開くために **Download Root Certificate** をクリックします。

図 12-39 ファイルダウンロード警告



2. Certificate [認証] ウィンドウを開くために **Open [開く]** をクリックします。

図 12-40 認証ウィンドウ



3. Certificate Import Wizard [認証インポートウィザード]を開くために Install Certificate [認証のインストール]をクリックします。

図 12-41 認証インポートウィザード



4. 認証保存ウィンドウを開くために Next [次へ] をクリックします。

図 12-42 認証インポートウィザード - 認証保存ウィンドウ



5. 認証の場所を選択します。
6. プロセスを完了する為に **Next [次へ]** をクリックします。プロセスの完了を知らせるメッセージが現れます。

図 12-43 認証インポートウィザード - 完了メッセージ



7. **Finish [終了]** をクリックするとセキュリティ警告が表示されます。

図 12-44 セキュリティ警告



8. **Yes[はい]** をクリックします。インストールが完了すると、確認メッセージが表示されます。

図 12-45 認証インポート - 確認メッセージ



HTTPSポートの閲覧と設定

SETUP [設定] → NETWORK [ネットワーク] → Port [ポート] に移動します。

図 12-46 ポートインターフェース



ログイン構成

1. ブラウザを開き、次に **https://xx.xx.xx.xx:port** を入力します。ここで xx.xx.xx.xx はデバイスの IP あるいはドメイン名です。

ポートは HTTPS ポートです。443 (デフォルトの HTTPS 値) を使用している場合、ここでポート情報を追加する必要はありません。

2. アクセスする為に **https://xx.xx.xx.xx** を入力します。

正しく設定するとログインインターフェースが表示されます。

WIFI 構成

注

この機能は以下の機種のみ有効です。

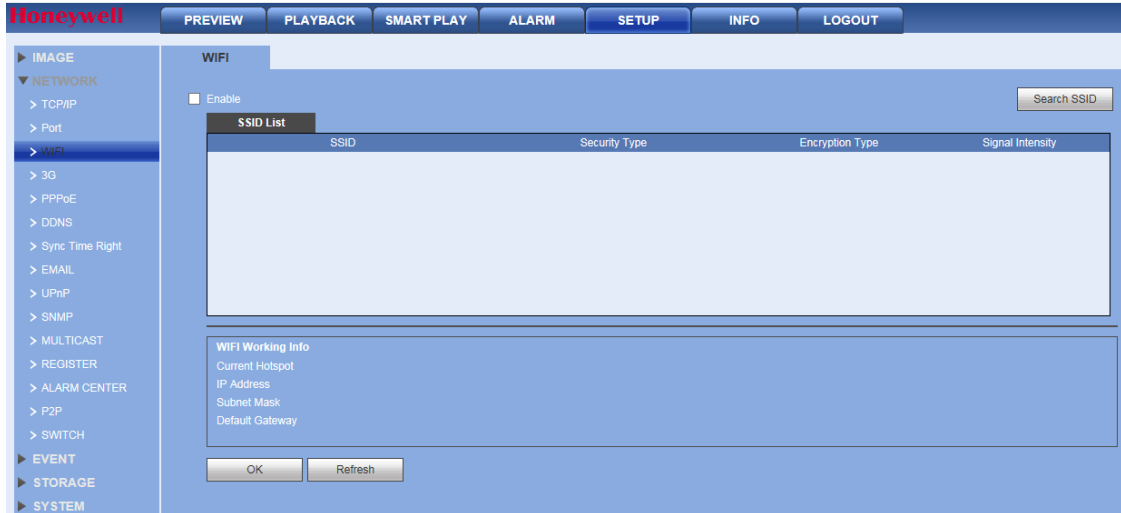
HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/HEN323*4/HEN321*4/HEN642*4/
HEN643*4。

注

この章はWIFIが搭載されているデバイス、例えばタブレットコンピュータ、スマートフォン、及びラップトップコンピュータのみに適用します。

1. SETUP [設定] → NETWORK [ネットワーク] → Wifi に移動します。

図 12-47 Wi-Fi 構成インターフェース



2. Wifi を有効にするためにクリックします。
3. 接続する為にワイヤレスデバイスの名前をダブルクリックします。
4. OK をクリックして設定を保存します。

注 ワイヤレスネットワーク情報をアップデートする為に**Refresh [リフレッシュ]**をクリックします。

3G の構成

注 この機能は以下の機種のみ有効です。
HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/HEN323*4/HEN321*4/HEN642*4
/HEN643*4。

1. SETUP [設定] → NETWORK [ネットワーク] → 3G に移動します。
2. 必要な構成の変更を行います。そして変更を保存する為に **OK** をクリックします。

図 12-483G 構成インターフェース



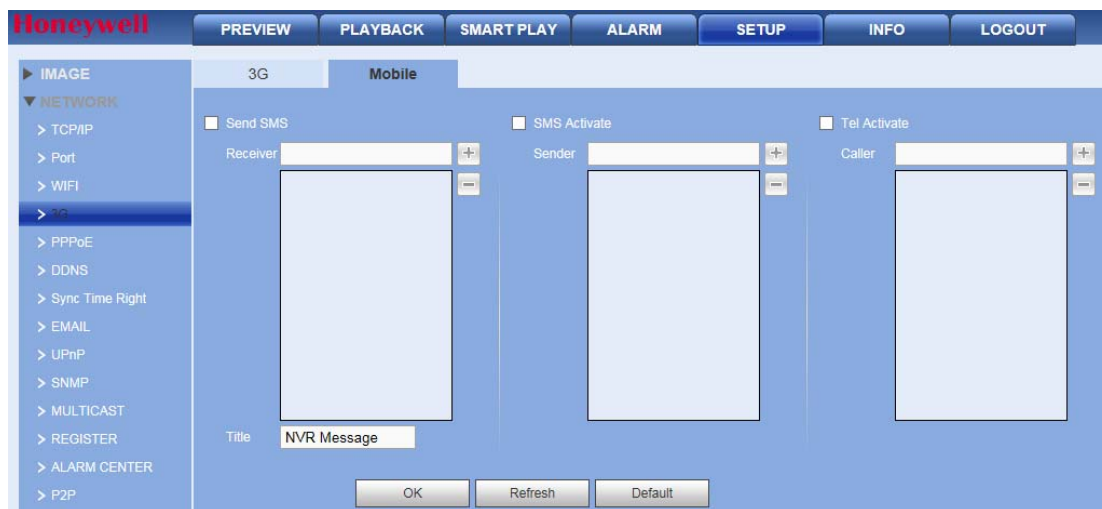
表 12-143G 構成

構成	詳細
WLANタイプ	3Gモジュールを異なったIPSと区別する為に3Gネットワークタイプを選択します。例えば WCDMA, CDMA1xから選択します。
APN とダイヤル番号	APNとダイヤル番号は重要なPPPoEパラメーターです。APN (アクセスポイント名)とダイヤル番号は、3Gモジュールに接続した後、NVRにより自動的に受信されます。
ダイヤル/SMS有効化	ダイヤル/SMS有効化の有効化/無効化有効化された時、ユーザーが電話でNVRにONメッセージを送信した場合、NVRはダイヤルしCDMA/GPRSに接続します。ユーザーが電話でOFFメッセージをNVRに送信した場合、NVRはCDMA/GPRSとのリンクを切断します。
AUTH[認証]	認証PAP, CHAP, あるいは NO_AUTHから選びます。
ユーザー名 / パスワード	3Gネットワークにログインする為にユーザー名とパスワードを入力します。
Pulse Interval[パルス間隔]	追加ストリームモニターを閉じた後、3G接続を終了するための時間を設定します。例えば、60を選択した場合、NVRは追加のストリームモニターを閉じた後60秒で3G接続を終了します。 注: パルスのインターバルが0の場合、システムは追加のストリームモニターを閉じた後も3G接続を終了しません。 注: ここでのパルスインターバルは追加のストリーム用のみです。主ストリームモニターを使用している場合、このフィールドは無効です。
IP Address[IPアドレス]	設定不能NVRがCDMA/GPRSを経由してネットワークに接続された後、NVRはここで表示されるIPアドレスを受信します。
ワイヤレスシグナル	NVRがGPRS/CDMAを経由して3Gに接続された後、SEARCHをクリックするとシグナル強度を参照できます。

モバイル設定の構成

SETUP [設定]→NETWORK [ネットワーク]→3G→Mobile [モバイル]に移動します。

図 12-49 モバイルセットアップ構成インターフェース



3G に接続された電話機あるいはモバイル、あるいはアラームメッセージを取得するように設定された電話機を作動/非作動にします。

PPPoE の構成

1. PPPoE 構成インターフェースを開く為に NETWORK [ネットワーク] にある PPPoE をクリックします。

図 12-50 PPPoE 構成インターフェース



2. PPPoE 機能を有効にします。
3. インターネットサービスプロバイダ(ISP)から受け取った PPPoE ユーザー名と Password [パスワード]を入力します。
4. OK をクリックして変更を保存します。
5. これらの変更を実行する為にデバイスを Reboot [再起動] します。

再起動後、デバイスは PPPoE 接続を通じてインターネットに接続されるはずですが。IP アドレスは IP アドレス欄の WAN にあります。

注 デバイスにログインするためにはLANでの以前のIPアドレスを使用する必要があります。デバイスのデバイス情報にあるIPアドレスフィールドに移動します。
新しいアドレスでNVRにアクセスできます。

DDNS の構成

サーバーを介してシステムにアクセスできるように DDNS を使用してさまざまなサーバーに接続します。

1. ドメイン名を適用するために対応するサービスのウェブサイトに移動します。
2. システムにドメイン名でアクセスします。

注 これはIPアドレスが変更された場合でも動作します。

3. DDNS タイプドロップダウンリストから **DDNS** を選択します。

表 12-15DDNS 構成オプション

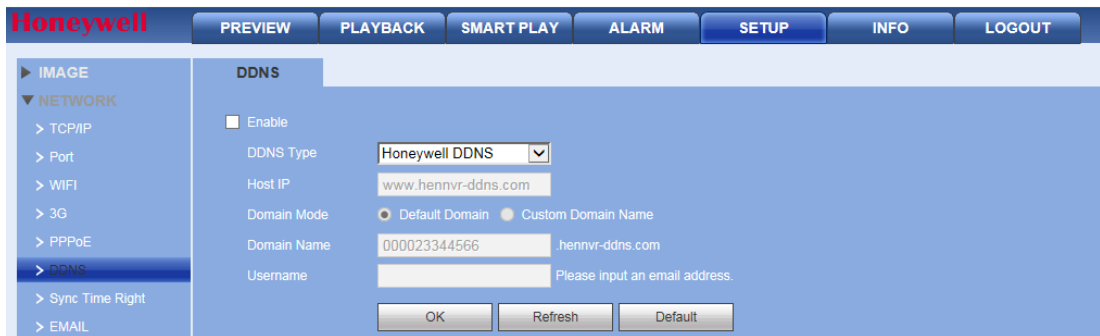
構成	詳細
DDNSタイプ	ドロップダウンリストから DDNS プロトコルを選択し、次にDDNS機能を有効にします。
Server IP[サーバーIP]	DDNSサーバーIPアドレスです。
Domain Mode[ドメインモード]	DDNSサーバーポート
Domain Name[ドメイン名]	DDNSサーバーポート
Email Address[メールアドレス]	DDNSサーバーポート

Honeywell DDNS

Honeywell DDNS 機能は特別な DDNS サーバーと特別な専門調査ソフトウェア(PSS)で動作します。

DDNS 構成インターフェースを開くために **NETWORK [ネットワーク]** にある **DDNS** をクリックします。

図 12-51 DDNS 構成インターフェース



操作

Honeywell DDNS が使用できるようになる前に、このサービスを有効にし、適切なサービス住所、ポート値、及びドメイン名を構成する必要があります。

表 12-16 DDNS 構成

パラメータ	詳細
DDNSタイプ	ドロップダウンリストからDDNSプロトコルを選択し、DDNS機能を有効にできます。DDNS機能を有効にするためにHoneywell DDNS サーバー(無料) を選択します。
Host IP[ホストIP]	これはDDNS ホストIPアドレスです。Honeywell DDNSでは、デフォルトサーバーアドレスは www.hennvr-ddns.com です。
Domain Mode[ドメインモード]	Default Domain [デフォルトドメイン]またはCustom Domain Name [カスタムドメイン名]を選択します。デフォルトはDefault Domain [デフォルトドメイン]です。Custom Domain Name[カスタムドメイン名]を選んだ場合はドメイン名を入力しなければなりません。
Domain Name[ドメイン名]	デフォルトドメイン名はMAC address.hennvr-ddns.comです。プリフィックスはユーザーが定義することができます。
Username[ユーザー名]	オプション電子メールアドレスを入力します
注	頻繁に登録しないでください。登録要求の間隔は少なくとも60秒は待つ必要があります。過度に多くの登録要求はサーバーを攻撃に対して脆弱にする可能性があります。
注	システムのDDNSサーバーは1年以上アイドル状態であったドメイン名を取り戻すこともあります。DDNS構成で電子メールアドレスを構成した場合、ドメイン名が取り戻される前に通知電子メールを受け取ります。

クイック DDNS 及びクライアント説明

背景説明

ネットワークへのログインに ADSL を使用している場合、デバイスの IP は固定されません。DDNS 機能は登録されたドメイン名を介して NVR へのアクセスを許可します。全般の DDNS に加えて、クイック DDNS は製造者のデバイスで動作するので拡張機能を追加することができます。

機能説明

クイック DDNS クライアントは他の DDNS クライアント側と同様の機能があります。ドメイン名と IP アドレスを担保しています。現在、DDNS サーバーは我々が保有しているデバイスのみで動作します。ドメインと IP 間の担保している関係を定期的に更新する必要があります。サーバー上には、ユーザー名、パスワード、あるいは ID 登録はありません。しかし、個々のデバイスには (MAC アドレスから生成された) デフォルトドメイン名があります。以前に登録されていないカスタムの有効なドメイン名も使用することができます。

クイック DDNS 操作

クイック DDNS を使用する前に、このサービスを有効にし、正確なサーバーアドレス、ポート値、及びドメイン名を設定する必要があります。

サーバーアドレス : www.quickddns.com

ポート番号 : 80

Domain Name[ドメイン名] : 次の 2 つのモードがあります：デフォルトのドメイン名とカスタマイズされたドメイン名。デフォルトのドメイン名登録以外に、カスタマイズされたドメイン名も使用できます。ドメイン名が正常に登録された後は、デバイス IP の代わりにそれを使用してログインすることができます。

User Name[ユーザー名] : オプション電子メールアドレスを入力します。

重要 ! 頻繁に登録しないでください。ログインを試行する間隔は少なくとも 60 秒は待たなければなりません。

過度の試行はサーバークラッシュの原因となる可能性があります。

システムは 1 年間アイドル状態の場合、ドメイン名を取り戻す可能性があります。電子メールが正しく設定された場合、ドメイン名がキャンセルされる前に電子メール通知を受け取ります。

Sync Time Right[正規同期時刻]の構成

注

この機能は以下の機種のみ有効です。
HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/HEN323*4/HEN321*4/HEN642*4/HEN643*4。

1. **Sync Time Right [正規同期時刻]** 構成インターフェースを開くために **NETWORK [ネットワーク]**にある **Sync Time Right [正規同期時刻]** をクリックします。

図 12-52 正規同期時刻構成インターフェース



2. **Trusted Sites [信頼できるサイト]**を有効にするためにクリックします。そしてリストアップされた IP アドレスだけが NVR と時刻同期することができます。

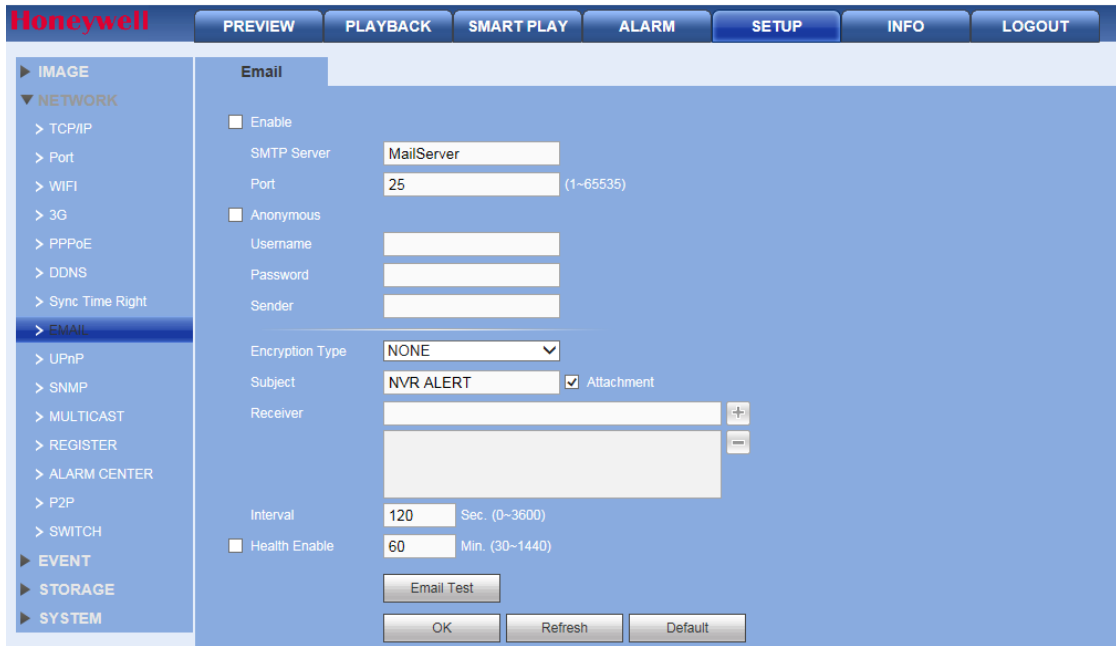
信頼できるサイトを追加する

1. **Add [追加]** 構成インターフェースを開くために **Add [追加]** をクリックします。
2. ドロップダウンメニューから **IP アドレス**、**IP セグメント**あるいは **MAC アドレス**を選択します。
3. ドロップダウンメニューから **IPv4** あるいは **IPv6** を選択します。ステップ2で **MAC Address[MAC アドレス]** が選択された場合、このオプションは利用できません。
4. (ステップ2でどのオプションを選択したかに従い)、アドレスフィールドに IP アドレスか、あるいは MAC アドレスを入力します。
5. **OK** をクリックします。

電子メールの設定

1. **Email [電子メール]** 構成インターフェースを開くために **NETWORK [ネットワーク]**の下にある **Email [電子メール]** をクリックします。

図 12-53 電子メール構成インターフェース



2. 電子メール設定を行い、設定を保存するために **OK** をクリックします。

表 12-17E メール構成

パラメータ	詳細
Enable[有効化]	電子メール機能を有効にするためにクリックします。
SMTP Server[SMTPサーバー]	電子メールSMTPサーバーIPを入力します。
Port[ポート]	対応するポートを入力します。デフォルトは25です。
Anonymous[匿名]	サーバーが匿名機能をサポートしている場合にのみ利用可能です。 この機能は匿名で自動的にログインできるようにします。ユーザー名、パスワード、あるいは送信者情報を入力する必要はありません。
User Name[ユーザー名]	送信者の電子メールボックスにログインするためのユーザー名を入力します。
Password[パスワード]	ここにログインパスワードを入力します。
Sender[送信者]	送信者の電子メールアドレスを入力します。
Encrypt Type[暗号化の種類]	NONEまたはSSLから選択します。
Subject[件名]	Eメールの件名を入力します。32桁までの文字あるいは数字が使用できます。
Attachment[添付ファイル]	電子メールにスナップショットが添付できるようにクリックします。

イル]	
Receiver[受信者]	送信者の電子メールアドレスを入力します。最大 3 つの電子メールボックスを入力できます。SSLあるいはTSLの電子メールボックスを使用できます。
Interval[間隔]	送信間隔は 0 ~ 3600 秒で設定できます。0は間隔がないことを意味します。 注: アラームが発生した場合、システムが電子メールを即時に送信することはありません。アラーム、動き検出またはその他の事象によりEメールが有効にされた場合、ここで指定した間隔に従って、システムからEメールが送信されます。異常イベントによって有効にされた電子メールが多く存在する場合、この機能は非常に便利です。そのような場合、電子メールサーバーに過剰な負荷がかかる可能性があります。
Health Enable[ヘルス有効]	電子メールヘルスチェックを有効にするためにクリックします。NVRはテスト電子メールを送信して接続を確認します。 Health Enable [ヘルス有効] を有効にした後、NVRがどのくらい頻繁にネットワーク接続をテストするための電子メールを送信するかを設定することができます。
電子メールテスト	テスト電子メールを送信するには Test[テスト] をクリックします。ネットワーク接続の状態を示すポップアップメッセージが表示されます。

UPnP の構成

UPnP を使用すると、LAN とパブリックネットワーク間のマッピング関係を確立できます。ここで UPnP 項目の、追加、修正、あるいは削除もできます。

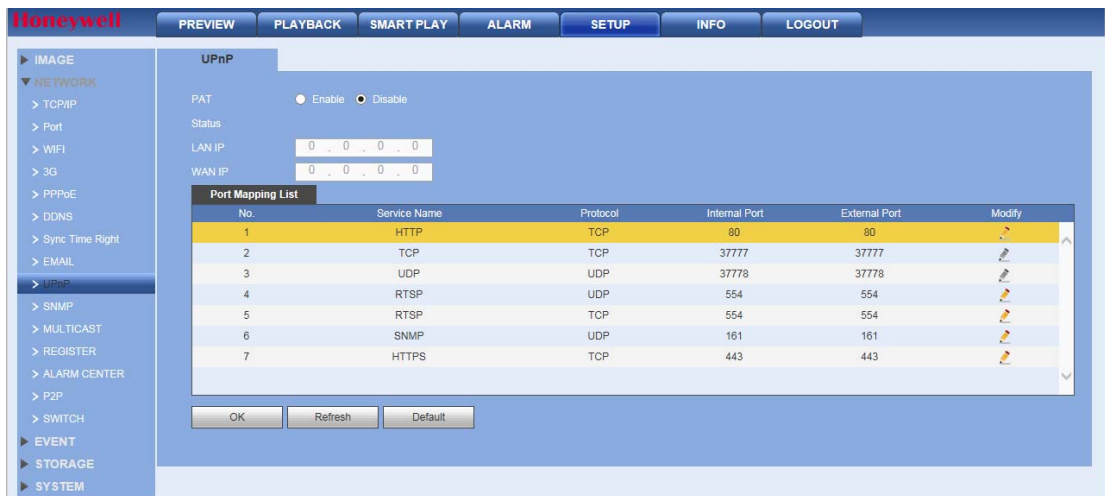
UPnPを準備する

1. Windows OS で、**Start[スタート]** → **Control Panel[コントロールパネ]** → **Add or remove programs[プログラムの追加または削除]**にアクセスしてください。
2. **Windows コンポーネントの追加/削除**をクリックして、**Windows コンポーネントウィザード**から**ネットワークサービス**を選びます。
3. **Details[詳細]**をクリックして、**インターネット ゲートウェイ デバイスの検出とクライアントの制御**および **UPnP ユーザーインターフェース**を選択するためにクリックします。OK をクリックしてインストールを始めます。
4. インターネットから **UPnP** を有効にします。Windows OS で UPnP が有効化されている場合、NVR は自動的に **My Network Places [私のネットワーク]**を通じて検出することができます。

UPnPの構成

1. **UPnP** 構成インターフェースを開くために **NETWORK[ネットワーク]** 構成インターフェースにある **UPnP** をクリックします。

図 12-54 UPnP 構成インターフェース



2. 以下の設定を行います：

Enable[有効化] UPnP を有効または無効にする場合にクリックします。

LAN IP TCP/IP ページから NVR の IP アドレスを入力します。

WAN IP ルータの IP アドレスを入力します。

3. (オプション) **Port Mapping List[ポートマッピングリスト]** からマッピング関連性を **Edit[編集]** します：

マッピング関連性を編集します： 編集したいマッピング関連性の変更アイコンをクリックしてから、**Modify[変更]** ダイアログボックスで、**Service Name[サービス名]**、**Protocol[プロトコル]**、**Internal Port[内部ポート]**、および/または **External Port[外部ポート]** の詳細を編集して、**OK** をクリックします。

4. **OK** をクリックして設定を保存します。

SNMP の構成

SNMP は、ネットワーク管理ワークステーションと管理デバイスのプロセッサ間の通信を許可します。第三者の開発者用に留保しています。

1. **SNMP** 構成インターフェースを開くために **NETWORK** にある **SNMP** を Click[クリック]します。
2. SNMP を構成し、設定を保存する為に **OK** をクリックします。

図 12-55SNMP 構成インターフェース

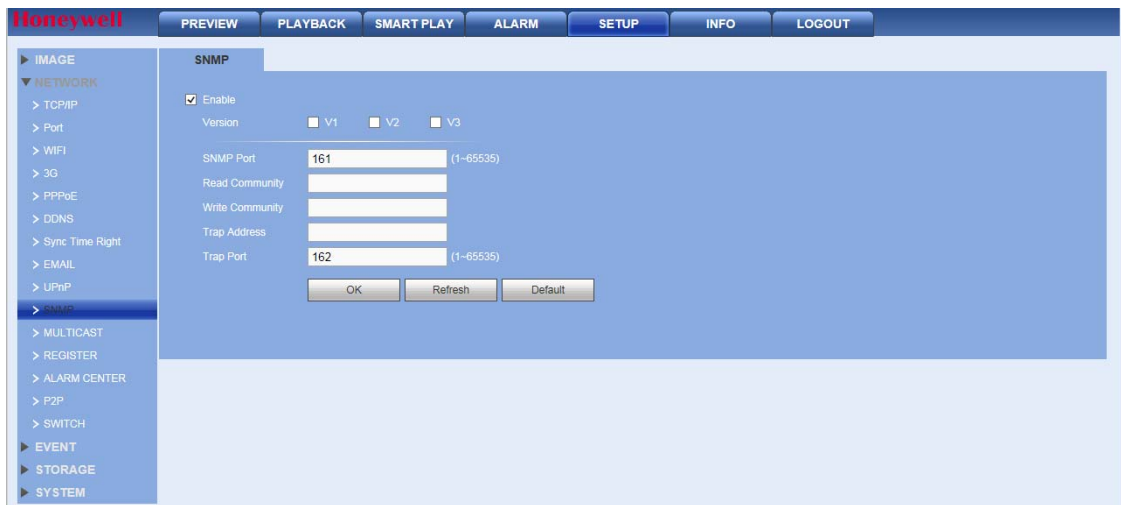


表 12-18 SNMP 構成

構成	詳細
Enable[有効化]	SNMP機能を有効にするには、ボックスにチェックを入れます。
SNMPバージョン	V1をチェックした場合、システムはV1情報のみを処理します。 V2をチェックした場合、システムはV2情報のみを処理します。 V3をチェックした場合、システムはV3情報のみを処理します。
SNMP Port[SNMPポート]	NVRのプロキシプログラムのリスニングポートそれはUDPポートで、TCPポートではありません。この値は、1～65535の範囲です。デフォルトは161です。
Read Community[読み取りコミュニティ]	これは文字列であり、管理プロセスとプロキシプロセス間のコマンドです。Read Community [読み取りコミュニティ]は、本人認証、アクセス制御、及び1つのプロキシと1つの管理者グループ間の管理関係を定義します。 デバイスとプロキシが同一であることを確認します。Read Community[読み取りコミュニティ]は、指定された名前でSNMPがサポートするすべてのオブジェクトを読み取ります。デフォルトはPublic[公共]です。
Write Community[書き込みコミュニティ]	これは文字列であり、管理プロセスとプロキシプロセス間のコマンドです。本人認証、アクセス制御、及び一つのプロキシと一つの管理者グループ間の管理関係を定義します。デバイスとプロキシが同一であることを確認します。書き込みコミュニティは、読み出し、書き込み、及び/または特定の名前でSNMPがサポートする全ての対象へのアクセスを行います。デフォルトはWrite[書き込み]です。
Trap Address[トラップアドレス]	デバイスのプロキシプログラムからのTrap [トラップ]情報の目的地アドレスです。
Trap Port[トラップポート]	デバイスのプロキシプログラムからのTrap [トラップ]情報の目的地ポートです。トラップポートはLAN内のゲートウェイデバイスとクライアント側PCが情報交換することを許可しま

ート] す。

マルチキャスト

マルチキャストはデータパケットの伝送モードです。同じデータパケットを受信するホストが2つ以上存在する場合、複数のキャスト（マルチキャスト）はネットワーク帯域とCPUの負荷を減らすための最良の選択肢です。送信元ホストはデータパケットを1つだけ送信できます。この機能は、グループメンバーとルーターのグループとの関係によって異なります。

1. **Multicast [マルチキャスト]** 構成インターフェースを開くために **NETWORK [ネットワーク]** にある **Multicast [マルチキャスト]** をクリックします。

図 12-56 マルチキャスト構成インターフェース



2. **Enable [有効化]** を選択してマルチキャストを有効にします。
3. IP アドレスボックスに、マルチキャスト **IP アドレス**を入力します。アドレスはマルチキャストで有効で、IPv4 の場合は 224.0.0.0～239.255.255.255 の範囲内にあるか、または頭に ff00::/8 がつくアドレスである必要があります。239.252.0.0～239.255.255.255 範囲内のアドレスが推奨されます。
4. **Port [ポート]**ボックスにマルチキャストポート番号を入力するか、あるいはデフォルト設定 (**36666**)を使用します。
5. **OK** をクリックして設定を保存します。

登録

Register [登録] を使用すると、指定したプロキシにデバイスが自動的に登録されます。プロキシを介して NVR にアクセスするクライアント側の使用が許可されます。プロキシはスイッチとして動作します。ネットワークサービスでは、デバイスは IPv4 サーバーアドレスかドメインをサポートします。

1. **Register [登録]** 構成インターフェースを開くために **NETWORK [ネットワーク]** にある **Register** をクリックします。

図 12-57 登録構成インターフェース



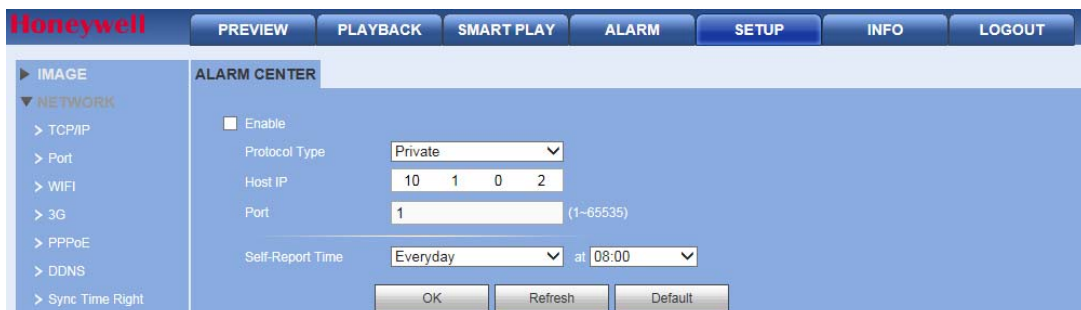
2. Register [登録] を有効にする為にクリックします。
3. Host IP [ホスト IP], Port [ポート] 及び Sub device ID [サブデバイス ID] 値を入力します。
4. OK をクリックして設定を保存します。

アラームセンター

アラーム機能を開発するためにアラームプラットフォームを NVR のアラームセンターに接続することができます。アラームが発生する、NVR システムはアラームセンターへアラーム信号をアップロードすることができます。

1. Alarm Center [アラームセンター] 構成インターフェースを開くために NETWORK [ネットワーク] にある Alarm Center [アラームセンター] をクリックします。

図 12-58 アラーム構成インターフェース



2. アラームセンターを使用する前に、Host IP [ホスト IP], Port [ポート] 及び Protocol Type [プロトコルタイプ] を設定する必要があります。アラームが発生すると、NVR システムは、プロトコルによる定義通りにデータをクライアントに送信します。Self-report Time [セルフレポート時刻] インターバルを選択するか、あるいはセルフレポートを無効にするために Never [なし] を選択することができます。
3. OK をクリックして設定を保存します。

P2P 設定の構成

P2P 画面使用の HonView Touch アプリでモバイルデバイスを使用してユニットに簡単に接続できます。このオプションを使用するには、HonView Touch アプリをダウンロードし、インストールし、アカウントを登録/作成しておく必要があります。アプリが設定されたら、デバイスの追加を選択し、カメラを使用して P2P 画面上の QR コードを閲覧します。デバイ

スの情報と接続は自動的に HonView Touch アプリにダウンロードされ、モバイルデバイスを使用して NVR に接続できます。

1. **P2P** インターフェイスを開くために **NETWORK [ネットワーク]** にある **P2P** をクリックします。

図 12-59 P2P 構成インターフェイス



2. **Enable [有効化]** ボックスにチェックを入れます。
3. HonView Touch アプリケーションを実行しているモバイルデバイスを使用して、デバイスの追加を選択します。
4. モバイルデバイスのカメラを使用して、P2P 画面で QR コードを表示します。
5. HonView Touch アプリケーションは自動的に NVR 情報をダウンロードし、接続を確立します。

スイッチ設定の構成

注

この機能は下記の機種のみ有効です。

HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/HEN323*4/HEN321*4/HEN642*4/HEN643*4/HEN041*3/HEN081*3/HEN161*3.

PoE スイッチの設定を変更するには、IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイを変更します。

1. **Switch [スイッチ]** インターフェイスを開くために **NETWORK [ネットワーク]** にある **Switch [スイッチ]** をクリックします。

図 12-60 スイッチ構成インターフェース



2. 以下の設定を行います：

表 12-19 スイッチ構成

構成	詳細
IP Address[IPアドレス]	新しいIPアドレスを入力します。
Subnet Mask[サブネットマスク]	新しいサブネットマスクを入力します。
Default Gateway[デフォルトゲートウェイ]	新しいデフォルトゲートウェイを入力します。

3. **OK** をクリックして設定を保存します。

イベント設定の構成

Motion Detection[動体検知]構成

ビデオに小さな動き（自身で定義した）が検出された時に動体検知アラームを発生するようにシステムを構成することができます。

1. **Motion Detect [動体検知]**構成インターフェースを開くために **EVENT [イベント]**にある **Video Detection [ビデオ検出]** → **Motion Detection [動体検知]**をクリックします。
2. 動体検知設定をセットし、設定を保存する為に **OK** をクリックします。

図 12-61 動体検知構成インターフェース

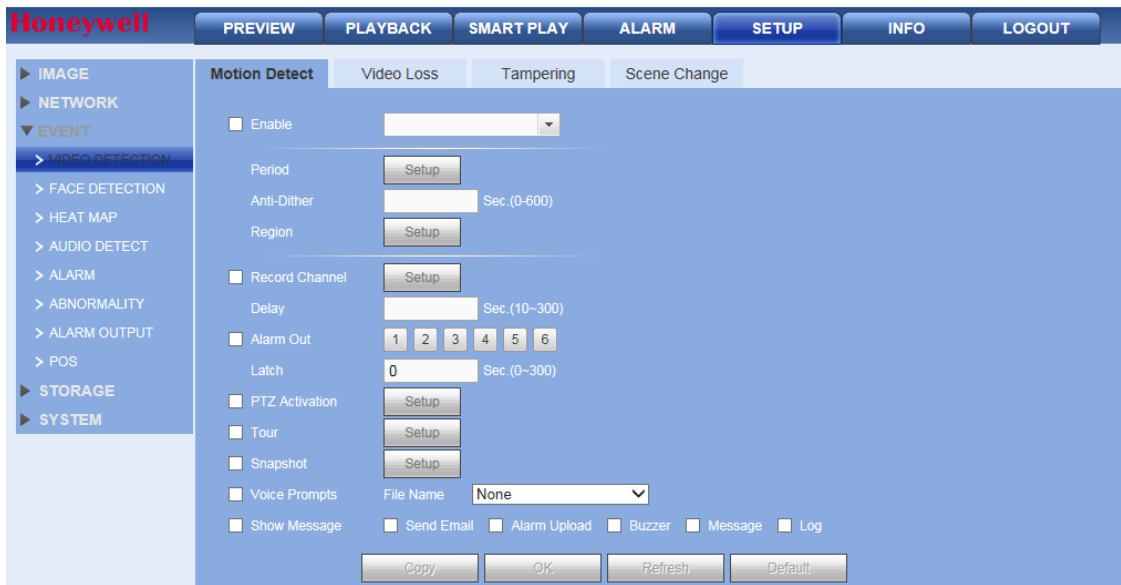
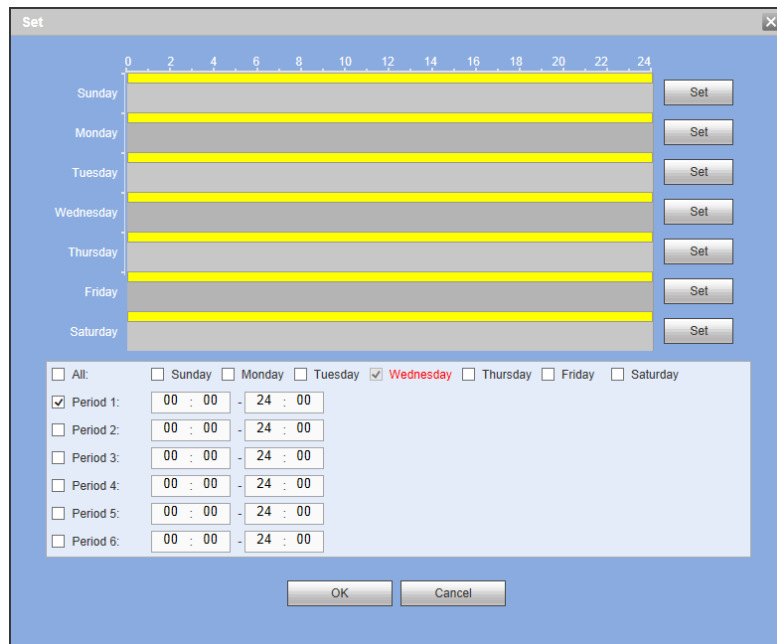


表 12-20 ウェブ - 動体検知構成

構成	詳細
Enable[有効化]	クリックして、動体検知を有効にします。ドロップダウンリストからチャンネルを選択します。
Period[期間]	<p>動体検知が有効な時間を定義します。</p> <p>1. [Setup]セットアップをクリックします。設定した構成インターフェースが表示されます。</p>



2. 曜日チェックボックスを選択します。**week [週]**の曜日、あるいは**All [全て]**から選択します。

注:All [全て]を選択した場合、セットした予定は週のすべての日に適用されます。

注:1日あたり最大6つの期間を設定できます。

3. 動体検知が作動する時間レンジを構成します。次に週の選択した日の時間範囲を選択するために**Period [期間]**チェックボックスをクリックします。
4. 一日に複数の期間を設定したり、あるいは週の他の日を設定するために、ステップ2と3を繰り返します。
5. **OK**をクリックします。

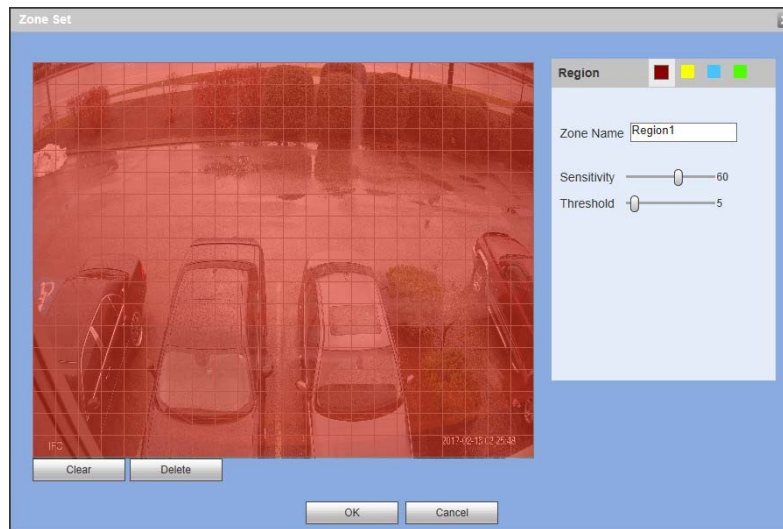
Alternative Setup Method [代替え設定方法]動体検知に必要な時間周期を構成するために画面の上部にある日と時間グラフを使用することができます。クリックするにはマウスを使用します。そして、これらの時間/日に動体検知を作動あるいは停止する為にグラフの異なる部分をクリック/ドラッグします。

Anti-dither[アンチディザ]

アンチディザ時間を設定します。設定値は、5～600秒の範囲です。アンチディザ時間はアラーム信号継続時間を意味します。アラーム信号動作は、ブザー、ツアー、PTZ動作、スナップショット、チャンネルレコード同様に留まると見做すことができます。

地域

1. **Region Setup [地域設定]**をクリックします。**Zone Set [地域セット]**構成インターフェースが表示されます。



2. 4つの地域（赤、黄、青、緑）から、動体検知 **Region [地域]** を選択します。動体検知の4つの異なる地域を構成できます。必要であれば、**Zone Name [ゾーン名]** フィールドで地域前を入力します。
3. 検出エリアを左クリックで選択し、ビデオイメージの上にマウスでドラッグします。
396 (PAL) あるいは 330 (NTSC) 小ゾーンがあります。ゾーンのタイルの色はゾーンにおいてどのエリアが動体検知設定されているかを示します。無色の場合は、ゾーンには動体検知が設定されていません。
4. 各地域に **Sensitivity [感度]** を 1 から 100 内で選択します。番号が大きいほど動体検知の感度が高くなります。
5. 個々の地域に **Threshold [閾値]** を 1 から 100 内で選択します。数字が大きいほど動体検知イベントをトリガーするのに大きな動きが必要になります。
6. **OK** をクリックして構成を保存します。変更を保存しないでセットアップを終了するには **Cancel [キャンセル]** をクリックします。

Record Channel [録画チャンネル]

動体検知アラーム作動すると、システムは自動的に選択されたチャンネルの録画を開始します。録画するチャンネルを選択する為にセットアップをクリックします。

注: また、動体検知の記録期間を設定することも必要です。予定された動体検知録画用の必要なチャンネルを構成する為に **Storage [保存] → Schedule [予定] → Record [録画]** に移動します。

Delay [遅延]

システムは、アラームが終了した後、指定された時間だけ録画を遅らせることができます。**10秒～300秒**の範囲で選択できます。

Alarm Out [アラーム出力]

デバイス出力ポート、**1** あるいは **2** を選択します。対応するポートを選択すると、システムは動体検知イベントが起こった時に対応するアラームデバイスを作動することができます。

Latch [ラッチ]

アラーム停止後、指定された時間でアラーム出力を遅延させることができます。値は**0秒～300秒**です。

PTZ Activation [PTZ有]

PTZ機能が構成された時、システムは、動体検知イベントが検出された時PTZを作動すること

効化]	<p>ができます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. PTZ Activation [PTZ 作動]構成インターフェースを開くために Setup をクリックします。 2. ドロップダウンメニューから実施する為に、プリセット、ツアー、あるいはパターンを選択します。フィールドにプリセット/ツアー/パターン番号を入力します。 3. OK をクリックします。
Tour[ツアー]	<p>ツアーが動体検知イベントでトリガされるのを有効にするためにTour [ツアー]チェックボックスをクリックし、Setup [セットアップ]をクリックします。システムは1/8-ウィンドウツアーをサポートしています。Display Settings [表示設定]タブでは、デフォルトで二つのツアーが有効化されている場合、ここで構成したアラームツアーを有効にするためにアラームがシステムをトリガーするように構成することができます。アラームがない場合、システムはDisplay [表示]インターフェースで構成されたツアー設定を使用します。</p>
スナップショット	<p>Snapshot [スナップショット]機能を有効にするためにクリックします。チャンネルスナップショットは構成された予定に従って撮られます。アラームスナップショットはアラームの発生時に撮られます。</p>
Voice Prompts[音声プロンプト]	<p>動体が検出されたときに音声プロンプトファイルの再生を有効にするには、このボックスにチェックを入れます。動体が検出されたときに再生するオーディオファイルを選択するには、File Name[ファイル名]ドロップダウンリストを使用します。</p>
Show Message[メッセージを表示]	<p>ローカルのホストPC画面上に、アラームが発生した事を知らせるポップアップメッセージを有効にするためにクリックします。</p>
Send Email[電子メール送信]	<p>システムはアラームが発生したときに電子メールを送信することができます。Snapshot [スナップショット]機能を有効化した時、システムは画像が添付された電子メールを送信することもできます。電子メール設定を構成するためにNetwork [ネットワーク]→Email [電子メール]に移動します。</p>
Alarm Upload[アラームアップロード]	<p>この機能を有効化します。そして動体検知イベントが検出された時、アラームメッセージがNVRにアップロードされます。</p>
Buzzer[ブザー]	<p>Buzzer [ブザー]機能を有効にするためにクリックします。アラームが発生するとブザーが鳴ります。</p>
Message[メッセージ]	<p>動体検知イベントが検出された時テキストメッセージを送信するためにチェックボックスをクリックします。メッセージ設定を構成するためにNetwork [ネットワーク]→3G→Mobile [モバイル]に移動します。</p>
Log[ログ]	<p>ボックスにチェックを入れて動体検知を有効にします。</p>

映像ロス検出構成

ビデオに最小限の映像ロス（自身で定義する）が検出された時映像ロスアラームを生成するようにシステムを構成することができます。

注 映像ロスはアンチデザイナー、感度、または地域セットアップをサポートしていません。

1. Video Loss [映像ロス] 構成インターフェースを開くために、EVENT [イベント] にある Video Detection [ビデオ検出] → Video Loss [映像ロス] をクリックします。
2. 映像ロス設定をセットアップし、設定を保存するために OK をクリックします。

図 12-62 映像ロス構成インターフェース



Video Loss Detection [映像ロス検出] の構成は Motion Detection [動体検知] の構成と非常に似通っています。詳細情報はページ 206 の [Motion Detection \[動体検知\] 構成](#) を参照してください。

カメラ不正干渉検出構成

ビデオに最小量の不正干渉（自身で定義する）が検出された不正干渉アラームを生成するようにシステムを構成することができます。

1. Tampering [不正干渉] 構成インターフェースを開くために EVENT にある Video Detection [ビデオ検出] → Tampering [不正干渉] をクリックします。
2. 不正干渉をセットアップし、設定保存する為に OK をクリックします。

図 12-63 カメラ不正干渉構成インターフェース



Camera Tampering Detection [カメラ不正干渉検出]の構成は Motion Detection [動体検知]の構成と非常に似通っています。詳細情報はページ 206 の [Motion Detection \[動体検知\]構成](#)を参照してください。

カメラシーン変更の構成

注

この機能はウェブクライアント上の下記の機種にはありません。
HEN041*3/HEN081*3/HEN161*3/HEN04103L/HEN08103L/HEN16103L/HEN32103L
この設定を変更したい場合、ローカルクライアントに移動します。

1. **Scene Change [シーン変更]** 構成インターフェースを開くために **EVENT [イベント]** にある **Video Detection [ビデオ検出]** → **Scene Change [シーン変更]** をクリックします。
2. シーン変更設定をセットアップし、設定を保存する為に **OK** をクリックします。

図 12-64 カメラシーン変更構成インターフェース



Camera Scene Change Detection [カメラシーン変更検出] の構成は Motion Detection [動体検知] の構成と非常に似通っています。詳細情報はページ 206 の [Motion Detection \[動体検知\]](#) 構成を参照してください。

顔検出設定の構成

顔検出機能は、動画を分析して、人の顔が表示されるかどうかを検出します。顔が表示された場合、処理または分析をさらに進めるために、スナップショット、録画、またはアラームのいずれかを使用して顔をキャプチャします。

1. Setup[設定] → Event[イベント] → Face Detection [顔検出] に移動します。

図 12-65 顔検出構成インターフェース



2. 顔検出を構成する Channel[チャンネル]をドロップダウンメニューから選択して、**Enable[有効化]**ボックスにチェックを入れます。

3. **Draw Target [ターゲットを描く]**をクリックして、ビデオ内で顔検出をトリガーする顔の最小/最大サイズを描画します。マウスを使用して、動画の画像の最小および最大サイズボックスをドラッグしてサイズを変更します。
4. **Face Detection [顔検出]** オプションの構成は **Motion Detection [動体検知]**の構成と非常に似通っています。時間周期とイベントアクションに関する詳細情報はページ 206 の **Motion Detection [動体検知]**構成を参照してください。

Face Overtemperature [顔温度超過]：顔温度超過機能を有効にする為にクリックします。顔の温度が設定値に到達したときにアラームが起きます。

Alarm Temp Threshold [アラーム温度閾値]：0 ~250 の値を選択します。

注 顔温度超過機能は、この機能をサポートしているカメラのみ利用可能です。

5. **OK** をクリックして設定を保存します。

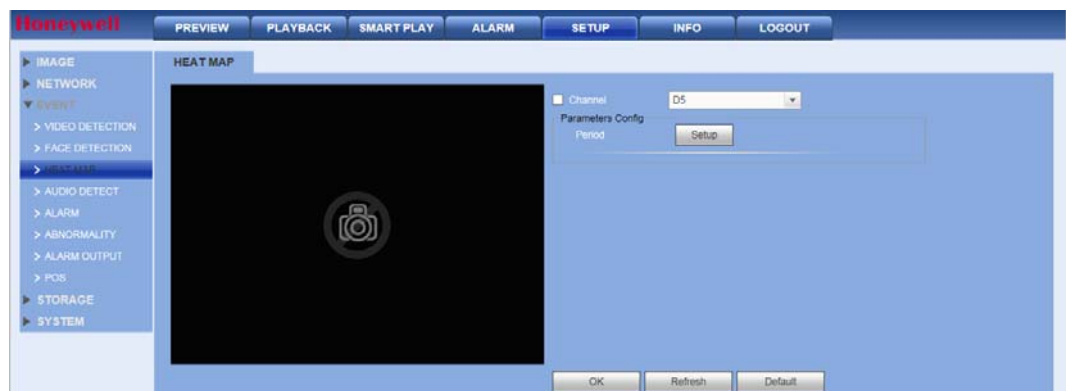
ヒートマップ

ヒートマップ機能は、対象物の熱に基づくレポートとして作成されるカメラシーンにおける移動対象物を検出します。熱は青から赤で色分けされます。青は最小熱値を表し、赤は最大熱値を表します。この情報は検索され、レポートが作成されます (ページ 172 の **ヒートマップ**を参照)。

注 この機能は以下の機種のみ有効です。
HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/HEN323*4/HEN321*4/HEN642*4/HEN643*4.

1. **Setup [セットアップ] → Event [イベント] → Heat Map [ヒートマップ]**.に移動します。

図 12-66 ヒートマップ構成インターフェース



2. ヒートマップを構成するChannel[チャンネル]をドロップダウンメニューから選択して、**Enable [有効化]**ボックスにチェックを入れます。

3. ヒートマップが有効になっている期間を設定するには、**Period[期間]**の横にある**Set[設定]**をクリックし、ページ206の**Motion Detection[動体検知]**構成に記載されている手順を実行します。

オーディオ検出設定の構成

オーディオ検出機能は、カメラシーンのオーディオの変化を検出して、イベントや対応するアクションを生成することができます。

1. **Setup [セットアップ] → Event [イベント] → Audio Detection[オーディオ検出]**に移動します。

図 12-67 オーディオ検出構成インターフェース



2. オーディオ検出を構成する **Channel[チャンネル]**をドロップダウンメニューから選択して、**Enable[有効化]**ボックスにチェックを入れます。
3. **Input Abnormal[入力異常]** 及び **Intensity Change [強度変更]** チェックボックスの1つあるいは両方をチェックします。
 - **Input Abnormal [入力異常]**: オーディオ入力か、サイトで通常生成される「通常の」オーディオと違うかどうかを検出します。
 - **Intensity Change[強度変更]**: オーディオの強度が変化するかどうか、つまり、音量レベルが標準レベルよりも強いかどうかを検出します。
4. オーディオ検出の **Sensitivity[感度]**レベル(1~100) と **Threshold[閾値]**レベル(1~100)を設定します。
 - **Sensitivity[感度]**とは、音声認識の感度をパーセントで表したものです。Sensitivity[感度]スライダを高感度設定に移動すると、オーディオ検出感度が向上し、より多くのイベントが検出されます。
 - **Threshold[閾値]**とは、強度変化の閾値、言い換えればイベント通知をトリガーするのに必要な音量です。閾値が小さいほど、より多くのイベントが検出されます。

注

オーディオ検出を設定する最も良い方法は、誰かがカメラの前で音を立てている間に、感度と閾値の設定を試すことです。

5. **Audio Detection [オーディオ検出]** オプションの構成は **Motion Detection [動体検知]**の構成と非常に似通っています。時間周期とイベントアクションに関する詳細情報はページ 206 の **Motion Detection [動体検知]**構成を参照してください。
6. **OK** をクリックして設定を保存します。

アラームの設定

アラーム操作の前に、ブザーやフラッシュライトのような、すべてのアラームデバイスが適切に接続されているか確認しなければなりません。

ローカルアラームの構成

Local Alarm [ローカルアラーム] 構成インターフェースを開くために **EVENT [イベント]** にある **ALARM [アラーム]** をクリックします。

図 12-68 ウェブ - ローカルアラーム構成インターフェース

The screenshot shows the Honeywell web interface for configuring a Local Alarm. The interface is divided into a sidebar and a main content area. The sidebar on the left contains a tree view with categories: IMAGE, NETWORK, EVENT, STORAGE, and SYSTEM. Under 'EVENT', there are sub-items: VIDEO DETECTION, FACE DETECTION, HEAT MAP, AUDIO DETECT, ALARM (highlighted), ABNORMALITY, ALARM OUTPUT, and POS. The main content area is titled 'Local Alarm' and has tabs for 'Local Alarm', 'Net Alarm', 'IPC External Alarm', and 'IPC Offline Alarm'. The 'Local Alarm' tab is active. The configuration options include: 'Enable' (checked), 'Alarm Name' (input field), 'Period' (Setup button), 'Anti-Dither' (5 Sec. (0-600)), 'Type' (NO), 'Record Channel' (checked), 'Delay' (10 Sec. (10-300)), 'Alarm Out' (1-6 buttons), 'Latch' (10 Sec. (0-300)), 'PTZ Activation' (Setup button), 'Tour' (Setup button), 'Snapshot' (Setup button), 'Voice Prompts' (File Name: None), 'Show Message' (Send Email, Alarm Upload, Buzzer, Message, Log), and buttons for 'Copy', 'OK', 'Refresh', and 'Default'.

[bookmark86](#) 下記の表に説明されている様にローカルアラーム設定を構成し、設定を保存する為に **OK** をクリックします。

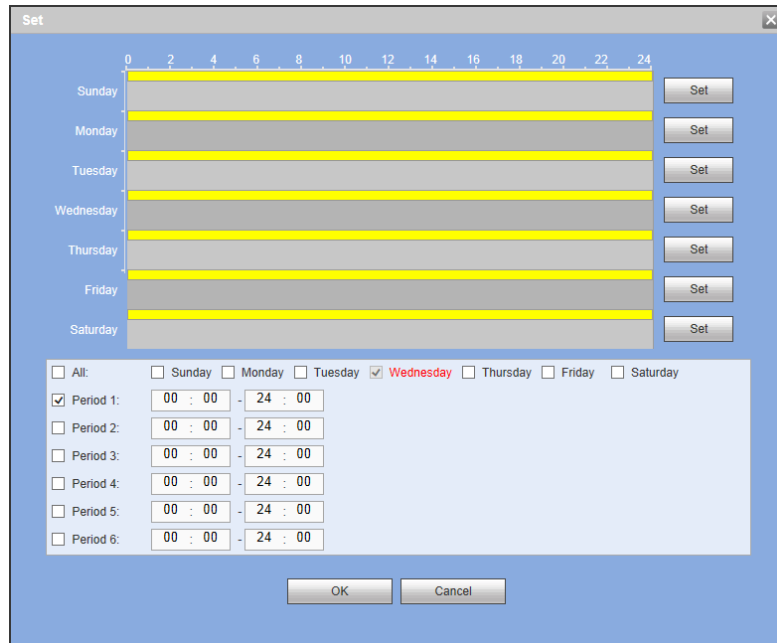
表 12-21WEB-アラーム構成

構成	詳細
----	----

Enable[有効化]

アラームを有効にするためにクリックします。ドロップダウンリストからチャンネルを選択します。

1. **Setup [セットアップ]**をクリックします。**Set [セット]**構成インターフェースが現れます。

**Period[期間]**

2. 曜日チェックボックスを選択します。**week [週]**の曜日、あるいは**All [全て]**から選択します。

注:All [全て]を選択した場合、セットした予定は週のすべての日に適用されます。

注:1日あたり最大6つの期間を設定できます。

3. アラームが有効となる時の時間周期を構成し、次に、週の選択された日の時間周期を選択するために **Period [期間]**チェックボックスをクリックします。
4. 一日に複数の期間を設定したり、あるいは週の他の日を設定するために、ステップ2と3を繰り返します。
5. **OK** をクリックします。

Alternative Setup Method [代替セットアップ方法]アラームに必要な時間周期を構成するために画面上部にある時間と日のグラフを使用できます。

時間/曜日用のアラームを有効化あるいは無効化するためにグラフの異なった部分をクリック、及びクリック/ドラッグする為にマウスを使用します。

Anti-dither[アンチディザ]

システムは、アラームが終了した後、指定された時間だけ録画を遅らせることができます。0秒～600秒の範囲で選択できます。

Type[タイプ]

NOかNCを選択します。

Record Channel[録画]

動体検知アラーム作動すると、システムは自動的に選択されたチャンネルの録画を開始しま

チャンネル]	す。 注: アラーム録画期間の設定が必要です。現在のチャンネルをスケジュール録画に設定するには、 Storage[ストレージ] → Schedule[スケジュール] → Record [録画] に移動します。
Delay[遅延]	システムは、アラームが終了した後、指定された時間だけ録画を遅らせることができます。 10秒～300秒 の範囲で選択できます。
Alarm Out[アラーム出力]	デバイス出力ポート、 1 あるいは 2 を選択します。対応するポートを選択します。システムは、アラームの発生時に対応するアラーム装置を作動することができます。
Latch[ラッチ]	アラーム停止後、指定された時間でアラーム出力を遅延させることができます。値は 1秒～300秒 の範囲です。
PTZ Activation[PTZ有効化]	PTZ有効化が構成されると、システムはアラームが起こった時にPTZ操作を作動することができます。 <ol style="list-style-type: none"> PTZ Activation [PTZ 有効化]構成インターフェースを開くために Setup をクリックします。 ドロップダウンメニューからプリセット、ツアー、あるいはパターンを選択します。 OK をクリックします。
Tour[ツアー]	アラームによってトリガーされるツアーを有効にするためにクリックします。システムは1/8-ウィンドウツアーをサポートしています。ツアー間隔のセットアップについてはページ 234 の 表示設定の構成 を参照します。 Display Settings [表示設定] タブでは、デフォルトで二つのツアーが有効化されている場合、ここで構成したアラームツアーを有効にするためにアラームがシステムをトリガーするように構成することができます。アラームがない場合、システムは Display [表示] インターフェースで構成されたツアー設定を使用します。
スナップショット	Snapshot [スナップショット] 機能を有効にするためにクリックします。チャンネルスナップショットは構成された予定に従って撮られます。アラームスナップショットはアラームの発生時に撮られます。
Voice Prompts[音声プロンプト]	アラームが検出されたときに音声プロンプトファイルの再生を有効にするには、このボックスにチェックを入れます。アラームが検出されたときに再生するオーディオファイルを選択するには、 File Name[ファイル名] ドロップダウンリストを使用します。
Show Message[メッセージを表示]	ローカルのホストPC画面上に、アラームが発生した事を知らせるポップアップメッセージを有効にするためにクリックします。
Send Email[電子メール送信]	システムはアラームが発生したときに電子メールを送信することができます。スナップショット機能を有効化した時、システムは電子メールに画像添付して送信することもできます。電子メール設定を構成するために Network [ネットワーク] → Email [電子メール] に移動します。
Alarm Upload[アラームアップロード]	この機能を有効にすると、アラームイベントが検出された時、アラームメッセージがNVRにアップロードされます。
Buzzer[ブザー]	ブザー機能を有効にするためにクリックします。アラームが発生するとブザーが鳴ります。

アラームイベントが検出された時テキストメッセージを送信するにはチェックボックスをクリックします。メッセージ設定を構成するために**Network [ネットワーク]→3G→Mobile [モバイル]**に移動します。

Log[ログ] アラームイベントのログを有効にするには、ボックスにチェックを入れます。

ネットワークアラームの設定

Network Alarm [ネットワークアラーム]はTCP/IP からのアラーム信号です。センサータイプやアンチディザー機能は選択できません。

1. **ALARM [アラーム]** 構成インターフェースにある **Net Alarm [ネットアラーム]** をクリックします。
2. **Net Alarm [ネットアラーム]** オプションの構成は **Local Alarms [ローカルアラーム]**の構成と非常に似通っています。時間周期とイベントアクションの設定に関する詳細情報は [216 のローカルアラームの構成](#)を参照してください。
3. **OK** をクリックして設定を保存します。

図 12-69 ウェブ - ネットアラーム構成インターフェース



IPC外部アラームの構成

IPC External Alarms [IPC 外部アラーム] は接続された IP カメラからのアラーム信号です。

1. **ALARM [アラーム]** 構成インターフェースにある **IPC External Alarm [IPC 外部アラーム]** をクリックします。
2. **IPC External Alarm [IPC 外部アラーム]** オプションの構成は **Local Alarms [ローカルアラーム]**の構成と非常に似通っています。時間周期とイベントアクションの設定に関する詳細情報は [216 のローカルアラームの構成](#)を参照してください。
3. **OK** をクリックして設定を保存します。

図 12-70 ウェブ - IPC 外部アラーム構成インターフェース



IPCオフラインアラームの構成

IPC Offline Alarms [IPC オフラインアラーム] は接続された IP カメラがオフラインとなった時のアラーム信号です。センサータイプやアンチディザージャー機能は選択できません。

1. **ALARM [アラーム]** 構成インターフェースにある **IPC Offline Alarm [IPC オフラインアラーム]** をクリックします。
2. **IPC Offline Alarm [IPC オフラインアラーム]** オプションの構成は **Local Alarms [ローカルアラーム]** の構成と非常に似通っています。時間周期とイベントアクションの設定に関する詳細情報はページ 216 の **ローカルアラームの構成** を参照してください。
3. **OK** をクリックして設定を保存します。

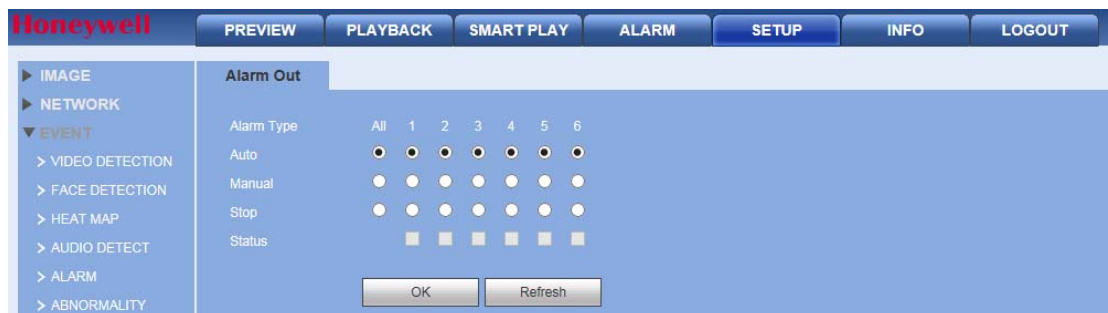
図 12-71 ウェブ - IPC オフラインアラーム構成インターフェース



アラーム出力の構成

1. Alarm Output [アラーム出力] 構成インターフェースを開くために **SETTING [設定]** にある Alarm Output [アラーム出力] をクリックします。

図 12-72 ウェブ - アラーム出力構成インターフェース



2. 各アラームのアラーム出力を有効にするためにクリックします。Auto [自動], Manual [手動]あるいは Stop [停止]及び Status [状態]から選択します。
3. OK をクリックして設定を保存します。

異常の構成

Abnormality - HDD [異常 - HDD] 構成インターフェースを開くために **EVENT [イベント]** にある Abnormality [異常] をクリックします。

図 12-73 ウェブ - HDD 異常構成インターフェース



異常には7つの種類があります：

- HDD なし
- HDD エラー
- スペースなし
- 切断
- IP 競合

- MAC 競合
- 不正なログイン

各異常にシステムがどう対応するかを構成できます。構成は個々のタイプでも同じです。

図 12-74 ネットワーク異常の構成



図 12-75 ユーザー名異常の構成



表 12-22 異常の構成

構成	詳細
イベントタイプ	<p>No HDD [HDDなし], HDD Error [HDDエラー], No Space [空き容量なし], Disconnect [切断], IP Conflict [IP競合], MAC Conflict [MAC競合]及びUsername [ユーザー名]から選択します。</p> <p>未満: (No Space [空き容量なし]構成用のみ) ディスクにフリースペースの最小比率を構成します。ディスク容量が少なくなったときアラームで知らせます。この機能を有効にするには、クリックする必要があります。</p> <p>Attempt(s) [試行] 及びLock Time [ロック時間]: (Username [ユーザー名]構成の場合のみ) アラームが作動し、特定されたLock Time [ロック時間]ログイン画面がロックされる前に、</p>

	ログインAttempt(s) [試行]回数を構成します。
Enable[有効化]	この機能を有効にするためにクリックします。
Alarm Out[アラーム出力]	デバイス出力ポート、1あるいは2を選択します。対応するポートを選択します。システムは、アラームの発生時に対応するアラーム装置を作動することができます。
Latch[ラッチ]	アラーム停止後、指定された時間でアラーム出力を遅延させることができます。値は1秒～300秒の範囲です。
Voice Prompts[音声プロンプト]	アラームが検出されたときに音声プロンプトファイルの再生を有効にするには、このボックスにチェックを入れます。アラームが検出されたときに再生するオーディオファイルを選択するには、File Name[ファイル名]ドロップダウンリストを使用します。
Show Message[メッセージを表示]	ローカルのホストPC画面上に、アラームが発生した事を知らせるポップアップメッセージを有効にするためにクリックします。
Send Email[電子メール送信]	システムはアラームが発生したときに電子メールを送信することができます。電子メール設定を構成するためにNetwork [ネットワーク]→Email [電子メール]に移動します。
Buzzer[ブザー]	Buzzer [ブザー]機能を有効にするためにクリックします。アラームが発生するとブザーが鳴ります。
Message[メッセージ]	アラームイベントが検出された時テキストメッセージを送信するにはチェックボックスをクリックします。メッセージ設定を構成するためにNetwork [ネットワーク]→3G→Mobile [モバイル]に移動します。
Log[ログ]	ネットワークイベントのログを有効にするには、ボックスにチェックを入れます。

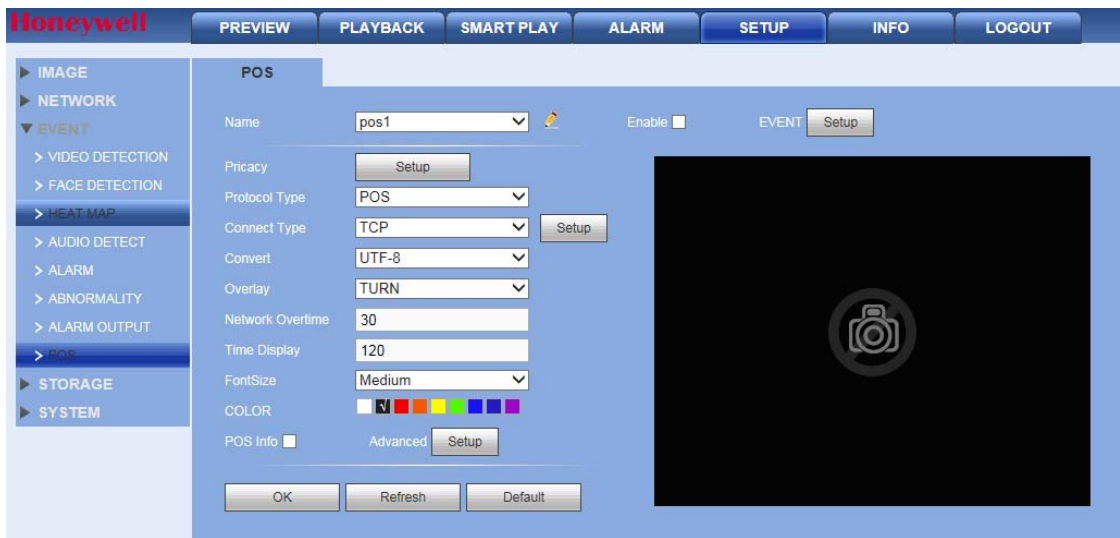
POS の構成

注	この機能は以下の機種のみ有効です。 HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/HEN323*4/HEN321*4/HEN642*4/HEN643*4.
---	--

POS レジスタなどの POS デバイスへの接続を設定し、POS 情報をビデオデータと同期させるのには、POS 設定画面を使用します。

1. SETUP [セットアップ]→EVENT [イベント]→POSに移動します。下記のウィンドウが表示されます。

図 12-76 POS 構成インターフェース




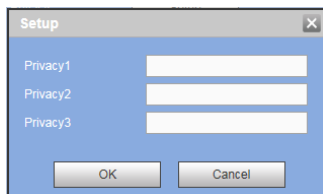
2. **Name [名前]** ドロップダウンリストでPOS名を選択します。名前を編集したい場合  をクリックします。
3. ステップ2で選択したPOSを有効にするために**Enable [有効化]** チェックボックスを選択します。
4. イベントに続いて、POSの実装/非実装期間、録画チャンネルなどPOS用の**Setup [セットアップ]** をクリックします。詳細情報はページ86の [動体検知設定の構成](#) を参照します。
5. プライバシーに続いて、POSのプライバシー特性を構成するために、**Setup [セットアップ]** をクリックします。この機能が有効にされた後、一旦オーバーレイ情報がプライバシーキャラクタを含むと*として表示されます。例えば、プライバシーキャラクタが12,56,89とすると、ローカルプレビューとWEB監視情報は、オーバーレイ情報が123456789の場合、**34**7** と示されます。

図 12-77 プライバシー設定



6. 他のパラメーターは下記のセクションで説明します:

Connect Type [接続タイプ] POS デバイスへの接続の種類を選択します。**Setup [設定]** をクリックして、Source IP [送信元 IP] と Port [ポート]、および Destination [送信先 IP] と Port [ポート] の接続の詳細を入力します。**OK** をクリックして続行します。

Protocol Type [プロトコルタイプ] POS デバイスの通信プロトコルを選択します。デフォルト設定は POS です。

Convert [変換] フォントタイプをセットします。

Overlay [オーバーレイ] ターン及びローールを含むオーバーレイモードをセットします。

- ターン: 一度オーバーレイ情報が 8 ラインに到達すると、次のページに変わります。

- ロール: 一度オーバーレイ情報が 8 ラインに到達すると、次の新しいラインが表示され、一番古いラインを消去します。

Network Overtime[ネットワークオーバータイム] ネットワークオーバータイムを設定するための値を入力します。特定された期間 POS データが無い場合、NVR は特定された期間後、POS 情報を自動的に消去します。

Time Display[時間表示] 時間表示インスタンス間の時間を入力します。

Font Size [フォントサイズ] オーバーレイのフォントサイズをセットします。

Color [色] オーバーレイのフォント色をセットします。

POS Info [POS 情報] ローカルプレビューウィンドウ上のオーバーレイ情報チェックボックスにチェックします。

Advanced[アドバンス]: アドバンス設定インターフェースに入るために **Setup [セットアップ]** をクリックします。

Transaction Start/End [トランザクション開始/終了] トランザクションの開始及び終了時刻を選択します。このフィールドは、選択されたプロトコルが POS の場合は変更できません。

Line Delimiter[ライン区切り文字]: 新しいラインの区切り文字の後ろにオーバーレイ情報を表示するためライン区切り文字を設定します。例えば、ライン区切り文字は 45、そしてオーバーレイ情報が 123456789 では、NVR は最初のラインに 123、そして二番目のラインに 6789 と表示します。

Hex[16 進数]: ASCII コードに切り替えるため 16 進数をチェックします。

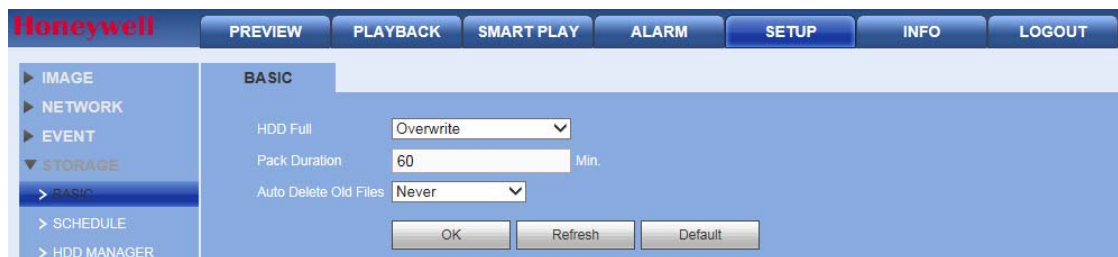
Case insensitive[大文字小文字区別なし]: 大文字小文字区別なし機能を有効にするには、ボックスにチェックを入れます。

保存の構成

基本の構成

SETUP [セットアップ] → STORAGE [保存] → BASIC [基本] に移動します。下記のウィンドウが表示されます。

図 12-78 基本の構成



HDD full[HDD フル]: HDD がいっぱいになっても録画を続行するには、Overwrite[上書き]に設定します。HDD がいっぱいになった場合に録画を停止するには、Stop Record[録画中止]に設定します。デフォルト設定は Overwrite[上書き]です。

Pack Duration[パック期間]: 録画期間を設定します。1~120 分の時間を入力します。デフォルト設定は 60 分です。

Auto Delete Old Files[古いファイルの自動消去]：Never [なし]あるいは Customized [カスタマイズ]を選択します。

Customized[カスタム]が選択された場合は、Days Ago[経過日数]ボックスに、古いファイルが自動的に削除される前に保持される日数を入力します。

ストレージスケジュールの構成

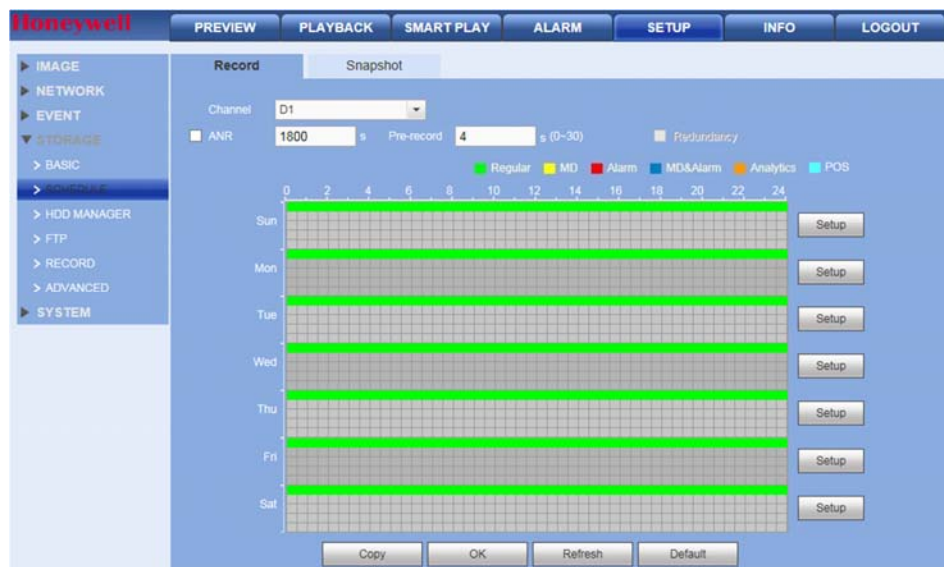
スケジュールおよびスナップショットスケジュールの記録を追加または削除できます。

録画モードには次の5つのタイプがあります。Regular [普通] (auto:自動)、MD, Alarm [アラーム]、MD&Alarm [MD&アラーム]、Analytics [分析的] 及び POS。1日あたり最大6つの期間を設定できます。

注 POS機能は以下の機種のみ有効です。
HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/
HEN323*4/HEN321*4/HEN642*4/HEN643*4.

1. SETUP [セットアップ]→ STORAGE [保管倉庫]→SCHEDULE [予定]に移動します。下記のウィンドウが表示されます。

図 12-79 スケジュール構成インターフェース



予定はタイプ別にカラーコード化しています。

- 緑：通常録画/スナップショット
- 黄色：動体検知録画/スナップショット
- 赤：アラーム録画/スナップショット
- 青：MD&アラーム録画/スナップショット
- オレンジ：解析録画/スナップショット

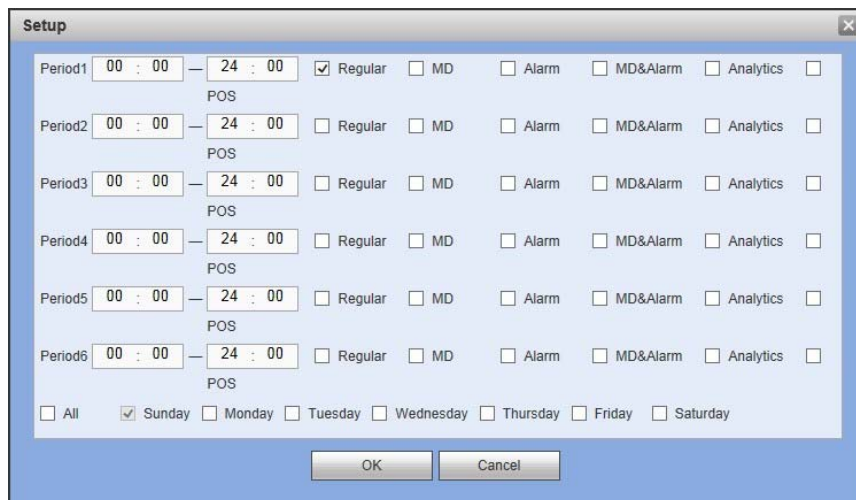
- **ライトブルー**：POS 録画/スナップショット

表 12-23 予定された保存設定

設定	詳細
チャンネル	ドロップダウンリストからチャンネルを選択します。
Pre-record[事前録画]	事前の録画時間を入力します。0～30秒の間で選択します。
冗長	録画されたファイルを2つの異なったHDDにバックアップするようにNVRを構成できます。クリックすると有効になります。 注: この機能を有効にする前に、少なくとも1つのHDDを冗長分として設定する必要があります。Setup [セットアップ] → Storage [保存] → HDD Manager [HDDマネージャー]に移動します。 この機能はHDDが1つの場合は利用できません。
ANR	時間を0から～43200秒の間で入力します。これは、ネットワーク接続が故障した場合にネットワークカメラの画像をSDカードに保存するためです。ネットワーク接続が復帰した後、システムはSDカードから動画を取り込みますので記録を失うリスクがありません。
スナップショット	録画スケジュールと同様の方法でスナップショットスケジュールを構成する為にスナップショットタブを選択します。
Copy[コピー]	チャンネルのセットアップを1つ以上の他のチャンネルにコピーすることができます。Copy [コピー]インターフェースを開くためにConfiguration [構成]インターフェースにあるCopy [コピー]をクリックします。 現在の構成をコピーするチャンネルを選択し、次にOKをクリックします。

2. Setup [セットアップ]をクリックします。Setup [セットアップ]構成インターフェースが開きます。

図 12-80 構成インターフェースのセット



3. スケジュールを構成し、次に **OK** をクリックします。

表 12-24 スケジュール構成

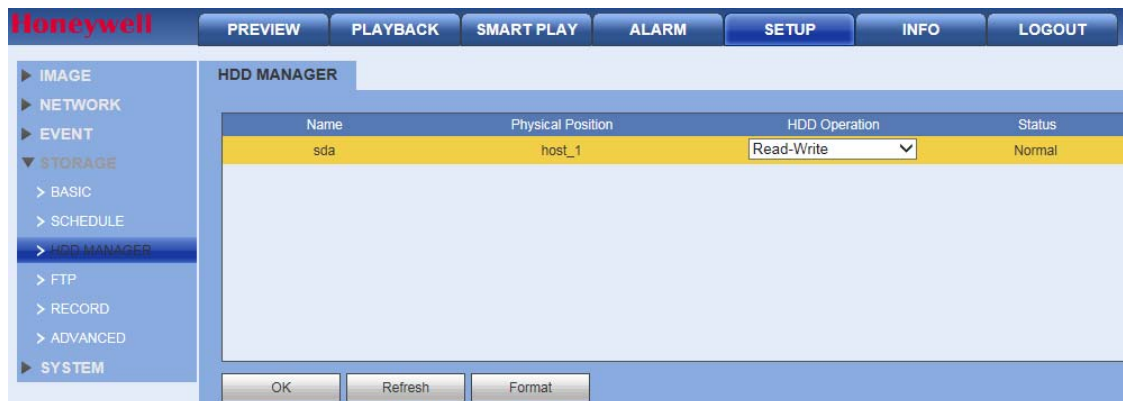
構成	詳細
Regular[レギュラー]	期間のRegular [普通]スケジュールモードを有効にするためにチェックします。
MD	期間のMotion Detection [動体検知]スケジュールモードを有効にするためにチェックします。
Alarm[アラーム]	期間のAlarm [アラーム]モードを有効にするためにチェックします。
MD&Alarm[MD&アラーム]	期間のMD&Alarm [MD&アラーム]モードを有効にするためにチェックします。
Analytics[解析]	期間のAnalytics [解析]モードを有効にするためにチェックします。
POS	期間のPOSモードを有効にするためにチェックします。

4. 設定を保存するために **OK** をクリックします。次に **Schedule [スケジュール]** 構成を保存するために **OK** をクリックします。

HDD マネージャーの構成

HDD Manager [HDD マネージャー] 構成インターフェースを開くために **STORAGE [ストレージ]** にある **HDD Manager [HDD マネージャー]** をクリックします。

図 12-81 HDD マネージャーインターフェース



HDD Manager [HDD マネージャー] インターフェースは HDD 情報を示します。読み取り専用、読み取り/書き込み、冗長性（1 つ以上の HDD がある場合）、及びフォーマット設定が構成できます。

FTP の構成

FTP はリモートストレージ用の設定を構成できるようにします。FTP を有効にする前に、FTP サービスツールをダウンロードするか、購入しなければなりません。

1. FTP 構成インターフェースを開くために **Storage [ストレージ]**にある **FTP** をクリックします。

図 12-82 FTP 構成インターフェース

2. FTP の設定を構成し、**OK** をクリックして設定を保存します。

表 12-25 FTP 構成

設定	詳細
Enable[有効化]	FTP接続を有効にするには、このボックスにチェックを入れます。
Host IP[ホストIP]	サーバー用のIPアドレスを入力します。
Port[ポート]	サーバー用のポート番号を入力します。
Username[ユーザー名]	FTPサーバーにログオンするためのユーザー名を入力します。
Password[パスワード]	FTPサーバーにログオンするためのパスワードを入力します。
Anonymous[匿名]	サーバーへの匿名ログインを有効/無効にするためにクリックします。
Remote Directory[リモートディレクトリ]	リモートディレクトリが空白の時、NVRは自動的に、IP、時間及びチャンネルに従ってフォルダを作成します。
ファイルサイズ	アップロードファイルのサイズを決定します。セットアップファイルのサイズが実際のファイルよりも大きい場合、システムはファイル全体をアップロードします。セットアップファイルのサイズが実際のファイルよりも小さい場合、システムはセットされたファイルサイズだけをアップロードします。0を入力した場合、システムは対応する全てのファイルをアップロードします。
Image Upload Interval[画像アップロード]	これは、CVRが画像をFTPサイトにアップロードする前に待機するインターバルです。0～

ード間隔]	3600秒の間で選択します。0は、間隔がないことを意味します。
チャンネル	チャンネルを選択します。
Weekday[平日]	平日を選択します。
Time Periods[期間]	画像のアップロードには1チャンネルにつき最大2つの期間を設定できます。
録画タイプ	アラーム&IVS&POS, MDあるいはRegular [通常]から選択します。

FTP 接続をテストするために FTPTest [テスト]をクリックします。ポップアップウィンドウは接続の状態を示します。

手動録画ストレージ設定を構成する

Record [録画] 構成インターフェースを開くために Storage [ストレージ] にある Record [録画] をクリックします。メインストリーム、サブストリーム、及びスナップショットでそれぞれ異なる録画設定が可能です。

図 12-83 手動録画ストレージインターフェース

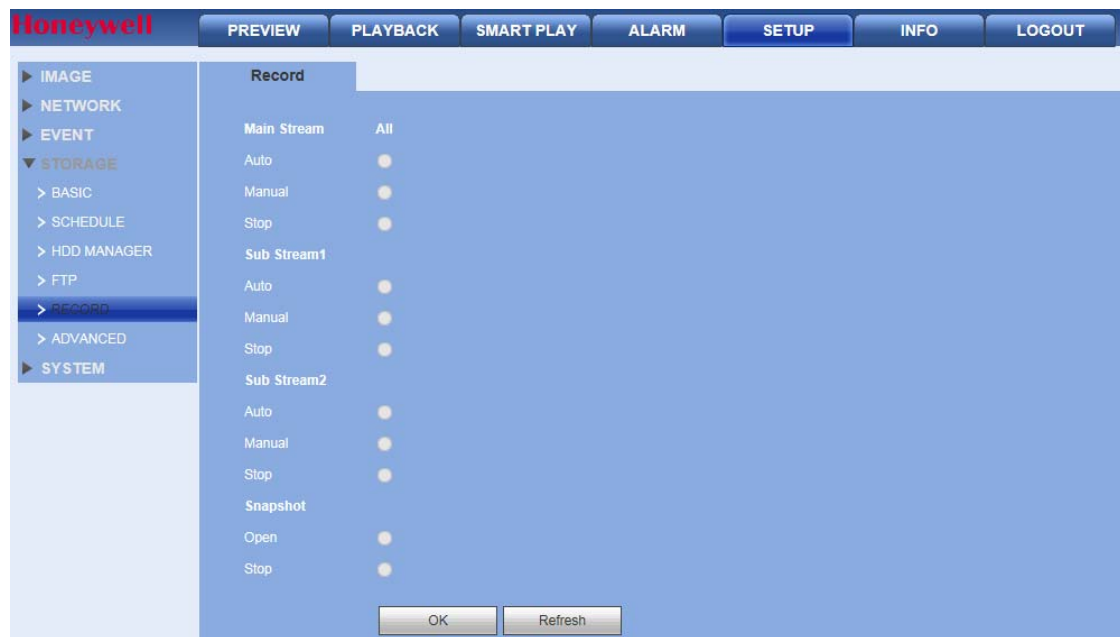


表 12-26 録画ストレージインターフェース

設定	詳細
チャンネル	最大チャンネル番号を含むチャンネル番号を見ます。
Auto[オート]	Auto [自動]を選択します。システムは, Recording Schedule Setup [録画スケジュールセットアップ]でセットしたように自動録画機能を有効にします。ストレージ設定の構成については73ページを参照してください。
Manual[手動]	これは一番高い優先順位です。録画セットアップにどんな期間が適用されているかに関係なく対応するチャンネル録画を有効にします。

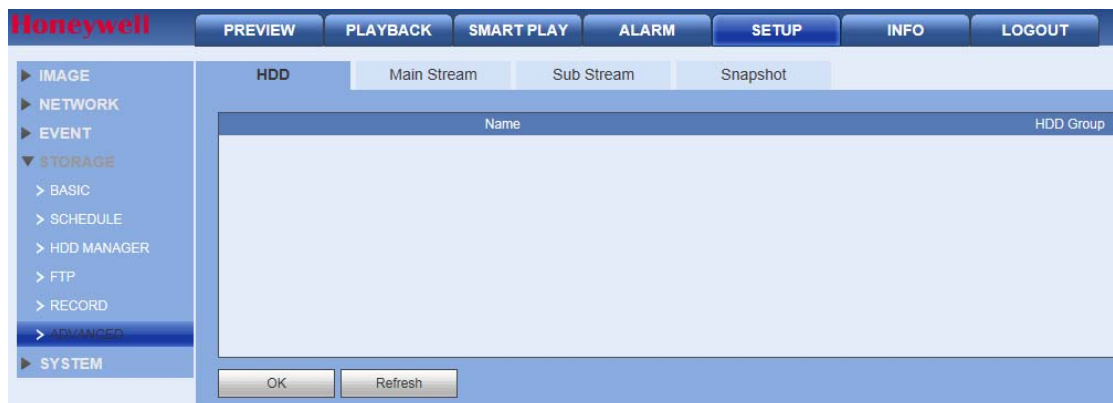
Stop[停止] 該当するチャンネルにどのようなセットアップが適応されているかに関わらず現在のチャンネル録画を停止します。

全て開始/全て停止 全てのチャンネルに同じ設定をするために**All [全て]**選択を選択します。

アドバンスストレージ設定の構成

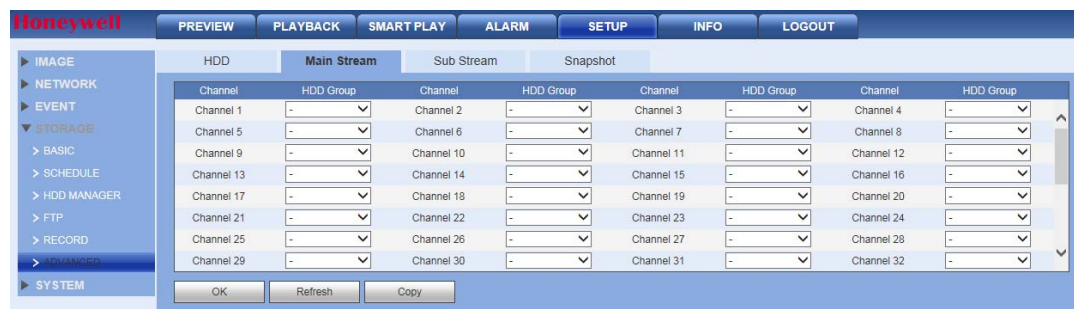
1. **Advanced [アドバンス]** ストレージインターフェースを開くために **Storage [ストレージ]** にある **Advanced [アドバンス]** をクリックします。

図 12-84 アドバンスストレージ HDD インターフェース



2. **Advanced HDD [アドバンス HDD]** タブ上では、ハードドライブ又はハードドライブグループに名前を割り当てることができます。
3. **Main Stream [メインストリーム]**, **Sub Stream [サブストリーム]**及び **Snapshot [スナップショット]** タブ上では、個々のストリームチャンネルあるいはスナップショットチャンネルから録画したデータを保存するためにハードドライブあるいはハードドライブグループを選択することができます。

図 12-85 アドバンスメインストリームインターフェース



4. **OK** をクリックして設定を保存します。

システム設定の構成

一般設定

General [一般] 設定構成インターフェースを開くために **SETTING [設定]** にある **General [一般]** をクリックします。必要に応じて一般設定をアップデートし、設定を保存するために **OK** をクリックします。

図 12-86 一般設定インターフェース

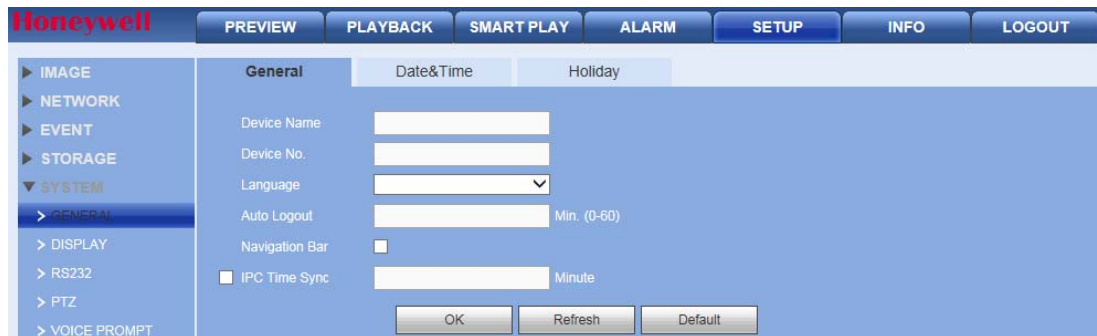


表 12-27 一般システム構成

構成	詳細
Device Name[デバイス名]	デバイス名を入力します。
Device No.[デバイス番号]	NVR 番号を入力します。
Language[言語]	ドロップダウンリストからGUI言語を選択します。 注: この変更を作動させるためにデバイス/NVRを再起動する必要があります。
Auto Logout[自動ログアウト]	非アクティブユーザをログアウトするまでNVRが待機する時間を設定します。0~60分の時間を入力します。デフォルト設定は10分です。
Navigation Bar[ナビゲーションバー]	ライブビュー画面にライブビューツールバーを表示するには、ボックスにチェックを入れます。ライブビューツールバーを非表示にするには、ボックスのチェックを外します。
IPC Time Sync[IPC時刻同期]	設定された間隔で、接続されたIPカメラとのNVR同期時間を設定するには、ボックスにチェックを入れます。1~1440分の間隔を設定します。デフォルト設定は5分です。

日付&時刻設定の構成

Date & Time [日付と時間] 構成インターフェースを開くために **GENERAL [一般]** 構成インターフェースにある **Date & Time [日付と時間]** タブをクリックします。必要に応じて日付と時間設定をアップデートし、設定を保存するために **OK** をクリックします。

図 12-87 日付&時刻構成インターフェース

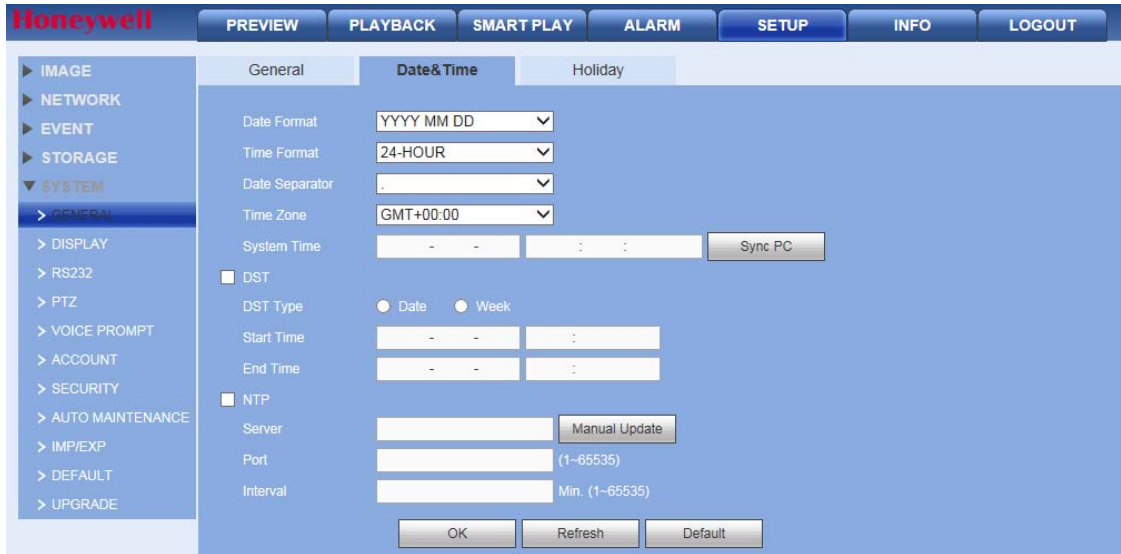


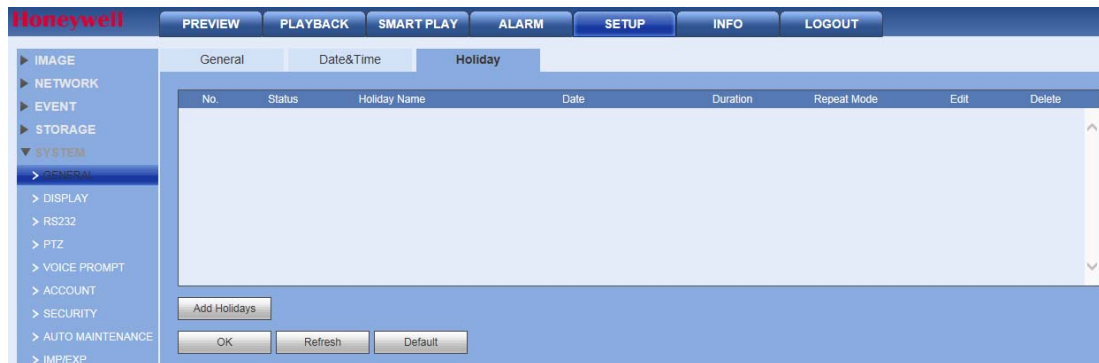
表 12-28 日付&時刻構成

構成	詳細
Date Format[日付形式]	ドロップダウンリストから日付形式を選択します。
Time Format[時刻形式]	24時間または12時間のいずれかを選択します。
Date Separator[日付区切り文字]	ピリオド (.), ハイフン (-), またはスラッシュ (/)から選びます。
System time[システム時刻]	NVRの時刻を設定します。この設定を有効にするには保存しなければなりません。
Sync PC[PCの同期]	クリックすると、NVRの時刻とパソコンの時刻が同期します。
タイムゾーン	NVR用にタイムゾーンを選択します。
DST	夏時間 (DST)を有効にするためにクリックします。Date [日]あるいはWeek [週]のどちらか一方のタイプを選択するためにクリックします。次にDSTが開始及び終了する日付と時間を構成します。
NTP	NTPサーバーを有効にするためにクリックします。
NTPサーバー	NTP時間サーバーアドレスを入力します。
Port[ポート]	NTP時間サーバーポートを入力します。
アップグレード間隔	NVRとNTPサーバー間の同期期間を設定します。

休日設定

1. **Holiday Setup [休日設定]** 構成インターフェースを開くために **GENERAL [一般]** 設定構成インターフェースにある **Holiday [休日]** タブをクリックします。

図 12-88 休日設定構成インターフェース



2. 休日を加えるために **Add Holidays [休日の追加]** をクリックし、休日の詳細を入力し、次に **OK** をクリックします。

表示設定の構成

表示設定

Display [表示] 設定構成インターフェースを開くために **System [システム]** インターフェースにある **Display [表示]** をクリックします。必要に応じて表示設定をアップデートし、設定を保存するために **OK** をクリックします。

図 12-89 表示構成インターフェース



表 12-29 表示構成

構成	詳細
解像度	オプションから選択します： 3840x2160, 1920x1080, 1280x1024 (default), 1280x720 及び 1024x768 . 注: 解像度に加えた変更を有効にするためにはNVRを再起動しなければなりません。

Transparency[透明度]	GUI表示の透明性を構成します。0%~100%の間で選択します。
時間表示/チャンネル表示	ビデオモニターに時間とチャンネルを表示するこれらの機能を有効にするためにクリックします。
Image Enhance[画像エンハンス]	ビデオのプレビューを最適化するために、Image Enhance [画像エンハンス]有効化にチェックします。
Customized Title [カスタムタイトル]	ビデオモニターにカスタムタイトルを表示するCustomized Title [カスタムタイトル]有効化にチェックします。
Original Scale[オリジナルスケール]	チャンネルを元のアスペクト比で表示するようチェックします。選択されていないチャンネルは全画面表示されます。
ビデオスポット	VGA出力あるいはHDMI出力を選択するためにチェックします。選択した出力では、ユーザー操作が無効であるかプレイバックしか表示されません。

Tour[ツアー]構成

Tour [ツアー]インターフェースでは、Tour Interval [ツアー間隔]、Window Split [ウィンドウ分割]モード、Video Detection Tour [ビデオ検出ツアー]及び Alarm Tour [アラームツアー]モードをセットできます。

Tour [ツアー] 構成インターフェースを開くために System [システム] にある DISPLAY [表示] 構成インターフェース内の Tour [ツアー] タブをクリックします。

図 12-90 ツアー構成インターフェース



表 12-30 表示ツアー設定

設定	詳細
Enable[有効化]	ツアー機能を有効にするためにクリックします。

Interval[間隔]	チャンネル間のツアー間隔を調整します。 5秒～120秒 の範囲で選択できます。デフォルトは5秒です。
ウィンドウ分割	ウィンドウモードとチャンネルグループをセットします。NVRに応じて、1/4/8/9/16/25/36/64-ウィンドウ分割までサポートできます。
チャンネルグループ	チャンネルをチャンネルグループに加えます、そしてNVRがツアーを始めた時、ツアーはグループ内の選択されたチャンネル上でのみ開始します。
ビデオ検出ツアー / アラームツアー	ビデオ検出ツアーとアラーム検出ツアーウィンドウモードをセットします。NVRは1/8ウィンドウをサポートできます。

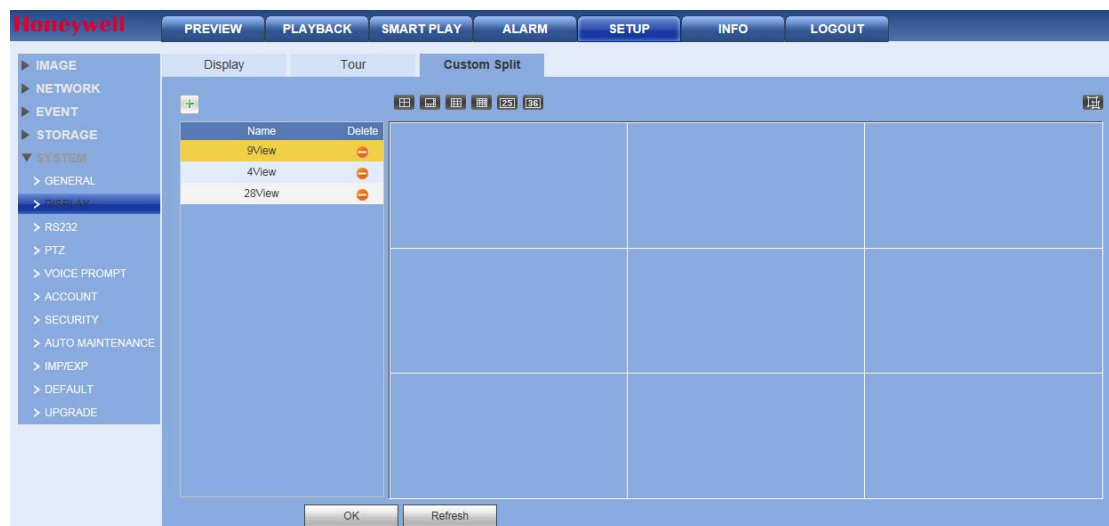
Custom Split[カスタム分割]構成タブ



注	この機能は以下の機種のみ有効です。 HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/HEN323*4/HEN321*4/HEN642*4/HEN643*4.
----------	--

Custom Split[カスタム分割]タブを使用して、カスタム分割画面を設定します。

1. **Custom Split [カスタム分割]** 構成インターフェースを開くために **System [システム]** にある **DISPLAY [表示]** 構成インターフェース内の **Custom Split [カスタム分割]** タブをクリックします。

図 12-91 カスタム分割構成インターフェース



2. リストに選択した分割ビューを追加するには、**Custom Split[カスタム分割]** タブで  をクリックします。
3. 必要に応じて、マウスで表示グリッドをクリックしてドラッグし、設定します。小さい四角形をより大きな表示領域に組み合わせたり、分割して一度に多くのチャンネルを表示することができます。カスタム分割ウィンドウを使用するためにメインウィンドウ上 (図12-10 参照) の  をクリックします。

4. OK をクリックして設定を保存します。

RS232 構成

注

この機能は下記の機種のみ利用可能です。

HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/HEN323*4/HEN321*4/HEN642*4/HEN643*4/HEN04103L/HEN08103L/HEN16103L/HEN32103L.

1. RS232 構成インターフェースを開くために **System [システム]**にある **RS232** をクリックします。

図 12-92WEB- RS232 構成インターフェース



表 12-31RS232Web 構成

設定	詳細
機能	対応するドームプロトコルを選択します。デフォルトは Console [コンソール] です。
Baud Rate[ボーレート]	Baud Rate[ボーレート] を選択します。デフォルトは 115200 です。
Data Bit[データビット]	5～8の間で選択します。デフォルトは8です。
Stop bit[ストップビット]	1または2を選びます。デフォルトは1です。
Parity[パリティ]	None, Odd, Even, Space, または Mark から選択しますデフォルトは None です。

2. 選択してから **OK** をクリックします。

PTZ 設定の構成

PTZ を構成する前に、下記を確認してください。

- PTZとデコーダは正しく接続されている。デコーダのアドレスセットアップも正しい。
- 正しいデコーダラインが正しいNVRラインに接続されている（AはAへ、BはBへ）。

PTZ 構成インターフェースを開くために **SYSTEM [システム]** にある **PTZ** をクリックします。

図 12-93 PTZ 構成インターフェース

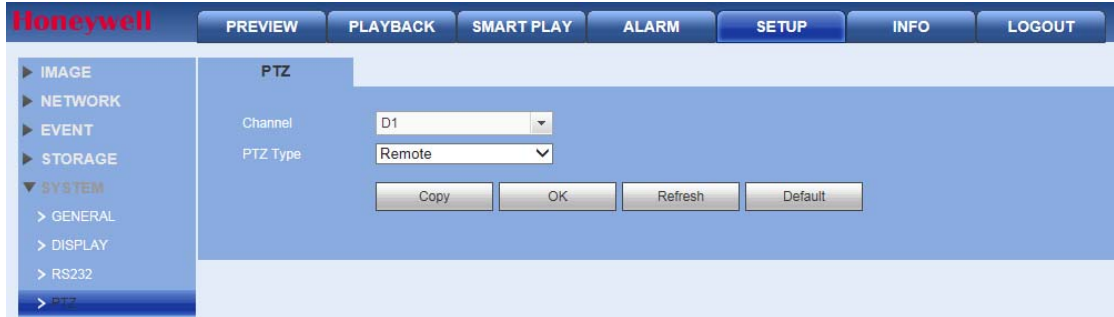


表 12-32 PTZ 構成インターフェース

設定	詳細
チャンネル	チャンネルを選択します。
PTZ Type[PTZの種類]	PTZ Type[PTZの種類]のRemote[遠隔]を選択します。遠隔接続されたIPカメラがネットワークを介して接続されます。

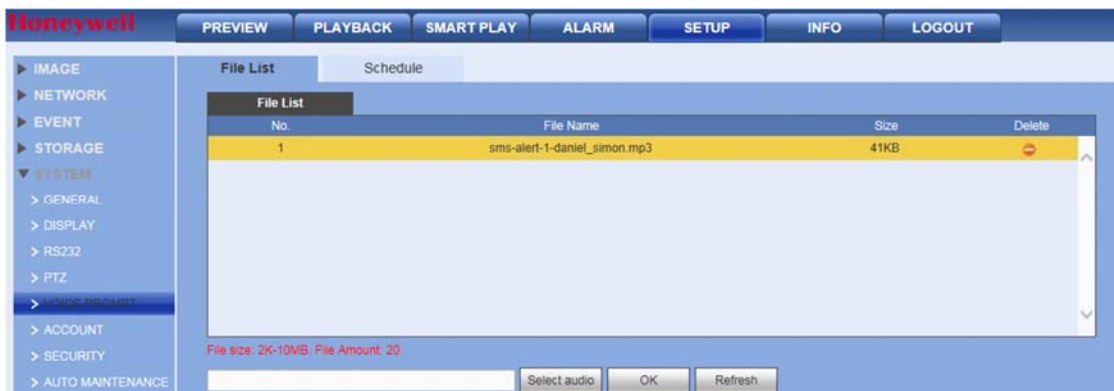
音声プロンプト設定の構成

音声プロンプトファイルは、アラーム音声として使用することができ、イベントがトリガーされたときにアクションとして設定することができます。

音声プロンプトファイルの管理

1. **File List [ファイルリスト]** 構成インターフェースを開くために **SYSTEM [システム]** にある **Voice Prompt [ビデオプロンプト]** をクリックします。

図 12-94 音声プロンプトファイルリスト構成インターフェース



2. 音声プロンプトファイルに新しい音声ファイルを加え検索するために **Select audio [オーディオ選択]** をクリックします。

- 必要であれば、ファイルのデリートアイコンをクリックすることで音声ファイルを削除できます。
- OK をクリックして設定を保存します。

音声プロンプトスケジュールの構成

- Schedule [スケジュール] 構成インターフェースを開くために Voice Prompt [音声プロンプト] 画面上の Schedule [スケジュール] をクリックします。
- 最大 6 つの期間を設定できます。個々の Period [期間] に時間範囲をセットします。
- ドロップダウンリストから再生するファイル名を選択します。
- Repeat [繰り返し] フィールドで音声プロンプトを繰り返す回数を入力し、繰り返しの間に Interval [間隔] を設定します。
- Output [出力] ドロップダウンリストから、音声プロンプトを再生するオーディオ装置を選択します。
- OK をクリックして設定を保存します。

アカウントの構成

いくつかの基本ユーザーとグループルール

- ユーザー名とグループ名は最大 6 文字使用できます。名前の最初と最後にスペースは使用できません。文字、数字、及びアンダーライン () は使用できます。
- 最大 64 のユーザー、20 のグループまで追加できます。(これらはデフォルト設定です。) デフォルト設定は 2 つのグループレベルを含んでいます。user [ユーザー] と admin [管理者] グループの特徴を構成します。次にユーザーが要求する特徴に従ってユーザーをグループに割り当てます。
- ユーザー管理にはグループに特徴を振り当てる事、ユーザーをグループに振り当てる事が含まれます。ユーザー名とグループ名は同じにできません。ユーザー名とグループ名は一意にする必要があります。ユーザーは 1 つのグループしか所属できません。

Account [アカウント] 設定構成インターフェースを開くために SYSTEM [システム] にある Account [アカウント] をクリックします。

UserName [ユーザー名]

図 12-95 ユーザー名アカウント構成



デフォルトのユーザーには2種類あります：

- 管理者
- 隠れたユーザー

隠れたデフォルトユーザーは、内部システムのみのものであり、削除することはできません。ログインユーザーを選択しないでユーザーがログインした場合、隠れたデフォルトユーザーが自動的に使われます。デフォルトの隠れたユーザーに、例えばモニターする権利を与えてこのユーザーがログインしないでチャンネルを閲覧することができるような、特定の権利を構成できます。

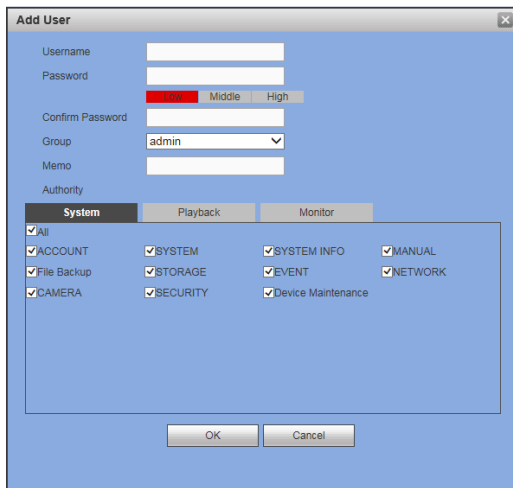
注

- ユーザー権利はグループ権利を超えられません。
 - 一般ユーザーの権利は管理者よりも少ないです。
-

ユーザーの追加

1. **Add User [ユーザー追加]** をクリックします。**Add User [ユーザー追加]** 構成インターフェースが開きます。
2. **Username [ユーザー名]** と **Password [パスワード]** を入力します。確認のためパスワードを再入力します。
3. **Group [グループ]** を選択します。
4. **System [システム]**、**Playback [再生]** 及び **Monitor [モニター]** 特典を選択します。
5. **OK** をクリックして新しい設定を保存します。

図 12-96 ユーザー追加構成インターフェース



ユーザーを修正


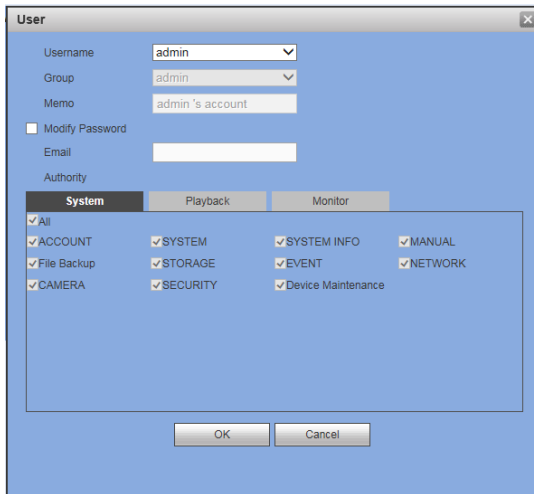
1. **Modify User [ユーザー修正]** 構成インターフェースを開くために **Modify [修正]** にある  をクリックします。

図 12-97 ユーザー追加構成インターフェースの修正



2. 設定を変更し、**OK** をクリックします。

パスワードの修正

1. **Modify User [ユーザー修正]** 構成インターフェースにある **Modify Password [パスワード修正]** をクリックします。
2. 古い **Password [パスワード]** を入力し次に新しい **Password [パスワード]** を 2 回入力します。
3. **OK** をクリックして、新しいパスワードを保存します。

注

パスワードは最大6桁までです。数字だけを使用できます。管理者権限を持つユーザーは他のユーザーのパスワードを変更することができます。

Group[グループ]

Group [グループ] 構成インターフェースを開くには **Account [アカウント]** 構成インターフェースにある **Group [グループ]** タブをクリックします。

図 12-98 グループ構成インターフェース



グループを追加

1. Group Account [グループアカウント] 構成インターフェースにある Add Group [グループ追加] をクリックします。

図 12-99 グループ追加構成インターフェース

The 'Add Group' dialog box contains the following elements:

- Group Name: []
- Memo: []
- Authority: System | Playback | Monitor
- Permissions (System tab):
 - All
 - Device Maintenance
 - NETWORK
 - SYSTEM INFO
 - File Backup
 - EVENT
 - SYSTEM
 - SECURITY
 - STORAGE
 - ACCOUNT
 - CAMERA
 - MANUAL
- Buttons: OK, Cancel

2. Group [グループ] 名を入力します。
3. System [システム], Playback [再生]及び Monitor [モニター] 特典を選択します。
4. OK をクリックして新しい設定を保存します。

グループの修正


1. Modify Group [グループ修正] 構成インターフェースを開くために Modify [修正] にある  をクリックします。

図 12-100 グループ修正構成インターフェース

The 'Group' dialog box contains the following elements:

- Group: user (dropdown)
- Group Name: user
- Memo: user group
- Authority: System | Playback | Monitor
- Permissions (System tab):
 - All
 - Device Maintenance
 - NETWORK
 - SYSTEM INFO
 - File Backup
 - EVENT
 - SYSTEM
 - SECURITY
 - STORAGE
 - ACCOUNT
 - CAMERA
 - MANUAL
- Buttons: OK, Cancel

2. Group [グループ] 特典を修正し、次に変更を保存するために OK をクリックします。

ONVIFユーザー

ONVIF ユーザーアカウントの追加、変更または削除を行うことができます。

SETUP [セットアップ]→SYSTEM [システム]→ACCOUNT [アカウント]→ONVIF User [ONVIF ユーザー]に移動します。
下記のウィンドウが表示されます。

図 12-101 ONVIF ユーザー



ONVIF ユーザーの構成は Username [ユーザー名]の構成とよく似ています。詳細情報は 239 ページの [UserName](#)[ユーザー名]を参照してください。

セキュリティの構成

1. SETUP [セットアップ]→SYSTEM [システム]→SECURITY [セキュリティ]に移動します。下記のウィンドウが表示されます:

図 12-102 セキュリティ構成インターフェース



2. **Trusted Sites** [信頼されたサイト]を有効にするためにクリックします。リストアップされた IP アドレスだけが NVR にアクセスできます。

または

Blocked Sites [ブロックされたサイト]をクリックします。リストアップされた IP アドレスは NVR にアクセスできません。

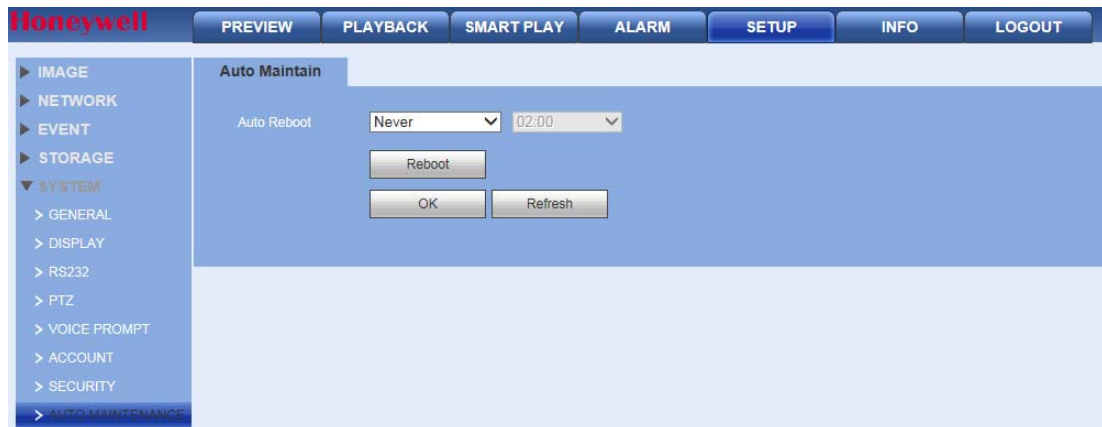
信頼されたサイトまたはブロックされたサイトの追加

1. **Add [追加]** 構成インターフェースを開くために **Add [追加]** をクリックします。
2. ドロップダウンメニューから **IP アドレス**、**IP セグメント**あるいは**MAC アドレス**を選択します。
3. ドロップダウンメニューから **IPv4** あるいは **IPv6** を選択します。ステップ2で **MAC Address[MAC アドレス]** が選択された場合、このオプションは利用できません。
4. ステップ2でどのオプションを選択したかに従い、アドレスフィールドに IP アドレス、あるいは MAC アドレスを入力します。
5. **OK** をクリックします。

自動メンテナンス

1. **Auto Maintenance [自動メンテナンス]** 構成インターフェースを開くために **SYSTEM [システム]** にある **Auto Maintenance [自動メンテナンス]** をクリックします。

図 12-103Auto Maintain[自動メンテナンス]構成インターフェース



2. NVR が再起動した時は、日付と時間の両方（あるいはなし）を選択します。
3. **OK** をクリックして新しい設定を保存します。

注 NVRを手動で再起動するために**Reboot [再起動]** をクリックします。

インポート/エクスポート

Import&Export [インポート/エクスポート]構成インターフェースを開くために **SYSTEM [システム]** にある **IMP/EXP** をクリックします。

図 12-104 インポート/エクスポート・インターフェース



表 12-33 インポート/エクスポート操作

アクティビティ	詳細
構成インポート	ローカル設定ファイルをNVRシステムにインポートする場合にクリックします。
構成エクスポート	対応するウェブ設定をローカルPCにエクスポートする場合にクリックします。

デフォルト

Camera [カメラ], Network [ネットワーク], Event [イベント], Storage [保存]及び/又は System [システム] 設定をデフォルトに戻すために選択することができます。

1. Default [デフォルト] 構成インターフェースを開くために SYSTEM [システム] にある Default [デフォルト] をクリックします。

図 12-105 デフォルト設定インターフェース

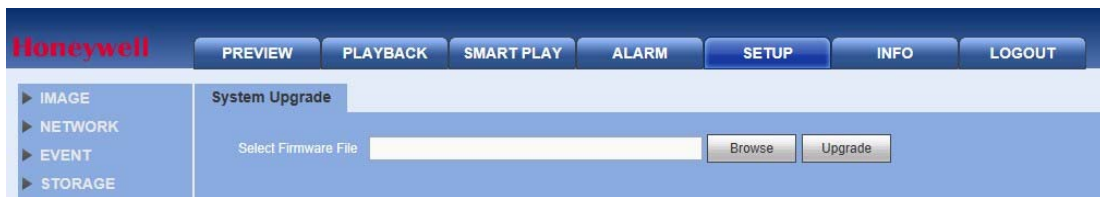


2. 選択してクリックするか、あるいは All [全て]を選択するかした後、Default [デフォルト]をクリックします。

アップグレード

Upgrade [アップグレード] 構成インターフェースを開くために SYSTEM [システム] にある Upgrade [アップグレード] をクリックします。

図 12-106 アップグレードインターフェース



1. **Browse [ブラウズ]**をクリックし、次にアップグレードファイルを選択します。
2. **Upgrade** をクリックしてアップグレードを始めます。ファイル名は**.bin** で終わります。

注

アップグレード中は電源ケーブル、ネットワークケーブルを抜かないでください。デバイスの電源も切らないでください。

注意

不適切なアップグレードプログラムはデバイス誤動作の結果となる可能性があります。

再生

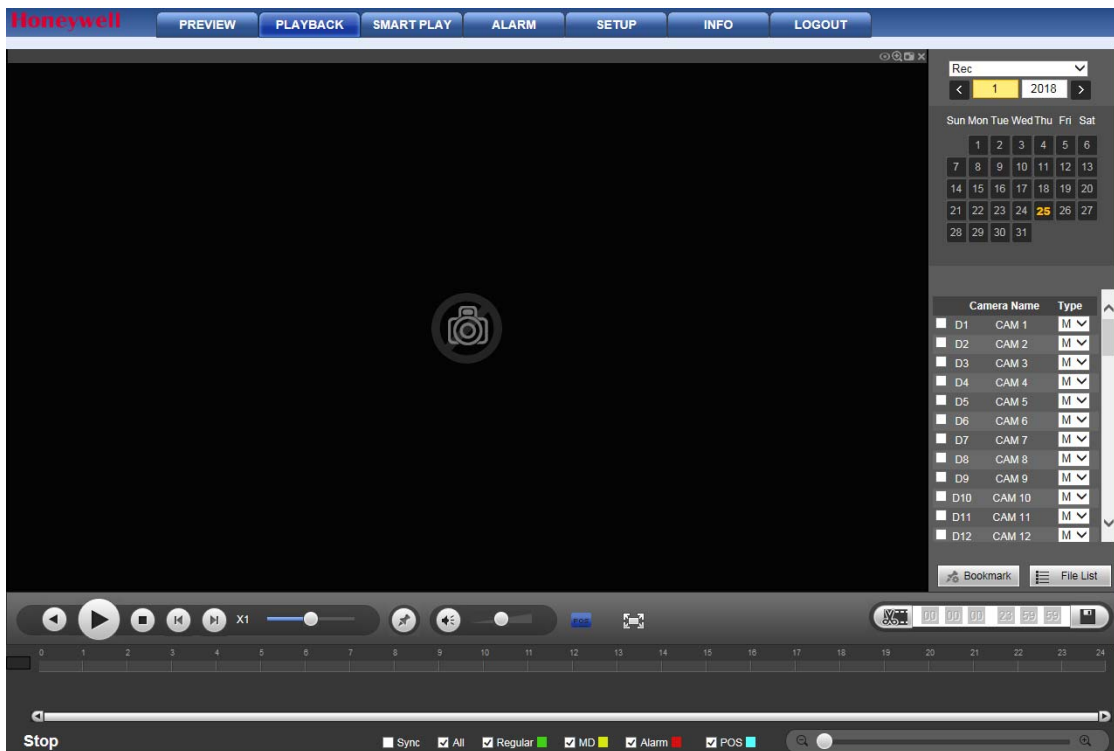
この章には下記の説明が含まれています：

- 録画した動画の再生
- 再生スライス
- 録画されたビデオのダウンロード
- スマートプレイヤーで録画したイベントを再生する

録画した動画の再生

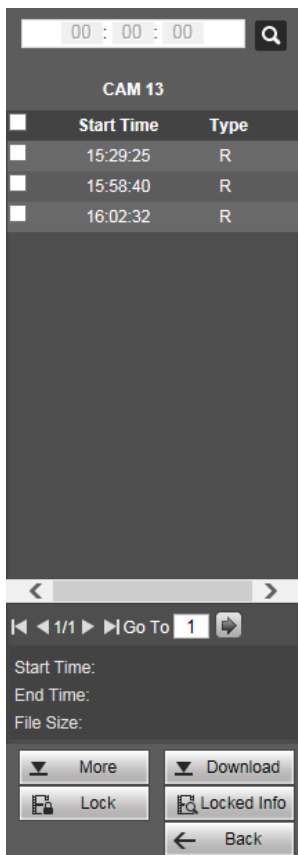
1. **Main [メイン]** ウィンドウの上部にある **Playback [再生]** タブをクリックします。
Playback [再生] インターフェースが開きます。

図 12-107 再生インターフェース



2. ビデオを再生するために録画のタイプ、録画日、カメラ、ストリームタイプを選択します。
3. **File List [ファイルリスト]**をクリックします。システムはステップ2よりの検索条件と合致するビデオクリップのリストを表示します。

図 12-108 録画ビデオクリップのリスト



4. このリストから再生するファイルを選びます。次に **Play [再生]** をクリックします。再生をフル画面にすることができます。

再生をコントロールするには再生コントロールバーを使います。

図 12-109 再生コントロールバー



注 1つの再生チャンネルでは、システムは再生とダウンロードを同時に行うことはできません。

スライスの再生

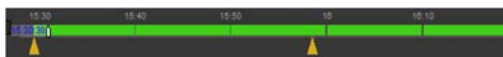
注	この機能は以下の機種のみ有効です。 HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/HEN323*4/HEN321*4/HEN642*4/HEN643*4.
----------	--

大きな録画ファイルには、同時にいくつかのセクションで再生する為にスライス再生機能を使用することができます。ご希望のビデオの長さを知っていると非常に便利です。


メインウィンドウ上で **Playback [再生]** をクリックします。に示すように、ウィンドウにナビゲートされます [図 12-107](#)。

右のペインで、ドロップダウンリストから Slice (スライス) を選びます。次に日付、カメラ、及びストリームを選びます。スライス再生のインターフェースは以下のように表示されます。個々のセクションは小さな三角形を持っています。設定時間に合わせることができます。

図 12-110 スライス再生



スライスファイルを選択します。

- **Playback [再生]** をクリックします。デフォルトでシステムは当日の最初から再生します。
- 時間バーをクリックします。システムはクリックされた時間から再生します。
-  をクリックします。ファイルリストから選択できます。

注	<ul style="list-style-type: none">• スライス再生は 1 ウィンドウ再生モードです。• システムには 1/4/8/16 部分モードがあります。若干の違いがあるかもしれませんが。4 チャンネルシリーズの製品は、4 分割モードをサポートしています。8 チャンネルシリーズの製品は、8 分割モードをサポートしています。16 チャンネルまたはそれ以上のシリーズ製品は 16 分割モードをサポートしています。• 各セクションの最短時間は 5 分です。20 分以内のレコードでは、4 分割モード (あるいは 4 分割モード以上) を選んだ場合、システムは各セクションが 5 分以内になるよう自動的に調整します。この状況では一部のチャンネルにはビデオがない場合があります。
----------	--

マークの再生

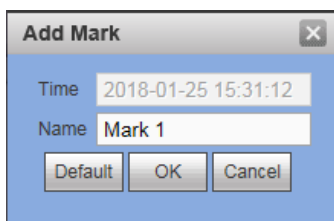
購入された機種がこの機能があることを確かめてください。再生ウィンドウ (図12-107)上にマーク再生アイコンがある場合のみこの機能を使用する事ができます。

ビデオレコードをプレイバックした時、重要な情報があった場合ビデオレコードにマークすることができます。プレイバックの後、対応するレコードを時間あるいはマークのキーワードで検索できます。そして再生することができます。重要なビデオ情報を見つけるのは簡単です。

マークを追加

再生の間に、をクリックすると下記のウィンドウが表示されます：

図 12-111 マークの追加



OK をクリックします。

再生マーク

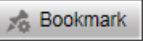
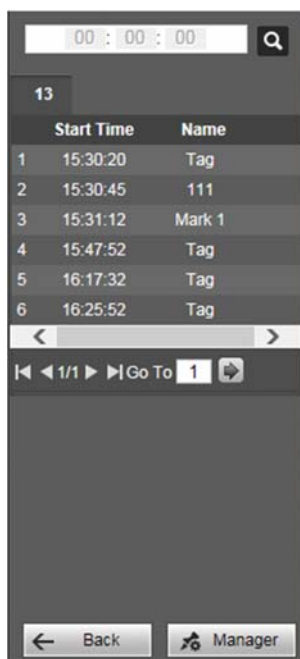
1つのウィンドウ再生モードの間に、再生ウィンドウ (図12-107)上で  をクリックするとマークファイルリストインターフェースに移動できます。マークファイルの1つをダブルクリックするとマーク時間から再生を開始することができます。

図 12-112 マークリスト



マーク時間前に再生する

ここではマーク時間より N 秒前から再生を開始するようセットすることができます。

注

通常、システムは録画ファイルがある場合、録画のN秒前から再生することができます。もしくは、その種類の録画が無い時、システムはX秒前から再生します。

マークマネージャー

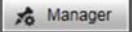
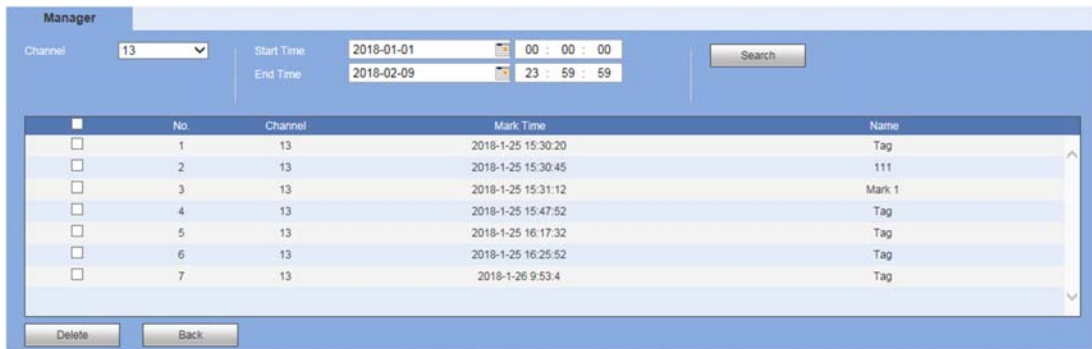
Mark List [マークリスト]([図 12-112](#))上で  をクリックすると下記のウィンドウが表示されます。デフォルトでシステムは全ての録画マーク情報を管理することができます。現在のチャンネルでの全てのマーク情報を時間単位で見ることができます。

図 12-113 マークマネージャー



Modify [修正] Marks [マーク]

1 つのマーク情報項目をダブルクリックします。システムがマーク情報を変更するためにダイアログボックスが表示されます。マーク名のみ変更することができます。

Delete [削除] Marks [マーク]

ここでは削除したいマーク情報をチェックできます、そして **Delete [削除]** をクリックすれば 1 つのマーク項目を削除できます。

注

- マーク管理インターフェースに入った後、システムは現在の再生を一時停止する必要があります。システムはマーク管理インターフェースから出ると再生を再開します。
- 再生したいマークファイルが削除されている場合、システムはリスト中の最初のファイルから再生を開始します。

ビデオをダウンロードする

File List [ファイルリスト] をクリックすることで録画ビデオクリップのリストを作成した後に、ダウンロードしたいファイルを選び、**Download [ダウンロード]** ([図 12-108](#) を参照) をクリックします。

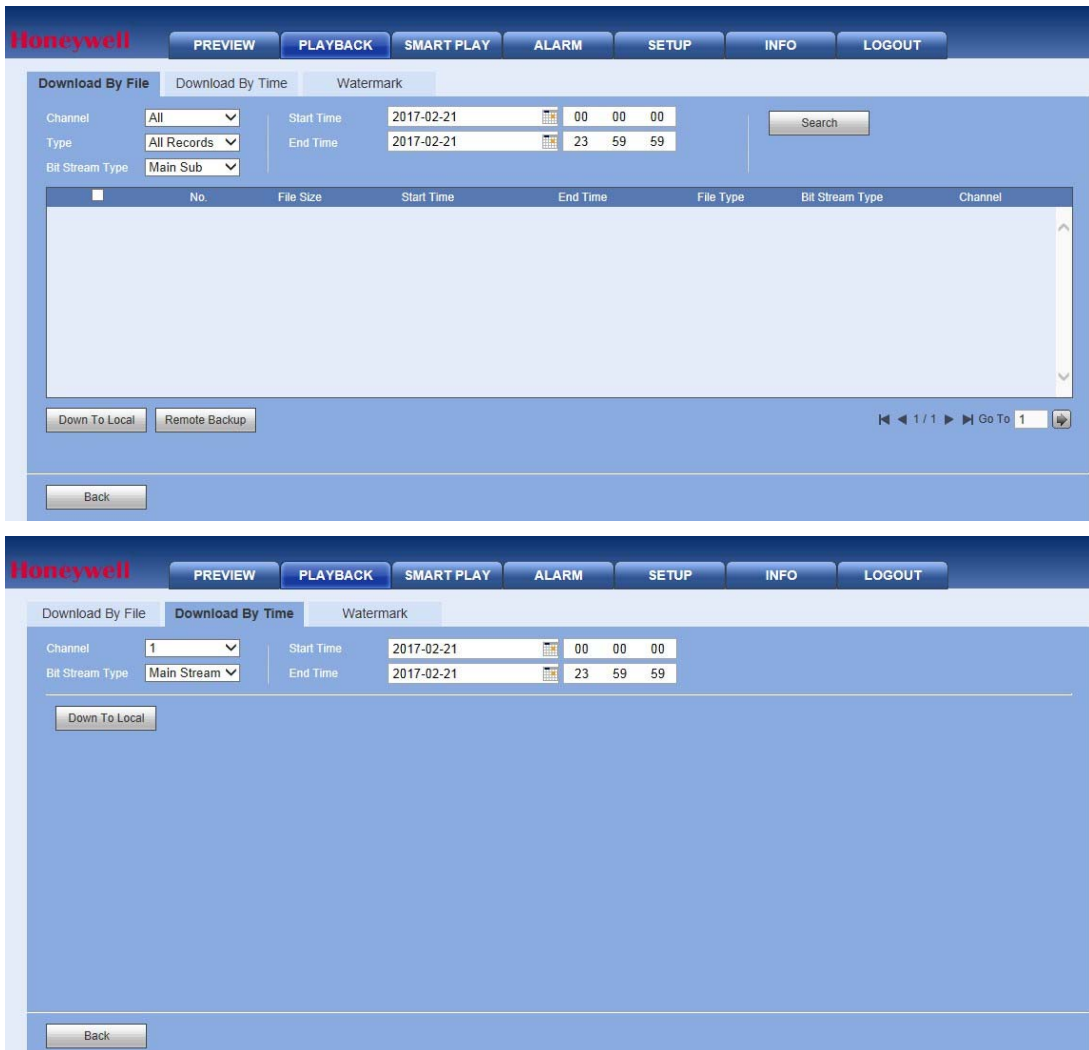
Download [ダウンロード] ボタンは **Stop [停止]** ボタンになります。そしてダウンロードの進行状況を表します (パーセント)。

ダウンロードしたファイルを閲覧するためにデフォルトの **Saved Path [保存したパス]** に移動します。ページ [182](#) の [保存パスの構成](#) を参照してください。

さらにロードする

More [さらに] をクリックし ([図 12-108](#) を参照) そして **ファイル別ダウンロード/時間毎のダウンロード** インターフェースが現れます。

図 12-114 ファイル別ダウンロード/時間毎のダウンロードインターフェース



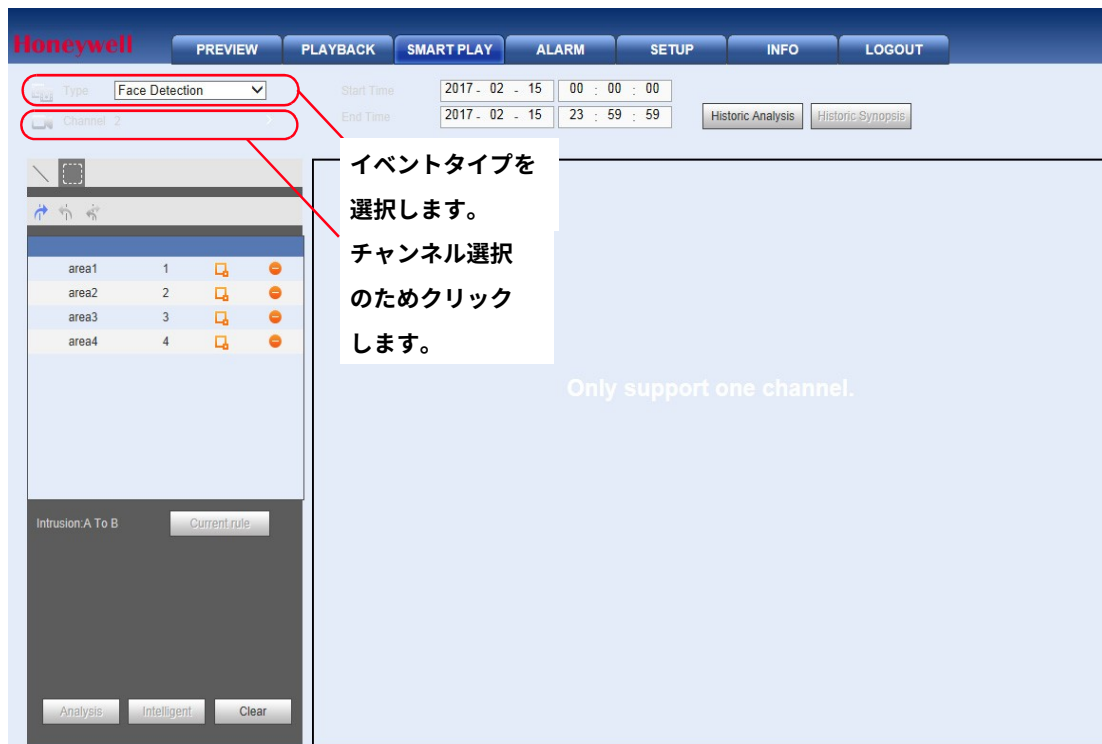
このウィンドウでは録画あるいはスナップショットの検索ができます。チャンネル、録画タイプ、録画時間を選択します。

イベントビデオの再生にスマートプレイヤーを使用する

スマートプレイヤーを使用すると、顔検出などの分析タイプのイベントに関連する動画を検索できます。

1. ウェブクライアントインターフェースの上部にある **SMART PLAY [スマートプレイ]** タブをクリックします。Smart Player[スマートプレイヤー]インターフェースが開きます。

図 12-115 Smart Player[スマートプレイヤー]オプション



2. スマートプレイヤーで検索するイベントの種類をイベントドロップダウンリストから選択します。この図12-115例では **Face Detection [顔検出]** を選択します。
3. チャンネルダイアログにあるイベントを検索するためにチャンネルを選択します。この図12-115例では, **Channel 2 [チャンネル 2]** が選択されています。
4. **Start Time [開始時刻]** と **End Time [終了時刻]** の入力はスマートプレイヤーがイベントを検索する時間を定義します。 **Historic Analysis [過去分析]** をクリックします。
5. Smart Player[スマートプレイヤー]画面が開き、選択したチャンネルで発生したイベントタイプの一覧が時間枠内に表示されます。イベントインスタンスの1つを選択して、イベントからビデオを呼び出します。

Alarm[アラーム]

この章ではアラームをリモートで作動させる方法を説明します。

アラームを作動する

Main [メイン]ウィンドウの上部にある **Alarm [アラーム]** タブをクリックします。 **Alarm [アラーム]** インターフェイスが開きます。

図 12-116 アラーム・インターフェース



表 12-34 アラーム構成

構成タイプ	構成	詳細
アラームタイプ	動体検知	Motion Detection [動体検知]を有効にするためにクリックします。特定の環境下で動体が発見されたときシステムはアラームをトリガーします。
	ローカルアラーム	Local Alarm [ローカルアラーム]を有効にするためにクリックします。NVRのローカルアラームがトリガーされた時システムはアラームをトリガーします。
	Tampering[不正干渉]	Tampering [不正干渉]を有効にするためにクリックします。カメラへの不正干渉が起こった時にシステムはアラームをトリガーします。
	HDDエラー	HDD Error [HDDエラー]アラームを有効にするためにクリックします。ハードディスクエラーが起こった時、システムはアラームをトリガーします。
	映像ロス	Video Loss [映像ロス]を有効にするためにクリックします。映像ロスが起こった時、システムはアラームをトリガーします。
	HDD Full[HDDフル]	HDD Full [HDDフル] アラームを有効にするためにクリックします。ディスクが一杯になった時、システムはアラームをトリガーします。
	インテリジェント検出	Intelligent Detect [インテリジェント検出]アラームを有効にする為にクリックします。インテリジェント分析イベントが起こった時、システムはアラームをトリガーします。
	オーディオ検出	Audio Detection [オーディオ検出]アラームを有効にするためにクリックします。オーディオ検出イベントが発生すると、システムはアラームをトリガーします。
	ユーザーロック	UserLock [ユーザーロック]アラームを有効にするためにクリックします。ユーザーが不法にユニットへアクセスしているのが検出された時、システムはアラームをトリガーします。

	シーン変更	Scene Change [シーン変更] アラームを有効にするためにクリックします。カメラシーン変更イベントが発生すると、システムはアラームをトリガーします。
操作	Message[メッセージ]	Message [メッセージ] を有効にするためにクリックします。アラームがあった時システムは自動的に、アラームメッセージを Main [メイン] インターフェース上に表示されます。
アラーム音	アラーム音を再生	Alarm Sound [アラーム音] を有効にするためにクリックします。システムはアラームが発生するとアラーム音をトリガーします。音声を選ぶことができます。
	音声パス	アラーム音声ファイルを選択します。

ウェブコントロールプラグインをアンインストールするにはウェブページのアンインストールツール `uninstall_web.bat` を使用することができます。

注 ウェブコントロールをアンインストールする前に、全てのウェブページを閉じてください。そうしないとエラーが発生することがあります。

13 トラブルシューティング

次の項では、発生し得る問題と解決方法について説明します。テクニカルサポートに連絡する前に、これらのトラブルシューティング手順を参照してください。サポートが必要な場合は、Honeywell テクニカルサポート（1-800-323-4576、北米のみ）に電話をするか、

<http://www.honeywellsystems.com/ss/techsupp/index.html><https://www.honeywellsystems.com/ss/techsupp/index.html> に電子メールを送信してください。世界の連絡先情報は裏表紙に記載されています。

問題: NVR の電源が入らない。

- 入力電圧が正しいことを確認してください。
- 電源ケーブルが NVR に正しく接続されていることを確認してください。
- 電源スイッチが ON となっていることを確認してください。
- コンセントに電源が来ていることを確認してください。NVR を別のコンセントに接続するか、別のデバイスでコンセントをテストしてみてください。
- ハウジングを取り外し、ハードドライブケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。

問題: NVR が自動的にシャットダウンまたは停止する。

- NVR に電力が供給されており、入力電圧が正確で安定していることを確認してください。
- 作業環境が規定の温度範囲内にあり、ほこりがないことを確認してください。[Appendix D \[付録 D\], Specifications \[仕様\] を参照してください。](#)
- ハウジングを取り外し、ハードドライブケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。

問題: NVR がハードドライブを検出できない。

- ハウジングを取り外し、ハードドライブケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。
- ハードドライブとリボンが損傷していないか調べてください。損傷している場合は交換してください。
- メインボードの SATA ポートが損傷していないか調べてください。損傷している場合は交換してください。

問題: モニターが画像を表示しない。

- モニター上で正しい入力（VGA）が選択されていることを確認してください。
- モニターと NVR の電源を切ってください。モニターの電源を入れてから、NVR の電源を入れてください。
- ビデオケーブルが NVR に正しく接続されていることを確認してください。

- カメラの明るさ設定が正しく設定されていることを確認してください。[ページ62 のカメラ画像設定の構成](#)を参照してください。
- プライバシーマスクが動画をブロックしていないことを確認してください。[ページ65 のテキストオーバーレイの構成](#)を参照してください。

問題: ライブビデオの色が歪んでいる。

- カメラの画像設定が正しく設定されていることを確認してください。[ページ62 のカメラ画像設定の構成](#)を参照してください。
- NVR が正しいビデオ規格 (NTSC または PAL) を使用するように設定されていることを確認してください。[ページ 124 の一般システム設定の構成](#)を参照してください。

問題: ローカル録画を検索できない。

録画が有効になっていることを確認します。[ページ bookmark4541 の一般録画設定の構成](#)を参照してください。

問題: ライブビデオを表示するときに音が出ない。

- NVR のオーディオ入出力の接続を確認してください。
- ヘッドホン/スピーカーの音量を上げてください。

問題: 動画を再生するときに音が出ない。

再生インターフェースでオーディオが有効になっていて、音量が上がっていることを確認してください。

問題: 時刻表示が正しくない。

- 日付と時刻の設定が正しく構成されていることを確認してください。[日付&時刻設定の構成 \(119 ページ\) を参照してください125。](#)
- メインボードのバッテリーを交換してください。

問題: NVR が PTZ 機能を制御できない。

- PTZ カメラがネットワークに正しく接続されていることを確認してください。
- NVR が PTZ 操作用に正しく設定されていることを確認してください。NVR のプロトコルとアドレスの設定は、PTZ カメラのプロトコルおよびアドレスの設定と一致する必要があります。カメラ設定については[ページ 57 のカメラの追加](#)を参照してください。NVR 設定については[ページ 70 の TCP/IP 設定の構成](#)を参照して下さい。

問題: 動体検知が機能しない。

- 動体検知感度を上げてください。設定が低すぎる可能性があります。

動体検知感度を設定するには、[ページにある 86](#)Configuring Motion Detection Settings [動体検知設定を構成する] を参照します。

- 動体検知スケジュールが正しく設定されていることを確認してください。

動体検知スケジュールをセットアップするには、[bookmark102](#) ページ 88にある [動体検知期間をセットアップするための参照](#)を参照します。

- 動体検知ゾーンの設定が正しく設定されていることを確認してください。

動体検知ゾーンをセットアップするには、[Configuring Motion Detection Settings \[動体検知設定\]](#) ページ 86を参照します。

問題: ネットワーク接続が不安定。

IP アドレスや MAC アドレスの競合がないことを確認します。

問題: USB バックアップエラーが発生した。

USB ストレージデバイスに十分なスペースがあることを確認してください。

問題: アラーム信号を解除することができない。

- アラーム設定が正しく設定されていることを確認してください。
- アラームケーブルの接続を確認してください。
- NVR のファームウェアが最新であることを確認してください。

問題: アラーム機能が無効。

- アラーム設定が正しく設定されていることを確認してください。
- アラームケーブルの接続を確認してください。
- 1 つのアラームデバイスに 2 つのループを接続していないことを確認してください。

問題: ダウンロードしたファイルを再生できない。

- ソフトウェア CD に収録されているプレーヤーを使用してください。
- お使いのコンピュータに DirectX8.1 以上がインストールされていることを確認してください。
- Windows XP をお使いの場合は、DivX503Bundle.exe 及び ffdshow-20041012.exe プラグインをダウンロードしてください。

14 付録 A

アラーム入出力の接続

この付記は以下のセクションで構成されています：

- [ページのアラーム入出力を接続する前に、260](#)
- [ページ260のアラーム入出力後部パネル接続](#)
- [ページ261のローカルアラーム入力ポートの接続ガイドライン](#)
- [ページ261のアラーム出力ポートの接続ガイドライン](#)

アラーム入出力を接続する前に

- アラーム入力モードがアースに設定されていることを確認します。
- 信号が接地されていることを確認します。
- アラーム入力には、低レベルの電圧信号が必要です。
- アラーム入力モードが NC（ノーマルクローズ）または NO（ノーマルオープン）のいずれかに設定されていることを確認します。
- 2つの NVR を接続する場合や、NVR と別のデバイスを接続している場合は、リレーを使用して分離します。
- アラーム出力ポートを高電力の負荷に直結することは絶対にしないでください。損傷を避けるために、負荷は 1 A 未満でなければなりません。
- コンタクタを使用して、アラーム出力ポートと負荷を接続します。

アラーム入出力後部パネル接続

アラーム入出力チャンネルの接続は以下の通りです：

表 14-1 アラーム入出力後部パネル接続

入力/出力	詳細
1~4	アラーム入力1~4入力は低電圧で有効になります。
NO1 C1、NO2 C2	ノーマルオープンアクティベーション出力（オン/オフ）



アース

ローカルアラーム入力ポート接続のガイドライン

- アラーム入力を接地します。ノーマルオープン（NO）またはノーマルクローズ（NC）のいずれかを選択します。
- アラーム検出器の COM 端と GND 端を並列に接続します。外部電源をアラーム検出器に供給します。
- NVR のアースとアラーム検出器のアースを並列に接続します。
- アラームセンサーの NO/NC ポートを NVR アラーム入力に接続します。
- アラーム装置に外部電源を供給している場合は、NVR と同じアースを使用してください。

アラーム出力ポート接続のガイドライン

- 外部電源を外部アラーム装置に供給します。
- 過負荷を防止するために、以下のリレー仕様を慎重に確認してください：

表 14-2 アラーム出力ポート接続のガイドライン

材料	金メッキを施したニッケル/銀接点	
定格（抵抗負荷）	スイッチ定格容量	30 V DC 1A、125 V AC 0.5A
	スイッチ最大電力	62.5 V AC、30 W
	スイッチ最大電圧	125 V AC、60 V DC

15 付録 B

ハードドライブの取り付け

この付録は以下の項で構成されています：

- [ページ262のハードドライブの取り付け](#)
- [ページ270の互換性のあるSATA HDDの一覧](#)
- [ページ272の互換性のあるポータブルHDDの一覧](#)

注 互換性のないHDDでHDDストレージを後付けすると、NVR保証が無効になる可能性があります。

推奨ハードディスクドライブ

- 推奨ハードディスクドライブ (HDD) のブランドとモデルの一覧はページ 270 の [互換性のある SATA HDD の一覧](#) をご覧ください。
- 7200 rpm 以上の HDD をご使用ください。
- PC の HDD は使用しないでください。

ハードドライブの取り付け

注 互換性のないHDDでHDDストレージを後付けすると、NVR保証が無効になる可能性があります。

いくつかのレコーダーモデルでは、追加のハードディスクドライブ（HDD）を取り付けることができます。互換性のあるHDDのリストはページ 270 の [互換性のある SATA HDD の一覧](#) を参照してください。7200 rpm 以上の HDD が推奨されません。

⚠ 注意 感電の危険があります。カバーを取り外す前に電源を切ってください。

ハードドライブを取り付ける手順は、お持ちのNVRユニットによって異なります。
NVRのモデル番号を確認し、お持ちのNVRユニットに該当する項を参照してください。

注

- [HDD設置対象モデル](#)
[HEN081*4/HEN161*4/HEN321*4/HEN041*3/HEN081*3/ HEN161*3/ HEN04103L/ HEN08103L/ HEN16103L/ HEN32103L](#)ページ263.
 - [HEN162*4/HEN322*4/HEN642*4へのHDDの取り付け](#)ページ265.
 - [HEN163*4/HEN323*4/HEN643*4へのHDDの取り付け](#)ページ267.
-

HDD設置対象モデル HEN081*4/HEN161*4/HEN321*4/HEN041*3/HEN081*3/ HEN161*3/ HEN04103L/ HEN08103L/ HEN16103L/ HEN32103L

1. NVRの上部カバーとサイドパネルのネジを緩め、カバーを取り外して、脇に置きます。

図 15-1 NVR カバーの取り外し



2. HDDの4本のネジを緩めます。

図 15-2HDDハウジングの4本のネジを緩める



3. HDDをNVRハウジングの底にある4つの穴に合わせます。

図 15-3 HDD の配置



4. NVRを逆さにしてから、ネジを回してHDDをNVRハウジングにしっかりと取り付けます。

図 15-4HDD の NVR ハウジングへの固定



5. HDDケーブルと電源ケーブルを接続します。

図 15-5HDD と電源ケーブルの接続



6. NVRカバーを取り付けます。

図 15-6 NVR カバーの取り付け



7. 後面パネルと側面パネルのネジを回して、NVRカバーを所定の位置に固定します。

図 15-7NVR カバーの固定



HEN162*4/HEN322*4/HEN642*4へのHDDの取り付け

1. NVRの後面パネルにあるネジを緩め、前面カバーを取り外して、脇に置きます。

図 15-8 NVR カバーの取り外し



2. HDDの4本のネジを緩めます。

図 15-9HDDハウジングの4本のネジを緩める



3. HDDをシャーシのHDDブラケットに取り付け、ブラケットの4つの穴に合わせます。

図 15-10 HDD の配置



4. ネジを締めてHDDをNVRハウジングにしっかりと取り付けます。
5. HDDデータケーブルをメインボードとHDDポートにそれぞれ接続します。
6. シャーシから電源ケーブルを緩め、電源ケーブルのもう一端をHDDポートに接続します。

図 15-11HDD と電源ケーブルの接続



7. NVRカバーを取り付けます。

図 15-12 NVR カバーの取り付け



8. 後面パネルのネジを固定して、NVRカバーを所定の位置に固定します。

HEN163*4/HEN323*4/HEN643*4へのHDDの取り付け

1. NVRの後面パネルにあるネジを緩め、前面カバーを取り外して、脇に置きます。

図 15-13 NVR カバーの取り外し



2. HDDの4本のネジを緩めます。

図 15-14HDD ハウジングの 4 本のネジを緩める



3. HDDをシャシーのHDDブラケットに取り付け、ブラケットの4つの穴に合わせます。

図 15-15 HDD の配置



4. ネジを締めてHDDをNVRハウジングにしっかりと取り付けます。
5. HDDデータケーブルをメインボードとHDDポートにそれぞれ接続します。
6. シャーシから電源ケーブルを緩め、電源ケーブルのもう一端をHDDポートに接続します。

図 15-16HDD と電源ケーブルの接続



7. NVRカバーを取り付けます。

図 15-17 NVR カバーの取り付け



8. 後面パネルのネジを固定して、NVRカバーを所定の位置に固定します。

追加のHDDの取り付け

追加のハードドライブをインストールする手順は、上記の「ハードドライブの取り付け」項の手順と似ていますが、NVRの機種によって異なります。追加のHDDを取り付けるときには、NVRのモデル番号を確認し、お持ちのNVRユニットに適用される項の手順を参照してください。

注

- [263HEN081*4/HEN161*4/HEN321*4へのHDDの取り付け](#)
 - [265HEN162*4/HEN322*4/HEN642*4へのHDDの取り付け](#)
 - [267HEN163*4/HEN323*4/HEN643*4へのHDDの取り付け](#)
-

1. NVRが電源に接続されている場合は、接続を解除してから続行してください。
2. ユニットの「HDDの取り付け」項の説明に従って、NVRハウジングからトップカバーを取り外します。以下の対応する項を参照してください：
 - [ページ263](#)のHEN081*4/HEN161*4/HEN321*4、
 - [ページ265](#)のHEN162*4/HEN322*4/HEN642*4、
 - [ページ267](#)のHEN163*4/HEN323*4/HEN643*4、
3. 新しいHDDにSATAケーブルと電源ケーブルを接続します。
4. 新しいHDDを、既存のHDDの隣で、ハウジング底部の4つのネジ穴の上またはHDDブラケットの上（NVRモデルによって異なります）に置きます。
5. 付属の4つのHDD取り付けネジで新しいHDDをハウジングに固定します。
6. NVRの上部カバーをNVRハウジングに取り付け、手順2で取り外した4本のネジで固定します。

互換性のある SATA HDD の一覧

注 以下の表を正しい内容にて利用できるよう、NVRファームウェアを最新版にアップグレードしてください。

表 15-1 互換性のある SATA HDD の一覧

Manufacturer[メーカー]	シリーズ	モデル	容量
Seagate	video 3.5	ST1000VM002	1T
Seagate	video 3.5	ST2000VM003	2T
Seagate	video 3.5	ST3000VM002	3T
Seagate	video 3.5	ST4000VM000	4T
Seagate	SkyHawk HDD	ST1000VX001	1T
Seagate	SkyHawk HDD	ST1000VX005	1T
Seagate	SkyHawk HDD	ST2000VX003	2T
Seagate	SkyHawk HDD	ST2000VX008	2T
Seagate	SkyHawk HDD	ST3000VX006	3T
Seagate	SkyHawk HDD	ST3000VX010	3T
Seagate	SkyHawk HDD	ST4000VX000	4T
Seagate	SkyHawk HDD	ST4000VX007	4T
Seagate	SkyHawk HDD	ST5000VX0001	5T
Seagate	SkyHawk HDD	ST6000VX0003	6T
Seagate	SkyHawk HDD	ST6000VX0023	6T
Seagate	SkyHawk HDD	ST8000VX0002	8T
Seagate	SkyHawk HDD	ST8000VX0022	8T
Seagate	SkyHawk HDD	ST1000VX003	1T
Seagate	SkyHawk HDD	ST2000VX005	2T
Seagate	SkyHawk HDD	ST3000VX005	3T
Seagate	SkyHawk HDD	ST4000VX002	4T
Seagate	SkyHawk HDD	ST5000VX0011	5T
Seagate	SkyHawk HDD	ST6000VX0011	6T
Seagate	SkyHawk HDD	ST8000VX0012	8T
Seagate	SkyHawk AI	ST8000VE0004	8T
Seagate	Constellation ES series	ST1000NM0055	1T
Seagate	Constellation ES series	ST2000NM0055	2T
Seagate	Constellation ES series	ST3000NM0005	3T

Seagate	Constellation ES series	ST4000NM0035	4T
Seagate	Constellation ES series	ST6000NM0115	6T
Seagate	Constellation ES series	ST8000NM0055	8T
Seagate	Constellation ES series	ST4000NM0024	4T
Seagate	Constellation ES series	ST6000NM0024	6T
東芝	Mars	DT01ABA100V	1T
東芝	Mars	DT01ABA200V	2T
東芝	Mars	DT01ABA300V	3T
東芝	Sonance	MD03ACA200V	2T
東芝	Sonance	MD03ACA300V	3T
東芝	Sonance	MD03ACA400V	4T
東芝	Sonance	MD04ABA400V	4T
Western Digital	WD Purple™	WD10PURX	1T
Western Digital	WD Purple™	WD20PURX	2T
Western Digital	WD Purple™	WD30PURX	3T
Western Digital	WD Purple™	WD40PURX	4T
Western Digital	WD Purple™	WD50PURX	5T
Western Digital	WD Purple™	WD60PURX	6T
Western Digital	WD Purple™	WD80PURX	8T
Western Digital	WD Purple™	WD10PURZ	1T
Western Digital	WD Purple™	WD20PURZ	2T
Western Digital	WD Purple™	WD30PURZ	3T
Western Digital	WD Purple™	WD40PURZ	4T
Western Digital	WD Purple™	WD50PURZ	5T
Western Digital	WD Purple™	WD60PURZ	6T
Western Digital	WD Purple™	WD80PURZ	8T
Western Digital	WD Purple™	WD4NPURX	4T
Western Digital	WD Purple™	WD6NPURX	6T
Western Digital	WD RE series	WD1004FBYZ	1T
Western Digital	WD RE series	WD2004FBYZ	2T
Western Digital	WD RE series	WD3000FYYZ	3T
Western Digital	WD RE series	WD4000FYYZ	4T
Western Digital	WD	WD2000F9YZ	2T
Western Digital	WD	WD3000F9YZ	3T
Western Digital	WD	WD4002FYYZ	4T
Western Digital	WD	WD6002FRYZ	6T
Western Digital	WD	WD8002FRYZ	8T
日立	Ultrastar series	HUS724030ALA640	3T
日立	Ultrastar series	HUS726060ALE610	6T

日立	Ultrastar series	HUH728060ALE600	6T
日立	Ultrastar series	HUH728080ALE600	8T

互換性のあるポータブル HDD の一覧

表 15-2 互換性のあるポータブル HDD の一覧

Manufacturer[メーカー]	モデル	容量
YDStar	YDStar HDD box	40 GB
Netac	Netac	80 GB
lomega	lomega RPHD-CG* RNAJ50U287	250 GB
WD Elements	WCAVY1205901	1.5 TB
Newsmy	Liangjian	320 GB
WD Elements	WDBAAR5000ABK-00	500 GB
WD Elements	WDBAAU0015HBK-00	1.5 TB
Seagate	FreeAgent Go (ST905003F)	500 GB
Aigo	H8169	500 GB

16 付録 C、MAXPRO®クラウド

この付録は以下の項で構成されています：

[MAXPRO クラウドモードの構成](#) ページ 273

MAXPRO クラウドモードの構成

これらのクラウド対応デバイスはスタンドアロンデバイスとして使用するほかに、Honeywell の MAXPRO クラウドプラットフォームに簡単に接続して、完全に統合管理されたクラウドソリューションを作成することもできます。MAXPRO クラウドモードで使用すると、このデバイスはクラウドに安全に接続された MAXPRO クラウドアプライアンスとなり、帯域幅を管理しながら高画質の動画をストリーミングします。重大なイベントは、より高い解像度とフレームレートでローカルにキャプチャし、安全に保護されたバックアップとしてクラウドに格納することもできます。

MAXPRO クラウドソリューションは、お客様と販売店に以下の付加価値を提供します。

- 外出先でアクセスできます。ライブビデオや録画された動画を、PC、MAC、ラップトップ、または携帯端末で、いつでもどこでも見ることができます。
- 1回のログインで、遠隔管理、構成と変更、ファームウェアの更新、および管理対象サービスの追加を簡単に行うことができます。
- ヘルス、ステータス、重大なイベントなどの情報を、クリップリンクとアラートでリアルタイムに通知します。
- サイトアラームを検証し、誤警報コストとコールアウトを削減します。
- 外出先でのクラウドストレージ追加

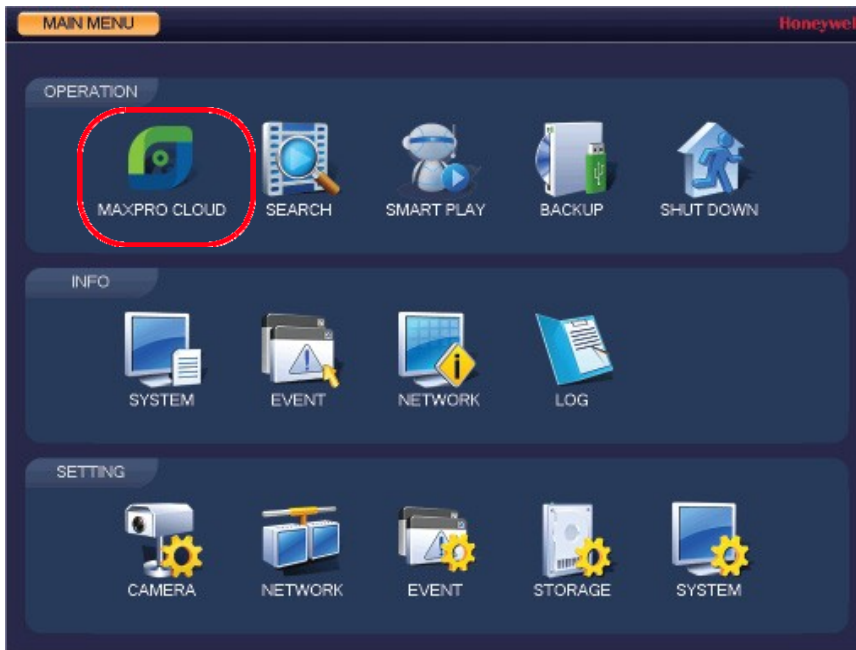
注

MAXPROクラウドサービスの契約が必要です。詳細はHoneywellカスタマーサービスまでお問い合わせください。連絡先については、裏表紙を参照してください。

MAXPRO クラウドモードに切り替えるには、下記を実行します：

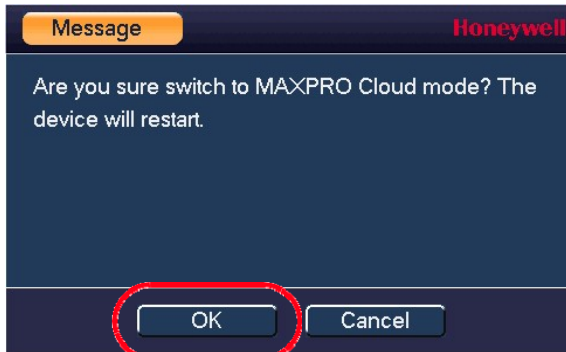
1. **Main Menu[メインメニュー]→OPERATION[操作]**に移動して**MAXPRO CLOUD[MAXPROクラウド]**をクリックします。

図 16-1MAXPRO クラウドの選択



確認メッセージが表示されます。

図 16-2MAXPRO クラウド構成確認メッセージ



2. MAXPROクラウドモードに切り替える場合はOKをクリックします。NVRはMAXPROクラウドモードで再起動します。

注

MAXPROクラウドモードでの操作については、Honeywellカスタマーサービスにお問い合わせください。

17 付録 D、仕様

表 17-1 仕様

HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4/HEN161*4/HEN322*4/HEN323*4/HEN321*4/HEN642*4/HEN643*4

システム	
メインプロセッサ	クアッドコア組み込みプロセッサ
オペレーティングシステム	組み込みLinux
オーディオとビデオ	
IPカメラ入力	8チャンネルNVR：8 16チャンネルNVR：16 32チャンネルNVR：32 64チャンネルNVR：64
双方向通話	1チャンネル入力、1チャンネル出力、RCA
表示	
インターフェース	2 HDMI (1 HDMI up to 3840x2160), 1 VGA HEN081*4/HEN161*4/HEN321*4: 1 HDMI、1 VGA
解像度	3840 x 2160、 1920 x 1080、 1280 x 1024、 1280 x 720、 1024 x 768
表示分割	8チャンネルNVR：1/4/8/9 16チャンネルNVR：1/4/8/9/16 32チャンネルNVR：1/4/8/9/16/25/36 64チャンネルNVR：1/4/8/9/16/25/36
OSD	カメラのタイトル、時刻、映像ロス、カメラのロック、動体検知、録画
録画	
圧縮	H.265 / H.264 / MJPEG / MPEG4
解像度	12MP/8MP/6MP/5MP/4MP/3MP/1080p/720p/D1/CIF
録画レート	チャンネルあたり320Mbps
ビットレート	チャンネルあたり16 kbps ~ 20 Mbps

録画モード	手動、スケジュール（通常[連続]、MD、アラーム）、停止
録画間隔	1～120分（デフォルト:60分）、事前録画: 1～30秒、事後録画: 10～300秒
ビデオ検出とアラーム	
トリガーイベント	録画、PTZ、ツアー、アラーム、ビデオプッシュ、電子メール、FTP、スナップショット、プザー、画面のヒント
ビデオ検出	動体検知、動体検知ゾーン（396: 22 x 18）; 映像ロス
アラーム入力	16チャンネル HEN081*4/HEN161*4/HEN321*4: 4チャンネル
リレー出力	6チャンネル HEN081*4/HEN161*4/HEN321*4: 2チャンネル
再生とバックアップ	
同期再生	HEN081*4/HEN162*4/HEN163*4: 1/4/8 HEN161*4及び32/64チャンネルNVR: 1/4/9/16
検索モード	時刻/日付、アラーム、動体検知、正確な検索（秒単位まで正確）、スマート検索
再生機能	再生、一時停止、停止、巻戻し、高速再生、低速再生、次のファイル、前のファイル、次のカメラ、前のカメラ、全画面表示、繰り返し、シャッフル、バックアップ選択、デジタルズーム
バックアップモード互換性	USBデバイス、ネットワーク、内蔵SATAバーナー、eSATAデバイス
ネットワーク	
イーサネット	1 RJ-45ポート（10/100/1000Mbps）
PoE	HEN081*4/HEN161*4/HEN321*4: 8ポート(IEEE802.3at/af) その他のNVR: 16ポート(IEEE802.3at/af)
ネットワーク機能	HTTP, HTTPS, TCP/IP, IPv4/IPv6, UPnP, RTSP, UDP, SMTP, NTP, DHCP, DNS, IP Filter, PPPoE, DDNS, FTP, Alarm Server, IP Search; P2P
最大ユーザー数	128ユーザー
スマートフォン互換性	iPhone、iPad、アンドロイド
ストレージ	
内蔵ストレージ	HEN081*4/HEN161*4/HEN321*4: 2 SATA ポート（最大 12 TB） HEN162*4/HEN322*4/HEN642*4: 4 SATA ポート（最大 24 TB） HEN163*4/HEN323*4/HEN643*4: 8 SATAポート（最大48 TB）

外部HDD	HEN162*4/HEN322*4/HEN642*4: 1 eSATAポート HEN163*4/HEN323*4/HEN643*4: 1 eSATAポート
補助インターフェース	
USB	HEN081*4/HEN161*4/HEN321*4: 2ポート(1つは背面USB 3.0、1つは前面USB 2.0) HEN162*4/HEN322*4/HEN642*4: 3ポート(2つは背面USB 3.0、1つは前面USB 2.0) HEN163*4/HEN323*4/HEN643*4: 4ポート(2つは背面USB 3.0、2つは前面USB 2.0)
RS232	1ポート、PC通信およびキーボード用
電気	
電源	100~240 V AC、 50/60 Hz
消費電力	HEN081*4/HEN161*4/HEN321*4: 15.2 W (HDDを除く) HEN162*4/HEN322*4/HEN642*4: 17.5 W (HDDを除く) HEN163*4/HEN323*4/HEN643*4: 17.5 W (HDDを除く)
PoE	HEN081*4/HEN161*4/HEN321*4: 8ポート(IEEE802.3at/af)の合計負荷は130 Wを超えてはならず、単一のポートでの最大負荷は25.5W HEN162*4/HEN322*4/HEN642*4: 16ポート(IEEE802.3at/af)の合計負荷は150 Wを超えてはならず、単一のポートでの最大負荷は25.5W HEN163*4/HEN323*4/HEN643*4: 16ポート(IEEE802.3at/af)の合計負荷は150 Wを超えてはならず、単一のポートでの最大負荷は25.5 W
環境	
動作温度範囲	14° F ~ 131° F (-10°C ~ 55°C)
湿度	相対湿度10~90%
物理的	
寸法	HEN081*4/HEN161*4/HEN321*4: 14.8 x 12.9 x 2.1インチ (375 x 327 x 53 mm) HEN162*4/HEN322*4/HEN642*4: 17.3 x 16.3 x 3.0インチ (440 x 413 x 75 mm) HEN163*4/HEN323*4/HEN643*4: 17.3 x 17.9 x 3.7インチ (440 x 454 x 95 mm)
重量 (HDDを除く)	HEN081*4/HEN161*4/HEN321*4: 5.73 ポンド (2.6 kg) HEN162*4/HEN322*4/HEN642*4: 10.25 ポンド (4.65 kg) HEN163*4/HEN323*4/HEN643*4: 15.43ポンド (7.0 kg)

HEN041*3/HEN081*3/HEN161*3/HEN04103L/HEN08103L/HEN16103L/HEN32103L

システム	
メインプロセッサ	クアッドコア組み込みプロセッサ
オペレーティングシステム	組み込みLinux
オーディオとビデオ	
IPカメラ入力	4チャンネルNVRs:4 8チャンネルNVR : 8 16チャンネルNVR : 16 32チャンネルNVR : 32
双方向通話	1チャンネル入力、1チャンネル出力、RCA
表示	
インターフェース	1 HDMI、1 VGA
解像度	3840 x 2160、 1920 x 1080、 1280 x 1024、 1280 x 720、
表示分割	4チャンネルNVRs:1/4 8チャンネルNVR : 1/4/8/9 16チャンネルNVR : 1/4/8/9/16 32チャンネルNVR : 1/4/8/9/16/36
OSD	カメラのタイトル、時刻、映像ロス、カメラのロック、動体検知、録画
録画	
圧縮	H.265~H.264
解像度	8Mp(3840x2160); 6Mp(3072x2048); 5MP(2560x1920); 4MP(2560x1440); 3MP(2048x1520); 1080P(1920x1080); 720P(1280x720);D1(704x576/704x480);CIF(352x288/352x240)
録画レート	HEN041*3/HEN081*3/HEN161*3/HEN16103L/HEN32103L: 1チャンネルあたり 320Mbps HEN04103L/HEN08103L: 1チャンネルあたり80Mbps
ビットレート	1チャンネルあたり16 kbps ~ 20 Mbps
録画モード	手動、スケジュール (通常[連続]、MD、アラーム)、停止
録画間隔	1~120分 (デフォルト:60分)、事前録画: 1~30 秒、事後録画: 10~300秒
ビデオ検出とアラーム	

トリガーイベント	録画、PTZ、ツアー、アラーム、ビデオプッシュ、電子メール、FTP、スナップショット、プザー、画面のヒント
ビデオ検出	動体検知、動体検知ゾーン (396: 22 x 18)、映像ロスとカメラブランク
アラーム入力	4チャンネル、低レベル効果、グリーン端末インターフェース HEN04103L/HEN08103L: なし
リレー出力	2チャンネル、NO/NCプログラマブル、グリーン端末インターフェース HEN04103L/HEN08103L: なし
再生とバックアップ	
同期再生	4チャンネルNVRs: 1/4 8チャンネルNVR: 1/4/8 16チャンネルNVR: 1/4/8/16 32チャンネルNVR: 1/4/8/16
検索モード	時刻/日付、アラーム、動体検知、正確な検索 (秒単位まで正確)、スマート検索
再生機能	再生、一時停止、停止、巻戻し、高速再生、低速再生、次のファイル、前のファイル、次のカメラ、前のカメラ、全画面表示、繰り返し、シャッフル、バックアップ選択、デジタルズーム
バックアップモード互換性	USBデバイス、ネットワーク
ネットワーク	
イーサネット	1 RJ-45ポート (10/100/1000Mbps)
PoE	HEN041*3: 4ポート(IEEE802.3at/af) HEN081*3: 8ポート(IEEE802.3at/af) HEN161*3: 16ポート(IEEE802.3at/af) HEN04103L/HEN08103L: なし HEN16103L/HEN32103L: なし
ネットワーク機能	HTTP, HTTPS, TCP/IP, IPv4/IPv6, UPnP, RTSP, UDP, SMTP, NTP, DHCP, DNS, IP Filter, PPPoE, DDNS, FTP, Alarm Server, IP Search; P2P
最大ユーザー数	128ユーザー
スマートフォン互換性	iPhone、iPad、アンドロイド
ストレージ	
内蔵ストレージ	HEN041*3/HEN081*3/HEN161*3/HEN16103L/HEN32103L: 2 SATA III ポート(最大12 TB) HEN04103L/HEN08103L: 1 SATAポート(最大6 TB)

外部HDD	なし
HDDモード	シングル
補助インターフェース	
USB	HEN041*3/HEN081*3/HEN161*3/HEN16103L/HEN32103L: 2つのUSBポート (1 USB2.0; 1 USB3.0) HEN04103L/HEN08103L: 2 つのUSBポート (10/2/USB2.0)
RS232	1ポート(PC通信用)
電気	
電源	HEN041*3: DC48V/2A HEN081*3/HEN161*3: AC100V ~ 240V, 50 ~ 60 Hz HEN04103L/HEN08103L: DC12V/2A HEN16103L/HEN32103L : DC12V/4A
消費電力	HEN041*3: 9W未満 (HDDなし) HEN081*3: 9.6W未満 (HDDなし) HEN161*3: 13.2W未満 (HDDなし) HEN04103L/HEN08103L: 6.3W未満 (HDDなし) HEN16103L/HEN32103L : 6.9W未満 (HDDなし)
PoE	HEN041*3: 1ポート当たり最大25.5W(合計50Wまで) HEN081*3: 1ポート当たり最大25.5W(合計80Wまで) HEN161*3: 1ポート当たり最大25.5W(合計130Wまで)
環境	
動作温度範囲	-10°C~+55°C (+14°F~+131°F), 86~106kpa
湿度	相対湿度10~90%
物理的	
寸法	HEN041*3/HEN16103L/HEN32103L: 1U、375mm×281.5mm×56mm (14.8 × 11.1 × 2.2インチ) HEN081*3/HEN161*3: 1U、375mm×327.5mm×53mm (14.8 × 12.9 × 2.1インチ) HEN04103L/HEN08103L: Compact 1U、260mm×224.9mm×47.6mm (10.2x8.9x1.9インチ)
重量 (HDDを除く)	HEN041*3/HEN16103L/HEN32103L: 1.6kg (3.5 lb) (HDDなし) HEN081*3: 2.6kg (5.7lb) (HDDなし) HEN161*3: 2.7kg (6.0 lb) (HDDなし) HEN04103L/HEN08103L: 0.8kg (1.76 lb) (HDDなし)

Honeywell Security Products Americas (本社)

2700 Blankenbaker Pkwy, Suite 150
Louisville, KY 40299, USA
www.honeywell.com/security
☎+1 800 323 4576

Honeywell Security Northern Europe

Ampèrestraat 41
1446 TR Purmerend, The Netherlands
www.honeywell.com/security/nl
☎+31 (0) 299 410 200

Honeywell Security Europe/South Africa

Aston Fields Road, Whitehouse Industrial Estate Runcorn,
WA7 3DL, United Kingdom
www.honeywell.com/security/uk
☎+44 (0) 1928 754 028

Honeywell Security Deutschland

Johannes-Mauthe-Straße 14
72458 Albstadt, Germany www.honeywell.com/security/de
☎+49 (0) 7431 801-0

Honeywell Security Products Americas Caribbean/Latin America

9315 NW 112th Ave.
Miami, FL 33178, USA
www.honeywell.com/security/clar
☎+1 305 805 8188

Honeywell Security France

Immeuble Lavoisier
Parc de Haute Technologie
3-7 rue Georges Besse 92160
Antony, France
www.honeywell.com/security/fr
☎+33 (0) 1 40 96 20 50

Honeywell Security Asia Pacific

Building #1, 555 Huanke Road, Zhang Jiang
Hi-Tech Park, Pudong New Area, Shanghai,
201203, China
www.asia.security.honeywell.com
☎+86 400 840 2233

Honeywell Security Italia SpA

Via della Resistenza 53/59 20090
Buccinasco
Milan, Italy www.honeywell.com/security/it
☎+39 (0) 2 4888 051

Honeywell Security Middle East/N.Africa

Emaar Business Park, Sheikh Zayed Road Building No. 2,
Office No. 301
Post Office Box 232362 Dubai,
United Arab Emirates
www.honeywell.com/security/me
☎+971 (0) 4 450 5800

Honeywell Security España

Avenida de Italia, nº 7, 2ª planta
C.T.Coslada
28821 Coslada, Madrid, Spain
www.honeywell.com/security/es
☎+34 902 667 800

Honeywell

www.honeywell.com/security

+1 800 323 4576 (北米のみ)

<https://www.honeywellsystems.com/ss/techsupp/index.html>

ドキュメント 800-24120V1 改訂 A -07/2018

©2018 Honeywell International Inc.無断複写・転載を禁じます。Honeywell の書面による許諾なく本書のいかなる部分も転載することはできません。本書の情報は、あらゆる点で正確であると思われず、Honeywell は、その使用に起因するいかなる結果についても責任を負いかねます。ここに記載されている情報は予告無く変更されることがあります。そのような変更を記載するために、本書の改訂または新版が発行されることがあります。